

蓮田市高齢者福祉計画 2027・
第 10 期介護保険事業計画・
認知症施策推進計画策定のための
アンケート調査等結果報告書



はずびい
蓮田市マスコットキャラクター

令和8年3月

蓮 田 市

目次

【アンケート調査】	1
I アンケート調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査概要.....	2
3 報告書の見方.....	2
II 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果.....	3
1 あなたのご家族や生活状況について.....	3
2 からだを動かすことについて.....	9
3 食べることについて.....	14
4 毎日の生活について.....	18
5 地域での活動について.....	27
6 たすけあいについて.....	32
7 健康について.....	36
8 認知症にかかる相談窓口の把握について.....	40
9 福祉サービス・介護保険制度について.....	43
III 在宅介護実態調査結果.....	49
A票 調査対象者ご本人について.....	49
B票 主な介護者の方について.....	67
IV 介護保険サービス提供事業所調査結果.....	78
1 事業所の運営について.....	78
2 サービスの質の向上について.....	86
3 関係機関との連携について.....	91
4 今後の事業展開について.....	98
5 今後望むことについて.....	101
V 居宅介護支援事業所調査結果.....	104
1 ケアマネジメントの状況について.....	104
2 サービスの質の向上について.....	120
3 関係機関との連携について.....	121
4 高齢者の権利擁護について.....	126
5 今後望むことについて.....	128

VI 生活機能評価等に関する分析.....	132
【ヒアリング調査】	142
I 調査の概要.....	142
1 調査の目的.....	142
2 調査対象.....	142
3 調査期間.....	142
4 調査実施方法.....	142
5 調査件数.....	142
II ヒアリング調査結果.....	143
(1) 当事者ヒアリングの主な意見.....	143
(2) 家族ヒアリングの主な意見.....	147
【調査票】	150
I 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査票.....	150
II 在宅介護実態調査票.....	158
III 介護保険事業推進に関するアンケート調査（介護保険サービス提供事業所）調査票.....	164
IV 介護保険事業推進に関するアンケート調査（居宅介護支援事業所）調査票.....	169

【アンケート調査】

I アンケート調査の概要

1 調査の目的

皆様の生活状況、福祉サービス及び介護保険制度や市に対するご意見等をお聴きし、「蓮田市高齢者福祉計画 2027・第 10 期介護保険事業計画・認知症施策推進計画」を策定する上での基礎資料として活用するために実施するものです。

調査種類	対象	調査趣旨
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	65 歳以上の市民 (無作為抽出)	日常生活圏域ごとの高齢者の状態・ニーズや地域の課題等を把握する。また、健康づくりや介護予防、高齢者福祉サービスの利用意向などを把握し、本計画に反映する。
在宅介護実態調査	本市に在住の、要支援 1・2 又は要介護 1～5 の認定を受けており、在宅で生活されている方	「地域包括ケアシステムの構築」という観点に加え、「介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要か」といった観点も盛り込むため、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的とし、本計画に反映する。
介護保険事業推進に関するアンケート調査（介護保険サービス提供事業所）	給付実績のある市内のすべての介護保険サービス提供事業所	労働実態や利用者と事業者との連携体制などの実態および課題を把握し、介護保険運営体制の改善を検討する際の資料とする。
介護保険事業推進に関するアンケート調査（居宅介護支援事業所）	本市に給付実績のある県内のすべての居宅介護支援事業所	地域包括ケア体制の構築のため、現場で従事するケアマネジャーの実態を把握し、高齢者の地域生活継続に必要な方策を検討するための資料とする。

2 調査概要

- 調査期間：令和7年12月～令和8年1月
- 調査方法：郵送による発送、郵送及びWEBによる回収

調査種類	配布数	回収数	回収率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	2,000	1,569 (郵送：1,480 WEB：89)	78.5%
在宅介護実態調査	1,685	1,080 (郵送：1,018 WEB：62)	64.1%
介護保険事業推進に関するアンケート調査 (介護保険サービス提供事業所)	51	38 (郵送：31 WEB：7)	74.5%
介護保険事業推進に関するアンケート調査 (居宅介護支援事業所)	100	66 (郵送：53 WEB：13)	66.0%

【参考】前回調査（令和4年度）

調査種類	配布数	回収数	回収率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	1,800	1,183	65.7%
在宅介護実態調査	1,658	885	53.4%
介護保険事業推進に関するアンケート調査 (介護保険サービス提供事業所)	40	26	65.0%
介護保険事業推進に関するアンケート調査 (居宅介護支援事業所)	70	60	85.7%

※郵送回答のみ

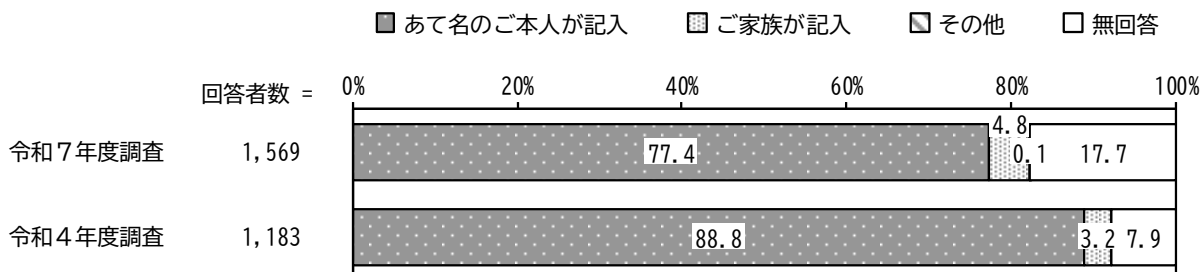
3 報告書の見方

- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。
- ・令和4年度調査との比較がないものは、令和4年度調査に設問がないものです。

Ⅱ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果

調査票を記入されたのはどなたですか。○印をつけてください。

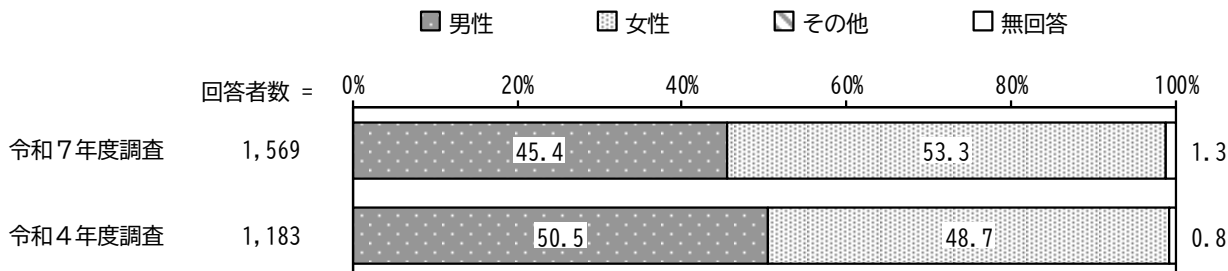
「あて名のご本人が記入」の割合が77.4%、「ご家族が記入」の割合が4.8%となっています。
令和4年度調査と比較すると、「あて名のご本人が記入」の割合が減少しています。



1 あなたのご家族や生活状況について

問1 あなたの性別について、お教えてください。(○は1つ)

「男性」の割合が45.4%、「女性」の割合が53.3%となっています。
令和4年度調査と比較すると、「男性」の割合が減少しています。

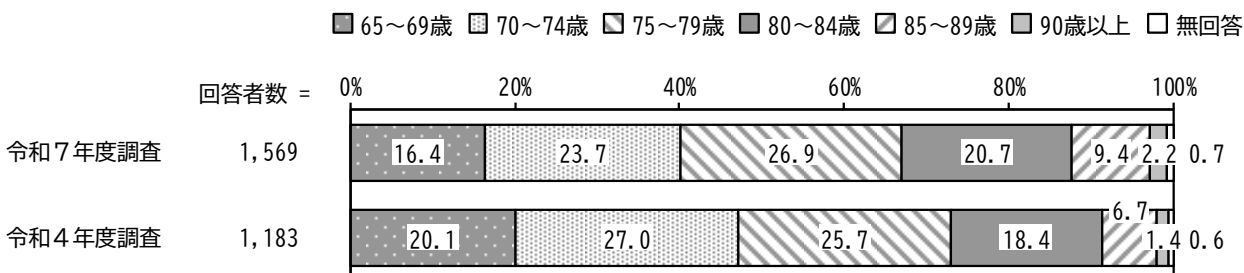


※令和4年度調査では、「その他」はありませんでした。

問2 あなたの年齢（令和7年11月1日現在）について、お教えてください。(数字を記入)

「75～79歳」の割合が26.9%と最も高く、次いで「70～74歳」の割合が23.7%、「80～84歳」の割合が20.7%となっています。

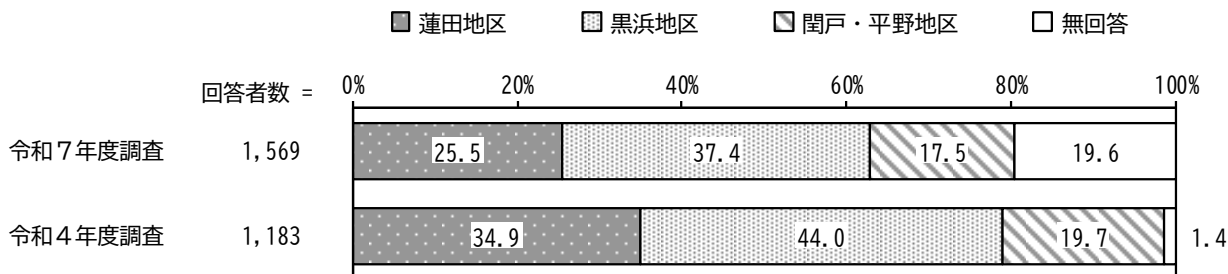
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はありませんが、75歳以上の割合が増加しています。



問3 あなたのお住まいの地区（地域）をお教えてください。（○は1つ）

「蓮田地区」の割合が25.5%、「黒浜地区」の割合が37.4%、「閩戸・平野地区」の割合が17.5%となっています。

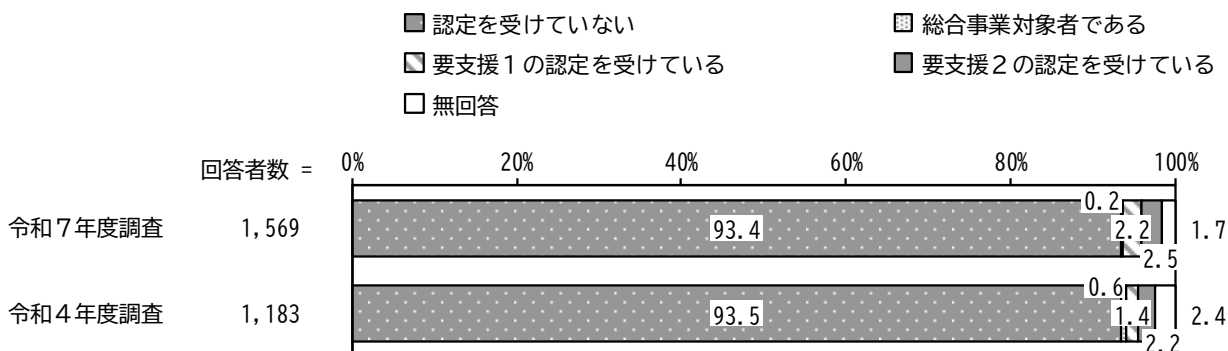
令和4年度調査と比較すると、「無回答」の割合が増加しています。



問4 あなたの要介護認定状況をお教えてください。（○は1つ）

「認定を受けていない」の割合が93.4%と最も高くなっています。

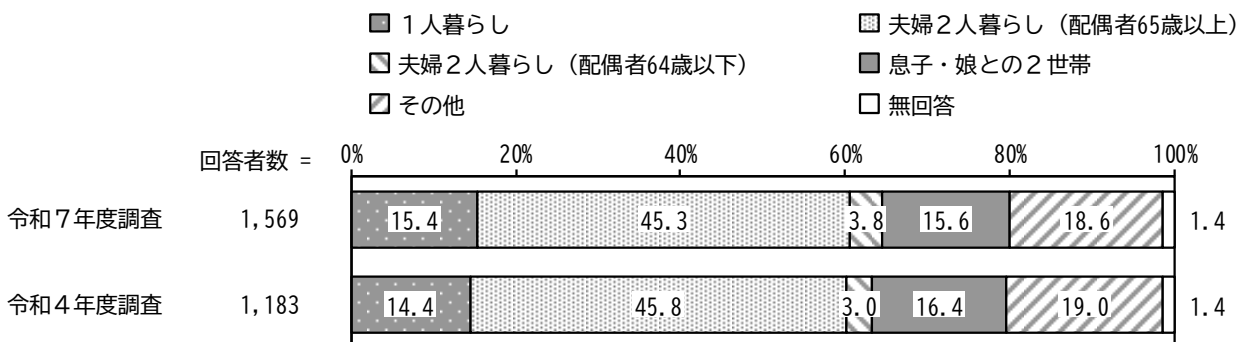
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問5 家族構成をお教えてください。（○は1つ）

「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が45.3%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」の割合が15.6%、「1人暮らし」の割合が15.4%となっています。

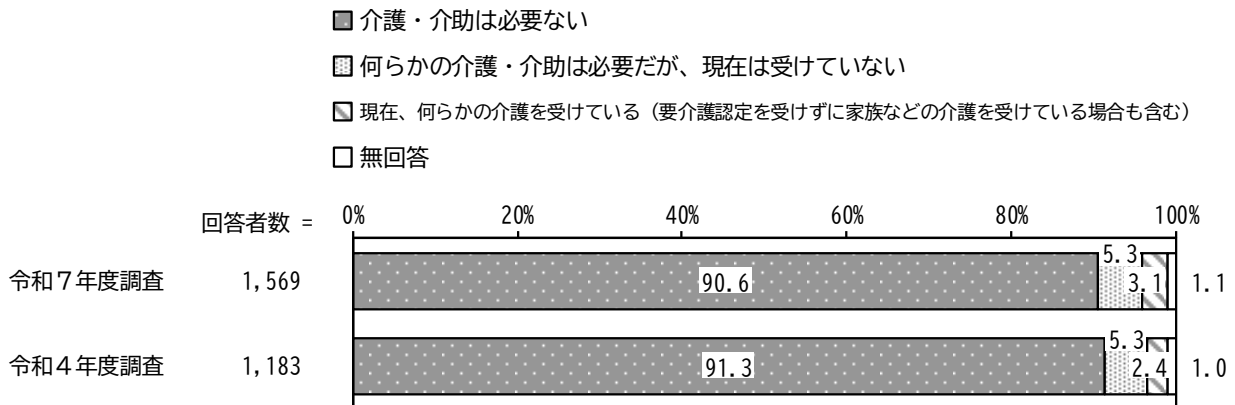
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問6 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(〇は1つ)

「介護・介助は必要ない」の割合が90.6%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が5.3%、「現在、何らかの介護を受けている（要介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」の割合が3.1%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

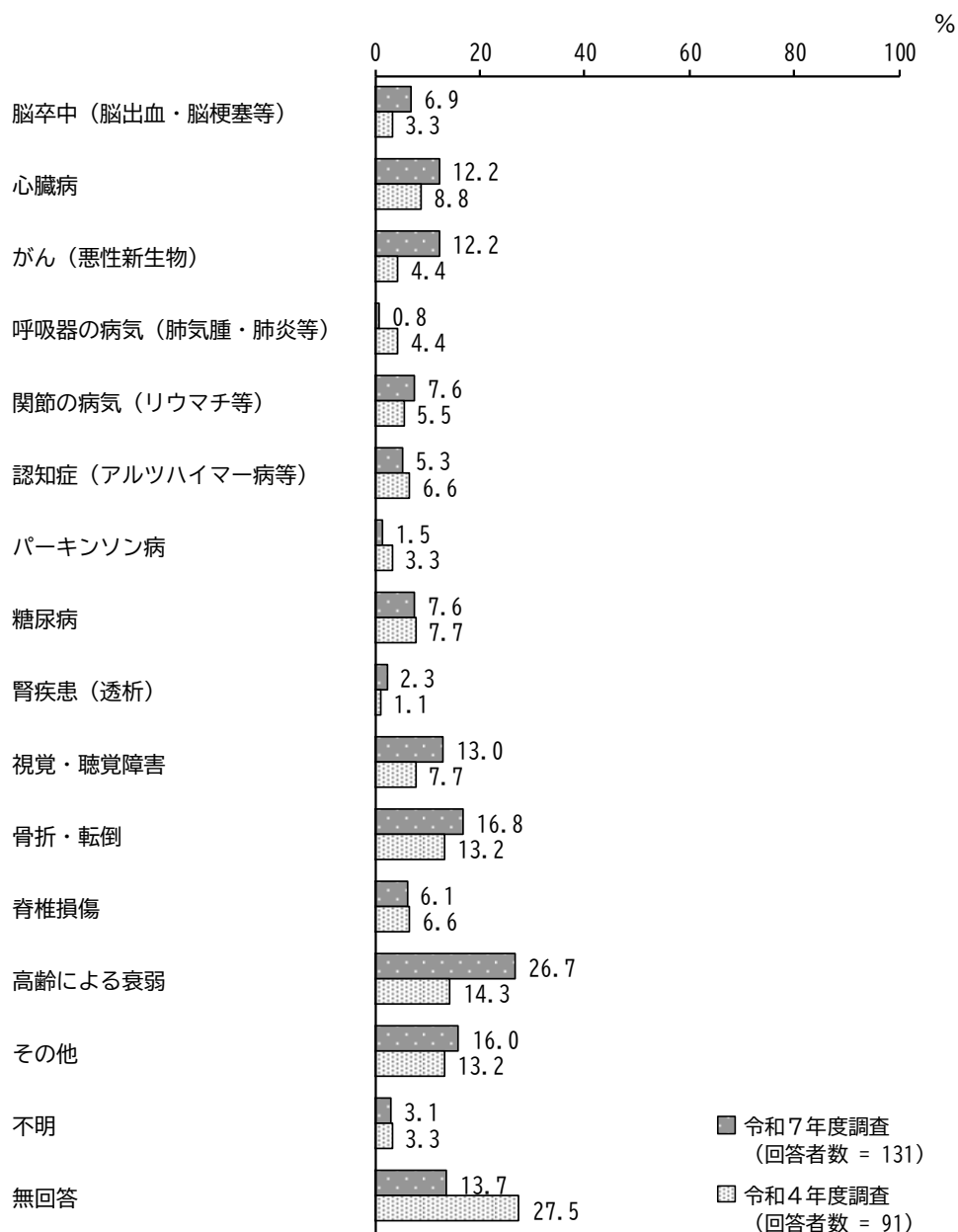


【問6において「介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

問7 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(〇はいくつでも)

「高齢による衰弱」の割合が26.7%と最も高く、次いで「骨折・転倒」の割合が16.8%、「視覚・聴覚障害」の割合が13.0%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「がん(悪性新生物)」「視覚・聴覚障害」「高齢による衰弱」の割合が特に増加しています。

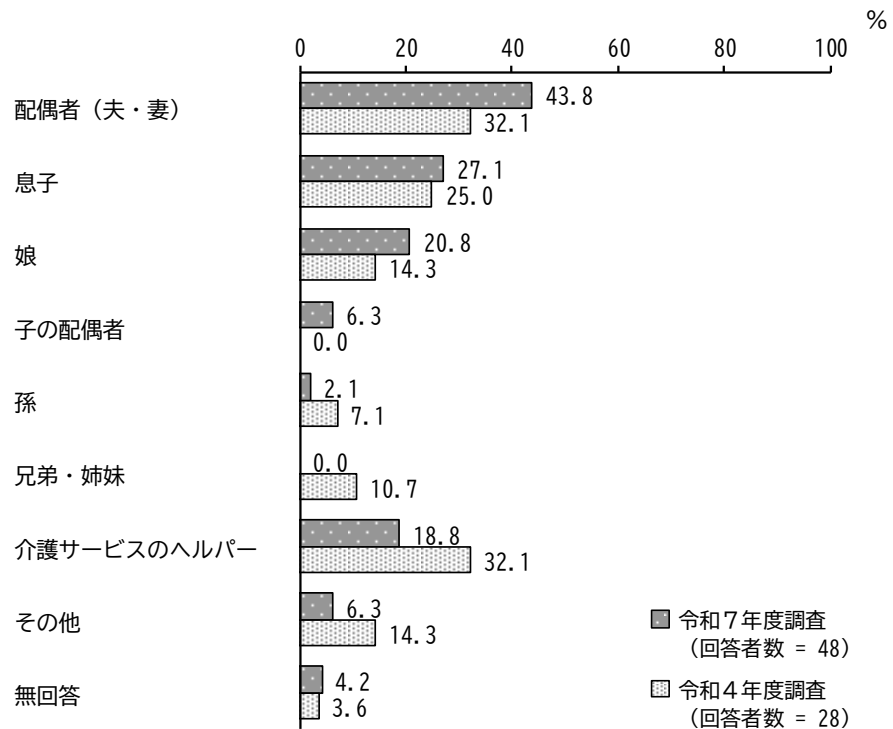


【問6において「現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

問8 主にどなたの介護、介助を受けていますか。(〇はいくつでも)

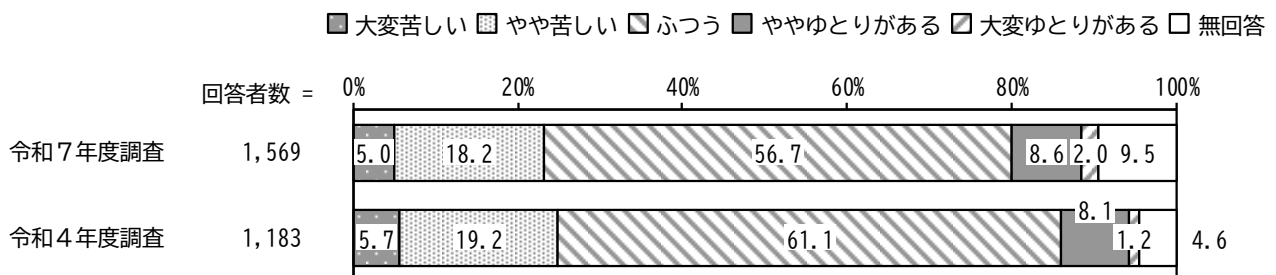
「配偶者（夫・妻）」の割合が43.8%と最も高く、次いで「息子」の割合が27.1%、「娘」の割合が20.8%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「配偶者（夫・妻）」「娘」「子の配偶者」の割合が特に増加しています。一方、「孫」「兄弟・姉妹」「介護サービスのヘルパー」の割合が特に減少しています。



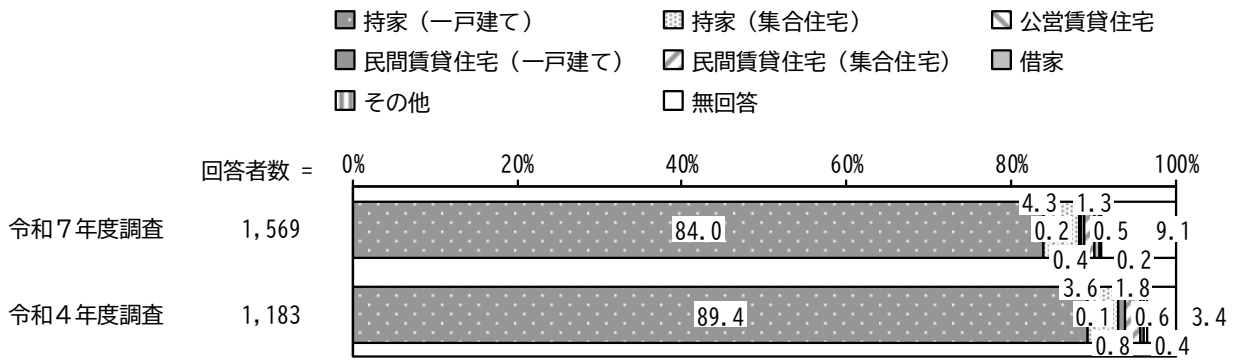
問9 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇は1つ)

「ふつう」の割合が56.7%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が18.2%となっています。令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 10 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(○は1つ)

「持家（一戸建て）」の割合が 84.0%と最も高くなっています。
 令和4年度調査と比較すると、「持家（一戸建て）」の割合が減少しています。

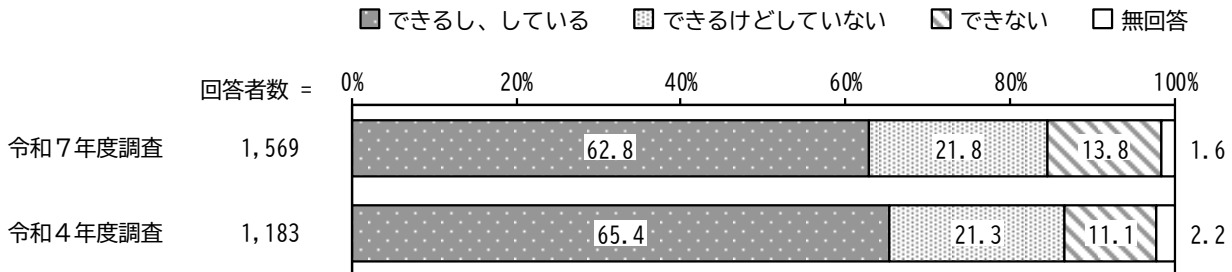


2 からだを動かすことについて

問1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)

「できるし、している」の割合が 62.8%、「できるけどしていない」の割合が 21.8%、「できない」の割合が 13.8%となっています。

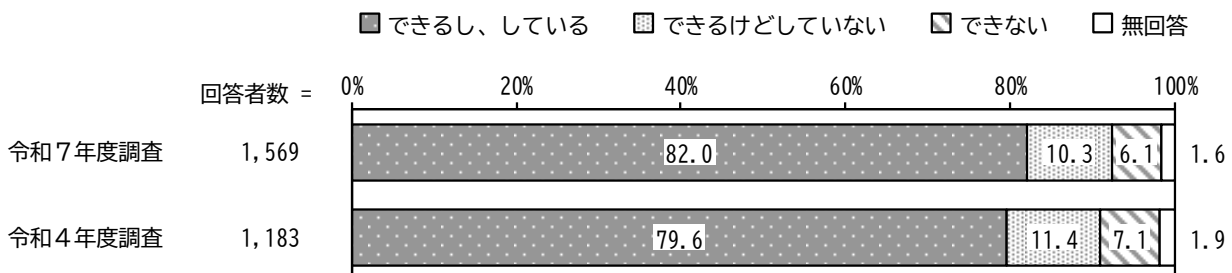
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

「できるし、している」の割合が 82.0%、「できるけどしていない」の割合が 10.3%、「できない」の割合が 6.1%となっています。

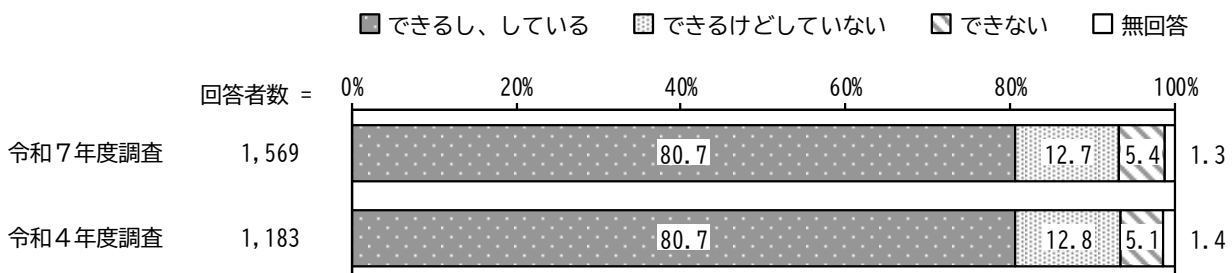
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問3 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)

「できるし、している」の割合が 80.7%、「できるけどしていない」の割合が 12.7%、「できない」の割合が 5.4%となっています。

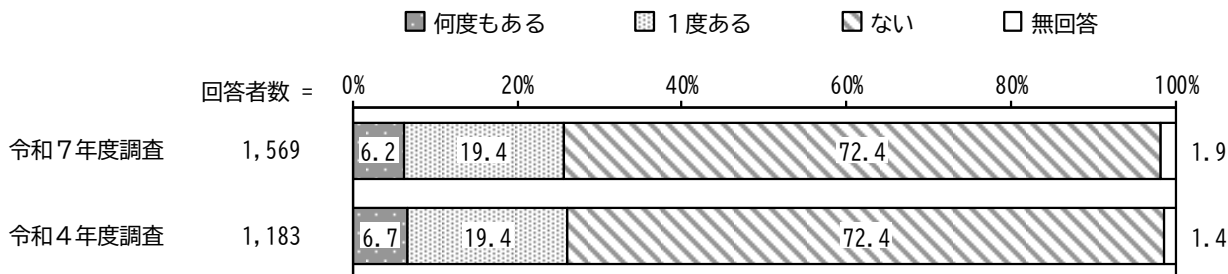
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問4 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

「ない」の割合が72.4%と最も高く、次いで「1度ある」の割合が19.4%、「何度もある」の割合が6.2%となっています。

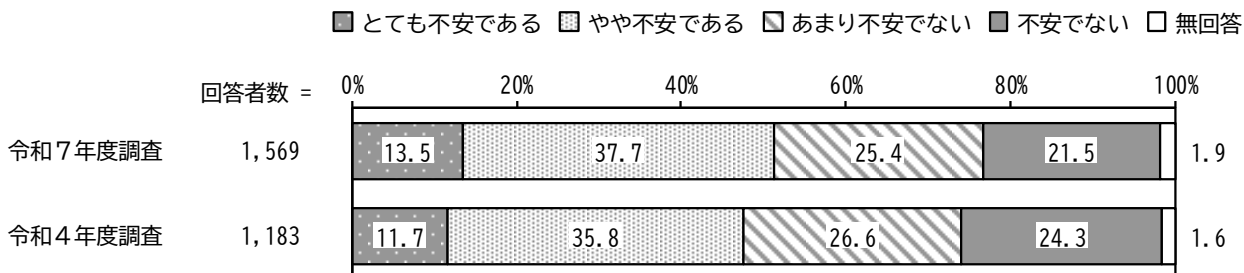
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問5 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

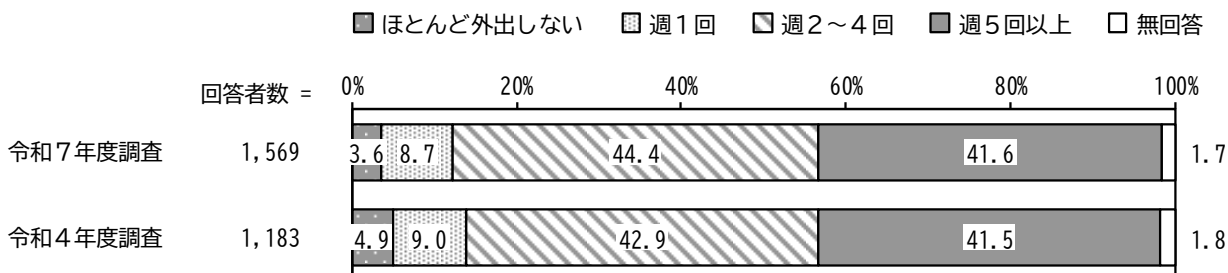
「やや不安である」の割合が37.7%と最も高く、次いで「あまり不安でない」の割合が25.4%、「不安でない」の割合が21.5%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問6 週にどの程度、外出していますか。(○は1つ)

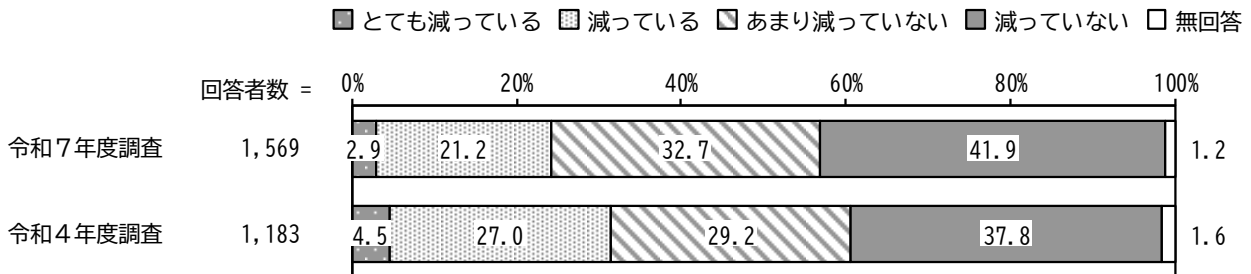
「週2～4回」の割合が44.4%と最も高く、次いで「週5回以上」の割合が41.6%となっています。令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

「減っていない」の割合が41.9%と最も高く、次いで「あまり減っていない」の割合が32.7%、「減っている」の割合が21.2%となっています。

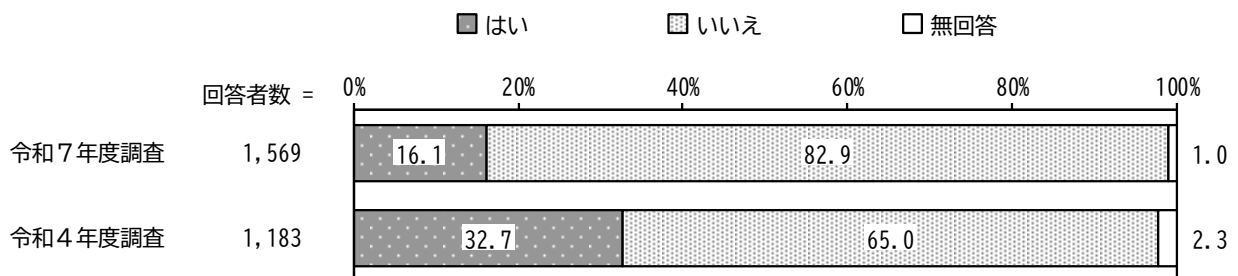
令和4年度調査と比較すると、「減っている」の割合が減少しています。



問8 外出を控えていますか。(○は1つ)

「はい」の割合が16.1%、「いいえ」の割合が82.9%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。

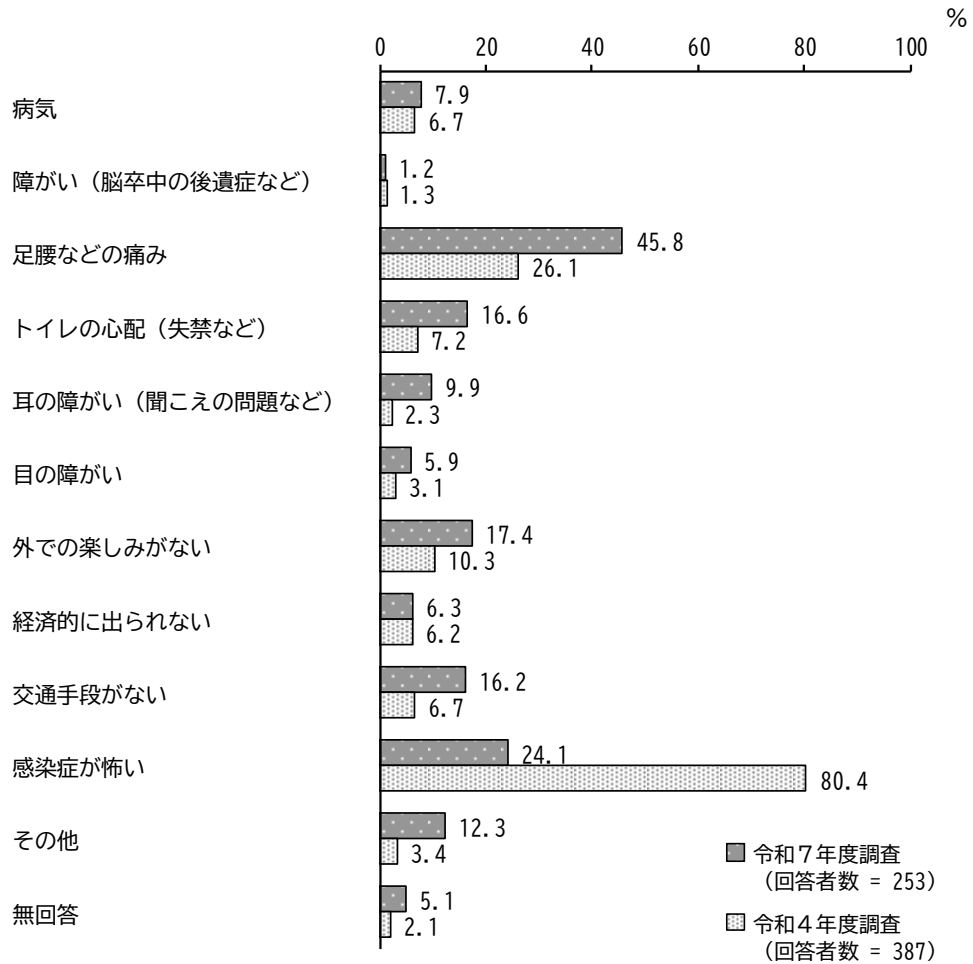


【問8で「はい」(外出を控えている)の方のみ】

問9 外出を控えている理由は、次のどれですか。(〇はいくつでも)

「足腰などの痛み」の割合が45.8%と最も高く、次いで「感染症が怖い」の割合が24.1%、「外での楽しみがない」の割合が17.4%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「足腰などの痛み」「トイレの心配(失禁など)」「耳の障がい(聞こえの問題など)」「外での楽しみがない」「交通手段がない」などの割合が特に増加しています。一方、「感染症が怖い」の割合が特に減少しています。

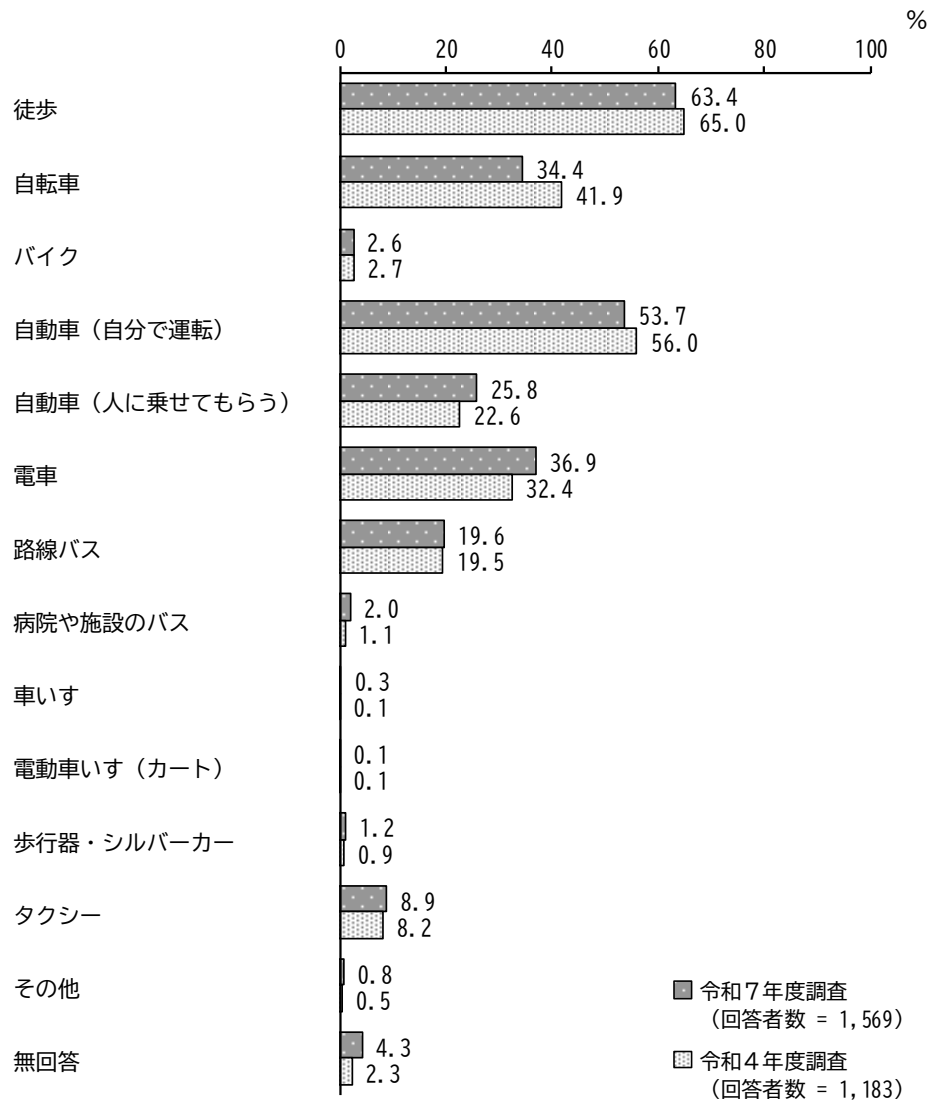


※令和4年度調査では、「感染症が怖い」を「新型コロナウイルスなどの感染が怖い」としていました。

問 10 外出する際の移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

「徒歩」の割合が 63.4%と最も高く、次いで「自動車（自分で運転）」の割合が 53.7%、「電車」の割合が 36.9%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「自転車」の割合が特に減少しています。



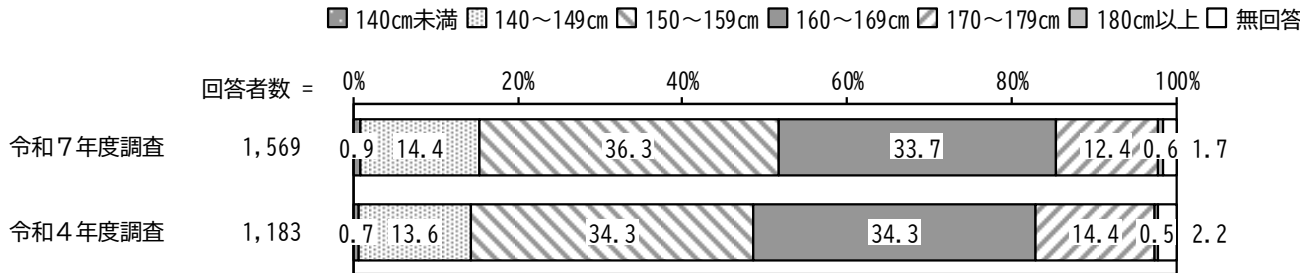
3 食べることについて

問1 あなたの身長・体重はいくつですか。(数字を記入。小数点以下は四捨五入)

身長 (cm)

「150～159 cm」の割合が36.3%と最も高く、次いで「160～169 cm」の割合が33.7%、「140～149 cm」の割合が14.4%となっています。

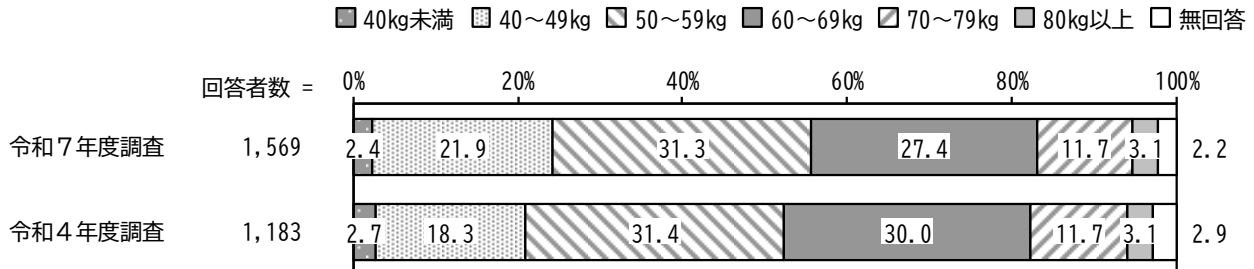
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



体重 (kg)

「50～59 kg」の割合が31.3%と最も高く、次いで「60～69 kg」の割合が27.4%、「40～49 kg」の割合が21.9%となっています。

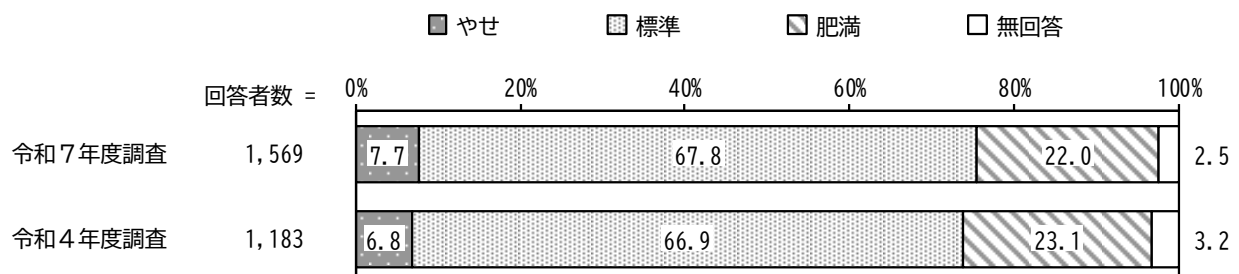
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



BMI (身長と体重から算出しました)

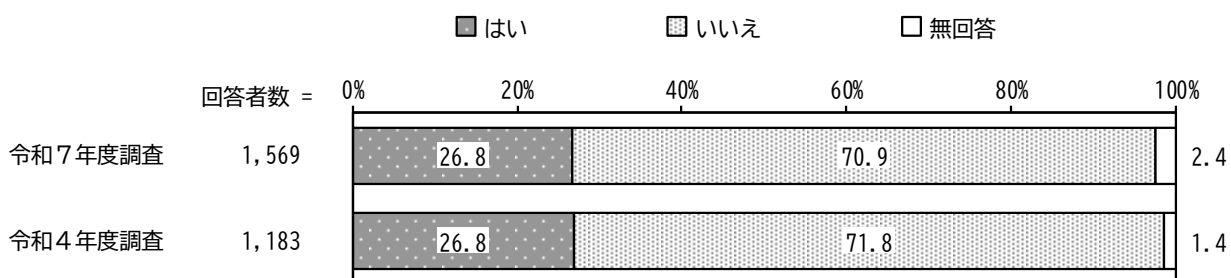
「やせ」の割合が7.7%、「標準」の割合が67.8%、「肥満」の割合が22.0%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



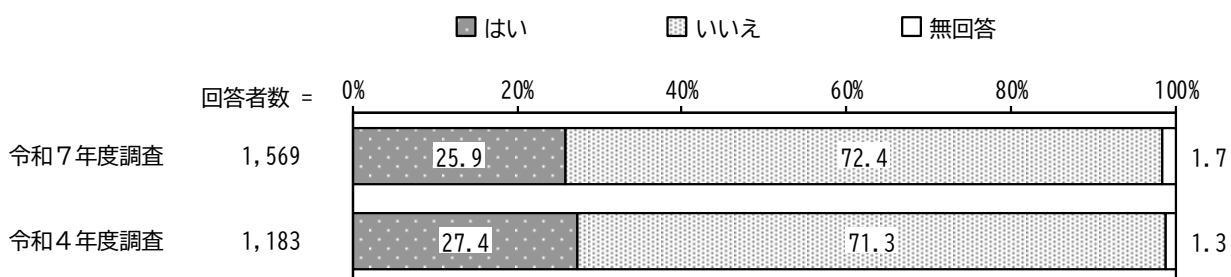
問2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

「はい」の割合が26.8%、「いいえ」の割合が70.9%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



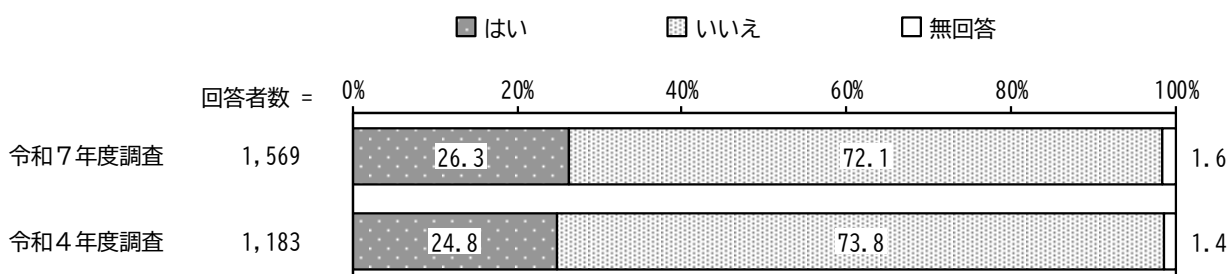
問3 お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)

「はい」の割合が25.9%、「いいえ」の割合が72.4%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



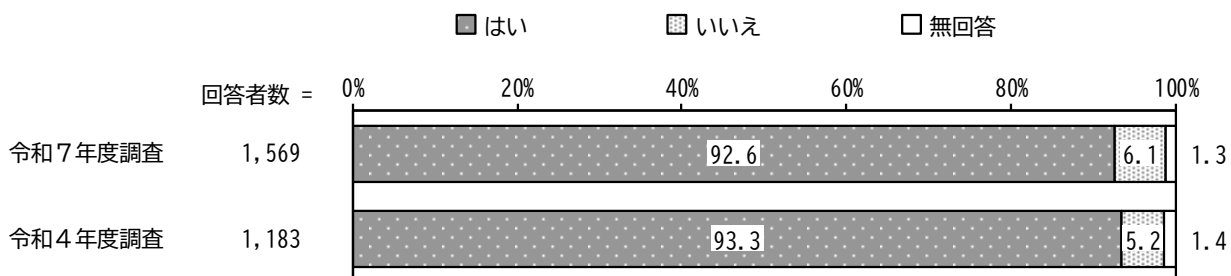
問4 口の渇きが気になりますか。(○は1つ)

「はい」の割合が26.3%、「いいえ」の割合が72.1%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問5 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（○は1つ）

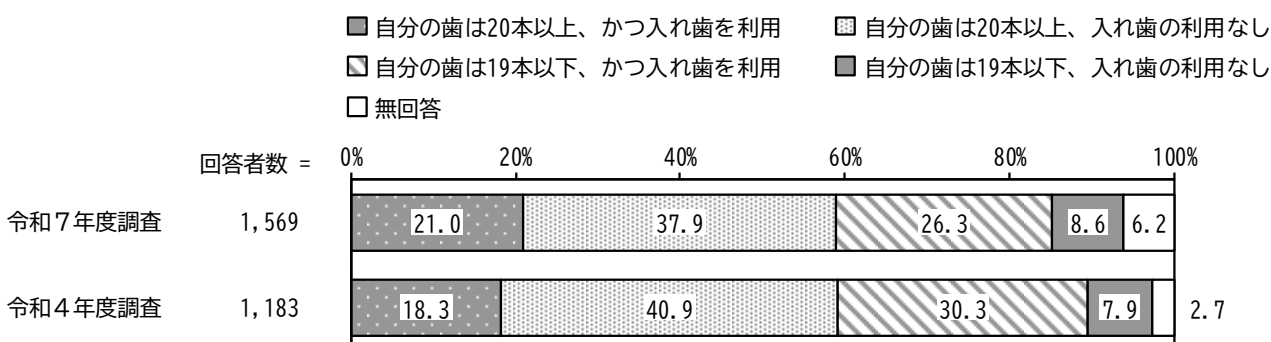
「はい」の割合が92.6%、「いいえ」の割合が6.1%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問6 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください
（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）。（○は1つ）

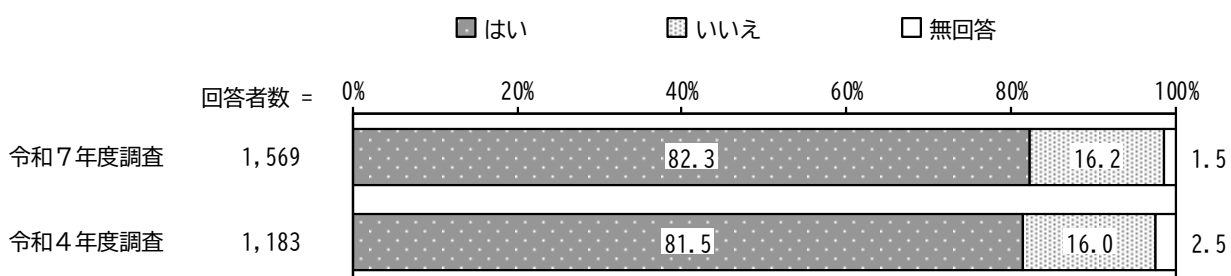
「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が37.9%と最も高く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が26.3%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が21.0%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問7 噛み合わせは良いですか。（○は1つ）

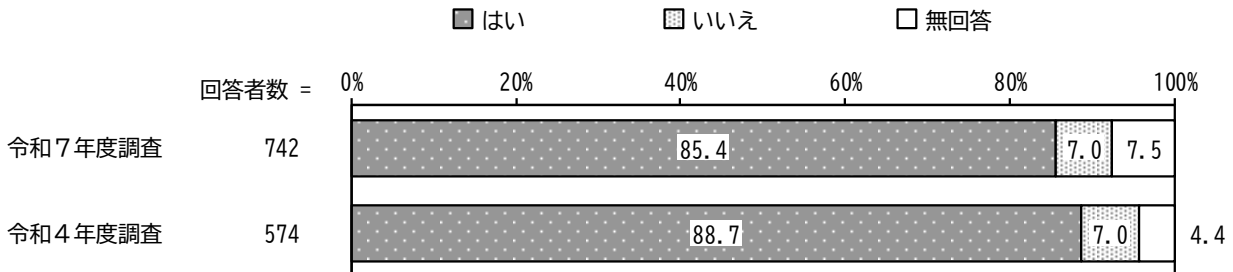
「はい」の割合が82.3%、「いいえ」の割合が16.2%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【問6で「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

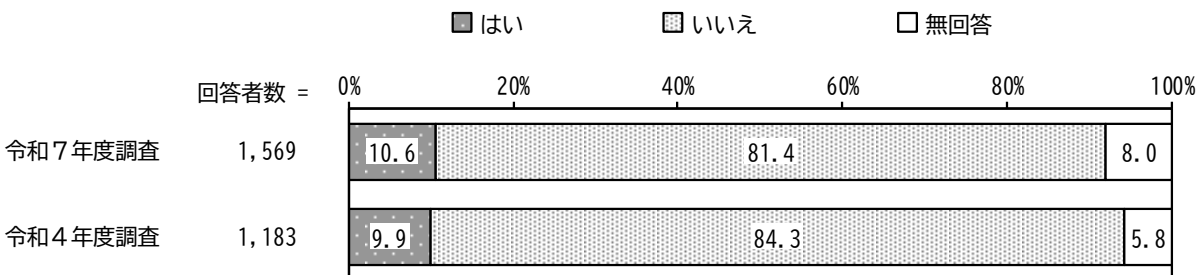
問8 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○は1つ)

「はい」の割合が85.4%、「いいえ」の割合が7.0%となっています。
 令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



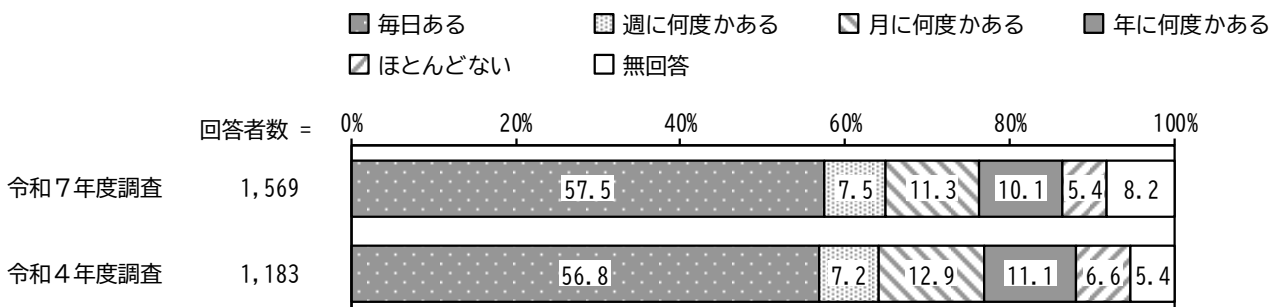
問9 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)

「はい」の割合が10.6%、「いいえ」の割合が81.4%となっています。
 令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問10 どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(○は1つ)

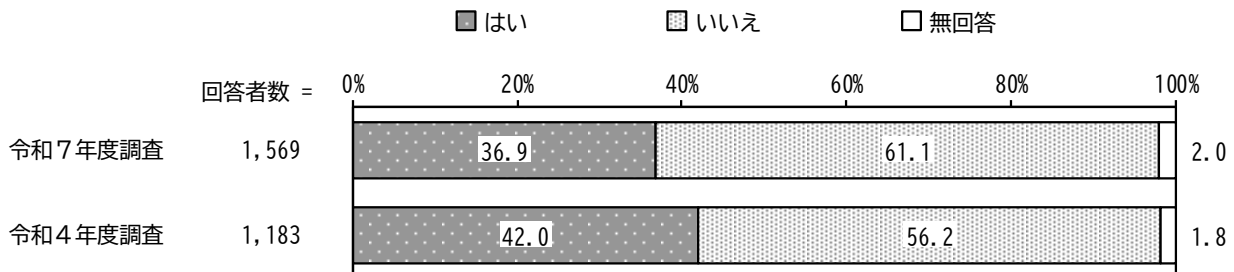
「毎日ある」の割合が57.5%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が11.3%、「年に何度かある」の割合が10.1%となっています。
 令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



4 毎日の生活について

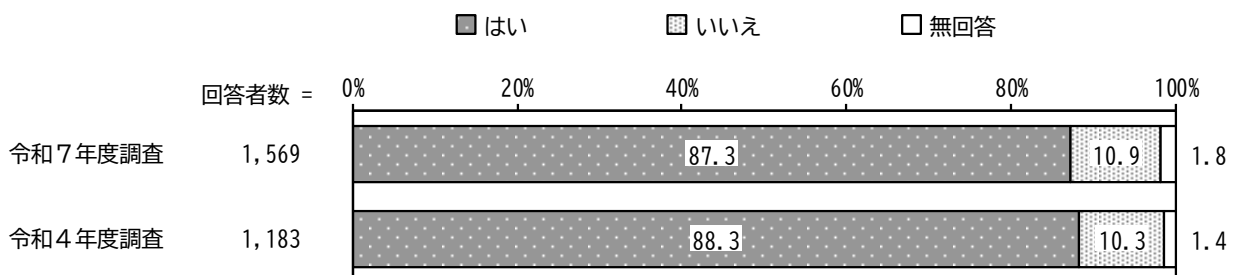
問1 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

「はい」の割合が36.9%、「いいえ」の割合が61.1%となっています。
 令和4年度調査と比較すると、「はい」の割合が減少しています。



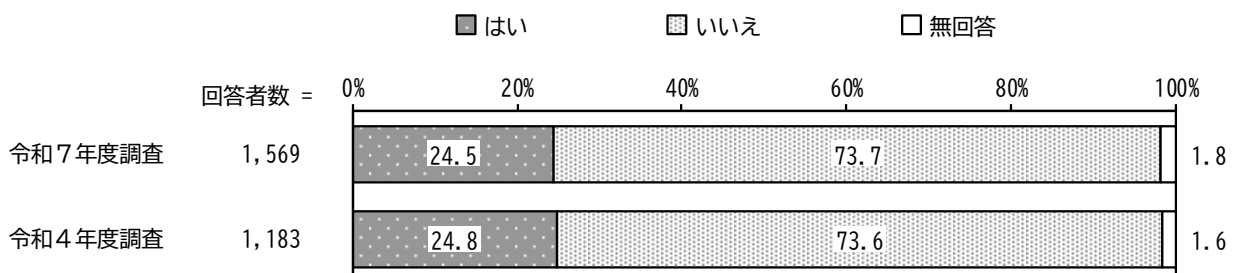
問2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(○は1つ)

「はい」の割合が87.3%、「いいえ」の割合が10.9%となっています。
 令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問3 今日が何月何日かわからない時がありますか。(○は1つ)

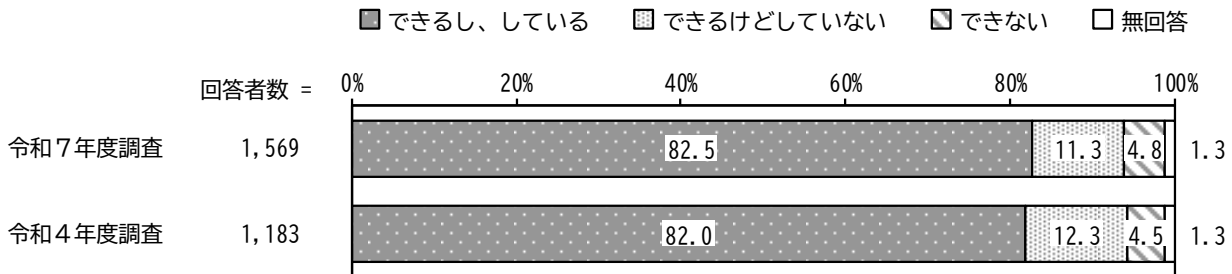
「はい」の割合が24.5%、「いいえ」の割合が73.7%となっています。
 令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問4 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。（○は1つ）

「できるし、している」の割合が 82.5%、「できるけどしていない」の割合が 11.3%、「できない」の割合が 4.8%となっています。

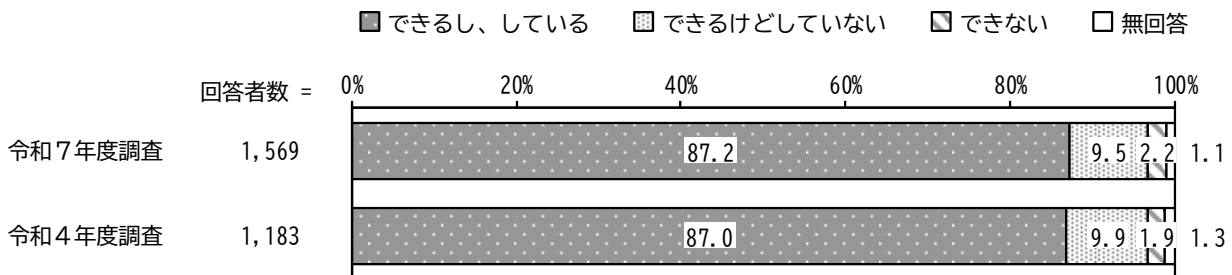
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問5 自分で食品・日用品の買物をしていますか。（○は1つ）

「できるし、している」の割合が 87.2%、「できるけどしていない」の割合が 9.5%、「できない」の割合が 2.2%となっています。

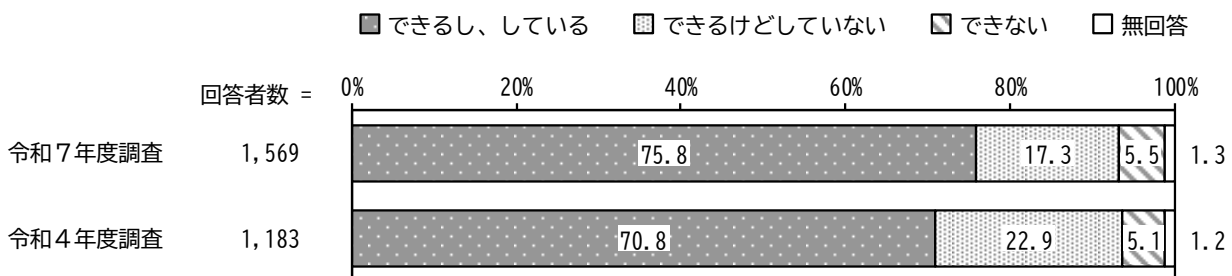
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問6 自分で食事の用意をしていますか。（○は1つ）

「できるし、している」の割合が 75.8%、「できるけどしていない」の割合が 17.3%、「できない」の割合が 5.5%となっています。

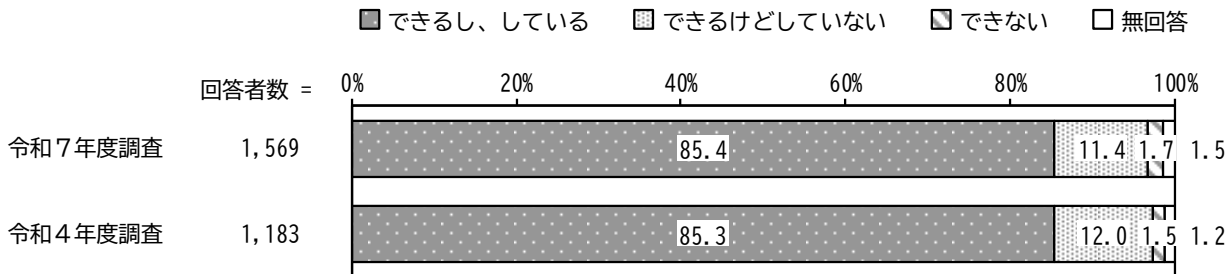
令和4年度調査と比較すると、「できるけどしていない」の割合が減少しています。



問7 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)

「できるし、している」の割合が 85.4%、「できるけどしていない」の割合が 11.4%、「できない」の割合が 1.7%となっています。

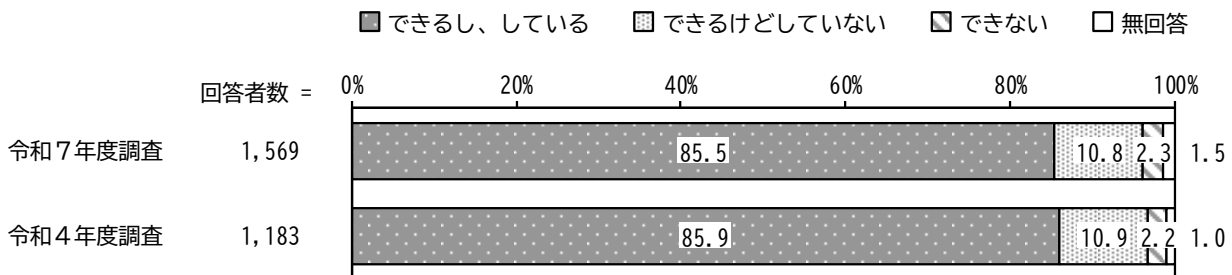
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問8 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)

「できるし、している」の割合が 85.5%、「できるけどしていない」の割合が 10.8%、「できない」の割合が 2.3%となっています。

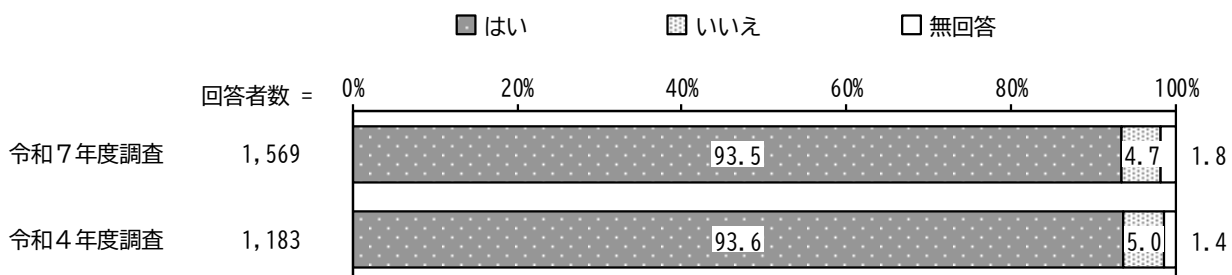
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問9 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。(○は1つ)

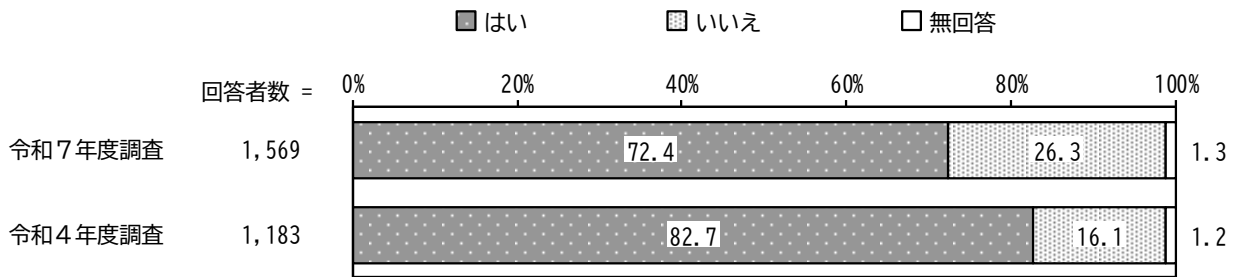
「はい」の割合が 93.5%、「いいえ」の割合が 4.7%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



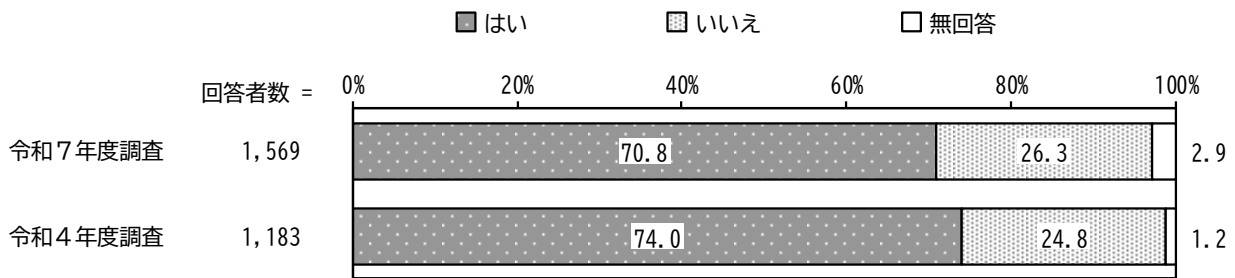
問 10 新聞を読んでいますか。(○は1つ)

「はい」の割合が72.4%、「いいえ」の割合が26.3%となっています。
 令和4年度調査と比較すると、「はい」の割合が減少しています。



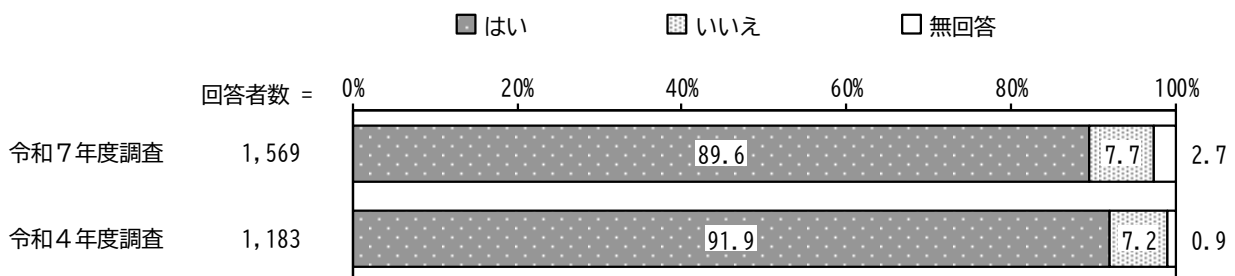
問 11 本や雑誌を読んでいますか。(○は1つ)

「はい」の割合が70.8%、「いいえ」の割合が26.3%となっています。
 令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



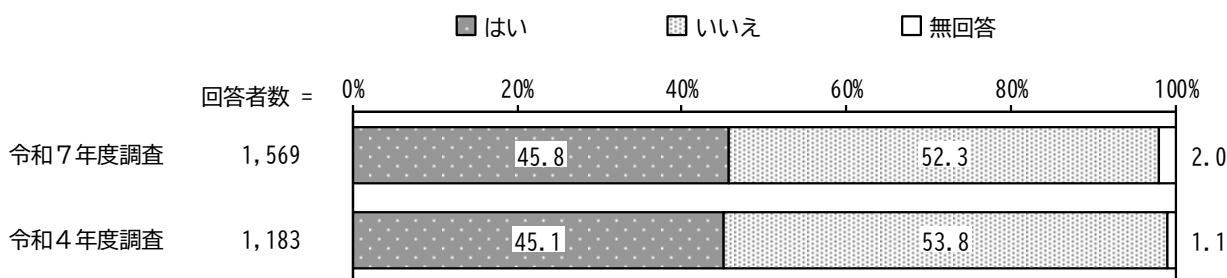
問 12 健康についての記事や番組に関心がありますか。(○は1つ)

「はい」の割合が89.6%、「いいえ」の割合が7.7%となっています。
 令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



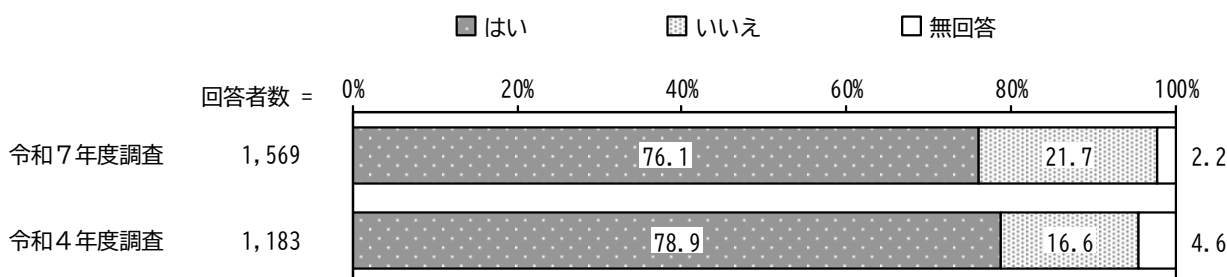
問13 友人の家を訪ねていますか。(○は1つ)

「はい」の割合が45.8%、「いいえ」の割合が52.3%となっています。
 令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



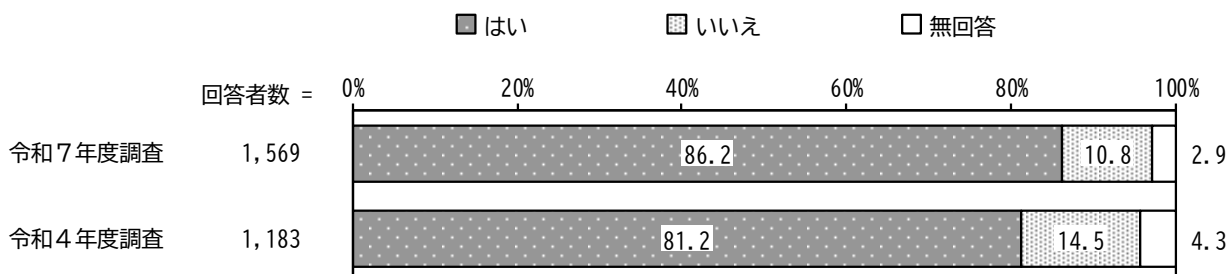
問14 家族や友人の相談にのっていますか。(○は1つ)

「はい」の割合が76.1%、「いいえ」の割合が21.7%となっています。
 令和4年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



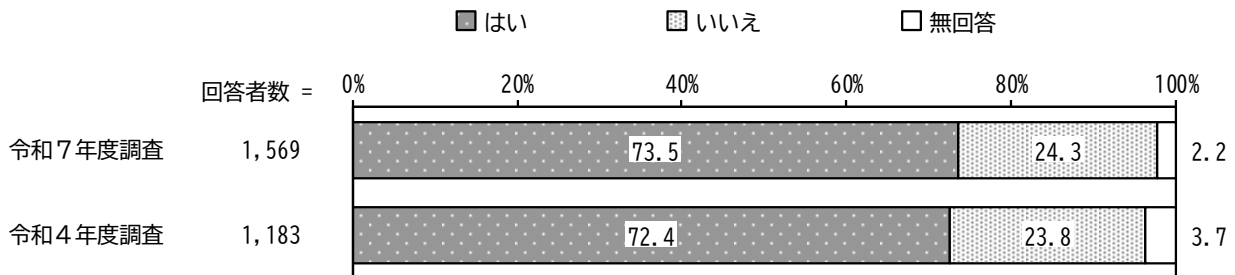
問15 病人を見舞うことができますか。(○は1つ)

「はい」の割合が86.2%、「いいえ」の割合が10.8%となっています。
 令和4年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



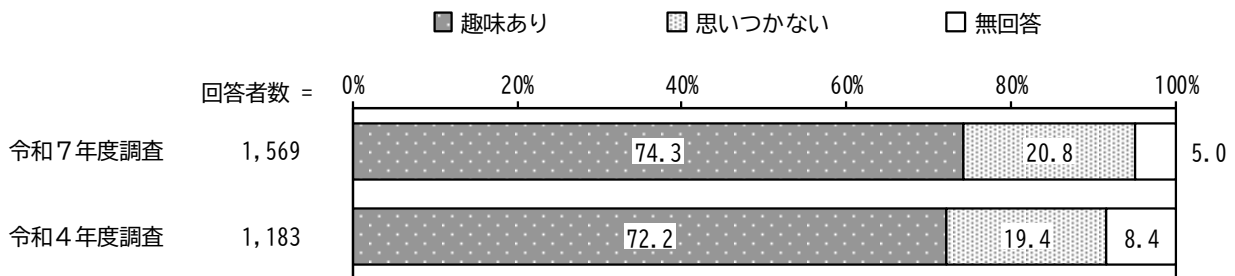
問 16 若い人に自分から話しかけることがありますか。(○は1つ)

「はい」の割合が73.5%、「いいえ」の割合が24.3%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



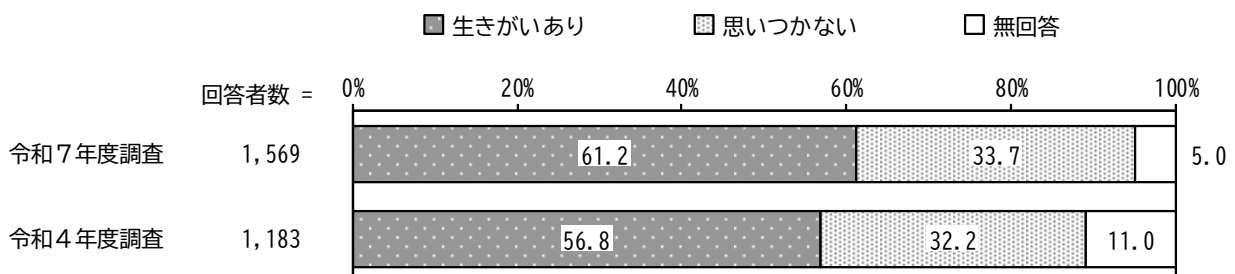
問 17 趣味はありますか。(○は1つ)

「趣味あり」の割合が74.3%、「思いつかない」の割合が20.8%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 18 生きがいがありますか。(○は1つ)

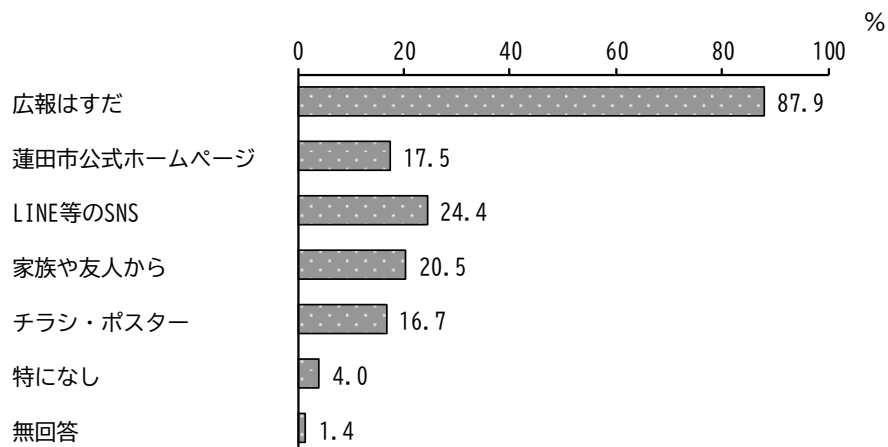
「生きがいあり」の割合が61.2%、「思いつかない」の割合が33.7%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 19 市の情報を何から得ていますか。(〇はいくつでも)

「広報はすだ」の割合が 87.9%と最も高く、次いで「LINE 等の SNS」の割合が 24.4%、「家族や友人から」の割合が 20.5%となっています。

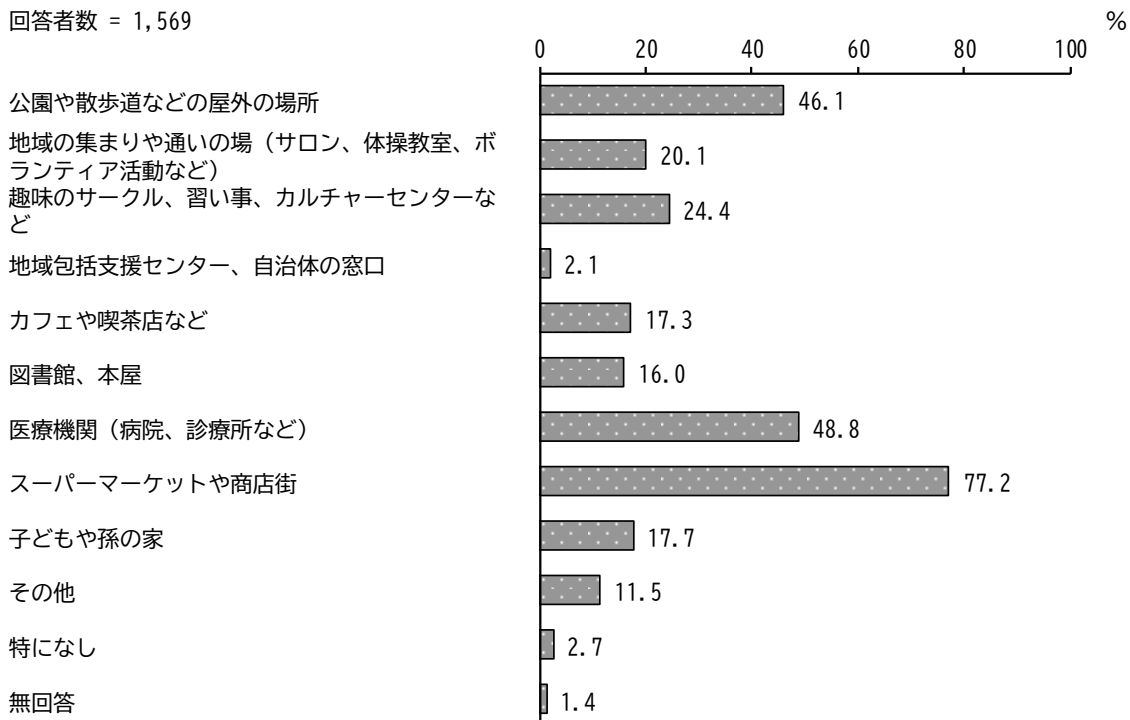
回答者数 = 1,569



問 20 ふだんの生活の中で、自宅以外でよく行く場所はどこですか。(〇はいくつでも)

「スーパーマーケットや商店街」の割合が 77.2%と最も高く、次いで「医療機関（病院、診療所など）」の割合が 48.8%、「公園や散歩道などの屋外の場所」の割合が 46.1%となっています。

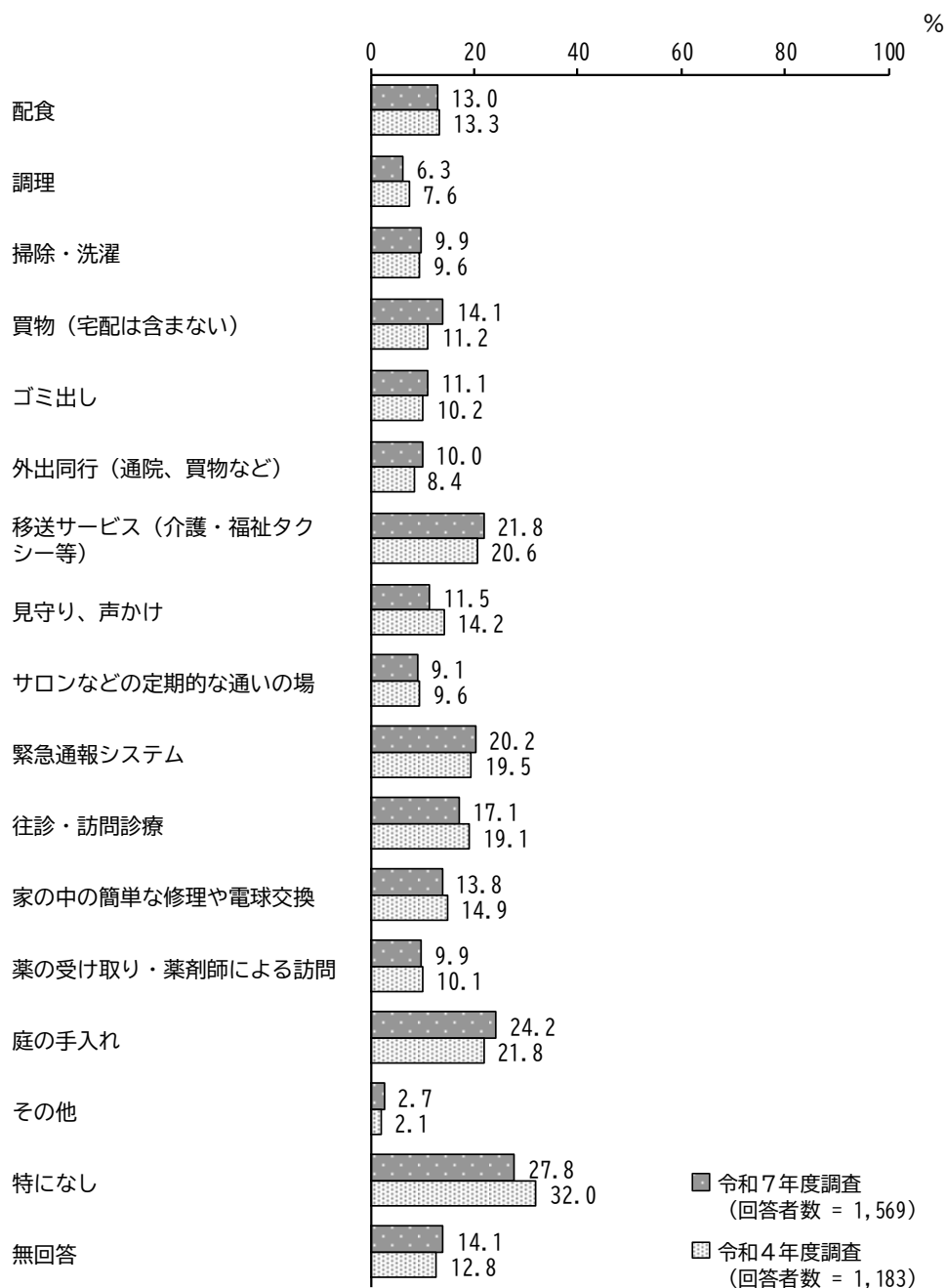
回答者数 = 1,569



問 21 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（〇はいくつでも）

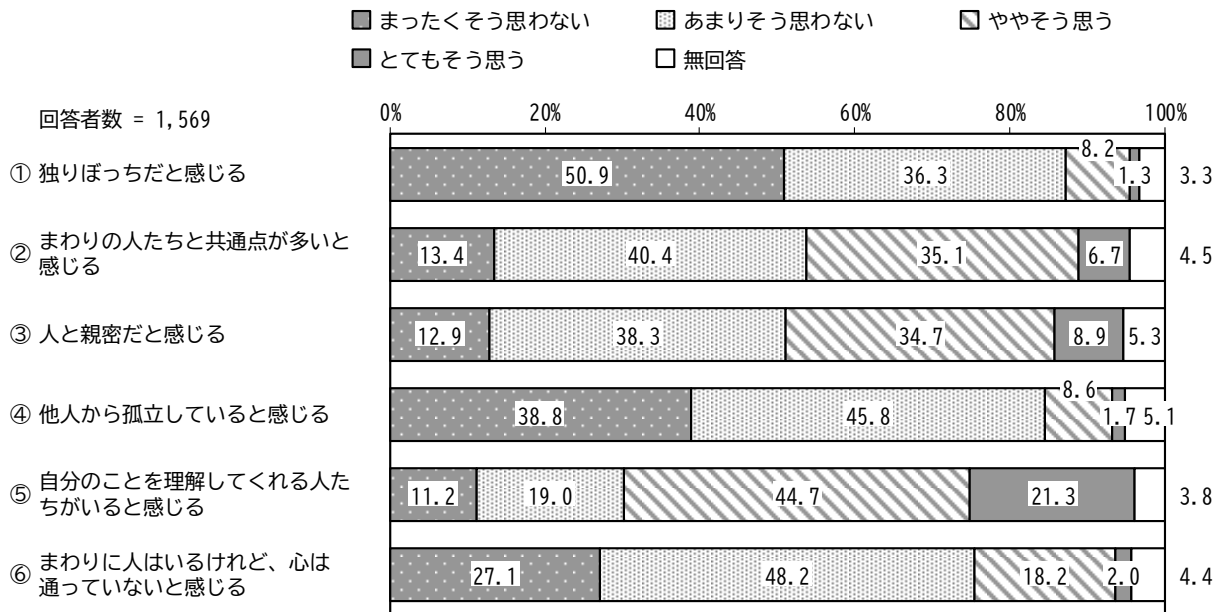
「特になし」の割合が 27.8%と最も高く、次いで「庭の手入れ」の割合が 24.2%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が 21.8%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 22 あなたは、以下の項目についてどう思いますか。①～⑥それぞれに回答してください。(それぞれ〇は1つ)

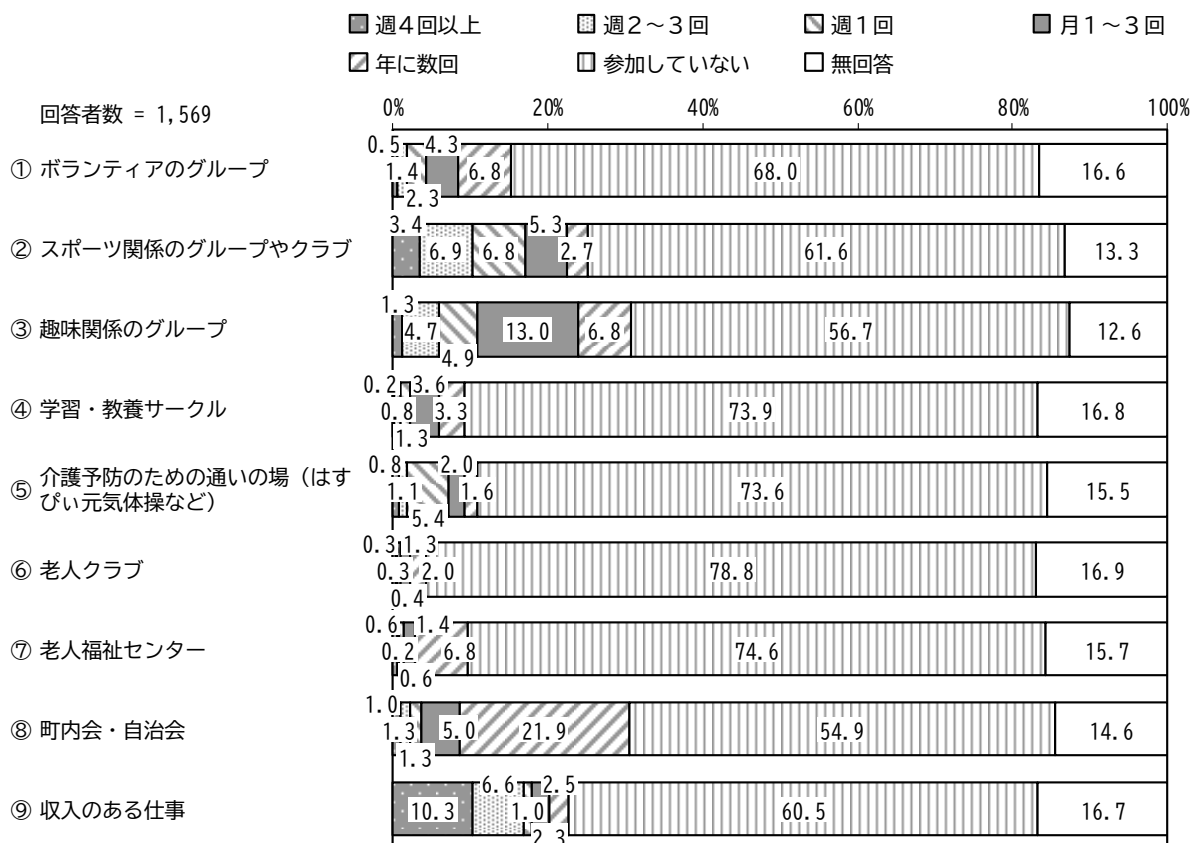
『① 独りぼっちだと感じる』で「まったくそう思わない」が50.9%、『⑥ まわりに人はいるけれど、心は通っていないと感じる』で「あまりそう思わない」が48.2%、『⑤ 自分のことを理解してくれる人たちがいると感じる』で「ややそう思う」が44.7%と高くなっています。



5 地域での活動について

問1 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。①～⑨それぞれに回答してください。(それぞれ〇は1つ)

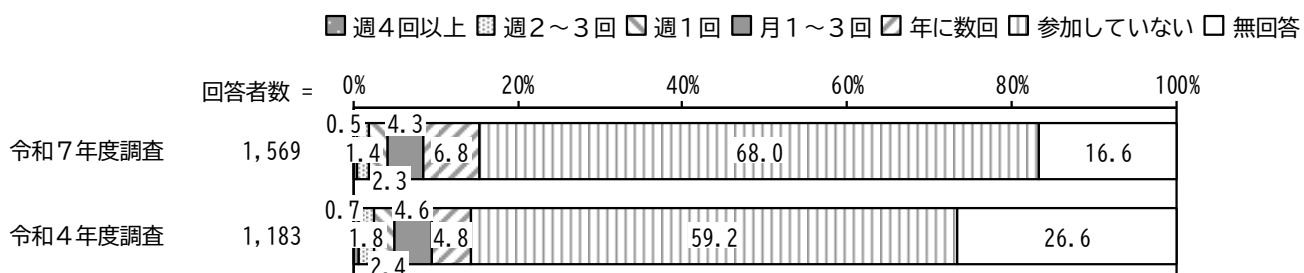
①～⑨すべてにおいて「参加していない」が高いですが、参加頻度でみていきますと、「週4回以上」では、『⑨ 収入のある仕事』が10.3%と高く、「週2～3回」「週1回」では、『② スポーツ関係のグループやクラブ』がそれぞれ6.9%、6.8%、「月1～3回」では、『③ 趣味関係のグループ』が13.0%、「年に数回」では、『⑧ 町内会・自治会』が21.9%と高くなっています。



① ボランティアのグループ

【経年比較】

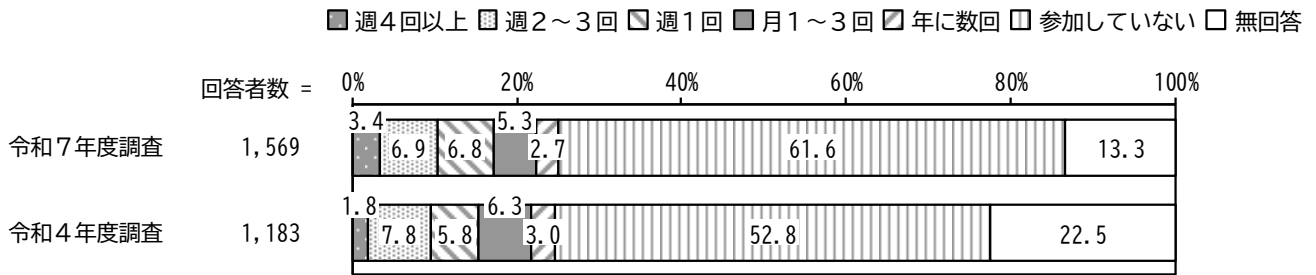
令和4年度調査と比較すると、「参加していない」の割合が増加しています。



② スポーツ関係のグループやクラブ

【経年比較】

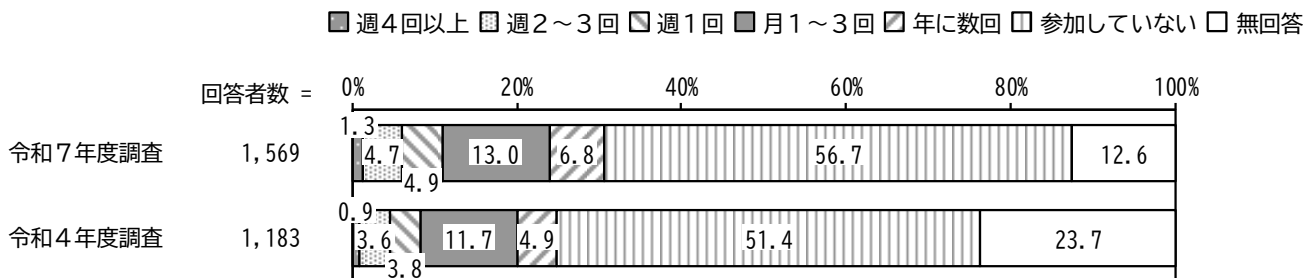
令和4年度調査と比較すると、「参加していない」の割合が増加しています。



③ 趣味関係のグループ

【経年比較】

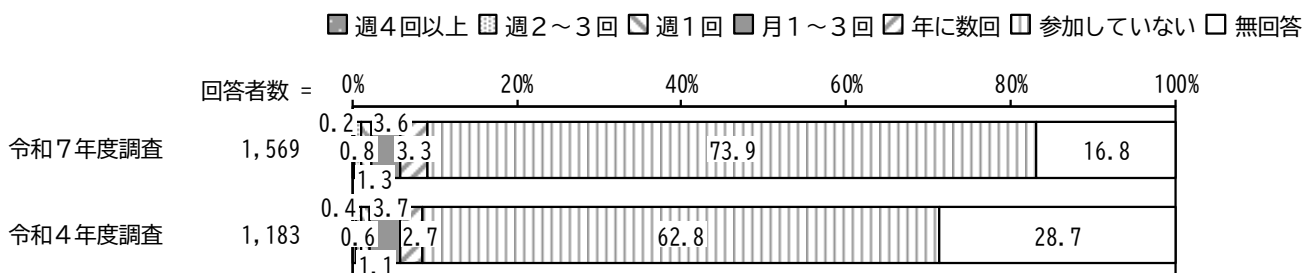
令和4年度調査と比較すると、「参加していない」の割合が増加しています。



④ 学習・教養サークル

【経年比較】

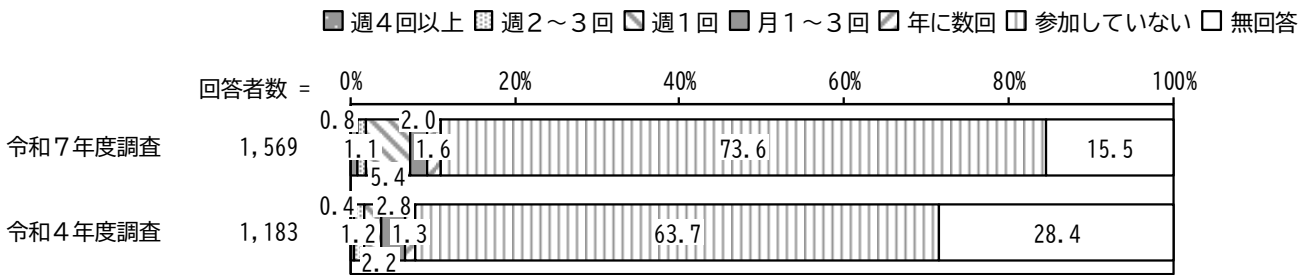
令和4年度調査と比較すると、「参加していない」の割合が増加しています。



⑤ 介護予防のための通いの場（はすびい元気体操など）

【経年比較】

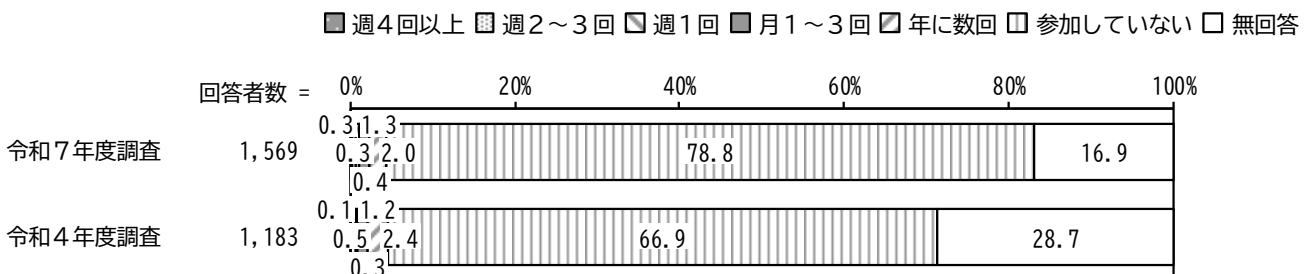
令和4年度調査と比較すると、「参加していない」の割合が増加しています。



⑥ 老人クラブ

【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、「参加していない」の割合が増加しています。



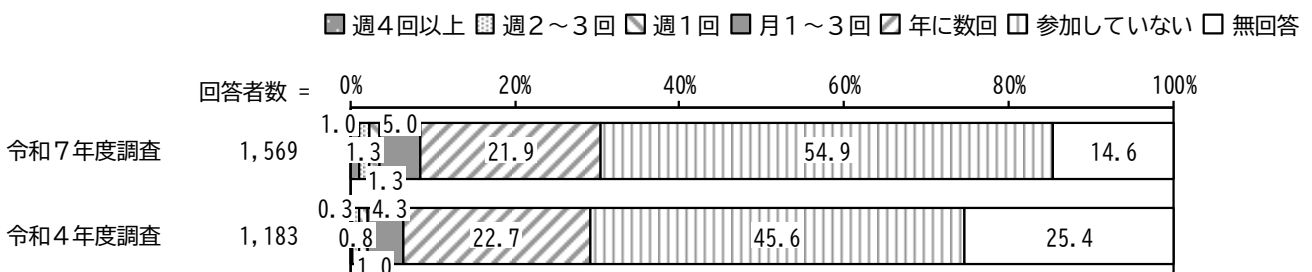
⑦ 老人福祉センター

令和4年度調査では、「老人福祉センター」は選択肢にありませんでした。

⑧ 町内会・自治会

【経年比較】

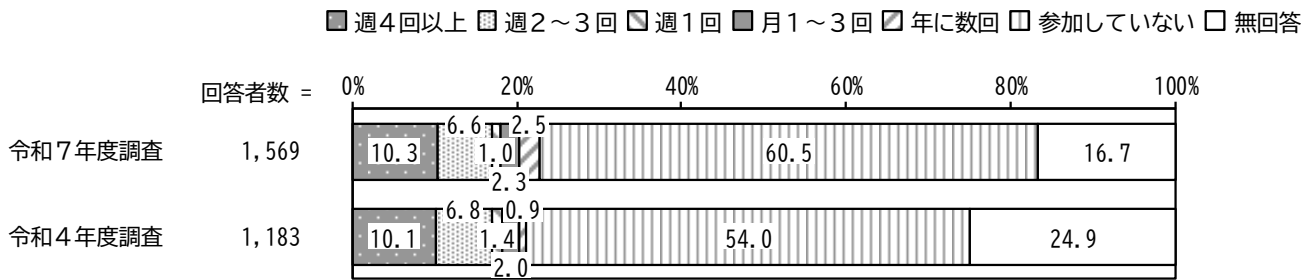
令和4年度調査と比較すると、「参加していない」の割合が増加しています。



⑨ 収入のある仕事

【経年比較】

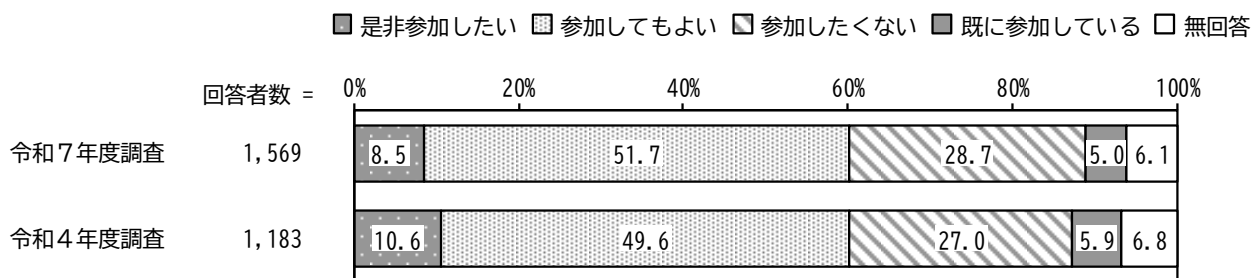
令和4年度調査と比較すると、「参加していない」の割合が増加しています。



問2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

「参加してもよい」の割合が51.7%と最も高く、次いで「参加したくない」の割合が28.7%となっています。

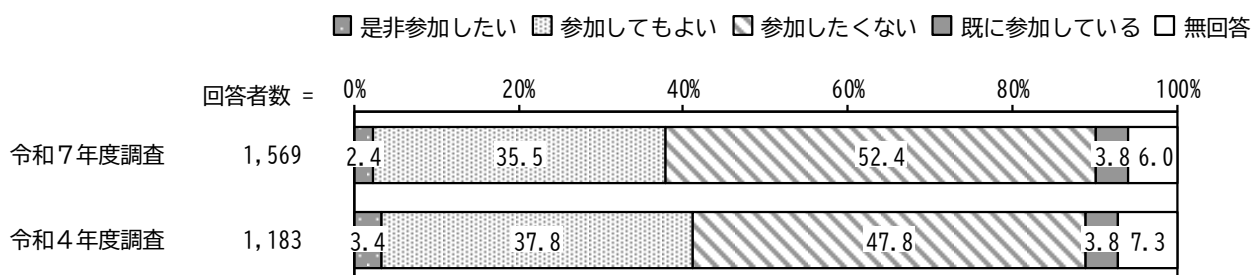
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

「参加したくない」の割合が52.4%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が35.5%となっています。

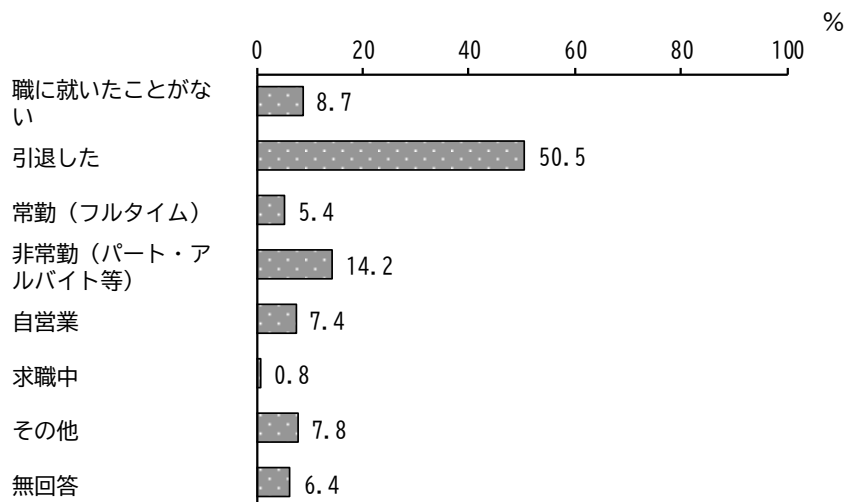
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問4 現在のあなたの就労状態はどれですか。(○はいくつでも)

「引退した」の割合が50.5%と最も高く、次いで「非常勤(パート・アルバイト等)」の割合が14.2%となっています。

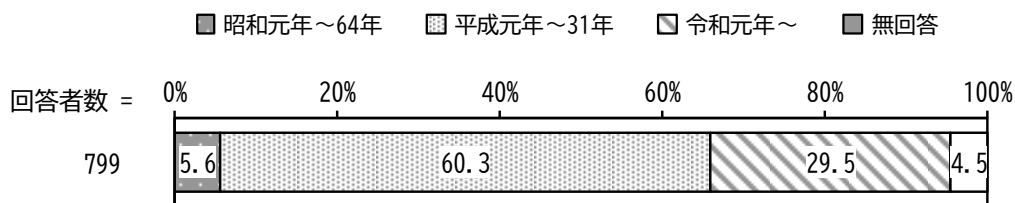
回答者数 = 1,569



【問4で「引退した」の方のみ】

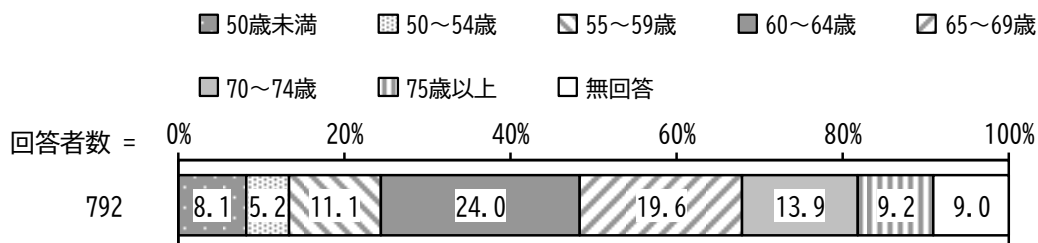
問5 あなたはいつ引退しましたか。(○は1つ・数字を記入)

「昭和」の割合が5.6%、「平成」の割合が60.3%、「令和」の割合が29.5%となっています。



引退した年齢

「60~64歳」の割合が24.0%と最も高く、次いで「50~54歳」の割合が19.6%、「70~74歳」の割合が13.9%となっています。

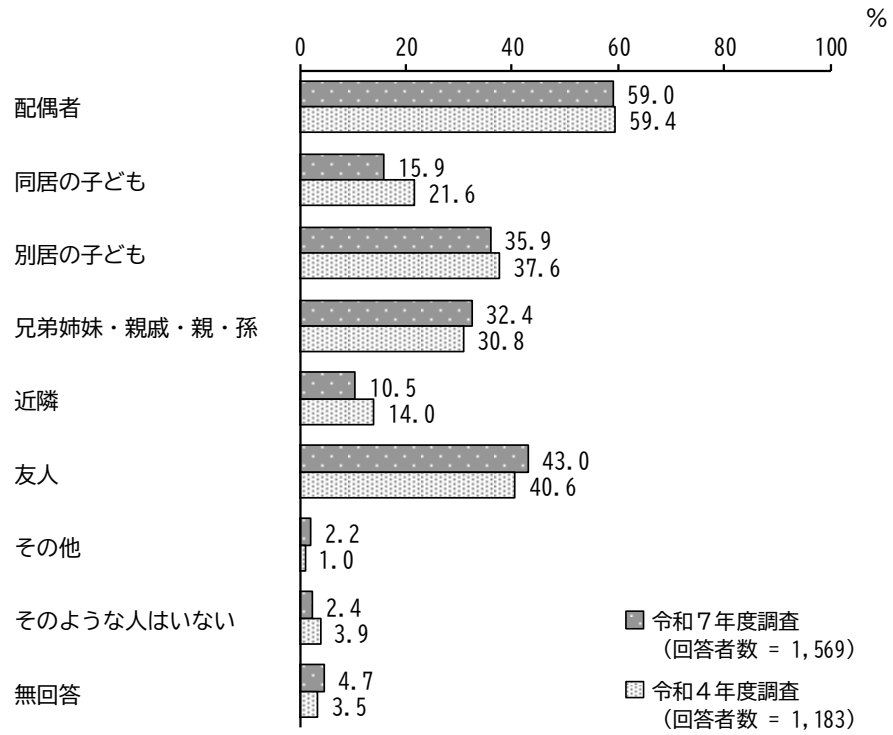


6 たすけあいについて

問1 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人。(〇はいくつでも)

「配偶者」の割合が59.0%と最も高く、次いで「友人」の割合が43.0%、「別居の子ども」の割合が35.9%となっています。

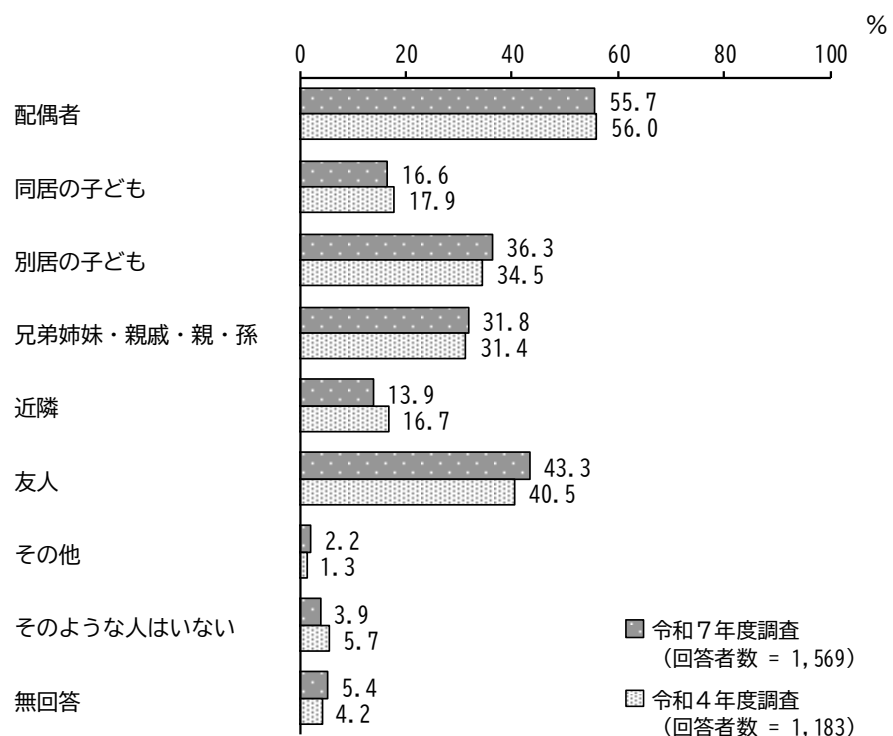
令和4年度調査と比較すると、「同居の子ども」の割合が減分に少しています。



問2 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人。(〇はいくつでも)

「配偶者」の割合が55.7%と最も高く、次いで「友人」の割合が43.3%、「別居の子ども」の割合が36.3%となっています。

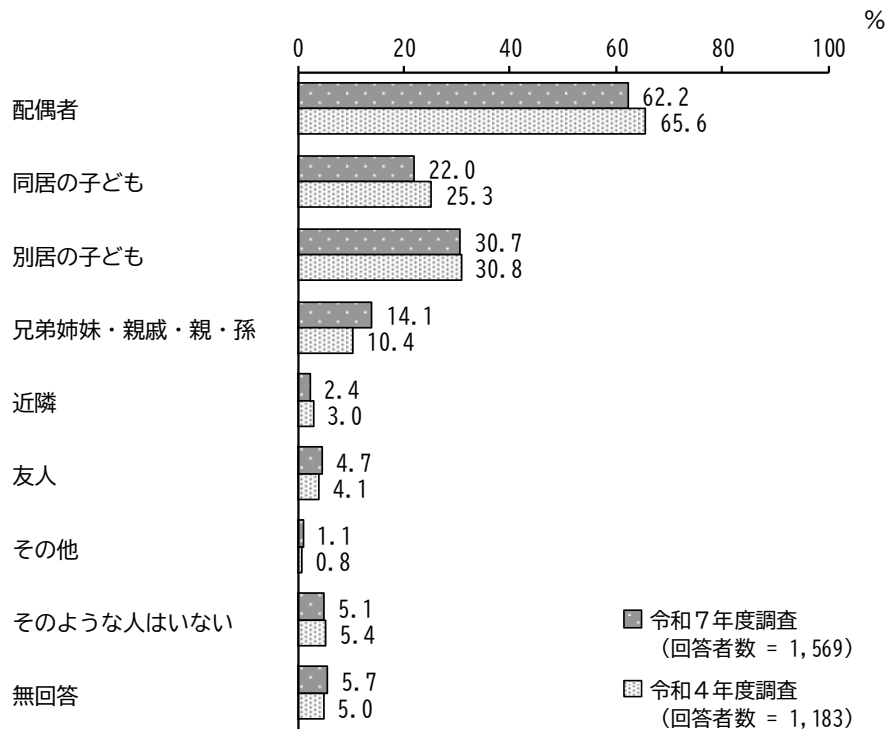
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問3 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。
(○はいくつでも)

「配偶者」の割合が62.2%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が30.7%、「同居の子ども」の割合が22.0%となっています。

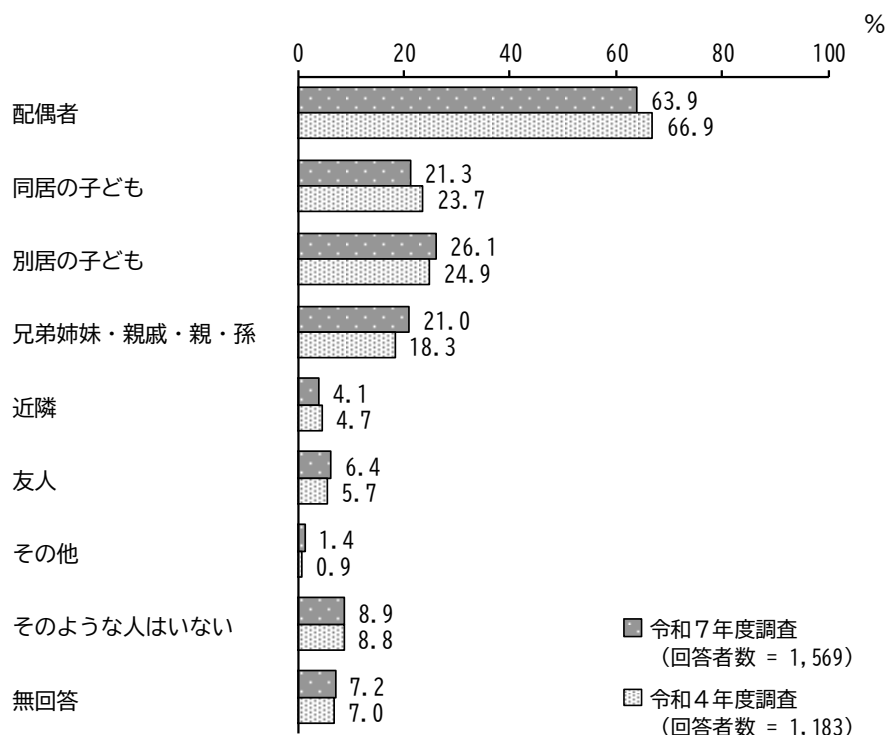
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問4 反対に、看病や世話をしてあげる人。(○はいくつでも)

「配偶者」の割合が63.9%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が26.1%、「同居の子ども」の割合が21.3%となっています。

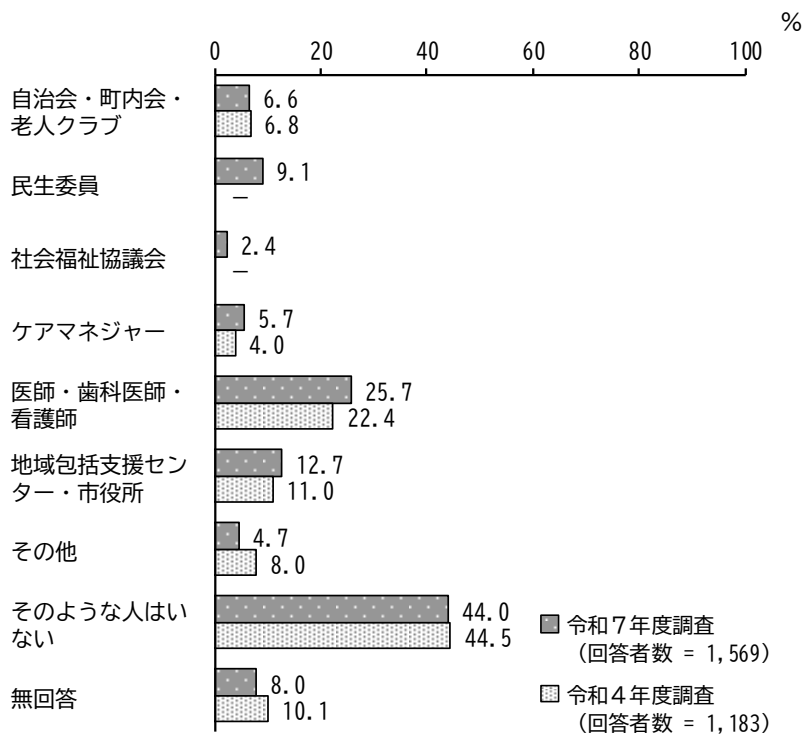
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問5 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
(○はいくつでも)

「そのような人はいない」の割合が44.0%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」の割合が25.7%、「地域包括支援センター・市役所」の割合が12.7%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

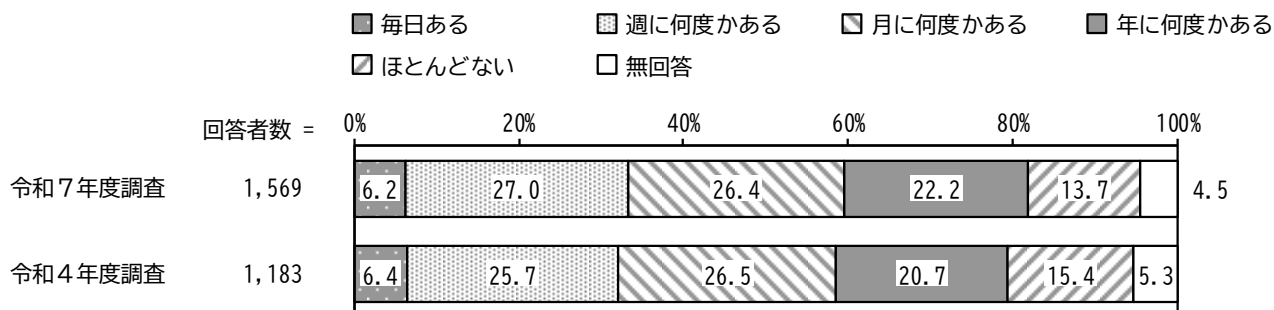


※令和4年度調査では、「民生委員」と「社会福祉協議会」を「社会福祉協議会・民生委員」としていました。

問6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

「週に何度かある」の割合が27.0%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が26.4%、「年に何度かある」の割合が22.2%となっています。

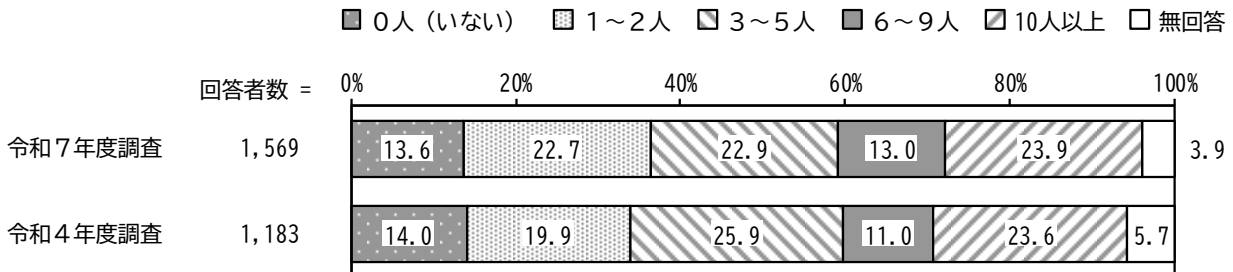
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問7 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(○は1つ)

「10人以上」の割合が23.9%と最も高く、次いで「3～5人」の割合が22.9%、「1～2人」の割合が22.7%となっています。

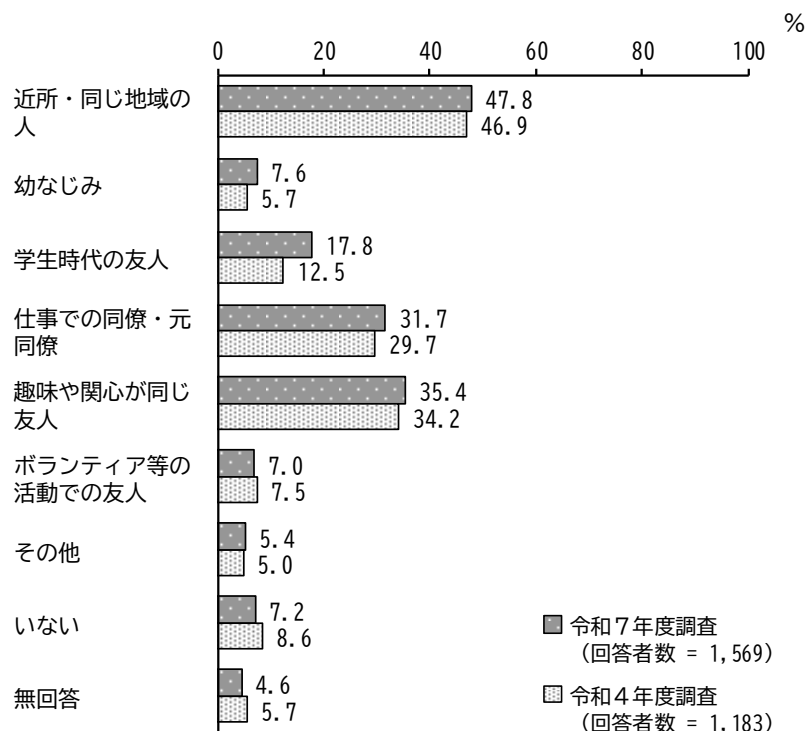
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問8 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(○はいくつでも)

「近所・同じ地域の人」の割合が47.8%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」の割合が35.4%、「仕事での同僚・元同僚」の割合が31.7%となっています。また、「いない」の割合が7.2%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「学生時代の友人」の割合が特に増加しています。

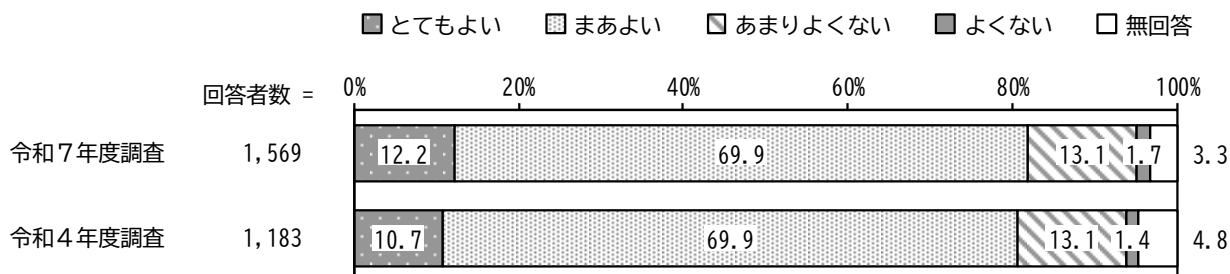


7 健康について

問1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

「まあよい」の割合が69.9%と最も高く、次いで「あまりよくない」の割合が13.1%、「とてもよい」の割合が12.2%となっています。

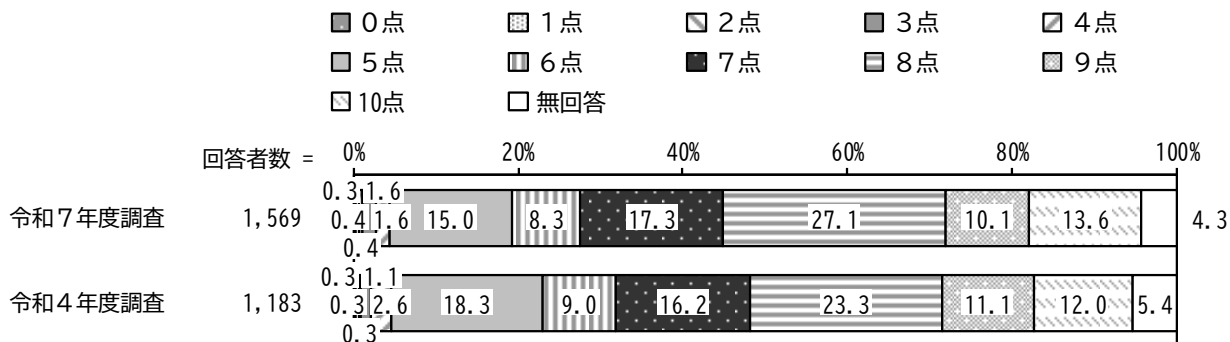
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問2 あなたは、現在どの程度幸せですか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点、として、ご記入ください。(○は1つ)

「8点」の割合が27.1%と最も高く、次いで「7点」の割合が17.3%、「5点」の割合が15.0%となっています。

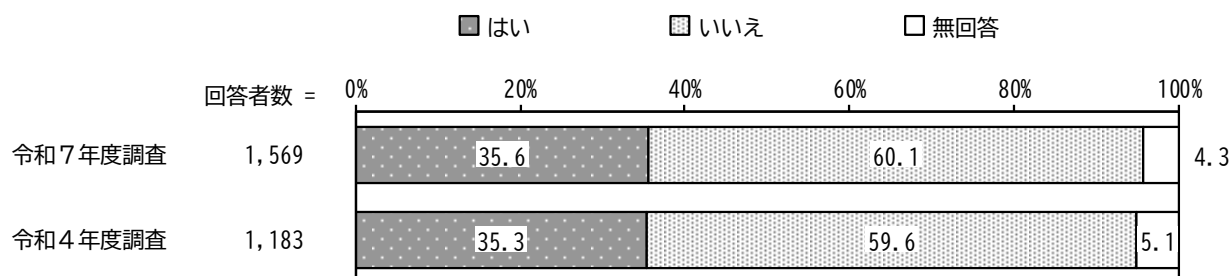
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つ)

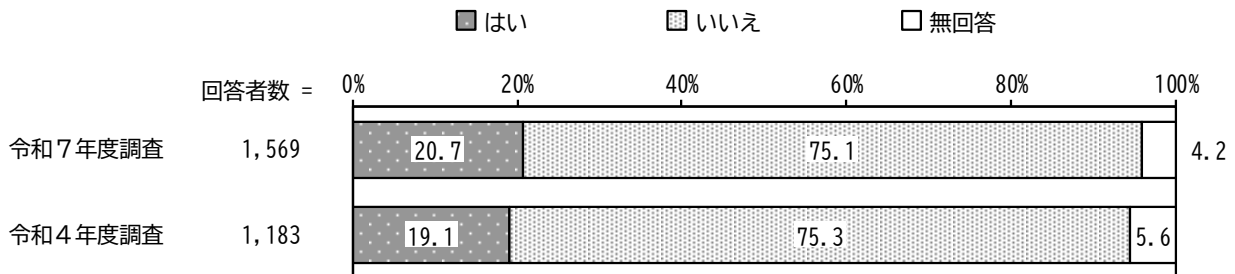
「はい」の割合が35.6%、「いいえ」の割合が60.1%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



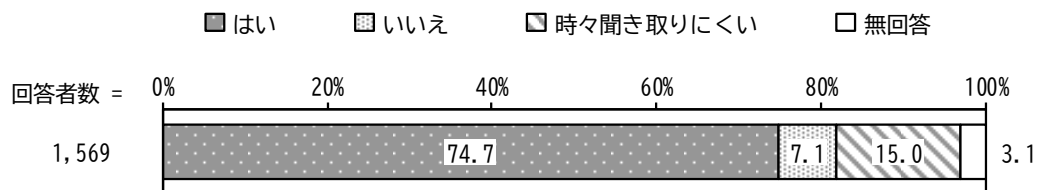
問4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)

「はい」の割合が20.7%、「いいえ」の割合が75.1%となっています。
 令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問5 補聴器などを使用しないで、日常生活の会話が聞き取れていますか。(○は1つ)

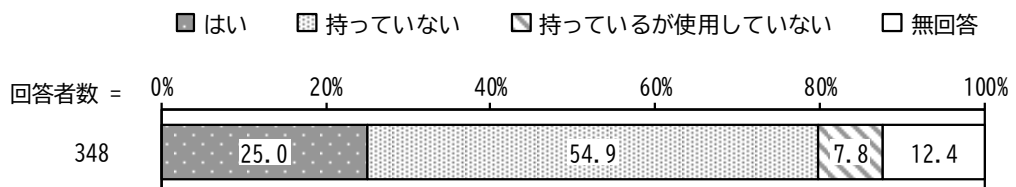
「はい」の割合が74.7%、「いいえ」の割合が7.1%、「時々聞き取りにくい」の割合が15.0%となっています。



【問5で「いいえ」「時々聞き取りにくい」の方のみ】

問6 補聴器を持っていて使用していますか。(○は1つ)

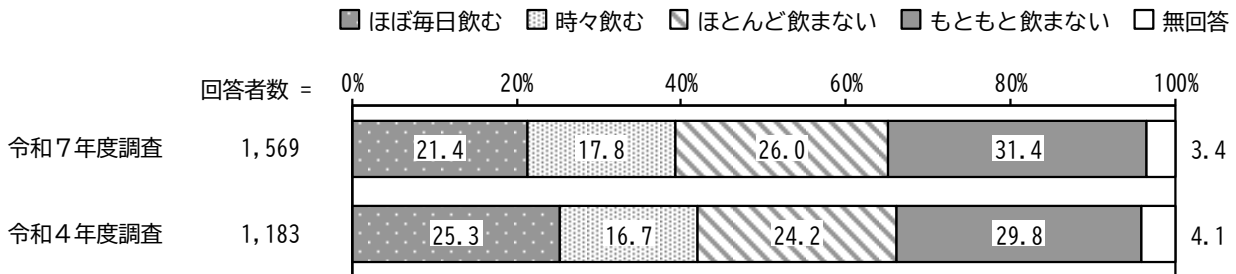
「はい」の割合が25.0%、「持っていない」の割合が54.9%、「持っているが使用していない」の割合が7.8%となっています。



問7 お酒は飲みますか。(○は1つ)

「もともと飲まない」の割合が 31.4%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」の割合が 26.0%、「ほぼ毎日飲む」の割合が 21.4%となっています。

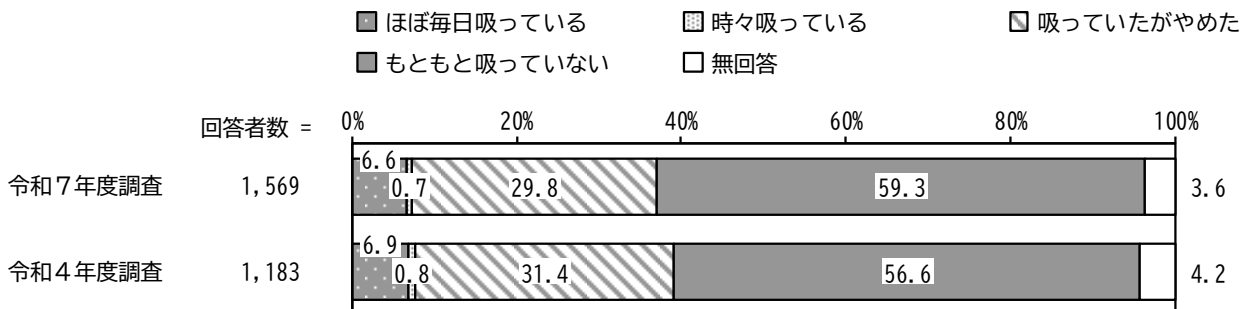
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問8 タバコは吸っていますか。(○は1つ)

「もともと吸っていない」の割合が 59.3%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」の割合が 29.8%となっています。

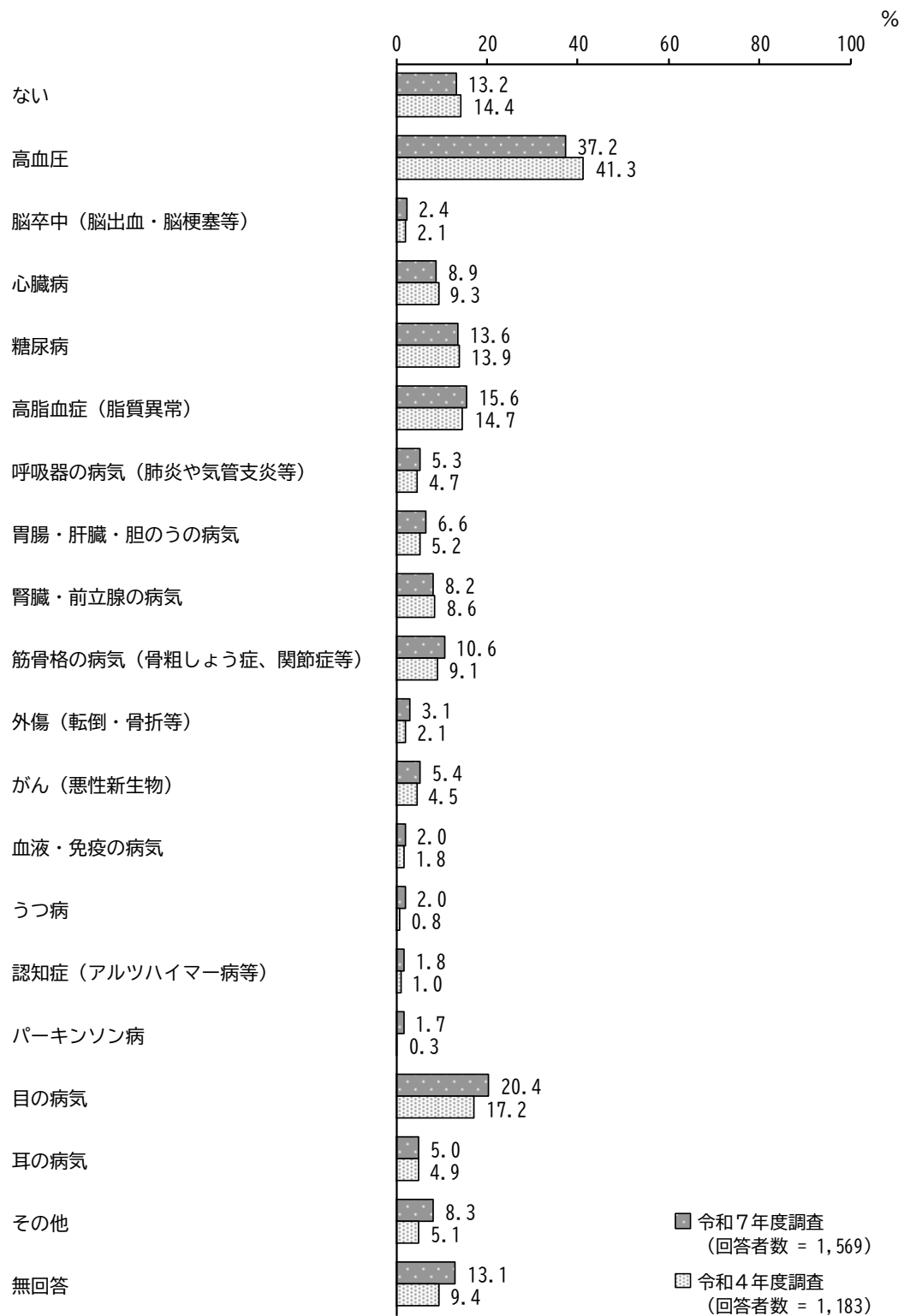
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問9 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)

「高血圧」の割合が 37.2%と最も高く、次いで「目の病気」の割合が 20.4%、「高脂血症（脂質異常）」の割合が 15.6%となっています。

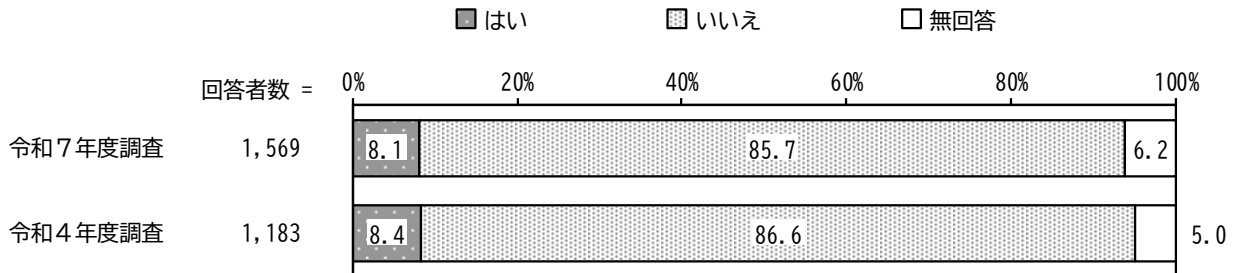
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



8 認知症にかかる相談窓口の把握について

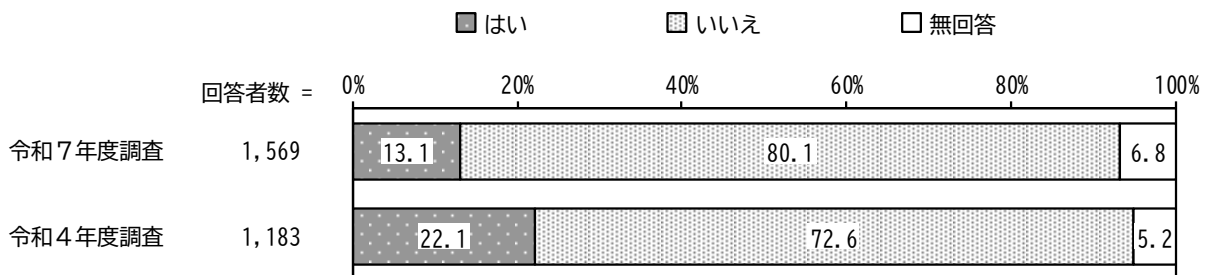
問1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)

「はい」の割合が8.1%、「いいえ」の割合が85.7%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



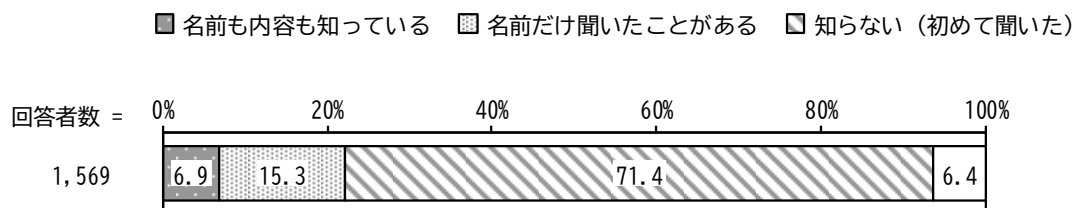
問2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

「はい」の割合が13.1%、「いいえ」の割合が80.1%となっています。
令和4年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が減少しています。



問3 「新しい認知症観」を知っていますか。(○は1つ)

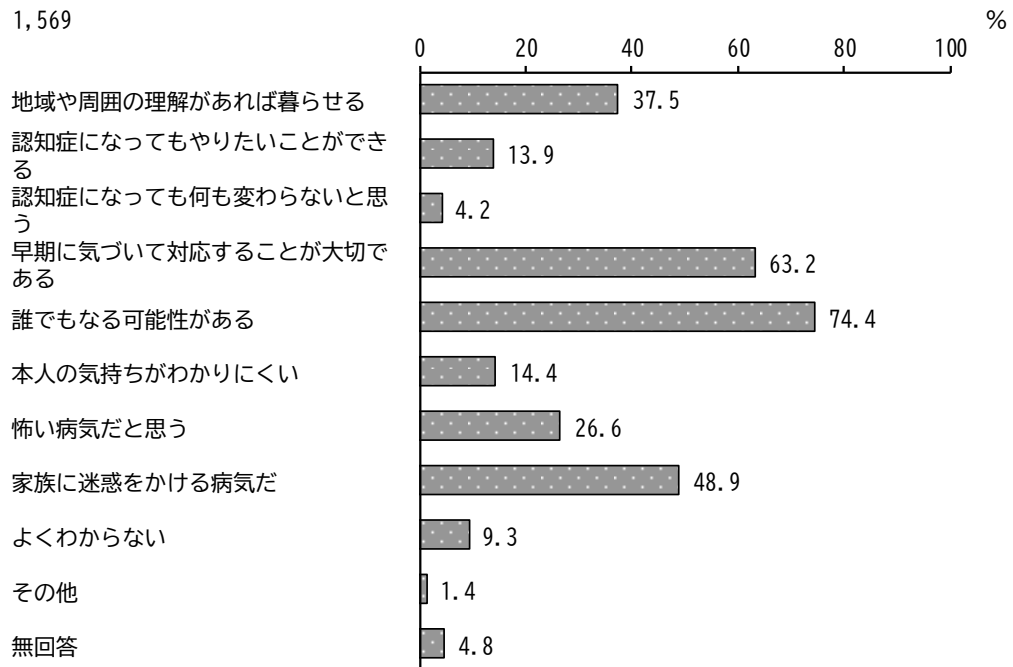
「名前も内容も知っている」の割合が6.9%、「名前だけ聞いたことがある」の割合が15.3%、「知らない(初めて聞いた)」の割合が71.4%となっています。



問4 あなたは「認知症」に対してどのようなイメージを持っていますか。
(○はいくつでも)

「誰でもなる可能性がある」の割合が 74.4%と最も高く、次いで「早期に気づいて対応することが大切である」の割合が 63.2%、「家族に迷惑をかける病気だ」の割合が 48.9%となっています。

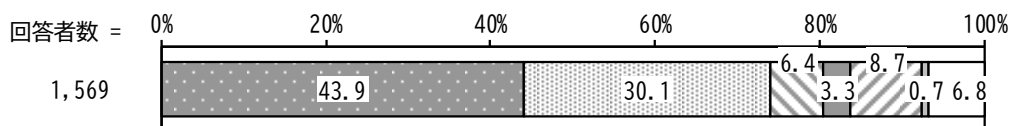
回答者数 = 1,569



問5 もし、あなたの家族が認知症になったら、そのことを近所の人に知ってもらおうと思いますか。(○は1つ)

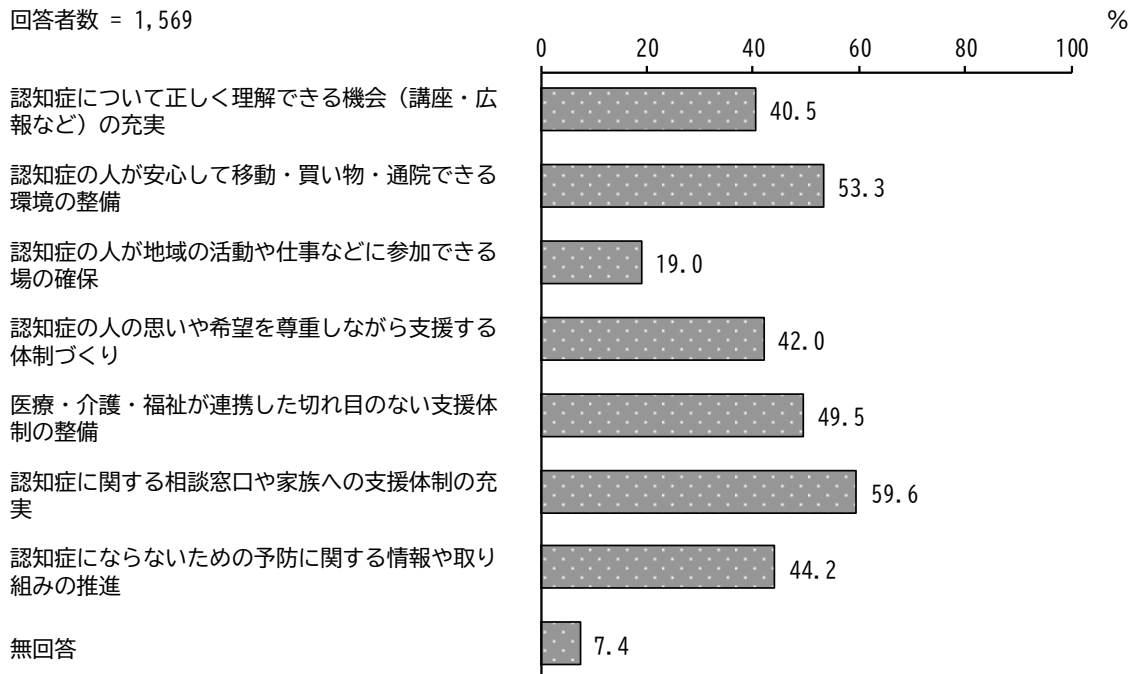
「知ってもらって、見守りや声かけなど協力をお願いしたい」の割合が 43.9%と最も高く、次いで「隠す必要もないが、あえてそのことを知っておいてもらう必要もない」の割合が 30.1%となっています。

- 知ってもらって、見守りや声かけなど協力をお願いしたい
- ▨ 隠す必要もないが、あえてそのことを知っておいてもらう必要もない
- ▧ 知っておいてほしいが、あえて支援は望まない
- (濃) できればあまり知られたくないので隠したい
- (点) わからない
- (横線) その他
- (白) 無回答



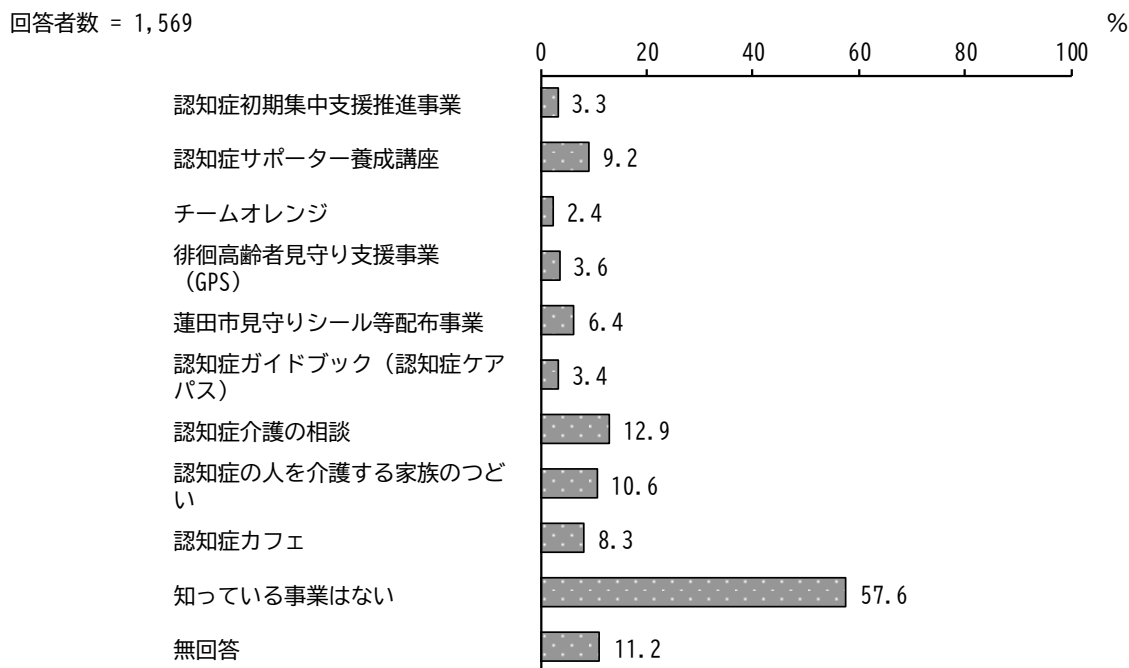
問6 あなたは、認知症のご本人やそのご家族が、住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、特に必要だと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

「認知症に関する相談窓口や家族への支援体制の充実」の割合が 59.6%と最も高く、次いで「認知症の人が安心して移動・買い物・通院できる環境の整備」の割合が 53.3%、「医療・介護・福祉が連携した切れ目のない支援体制の整備」の割合が 49.5%となっています。



問7 あなたが知っている事業は何ですか。(〇はいくつでも)

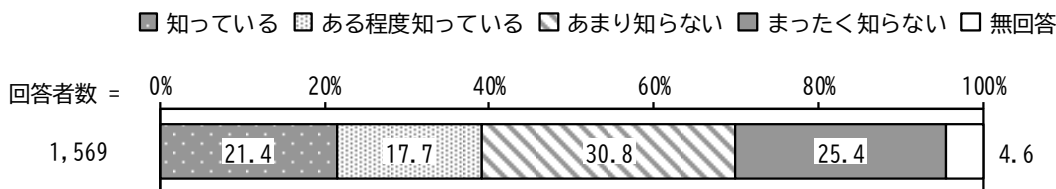
「知っている事業はない」の割合が 57.6%と最も高く、次いで「認知症介護の相談」の割合が 12.9%、「認知症の人を介護する家族のつどい」の割合が 10.6%となっています。



9 福祉サービス・介護保険制度について

問1 地域包括支援センターについて知っていますか。(○は1つ)

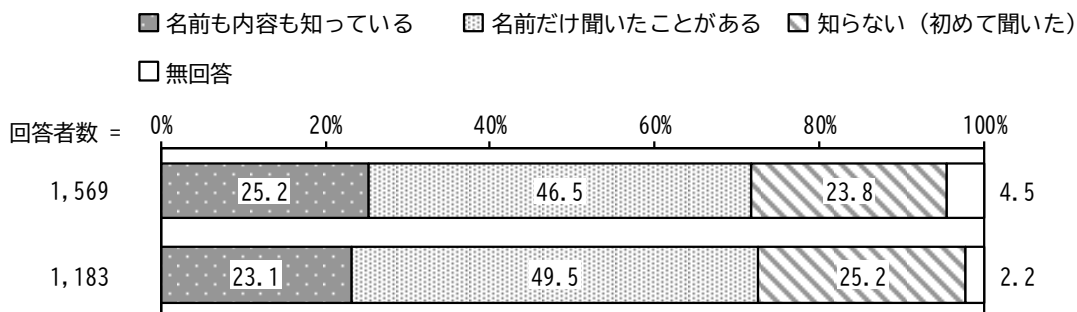
「知っている」「ある程度知っている」を合わせた“知っている”の割合が39.1%、「あまり知らない」「まったく知らない」を合わせた“知らない”の割合が56.2%となっています。



問2 認知症などにより判断能力が不十分となった時に利用できる「成年後見制度」を知っていますか。(○は1つ)

「名前も内容も知っている」の割合が25.2%、「名前だけ聞いたことがある」の割合が46.5%、「知らない(初めて聞いた)」の割合が23.8%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

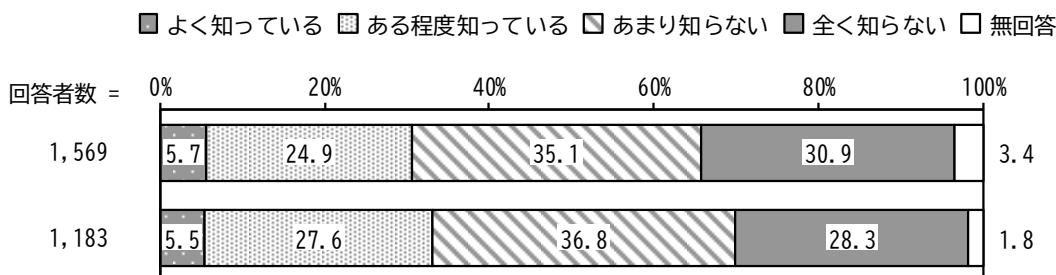


問3 介護が必要になったときの手続きや介護保険制度のサービスの内容について知っていますか。(それぞれ○は1つ)

① 申請や手続きの方法

「あまり知らない」の割合が35.1%と最も高く、次いで「全く知らない」の割合が30.9%、「ある程度知っている」の割合が24.9%となっています。

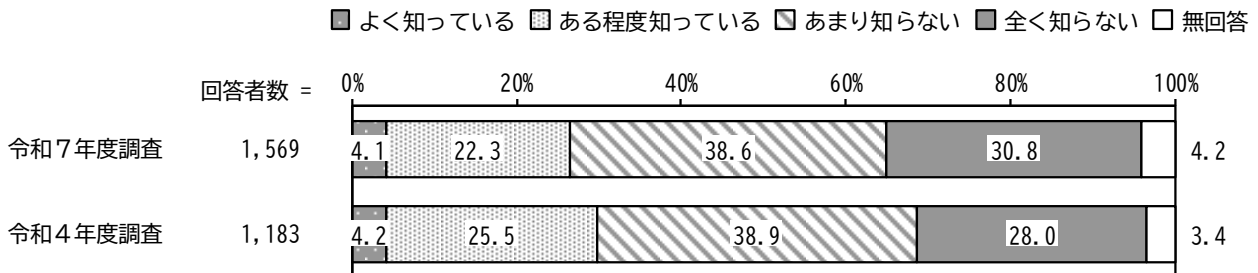
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



② 受けられるサービスの内容

「よく知っている」「ある程度知っている」を合わせた“知っている”の割合が26.4%、「あまり知らない」「全く知らない」を合わせた“知らない”の割合が69.4%となっています。

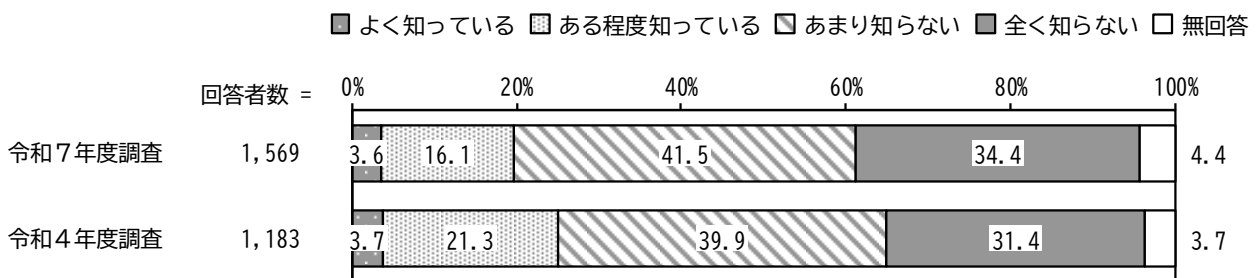
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



③ 保険料の仕組み

「よく知っている」「ある程度知っている」を合わせた“知っている”の割合が19.7%、「あまり知らない」「全く知らない」を合わせた“知らない”の割合が75.9%となっています。

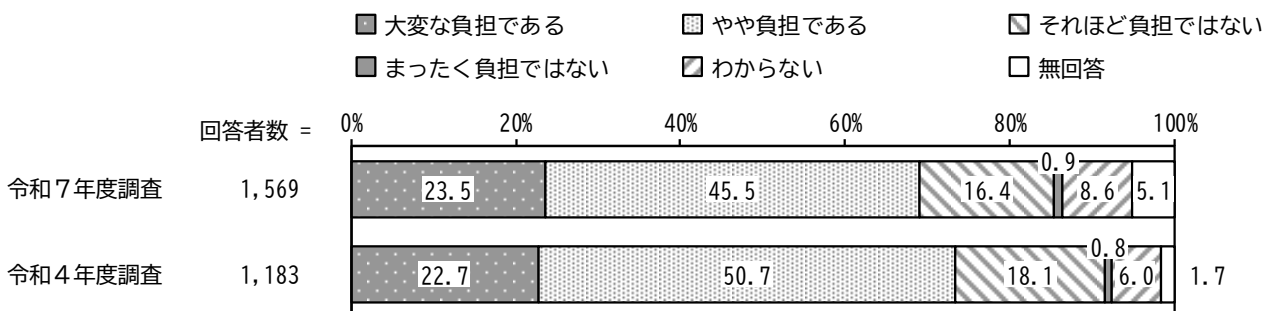
令和4年度調査と比較すると、“知っている”の割合が減少しています。



問4 現在支払っている介護保険料の額について、どのように感じていますか。(○は1つ)

「大変な負担である」「やや負担である」を合わせた“負担である”の割合が69.0%、「それほど負担ではない」「まったく負担ではない」を合わせた“負担ではない”の割合が17.3%となっています。

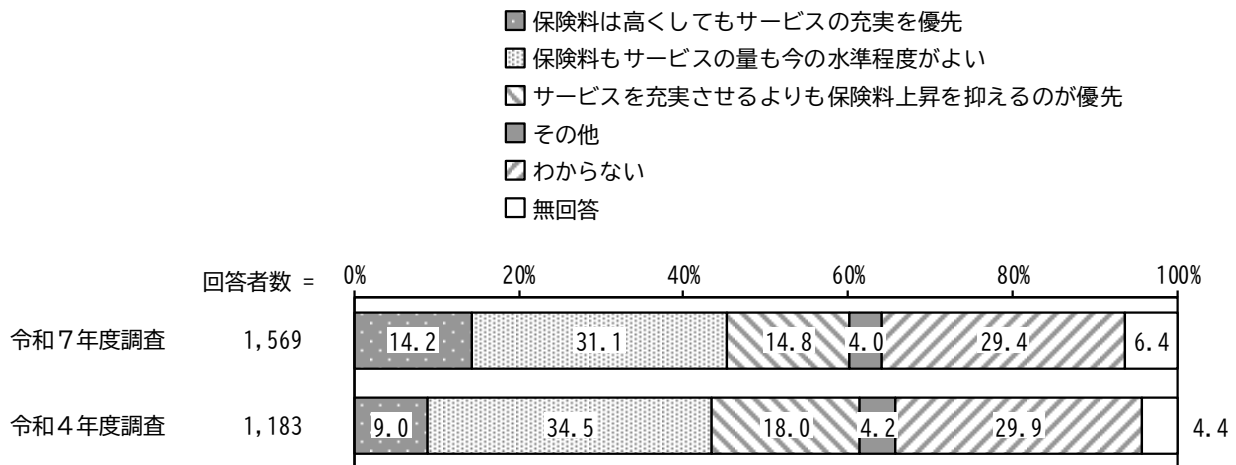
令和4年度調査と比較すると、「やや負担である」の割合が減少しています。



問5 介護保険のサービスを充実させるには、介護保険料が上昇することも考えられます。サービスと介護保険料の関係について、どのようにお考えですか。(〇は1つ)

「保険料は高くしてもサービスの充実を優先」の割合が14.2%、「保険料もサービスの量も今の水準程度がよい」の割合が31.1%、「サービスを充実させるよりも保険料上昇を抑えるのが優先」の割合が14.8%となっています。

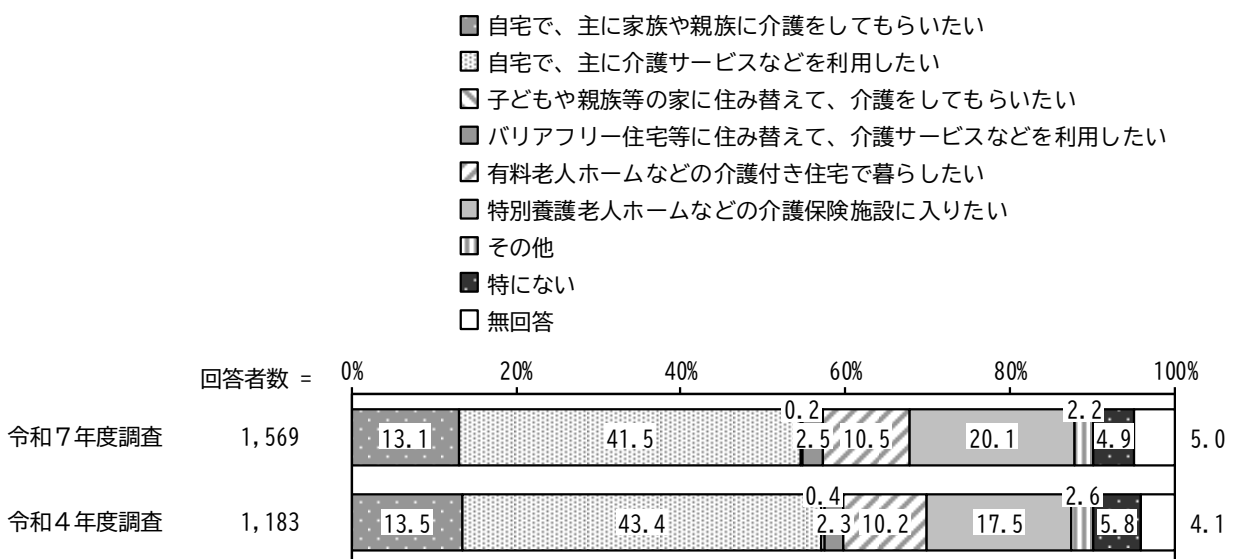
令和4年度調査と比較すると、「保険料は高くしてもサービスの充実を優先」の割合が増加しています。



問6 今後、もしあなたご自身が介護が必要になった場合、どのような生活を希望しますか。(〇は1つ)

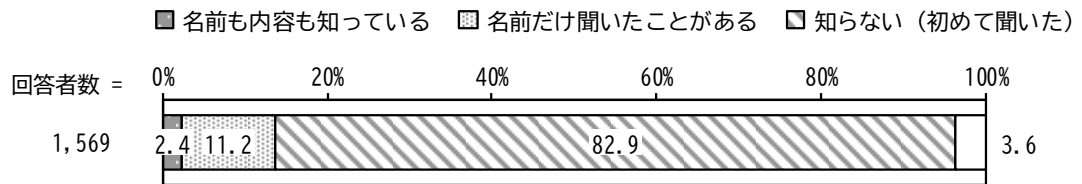
「自宅で、主に介護サービスなどを利用したい」の割合が41.5%と最も高く、次いで「特別養護老人ホームなどの介護保険施設に入りたい」の割合が20.1%、「自宅で、主に家族や親族に介護をしてもらいたい」の割合が13.1%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



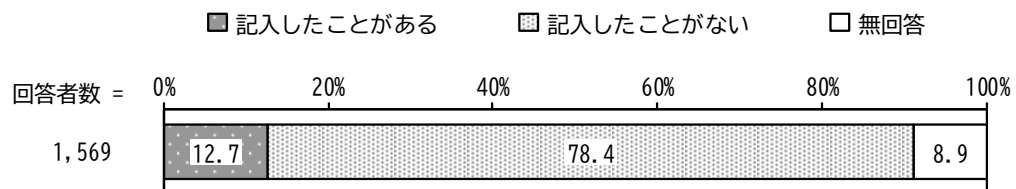
問7 あなたは、人生会議（アドバンス・ケア・プランニング＜ACP＞）について、知っていますか。（○は1つ）

「名前も内容も知っている」の割合が2.4%、「名前だけ聞いたことがある」の割合が11.2%、「知らない（初めて聞いた）」の割合が82.9%となっています。



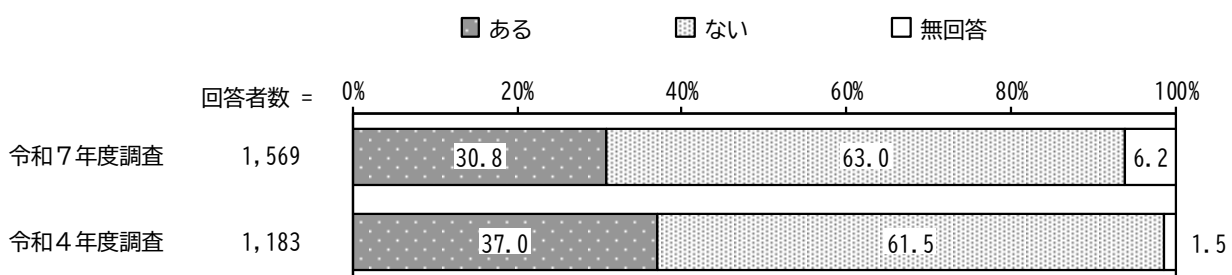
問8 あなたは、エンディングノートの記入をしたことがありますか。（○は1つ）

「記入したことがある」の割合が12.7%、「記入したことがない」の割合が78.4%となっています。



問9 人生の最終段階における医療や介護について、あなたの希望を身近な人と話し合ったことがありますか。（○は1つ）

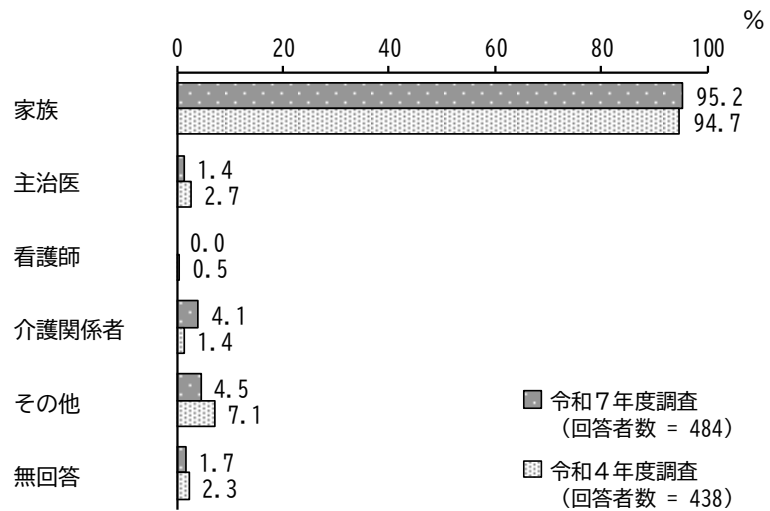
「ある」の割合が30.8%、「ない」の割合が63.0%となっています。
令和4年度調査と比較すると、「ある」の割合が減少しています。



【問9で「ある」の方のみ】

問10 誰と話し合いましたか。(〇はいくつでも)

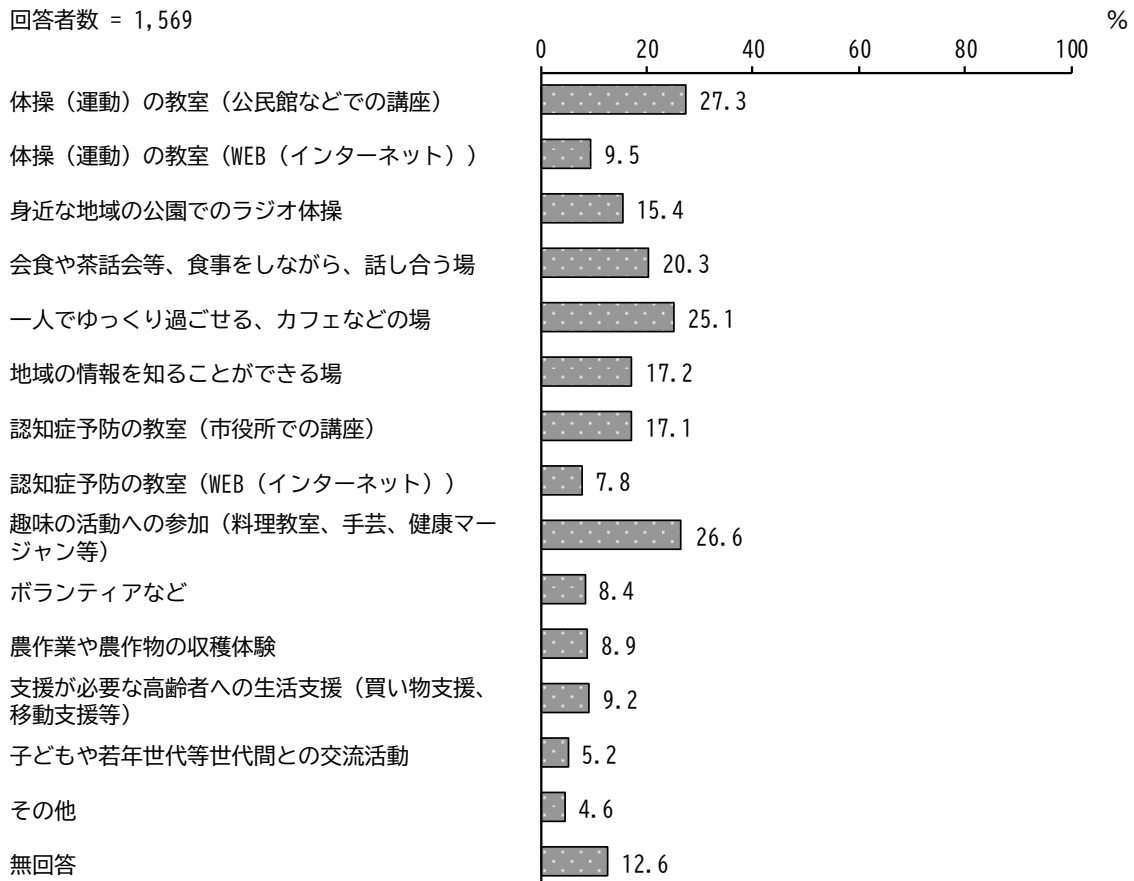
「家族」の割合が95.2%と最も高くなっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問11 どのような介護予防や通いの場であれば参加したいと思いますか。(〇はいくつでも)

「体操（運動）の教室（公民館などでの講座）」の割合が27.3%と最も高く、次いで「趣味の活動への参加（料理教室、手芸、健康マージャン等）」の割合が26.6%、「一人でゆっくり過ごせる、カフェなどの場」の割合が25.1%となっています。

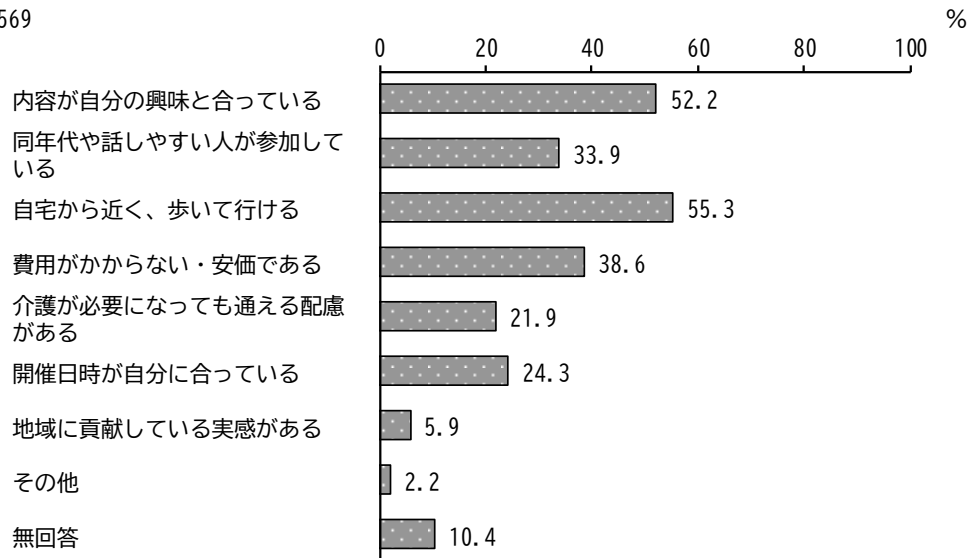
回答者数 = 1,569



問 12 介護予防や通いの場に参加する際、どのような点を重視しますか。(○はいくつでも)

「自宅から近く、歩いて行ける」の割合が 55.3%と最も高く、次いで「内容が自分の興味と合っている」の割合が 52.2%、「費用がかからない・安価である」の割合が 38.6%となっています。

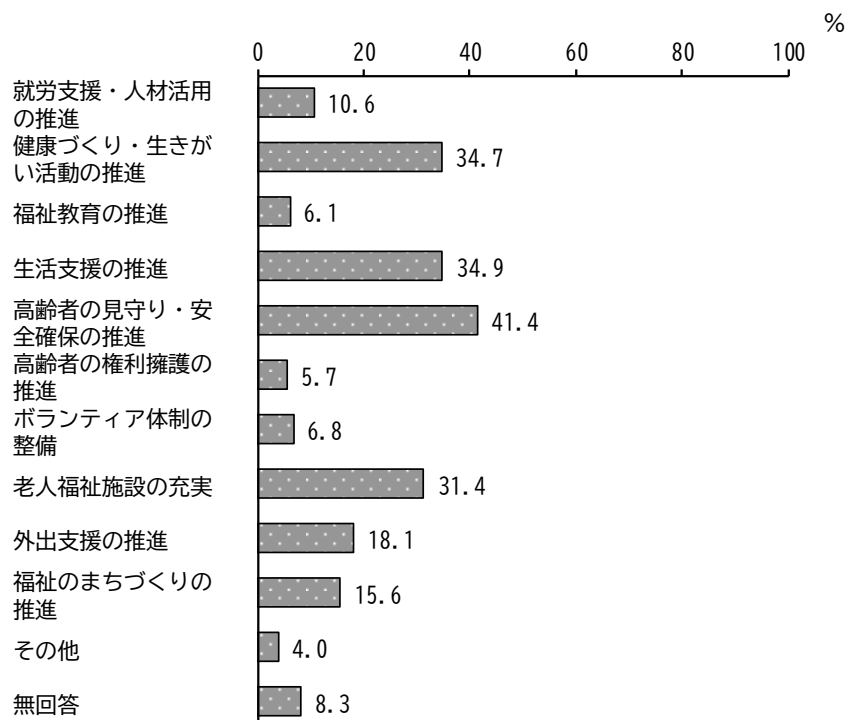
回答者数 = 1,569



問 13 今後、蓮田市に充実して欲しい高齢者施策は何ですか。(○は3つまで)

「高齢者の見守り・安全確保の推進」の割合が 41.4%と最も高く、次いで「生活支援の推進」の割合が 34.9%、「健康づくり・生きがい活動の推進」の割合が 34.7%となっています。

回答者数 = 1,569



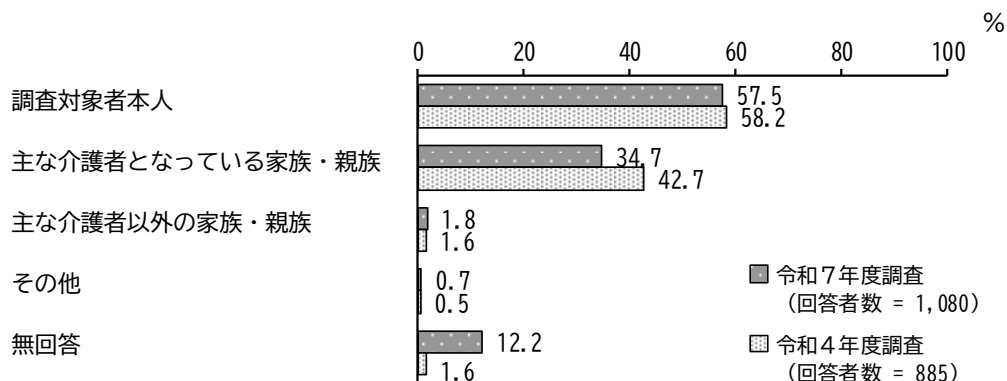
Ⅲ 在宅介護実態調査結果

A票 調査対象者ご本人について

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(○はいくつでも)

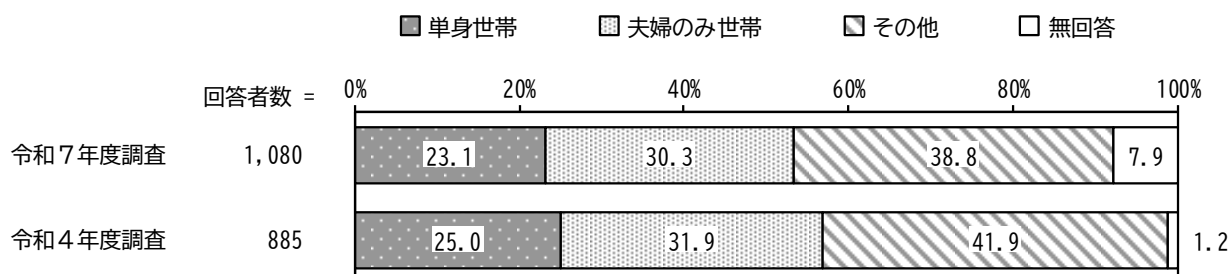
「調査対象者本人」の割合が57.5%、「主な介護者となっている家族・親族」の割合が34.7%、「主な介護者以外の家族・親族」の割合が1.8%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「主な介護者となっている家族・親族」の割合が特に減少しています。



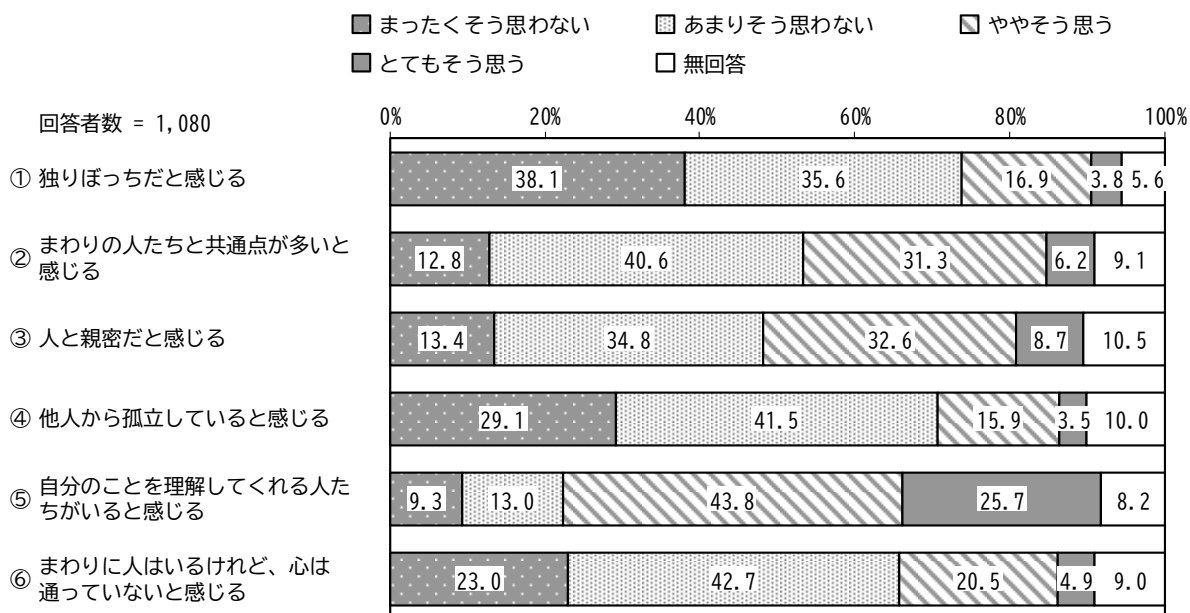
問2 世帯について、ご回答下さい。(○は1つ)

「単身世帯」の割合が23.1%、「夫婦のみ世帯」の割合が30.3%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



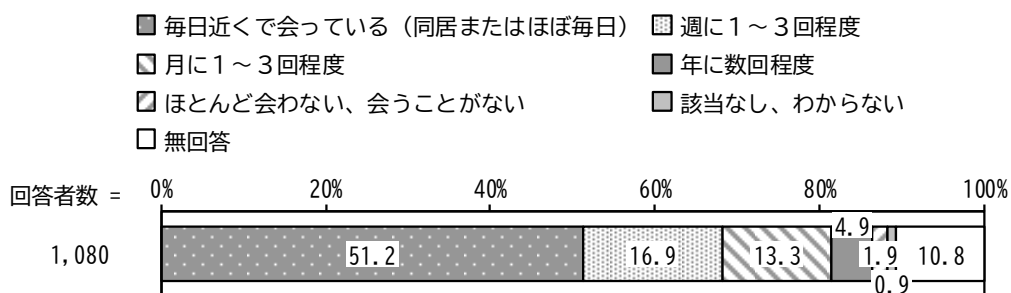
問3 あなたは、以下の項目についてどう思いますか。(それぞれ○は1つ)

『① 独りぼっちだと感じる』で「まったくそう思わない」が、『⑥ まわりに人はいるけれど、心は通っていないと感じる』で「あまりそう思わない」が、『⑤ 自分のことを理解してくれる人たちがいると感じる』で「ややそう思う」「とてもそう思う」が高くなっています。



問4 家族や友人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

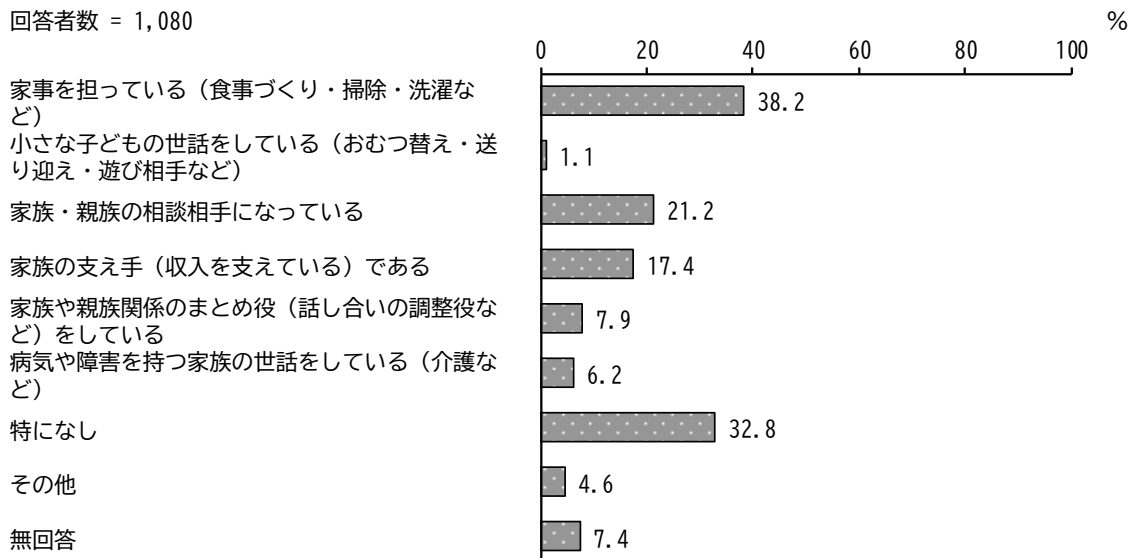
「毎日近くで会っている(同居またはほぼ毎日)」の割合が51.2%と最も高く、次いで「週に1～3回程度」の割合が16.9%、「月に1～3回程度」の割合が13.3%となっています。



問5 あなたは、家族や親族の中で以下のような活動を行っていますか。(〇はいくつでも)

「家事を担っている（食事づくり・掃除・洗濯など）」の割合が38.2%と最も高く、次いで「家族・親族の相談相手になっている」の割合が21.2%、「家族の支え手（収入を支えている）である」の割合が17.4%となっています。

回答者数 = 1,080

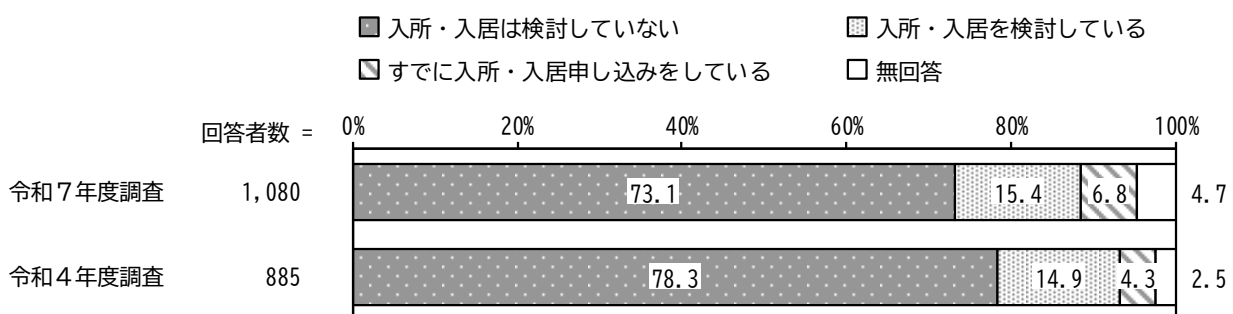


問6 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答下さい。(〇は1つ)

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

「入所・入居は検討していない」の割合が73.1%、「入所・入居を検討している」の割合が15.4%、「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合が6.8%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「入所・入居は検討していない」の割合が減少しています。

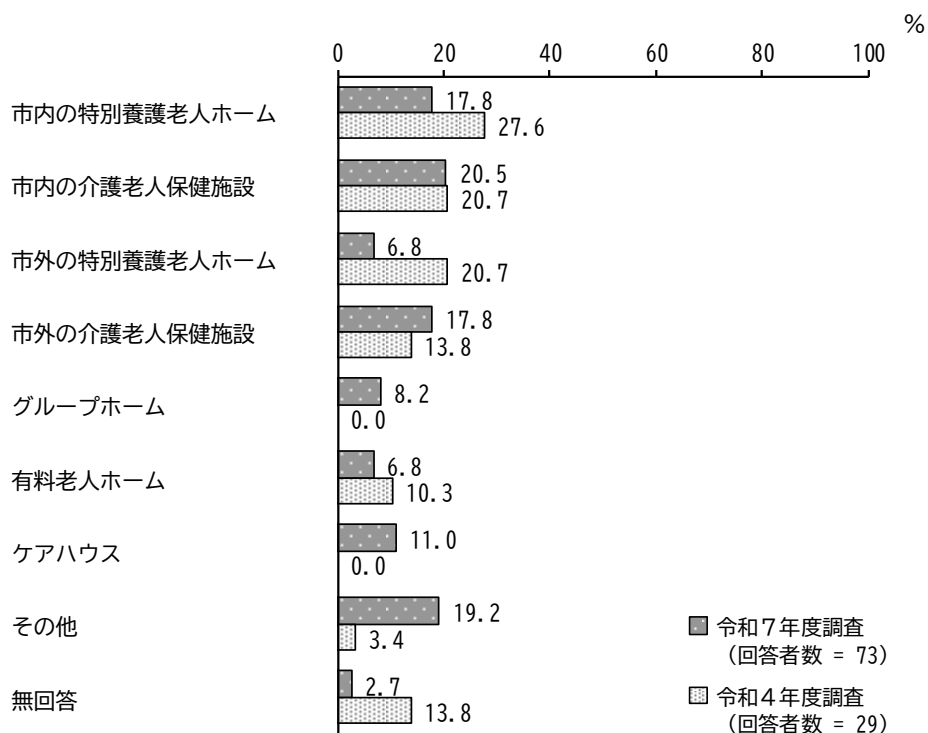


【問6で「すでに入所・入居申し込みをしている」を選択した方のみ】

問7 その施設は、どんな（どこの）施設ですか。（〇はいくつでも）

「市内の介護老人保健施設」の割合が20.5%と最も高く、次いで「市内の特別養護老人ホーム」、「市外の介護老人保健施設」の割合が17.8%となっています。

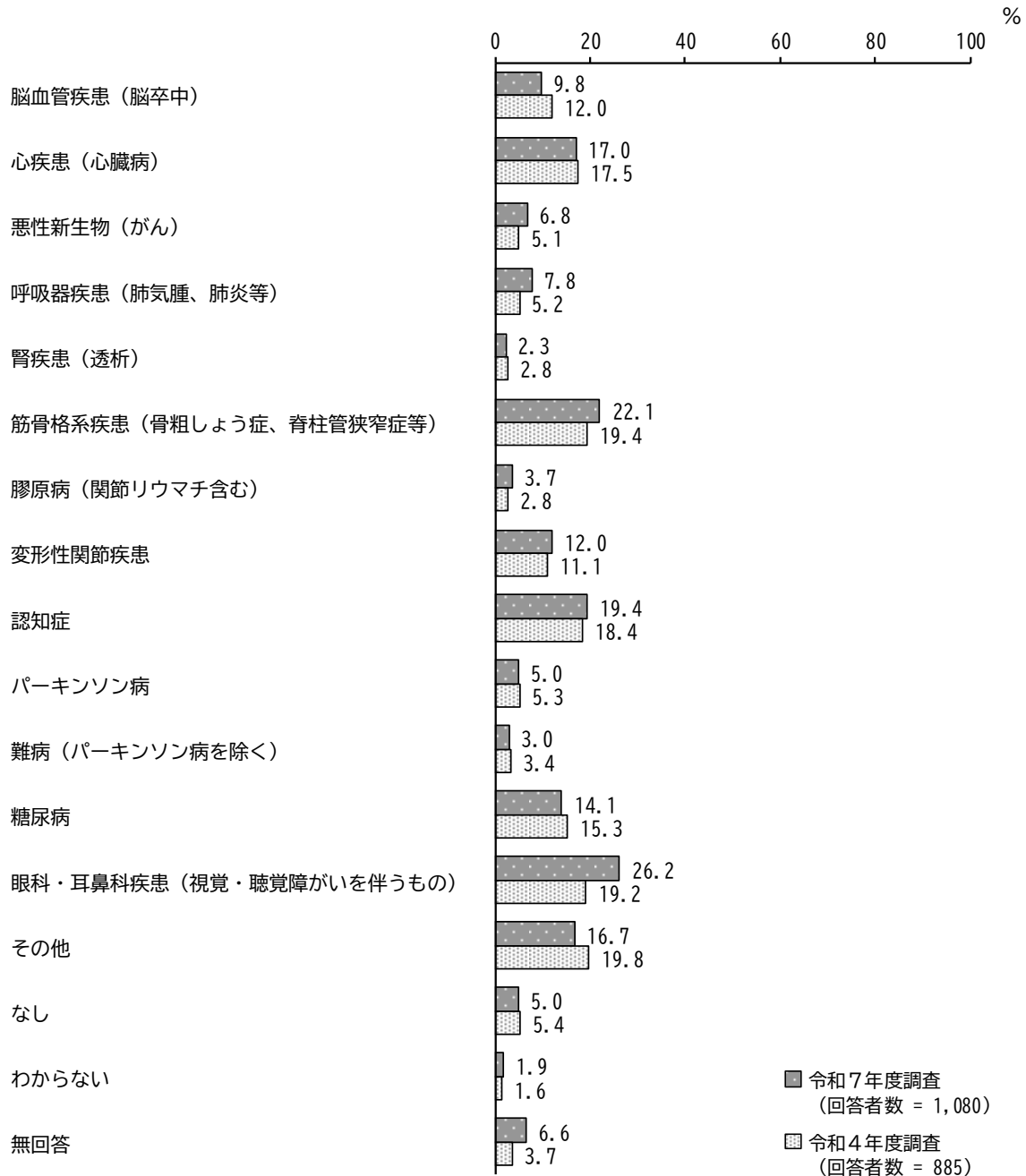
令和4年度調査と比較すると、「グループホーム」「ケアハウス」の割合が特に増加しています。一方、「市内の特別養護老人ホーム」「市外の特別養護老人ホーム」の割合が特に減少しています。



問8 ご本人（調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。
（〇はいくつでも）

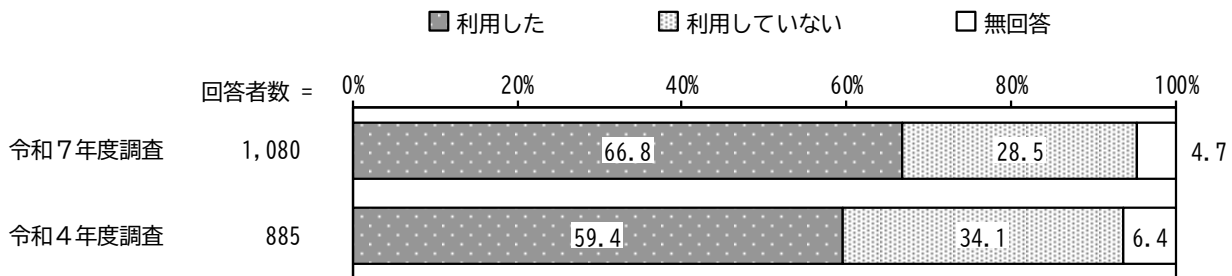
「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障がいを伴うもの）」の割合が26.2%と最も高く、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」の割合が22.1%、「認知症」の割合が19.4%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障がいを伴うもの）」の割合が特に増加しています。



問9 令和7年9月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(○は1つ)

「利用した」の割合が66.8%、「利用していない」の割合が28.5%となっています。
 令和4年度調査と比較すると、「利用した」の割合が増加しています。

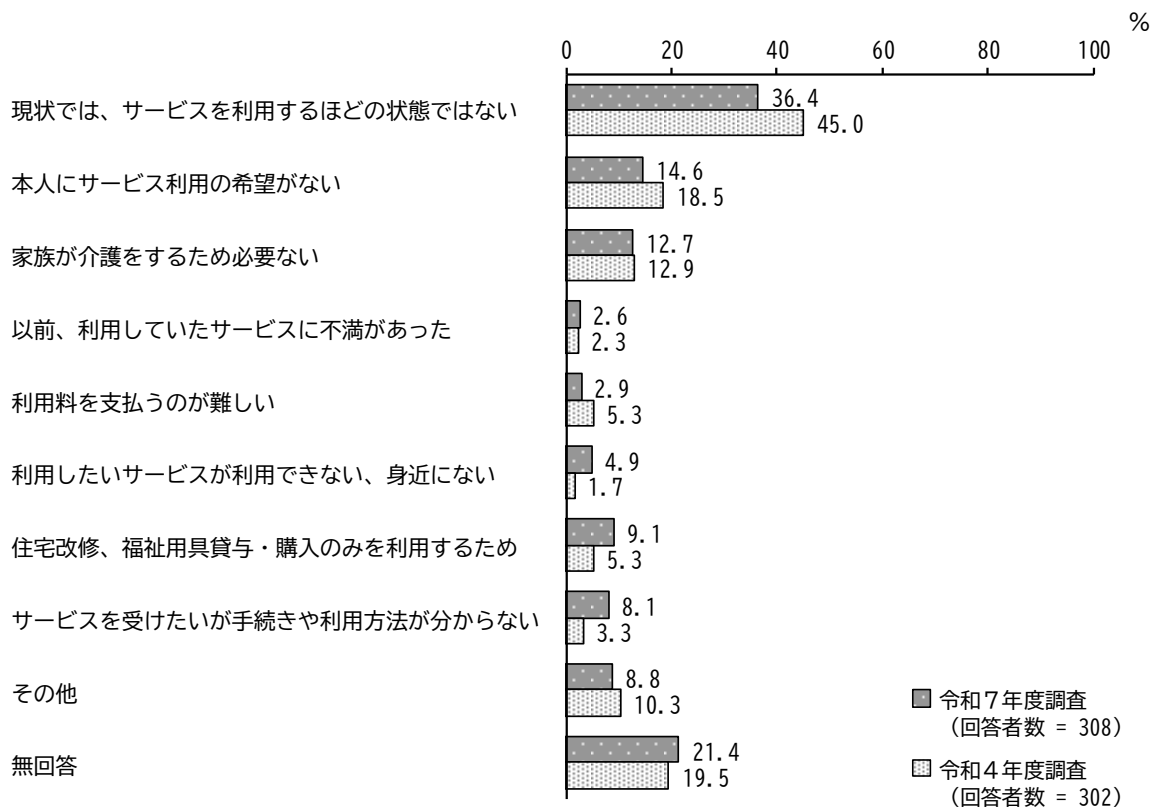


【問9において「利用していない」を選択した方のみ】

問10 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が36.4%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」の割合が14.6%、「家族が介護をするため必要ない」の割合が12.7%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が特に減少しています。

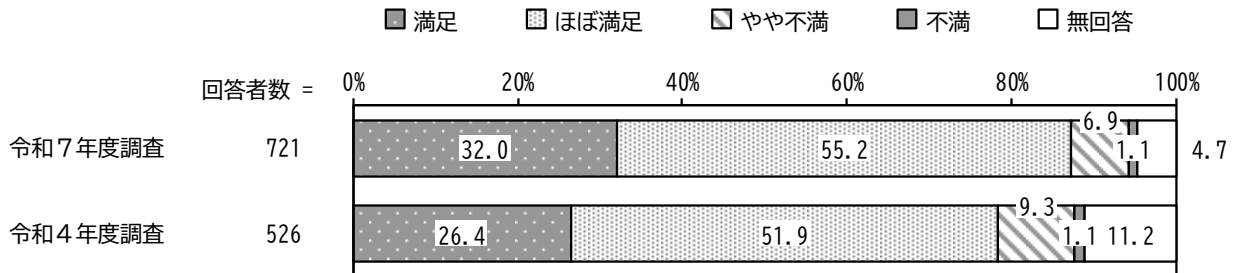


【問9において「利用した」を選択した方のみ】

問11 現在利用している介護保険サービスの内容に満足していますか。現在複数の介護サービスを利用している場合には、総合的に評価してください。(○は1つ)

「満足」「ほぼ満足」を合わせた“満足”の割合が87.2%、「やや不満」「不満」を合わせた“不満”の割合が8.0%となっています。

令和4年度調査と比較すると、“満足”の割合が増加しています。

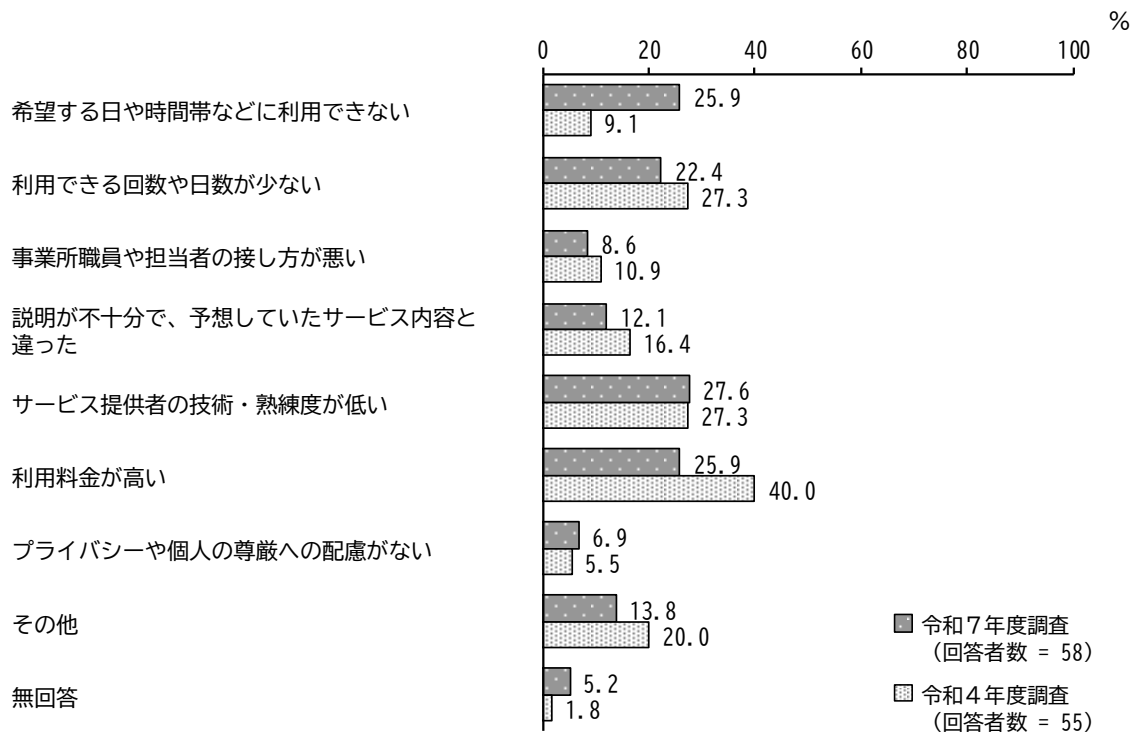


【問11で「やや不満」「不満」を選択した方のみ】

問12 不満を感じる理由は何ですか。(○はいくつでも)

「サービス提供者の技術・熟練度が低い」の割合が27.6%と最も高く、次いで「希望する日や時間帯などに利用できない」、「利用料金が高い」の割合が25.9%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「希望する日や時間帯などに利用できない」の割合が特に増加しています。一方、「利用料金が高い」の割合が特に減少しています。

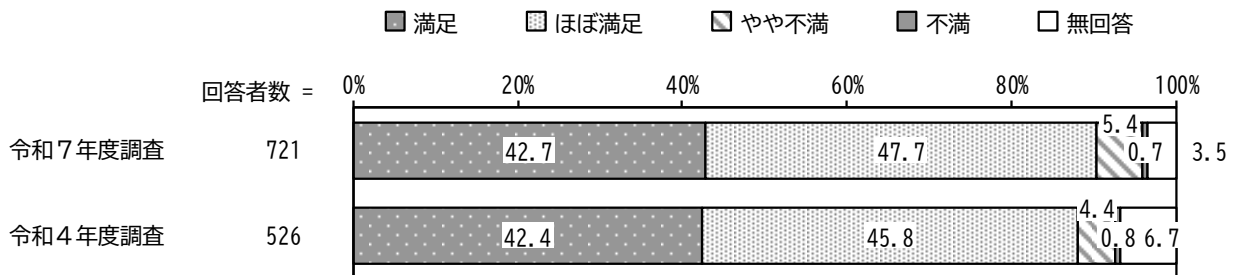


【問9において「利用した」を選択した方のみ】

問13 あなたはケアマネジャーが作成するケアプランに満足していますか。(○は1つ)

「満足」「ほぼ満足」を合わせた“満足”の割合が90.4%、「やや不満」「不満」を合わせた“不満”の割合が6.1%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

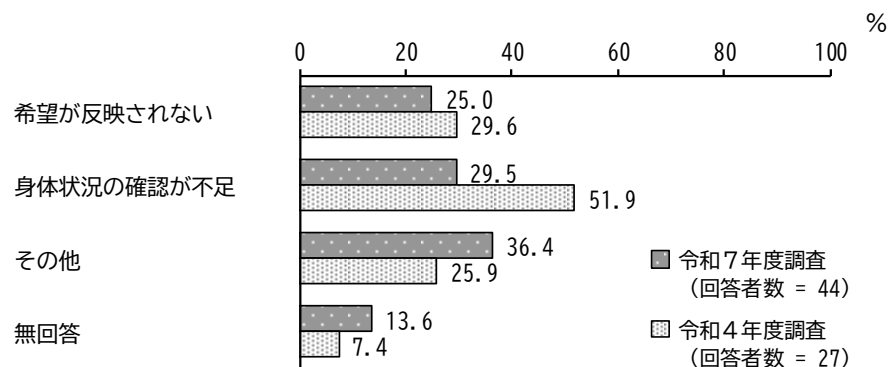


【問13で「やや不満」「不満」を選択した方のみ】

問14 不満を感じる理由は何ですか。(○はいくつでも)

「希望が反映されない」の割合が25.0%、「身体状況の確認が不足」の割合が29.5%となっています。

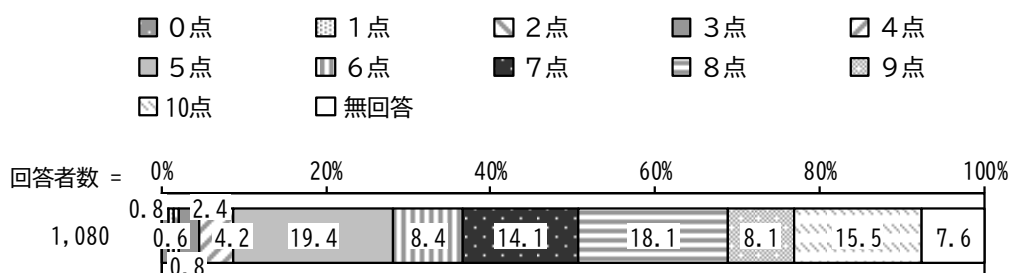
令和4年度調査と比較すると、「身体状況の確認が不足」の割合が特に減少しています。



※ここから再び、全員の方にお伺いします。

問15 あなたは、現在どの程度幸せですか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点、として、ご記入ください。(○は1つ)

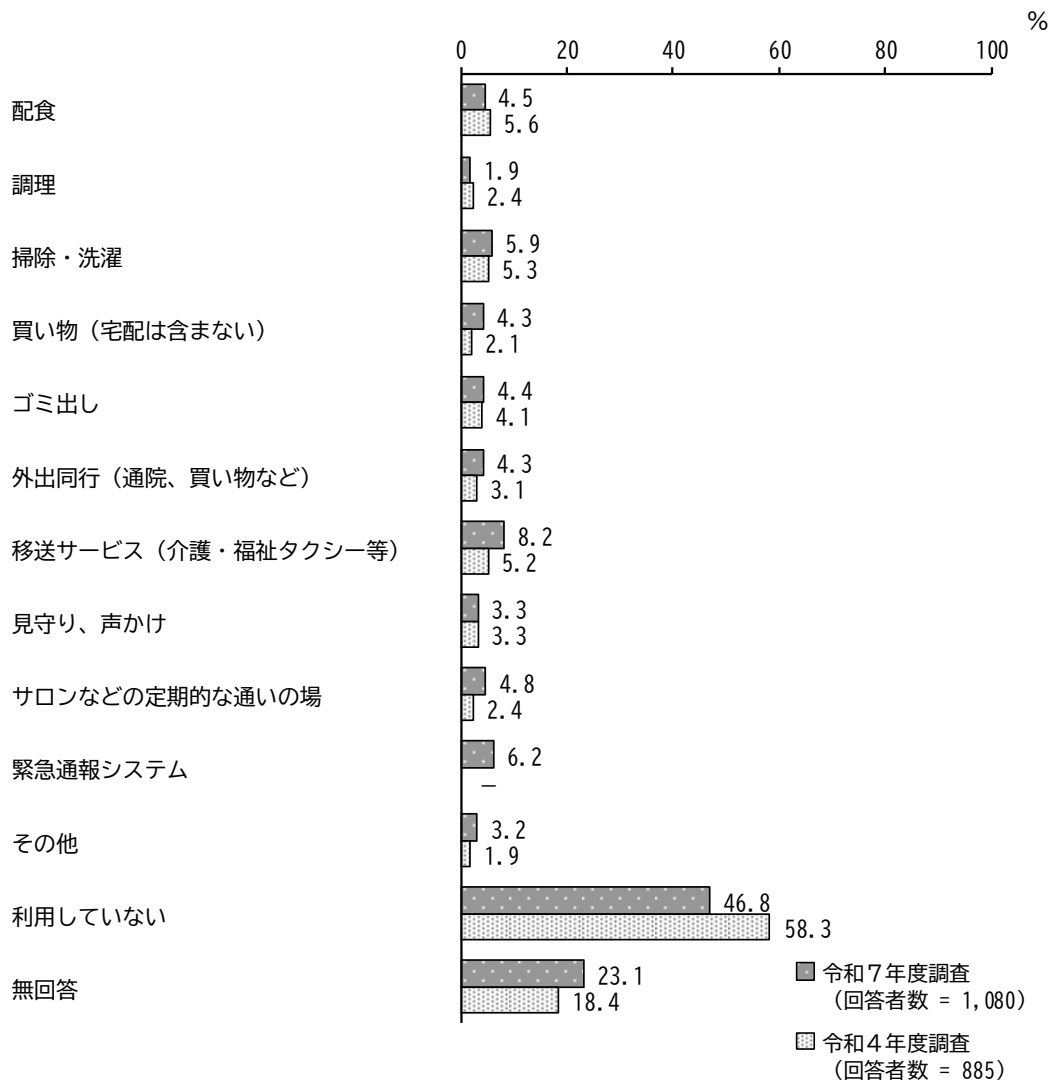
「5点」の割合が19.4%と最も高く、次いで「8点」の割合が18.1%、「10点」の割合が15.5%となっています。



問 16 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答下さい。(〇はいくつでも)
 ※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

「利用していない」の割合が46.8%と最も高くなっています。

令和4年度調査と比較すると、「緊急通報システム」の割合が特に増加しています。一方、「利用していない」の割合が特に減少しています。

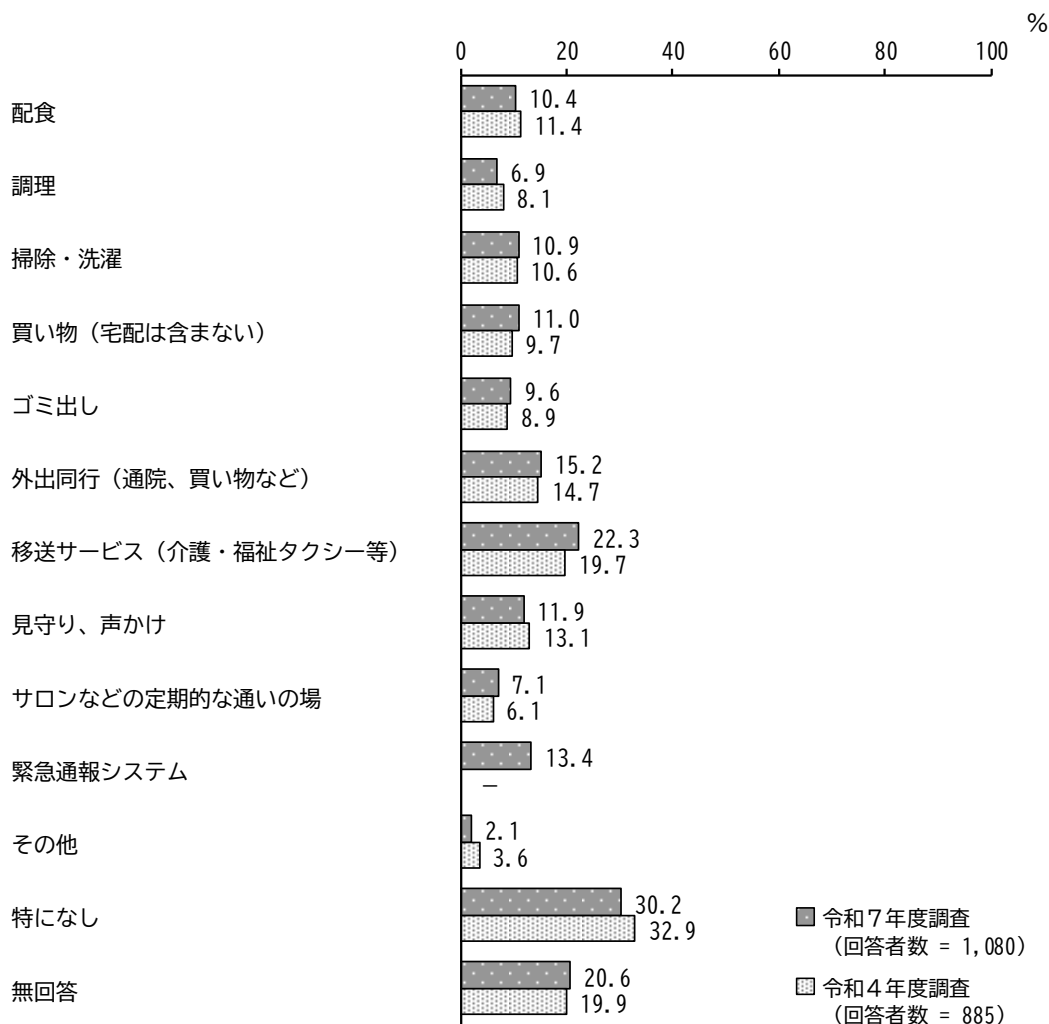


※令和4年度調査では、「緊急通報システム」の選択肢はありませんでした。

問 17 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答下さい。
 （〇はいくつでも）
 ※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

「特になし」の割合が 30.2%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が 22.3%、「外出同行（通院、買い物など）」の割合が 15.2%となっています。

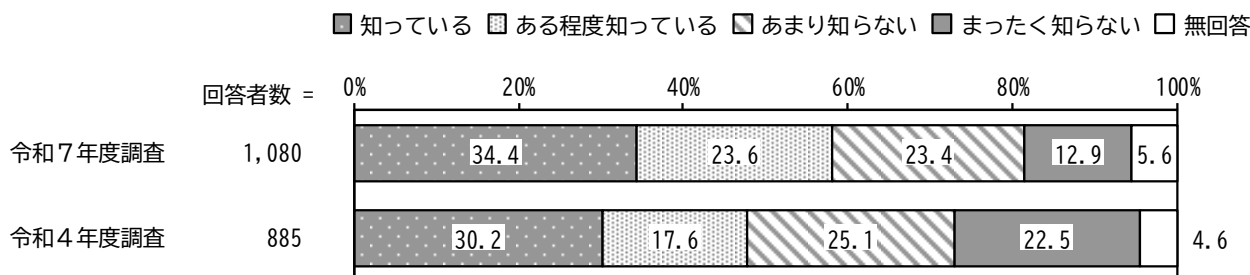
令和 4 年度調査と比較すると、「緊急通報システム」の割合が特に増加しています。



※令和 4 年度調査では、「緊急通報システム」の選択肢はありませんでした。

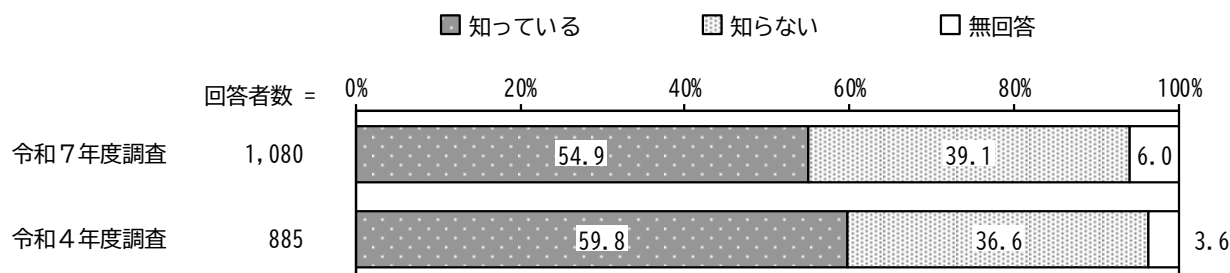
問 18 地域包括支援センターについて知っていますか。(○は1つ)

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた“知っている”の割合が58.0%、「あまり知らない」「まったく知らない」を合わせた“知らない”の割合が36.3%となっています。
 令和4年度調査と比較すると、“知っている”の割合が増加しています。



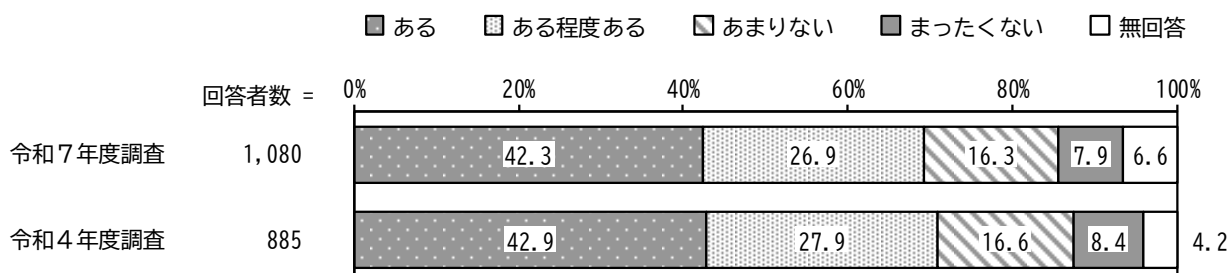
問 19 あなたの地区担当の民生委員を知っていますか。(○は1つ)

「知っている」の割合が54.9%、「知らない」の割合が39.1%となっています。
 令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 20 あなたが相談できる介護・福祉の窓口や相談先はありますか。(○は1つ)

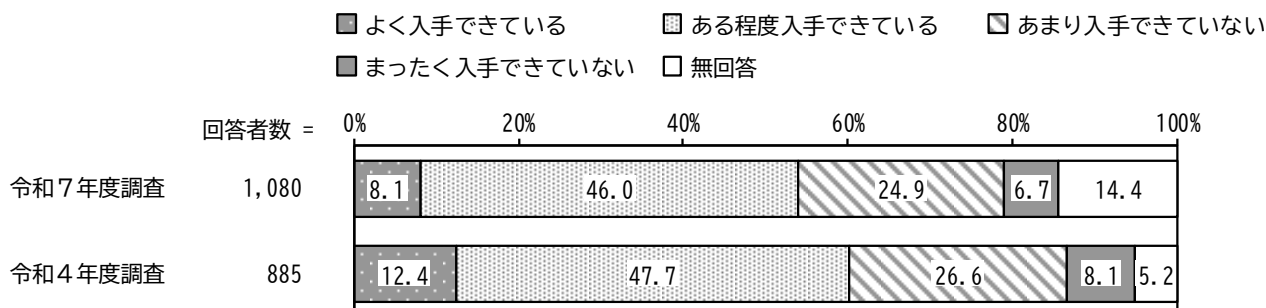
「ある」「ある程度ある」を合わせた“ある”の割合が69.2%、「あまりない」「まったくない」を合わせた“ない”の割合が24.2%となっています。
 令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 21 介護や福祉に関する情報は入手できていますか。(○は1つ)

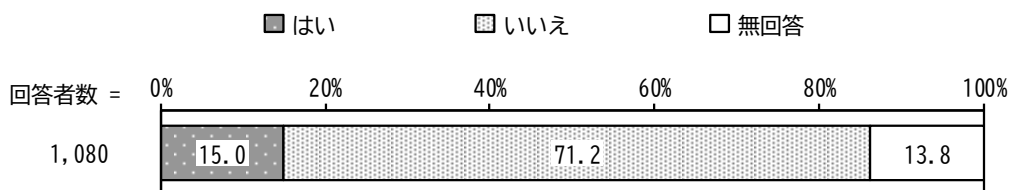
「よく入手できている」「ある程度入手できている」を合わせた“入手できている”の割合が54.1%、「あまり入手できていない」「まったく入手できていない」を合わせた“入手できていない”の割合が31.6%となっています。

令和4年度調査と比較すると、“入手できている”の割合が減少しています。



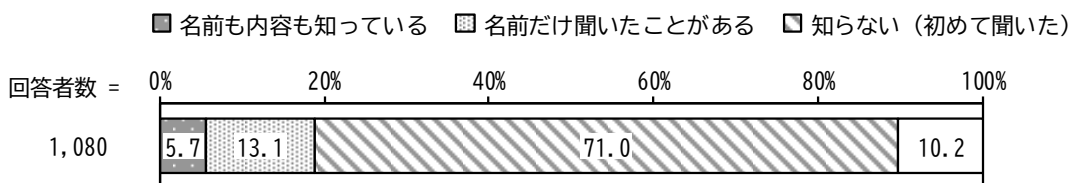
問 22 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

「はい」の割合が15.0%、「いいえ」の割合が71.2%となっています。



問 23 「新しい認知症観」を知っていますか。(○は1つ)

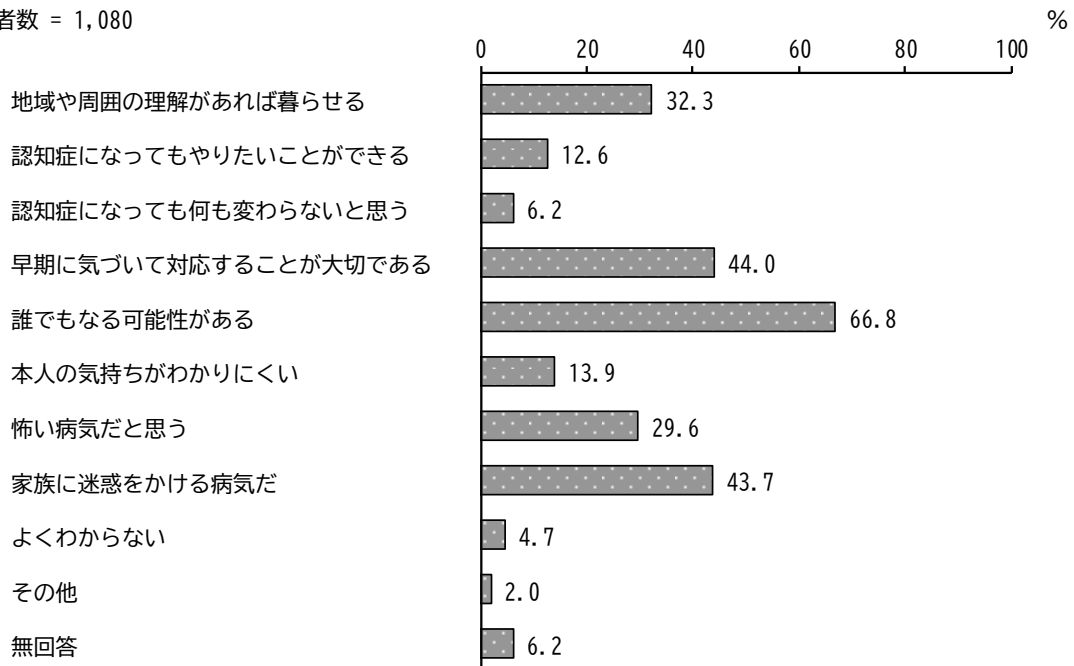
「名前も内容も知っている」の割合が5.7%、「名前だけ聞いたことがある」の割合が13.1%、「知らない(初めて聞いた)」の割合が71.0%となっています。



問 24 あなたは「認知症」に対してどのようなイメージを持っていますか。
(○はいくつでも)

「誰でもなる可能性がある」の割合が 66.8%と最も高く、次いで「早期に気づいて対応することが大切である」の割合が 44.0%、「家族に迷惑をかける病気だ」の割合が 43.7%となっています。

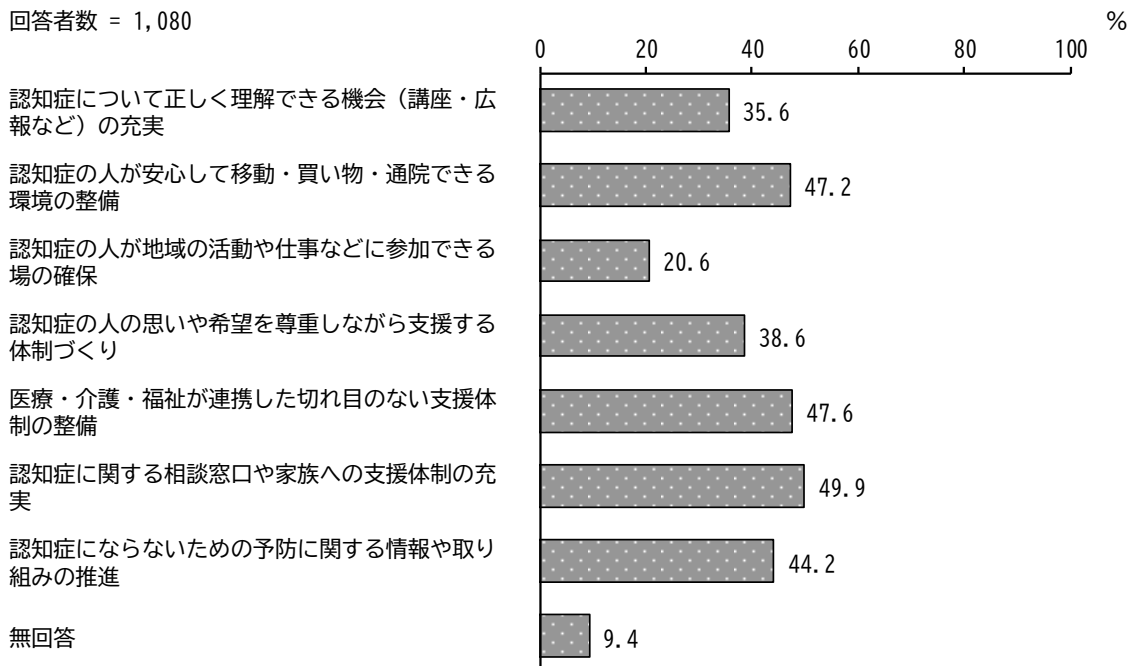
回答者数 = 1,080



問 25 あなたは、認知症のご本人やそのご家族が、住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、特に必要だと思うことは何ですか。(○はいくつでも)

「認知症に関する相談窓口や家族への支援体制の充実」の割合が 49.9%と最も高く、次いで「医療・介護・福祉が連携した切れ目のない支援体制の整備」の割合が 47.6%、「認知症の人が安心して移動・買い物・通院できる環境の整備」の割合が 47.2%となっています。

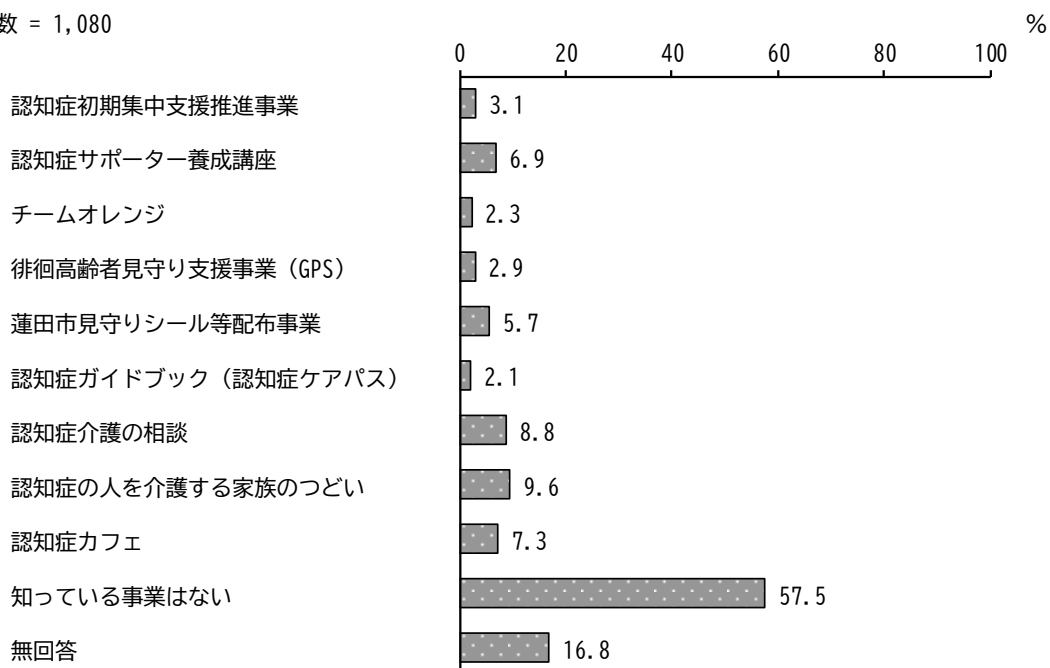
回答者数 = 1,080



問 26 あなたが知っている事業は何ですか。(〇はいくつでも)

「認知症の人を介護する家族のつどい」の割合が9.6%と最も高くなっています。

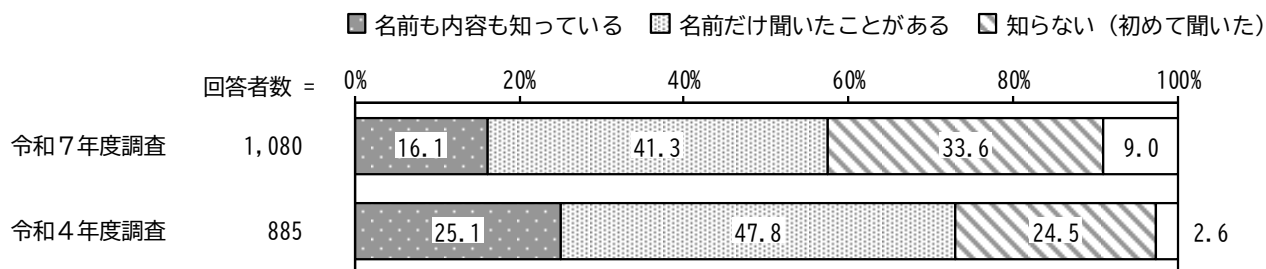
回答者数 = 1,080



問 27 認知症などにより判断能力が不十分となった時に利用できる「成年後見制度」を知っていますか。(〇は1つ)

「名前も内容も知っている」の割合が16.1%、「名前だけ聞いたことがある」の割合が41.3%、「知らない (初めて聞いた)」の割合が33.6%となっています。

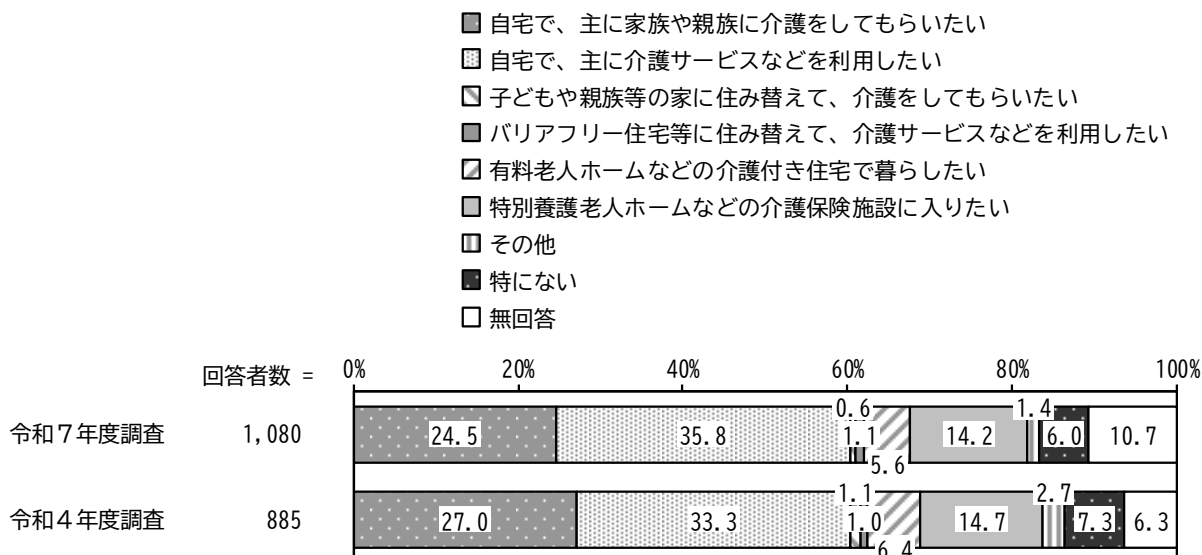
令和4年度調査と比較すると、「知らない (初めて聞いた)」の割合が増加しています。一方、「名前も内容も知っている」「名前だけ聞いたことがある」の割合が減少しています。



問 28 今の要介護（要支援）状態が続いた場合、あなたは、今後どのような生活を希望しますか。（○は1つ）

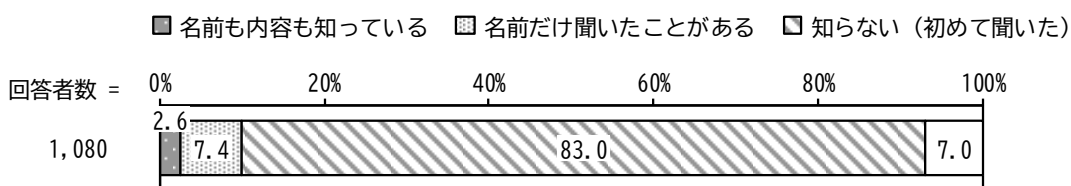
「自宅で、主に介護サービスなどを利用したい」の割合が 35.8%と最も高く、次いで「自宅で、主に家族や親族に介護をしてもらいたい」の割合が 24.5%、「特別養護老人ホームなどの介護保険施設に入りたい」の割合が 14.2%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



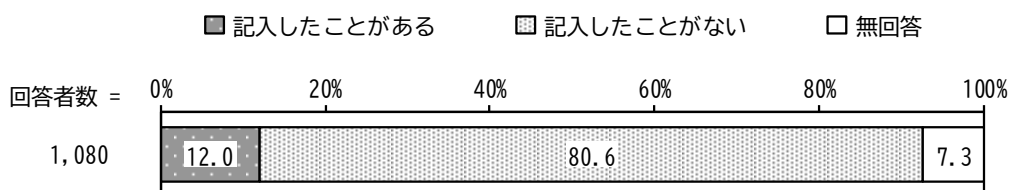
問 29 あなたは、人生会議（アドバンス・ケア・プランニング＜ACP＞）について、知っていますか。（○は1つ）

「名前も内容も知っている」の割合が 2.6%、「名前だけ聞いたことがある」の割合が 7.4%、「知らない（初めて聞いた）」の割合が 83.0%となっています。



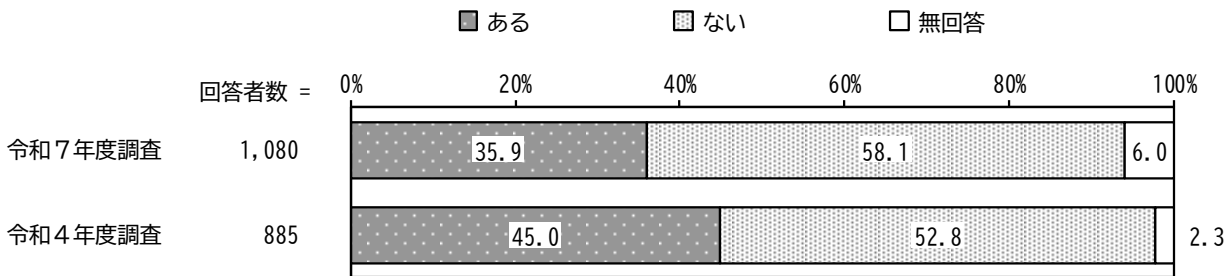
問 30 あなたは、エンディングノートの記入をしたことがありますか。（○は1つ）

「記入したことがある」の割合が 12.0%、「記入したことがない」の割合が 80.6%となっています。



問 31 人生の最終段階における医療や介護について、あなたの希望を身近な人と話し合ったことがありますか。(〇は1つ)

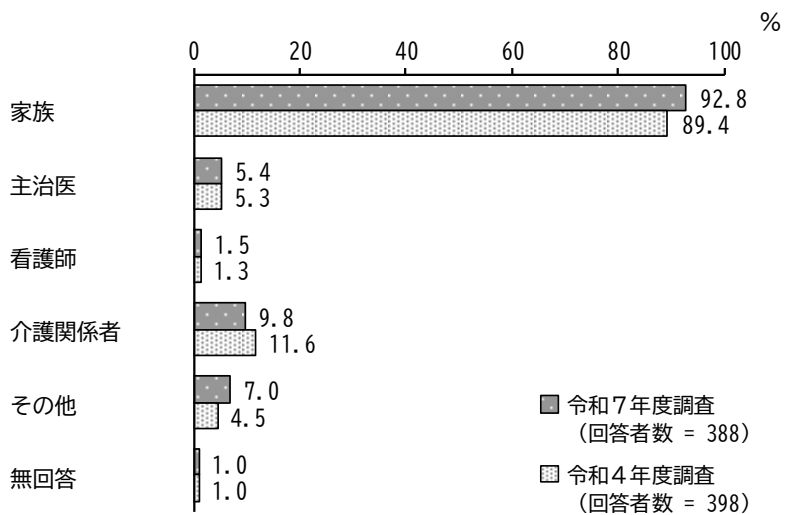
「ある」の割合が35.9%、「ない」の割合が58.1%となっています。
 令和4年度調査と比較すると、「ある」の割合が減少しています。



【問 31 で「ある」を選択した方のみ】

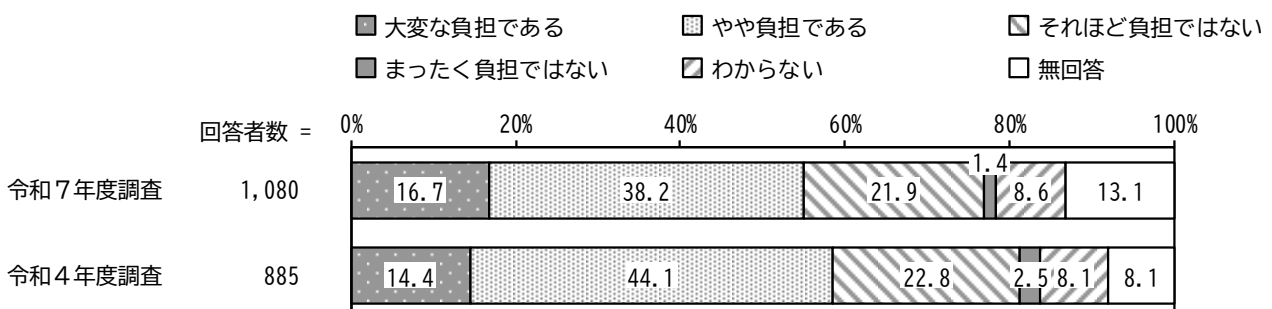
問 32 誰と話し合いましたか。(〇はいくつでも)

「家族」の割合が92.8%と最も高くなっています。
 令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



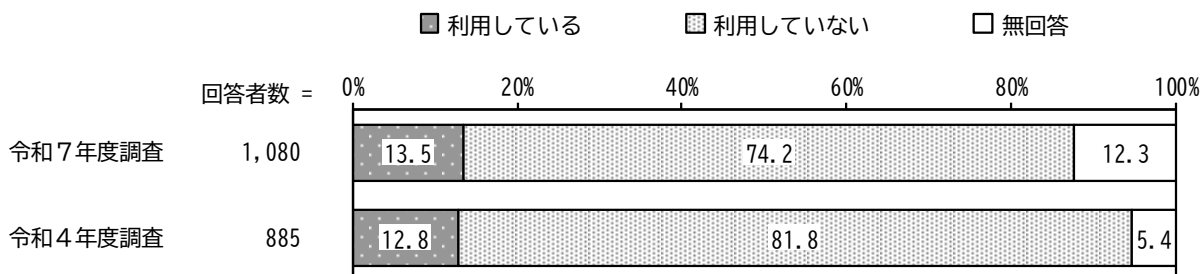
問 33 現在支払っている介護保険料の額について、どのように感じていますか。(〇は1つ)

「大変な負担である」「やや負担である」を合わせた“負担である”の割合が54.9%、「それほど負担ではない」「まったく負担ではない」を合わせた“負担ではない”の割合が23.3%となっています。
 令和4年度調査と比較すると、「やや負担である」の割合が特に減少しています。



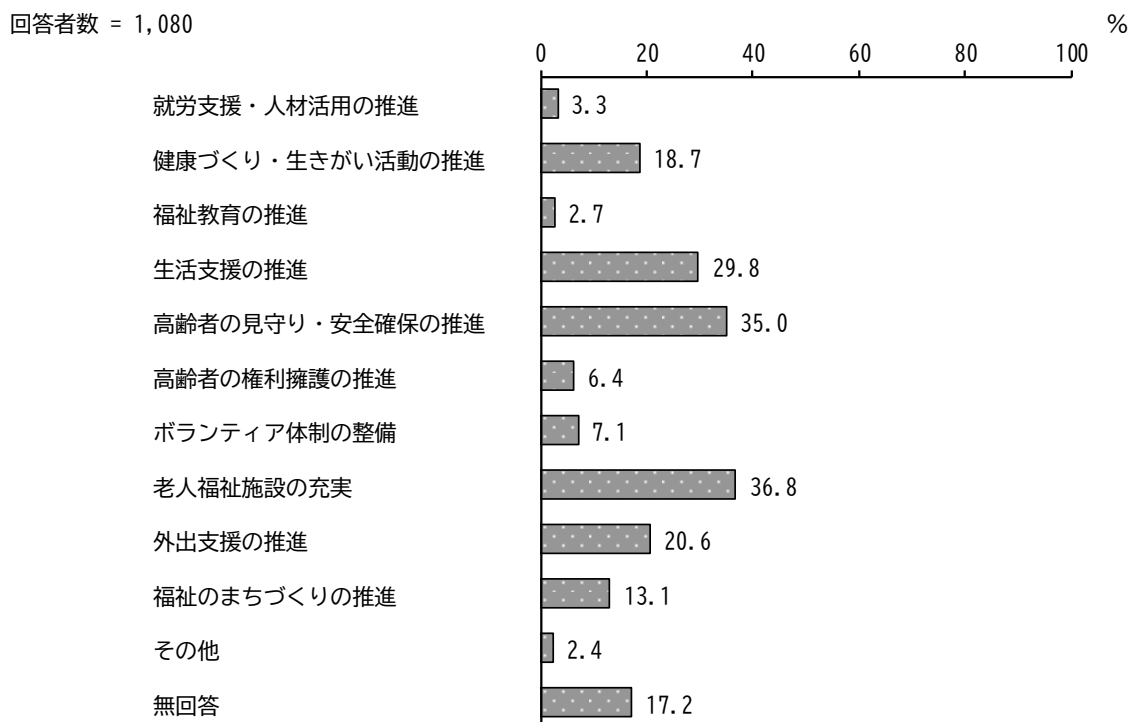
問 34 ご本人（調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか。（○は1つ）
 ※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

「利用している」の割合が13.5%、「利用していない」の割合が74.2%となっています。
 令和4年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が減少しています。



問 35 今後、蓮田市に充実して欲しい高齢者施策は何ですか。（○は3つまで）

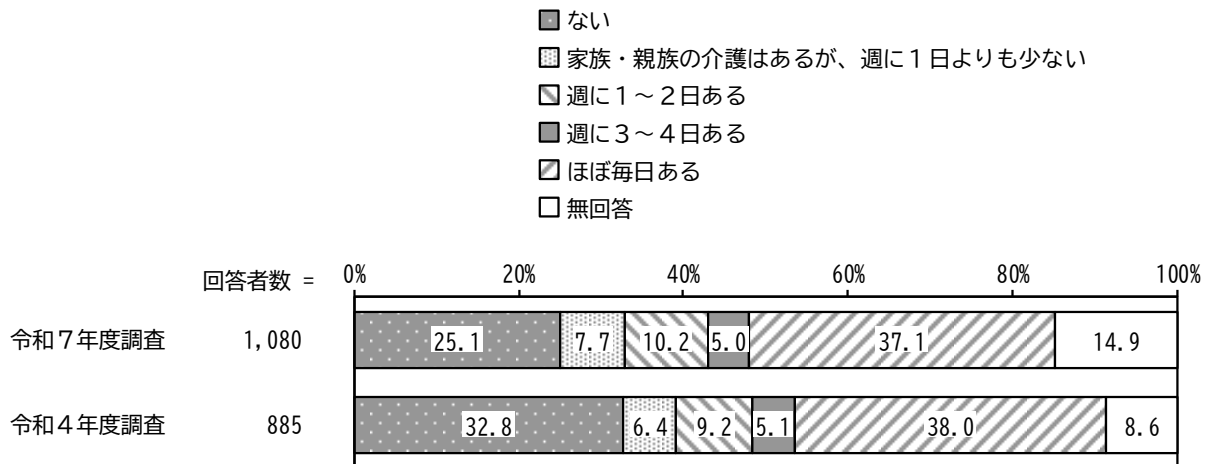
「老人福祉施設の充実」の割合が36.8%と最も高く、次いで「高齢者の見守り・安全確保の推進」の割合が35.0%、「生活支援の推進」の割合が29.8%となっています。



問 36 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。（○は1つ）

「ほぼ毎日ある」の割合が 37.1%と最も高く、次いで「ない」の割合が 25.1%、「週に1～2日ある」の割合が 10.2%となっています。

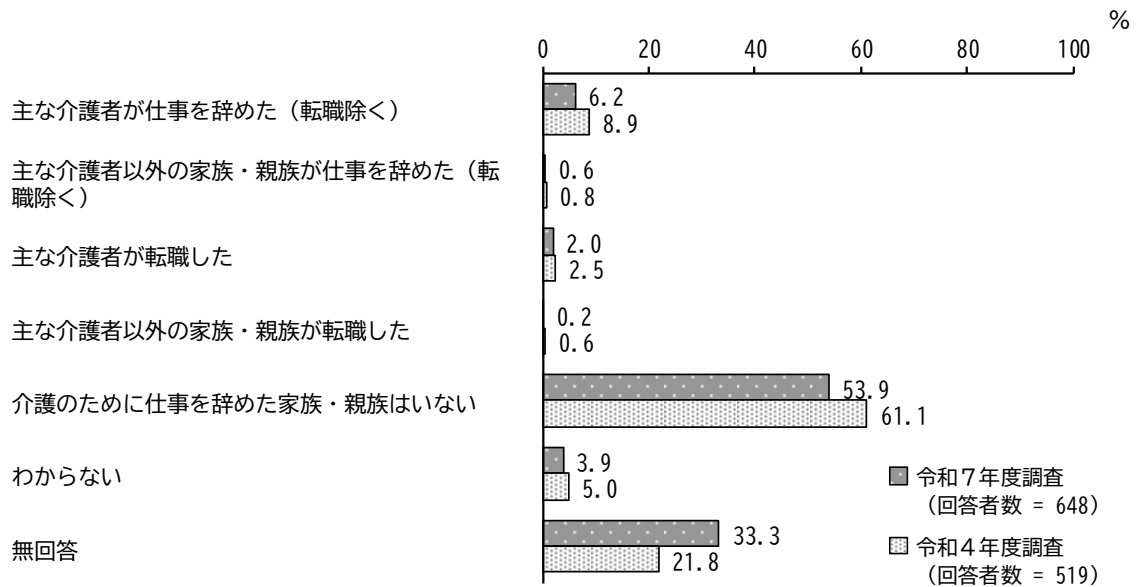
令和4年度調査と比較すると、「ない」の割合が特に減少しています。



B票 主な介護者の方について

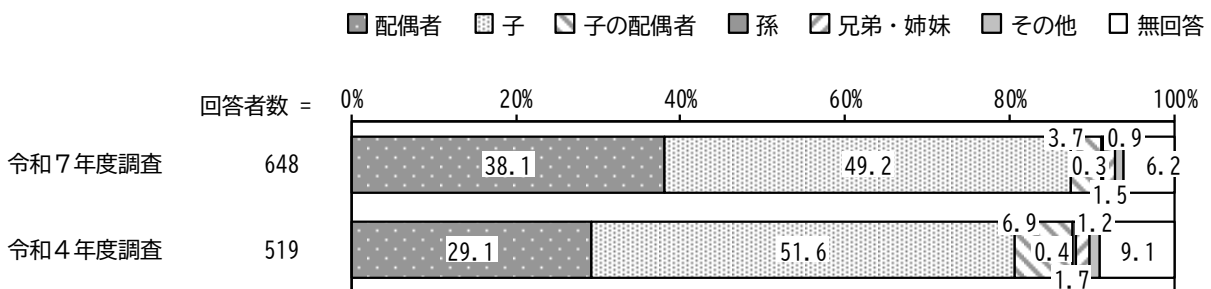
問1 ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。（○はいくつでも）
※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が53.9%と最も高くなっています。
令和4年度調査と比較すると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が特に減少しています。



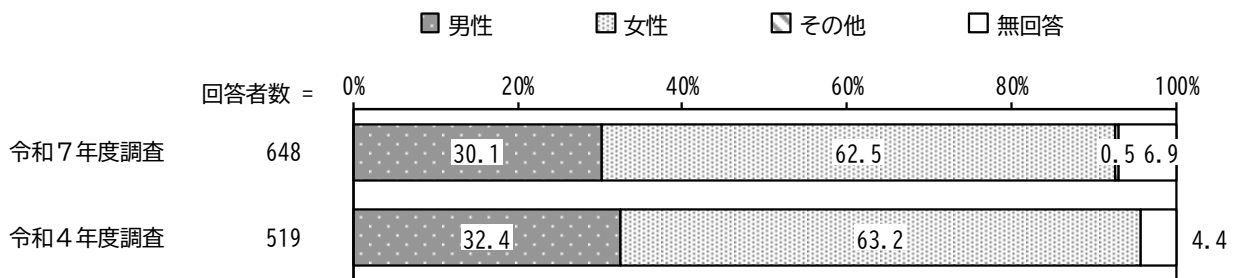
問2 主な介護者の方は、どなたですか。（○は1つ）

「子」の割合が49.2%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が38.1%となっています。
令和4年度調査と比較すると、「配偶者」の割合が特に増加しています。



問3 主な介護者の方の性別について、ご回答下さい。(○は1つ)

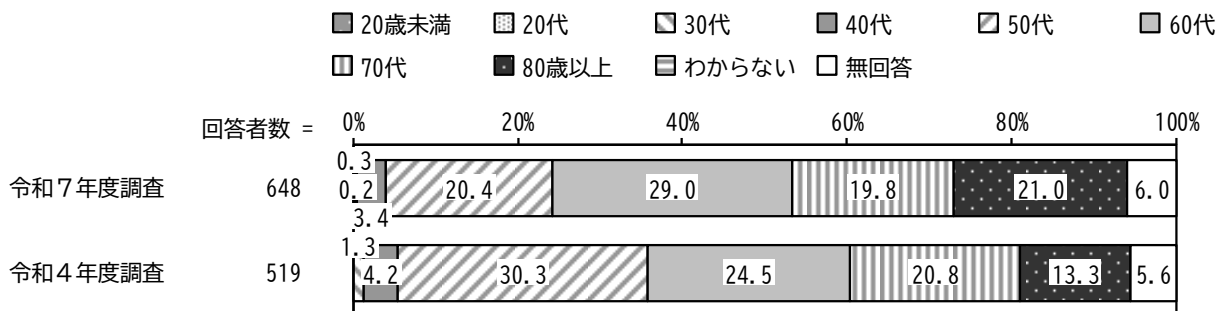
「男性」の割合が30.1%、「女性」の割合が62.5%となっています。
 令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(○は1つ)

「60代」の割合が29.0%と最も高く、次いで「80歳以上」の割合が21.0%、「50代」の割合が20.4%となっています。

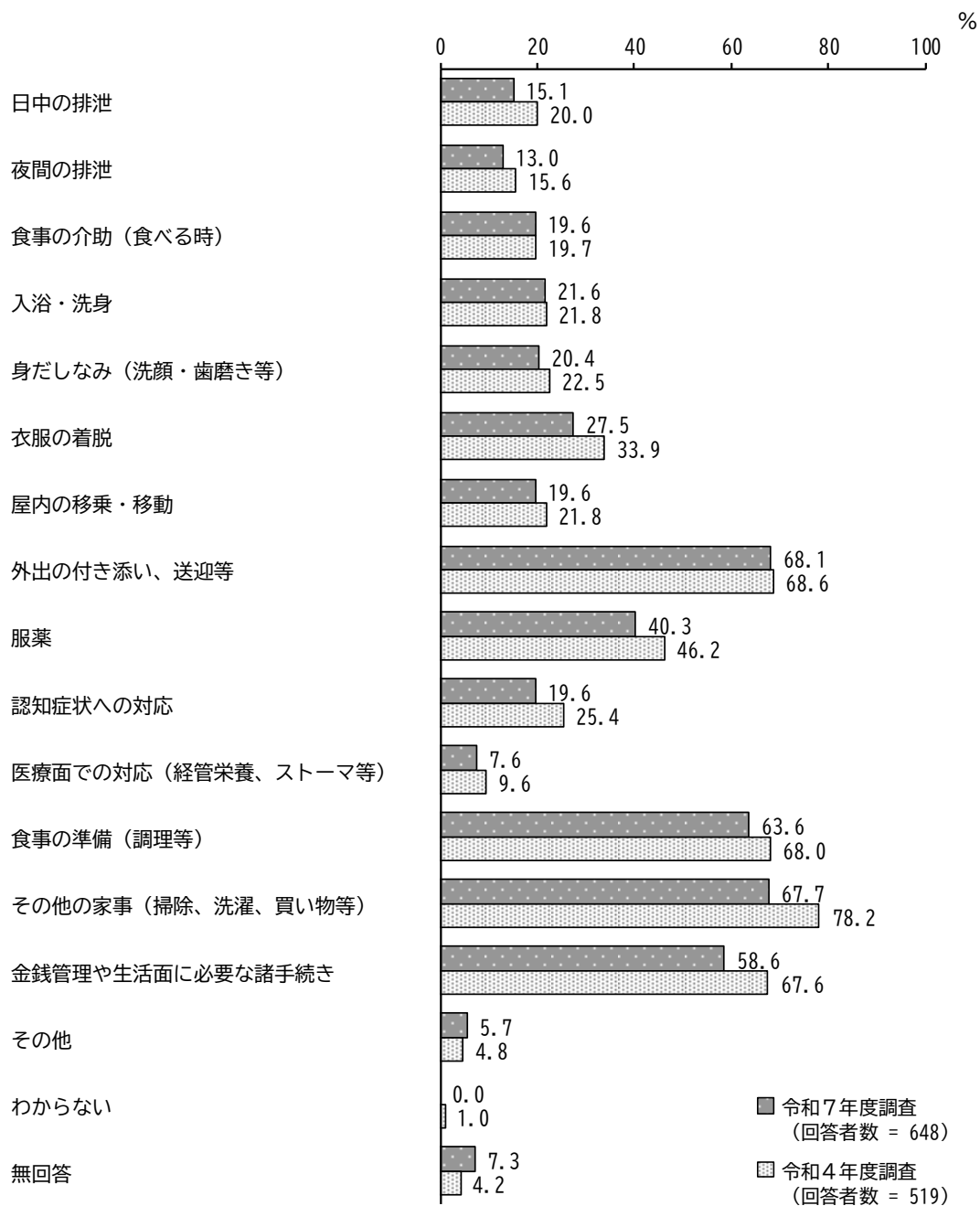
令和4年度調査と比較すると、「80歳以上」の割合が特に増加しています。一方、「50代」の割合が特に減少しています。



問5 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答下さい。
(〇はいくつでも)

「外出の付き添い、送迎等」の割合が 68.1%と最も高く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が 67.7%、「食事の準備（調理等）」の割合が 63.6%となっています。

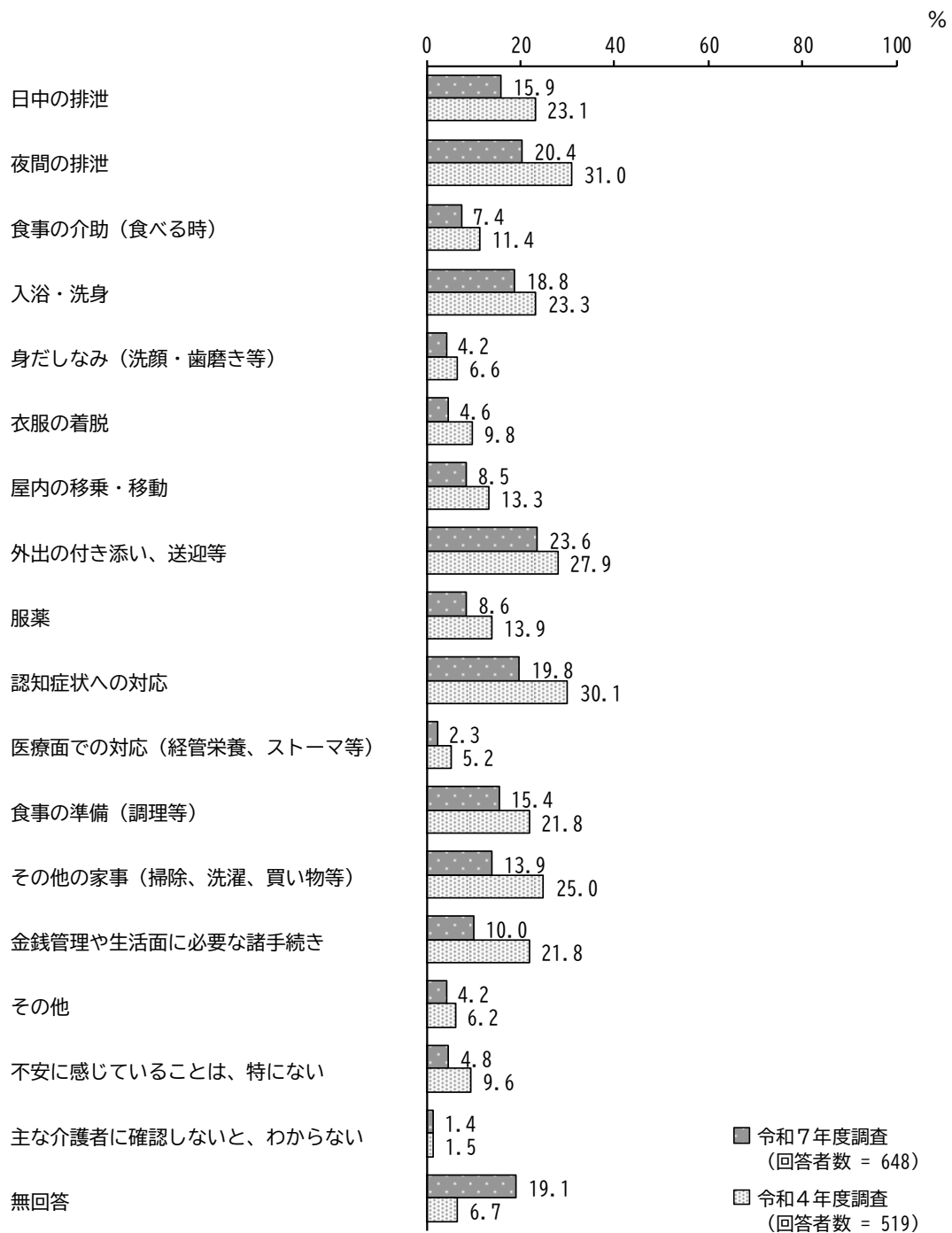
令和4年度調査と比較すると、「衣服の着脱」「服薬」「認知症状への対応」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合が特に減少しています。



問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答下さい（現状で行っているか否かは問いません）。（○は3つまで）

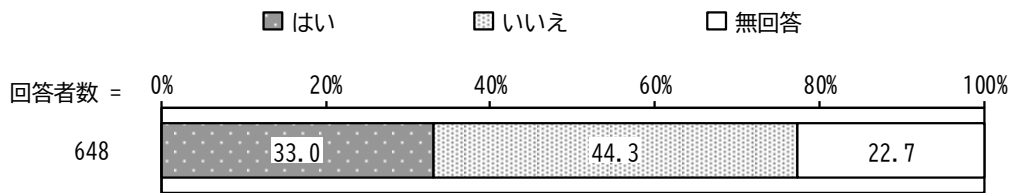
「外出の付き添い、送迎等」の割合が 23.6%と最も高く、次いで「夜間の排泄」の割合が 20.4%、「認知症状への対応」の割合が 19.8%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「日中の排泄」「夜間の排泄」「衣服の着脱」「服薬」「認知症状への対応」「食事の準備（調理等）」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合が特に減少しています。



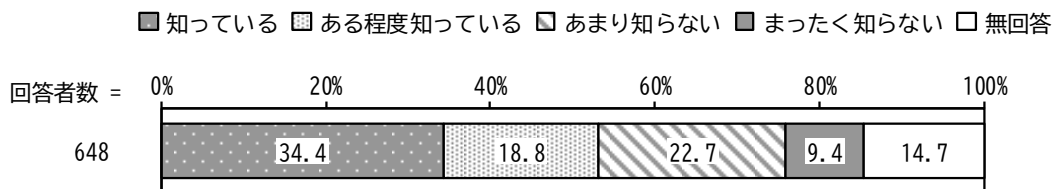
問7 介護者が相談できる窓口を知っていますか。(○は1つ)

「はい」の割合が33.0%、「いいえ」の割合が44.3%となっています。



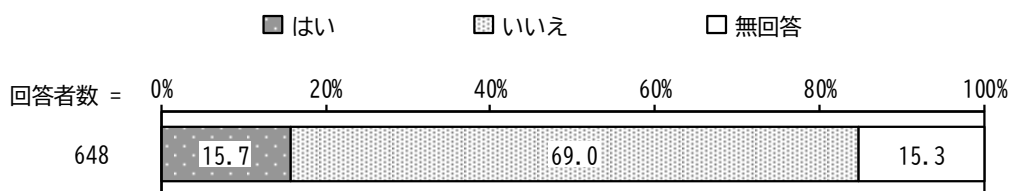
問8 地域包括支援センターについて知っていますか。(○は1つ)

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた“知っている”の割合が53.2%、「あまり知らない」「まったく知らない」を合わせた“知らない”の割合が32.1%となっています。



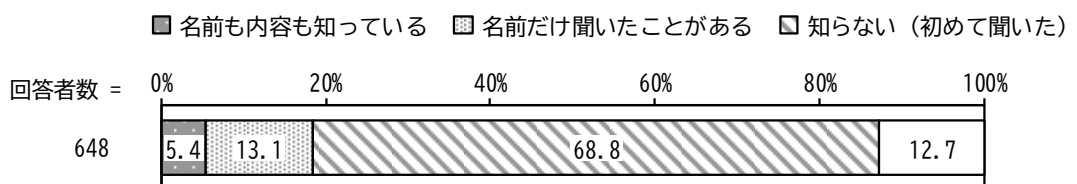
問9 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

「はい」の割合が15.7%、「いいえ」の割合が69.0%となっています。



問10 「新しい認知症観」を知っていますか。(○は1つ)

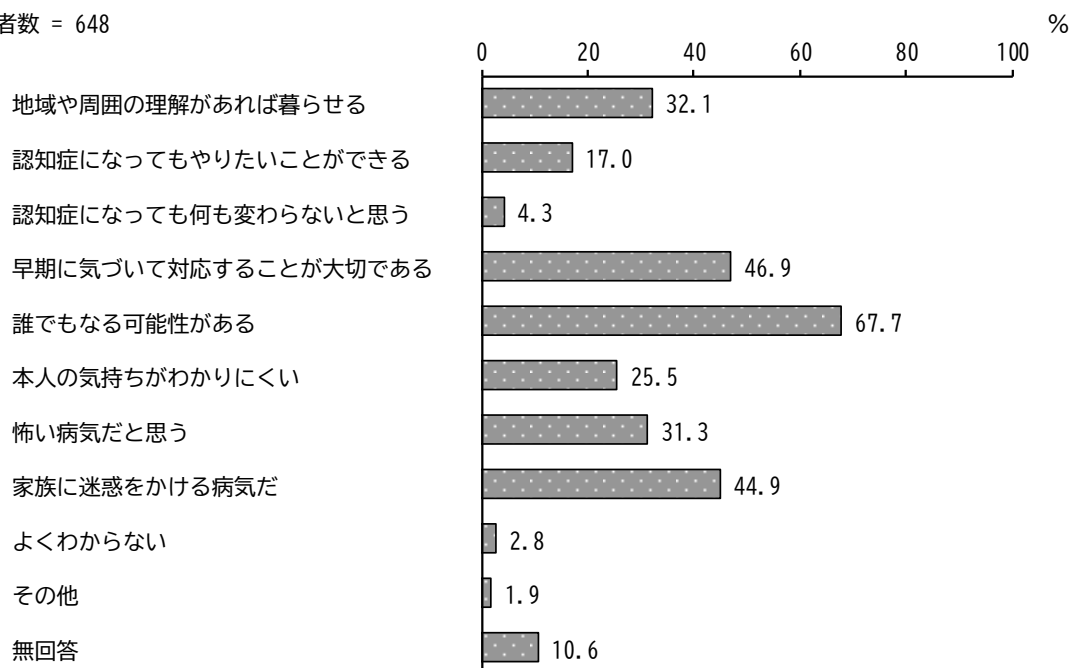
「名前も内容も知っている」の割合が5.4%、「名前だけ聞いたことがある」の割合が13.1%、「知らない(初めて聞いた)」の割合が68.8%となっています。



問11 あなたは「認知症」に対してどのようなイメージを持っていますか。
(〇はいくつでも)

「誰でもなる可能性がある」の割合が 67.7%と最も高く、次いで「早期に気づいて対応することが大切である」の割合が 46.9%、「家族に迷惑をかける病気だ」の割合が 44.9%となっています。

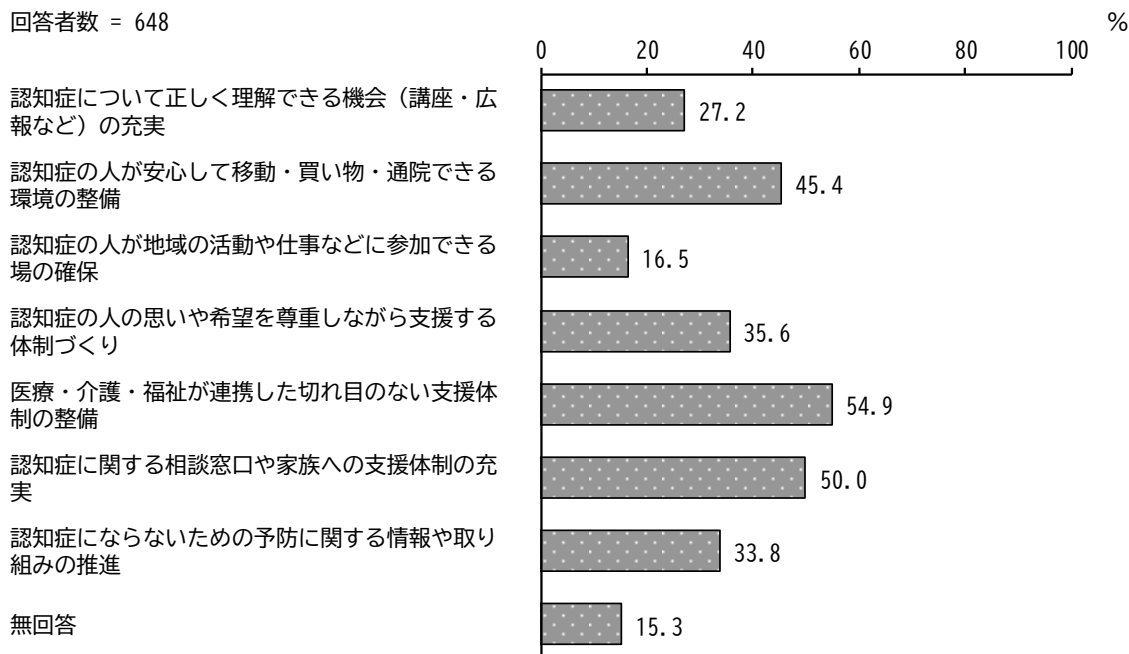
回答者数 = 648



問12 あなたは、認知症のご本人やそのご家族が、住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、特に必要だと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

「医療・介護・福祉が連携した切れ目のない支援体制の整備」の割合が 54.9%と最も高く、次いで「認知症に関する相談窓口や家族への支援体制の充実」の割合が 50.0%、「認知症の人が安心して移動・買い物・通院できる環境の整備」の割合が 45.4%となっています。

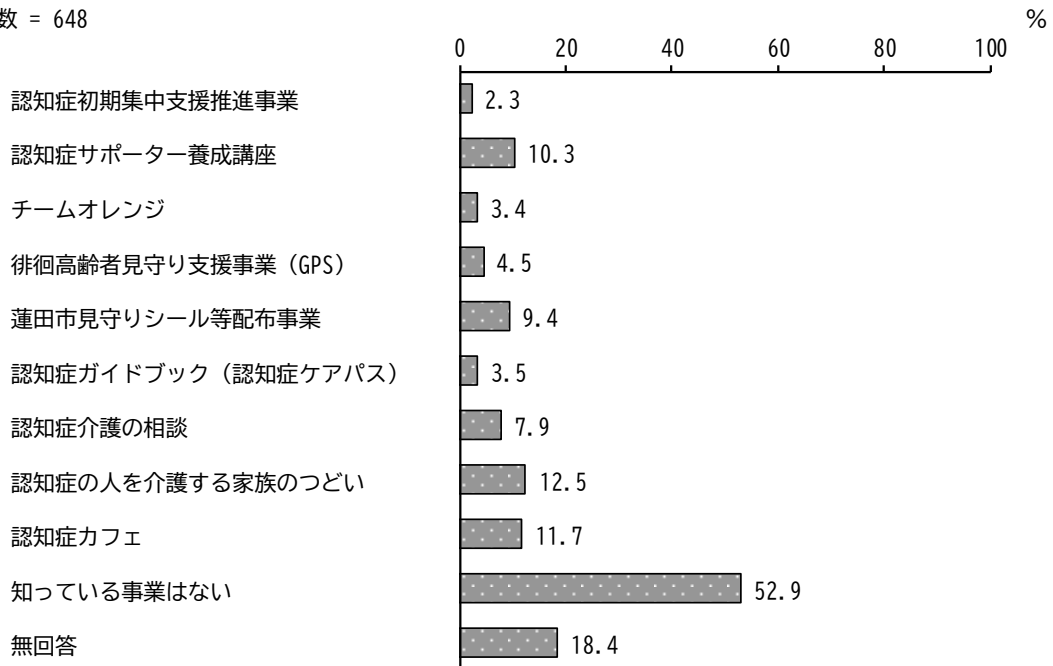
回答者数 = 648



問 13 あなたが知っている事業は何ですか。(○はいくつでも)

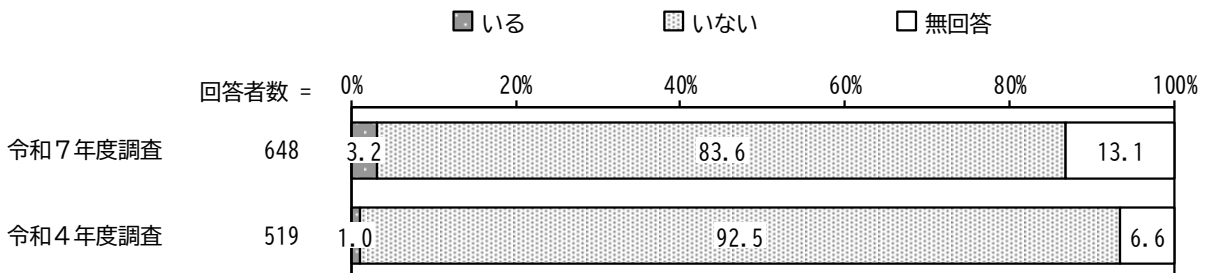
「認知症の人を介護する家族のつどい」の割合が 12.5%と最も高く、次いで「認知症カフェ」の割合が 11.7%、「認知症サポーター養成講座」の割合が 10.3%となっています。

回答者数 = 648



問 14 介護や家事などを日常的に行っている 18 歳未満の方がいますか。(○は1つ)
※問 2 の「主な介護者」を助けている場合も含まれます。

「いる」の割合が 3.2%、「いない」の割合が 83.6%となっています。
令和 4 年度調査と比較すると、「いない」の割合が減少しています。

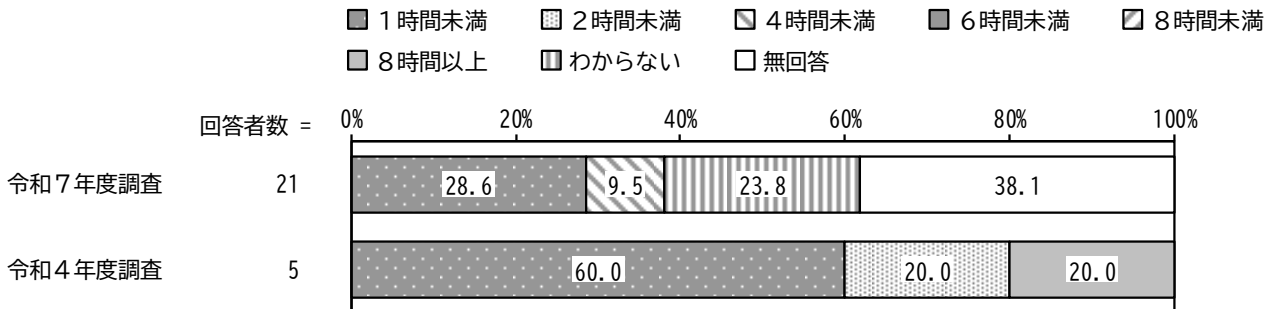


【問14で「いる」を選択した方のみ】

問15 18歳未満の方が、平日の1日あたりに家事や家族のお世話に充てる平均的な時間はどれくらいですか。(〇は1つ)

「1時間未満」の割合が28.6%と最も高くなっています。

令和4年度調査と比較すると、「4時間未満」の割合が増加しています。一方、「1時間未満」「2時間未満」「8時間以上」の割合が減少しています。

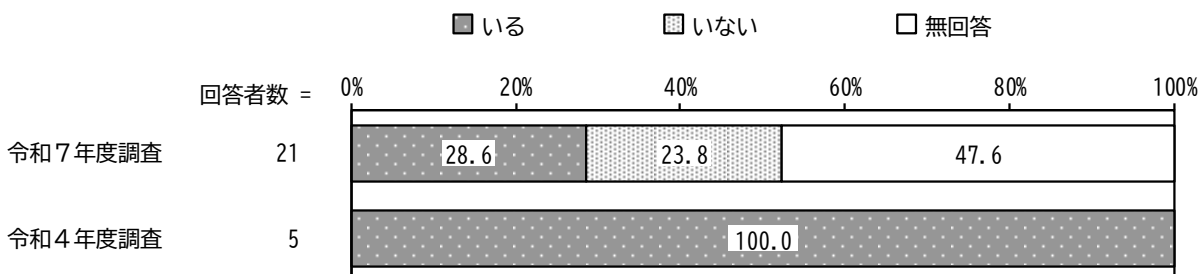


【問14で「いる」を選択した方のみ】

問16 18歳未満の方が、家族のお世話に関する悩みや不満を話せる人がいますか。(〇は1つ)

「いる」の割合が28.6%、「いない」の割合が23.8%となっています。

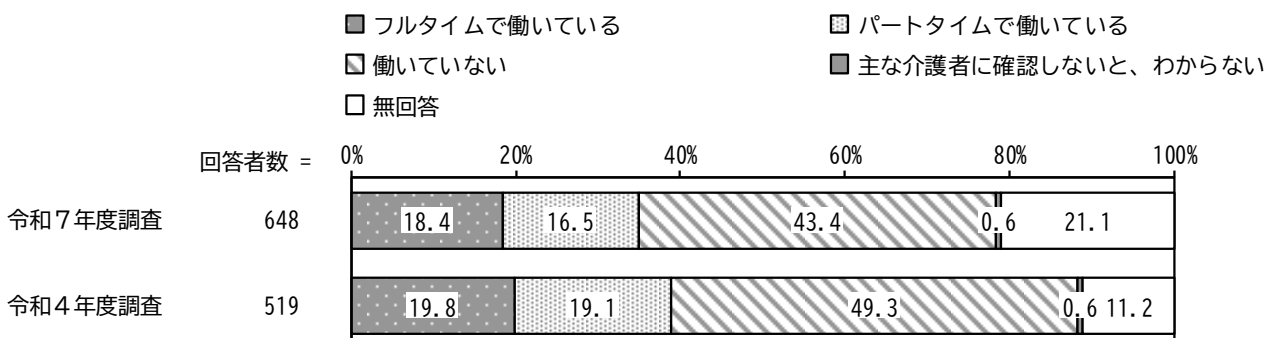
令和4年度調査と比較すると、「いる」の割合が減少しています。



問17 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答下さい。(〇は1つ)

「フルタイムで働いている」の割合が18.4%、「パートタイムで働いている」の割合が16.5%、「働いていない」の割合が43.4%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「働いていない」の割合が特に減少しています。

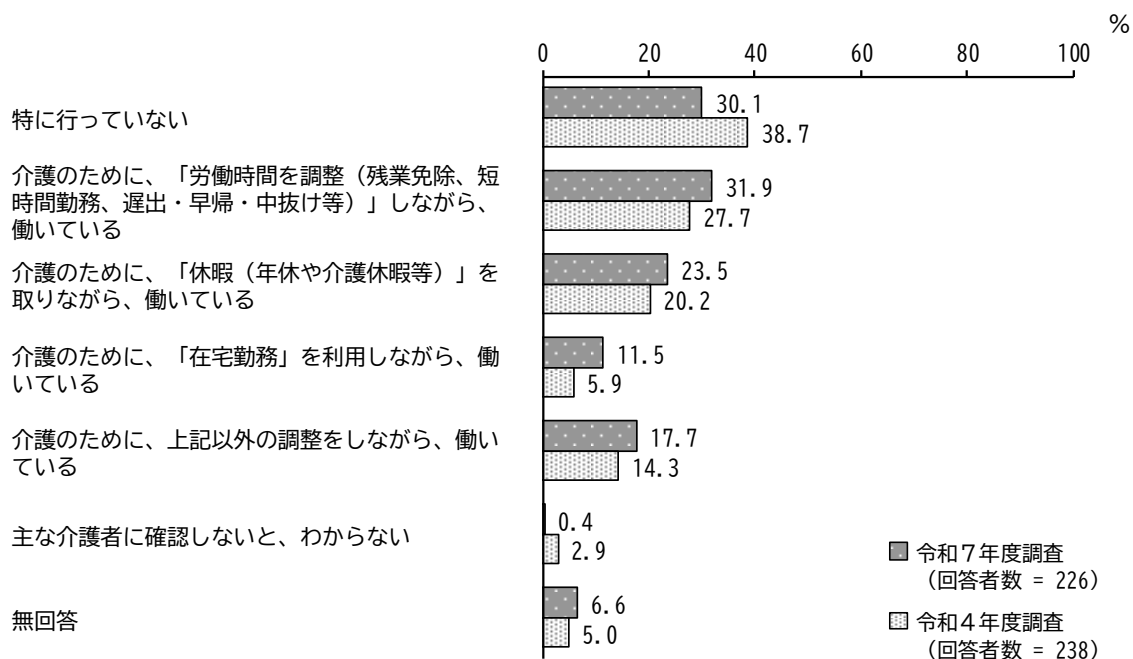


【問17で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」を選択した方のみ】

問18 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていま
すか。(〇はいくつでも)

「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働
いている」の割合が31.9%と最も高く、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取り
ながら、働いている」の割合が23.5%、「介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている」の
割合が17.7%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」の割合が
特に増加しています。



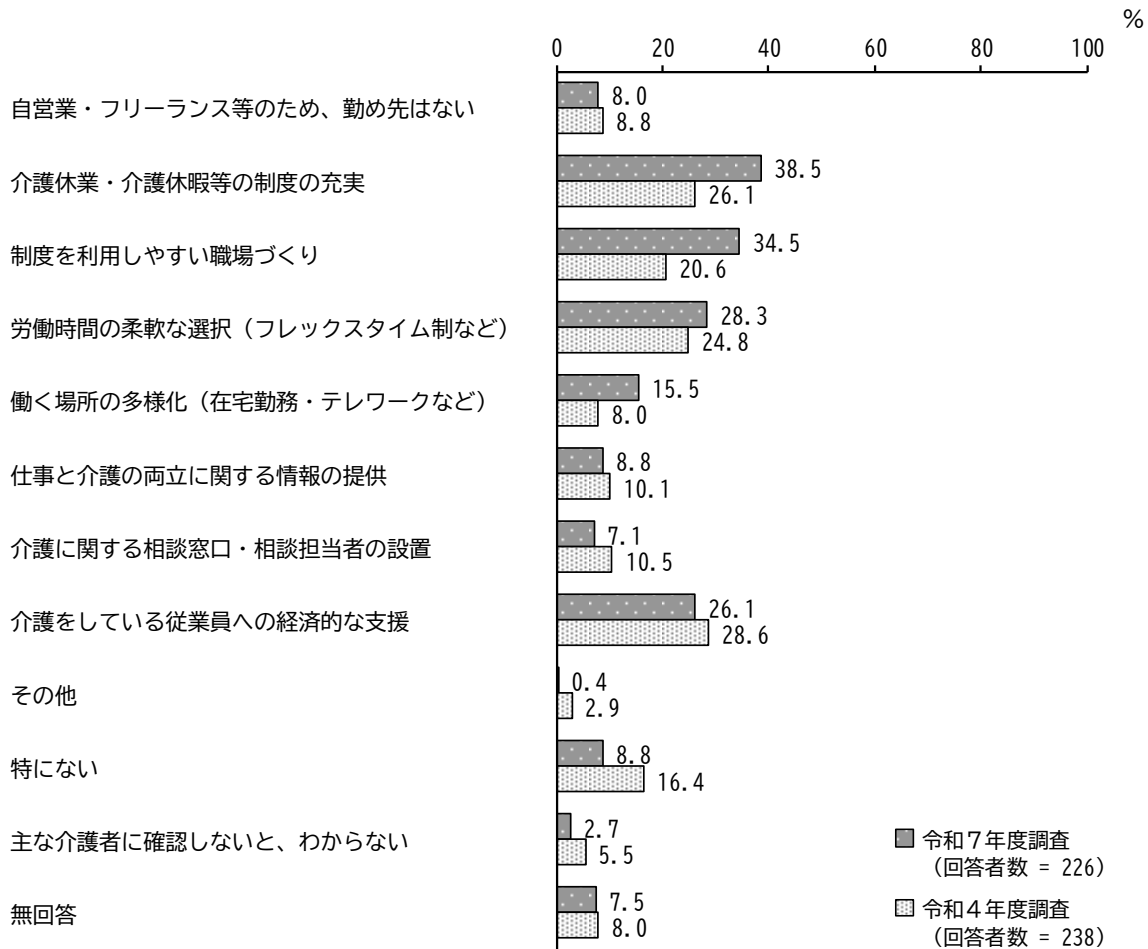
※令和4年度調査では、「介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている」を「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」としていました。

【問 17 で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」を選択した方のみ】

問 19 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(〇は3つまで)

「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」の割合が 34.5%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」の割合が 28.3%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「制度を利用しやすい職場づくり」「働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）」の割合が特に増加しています。

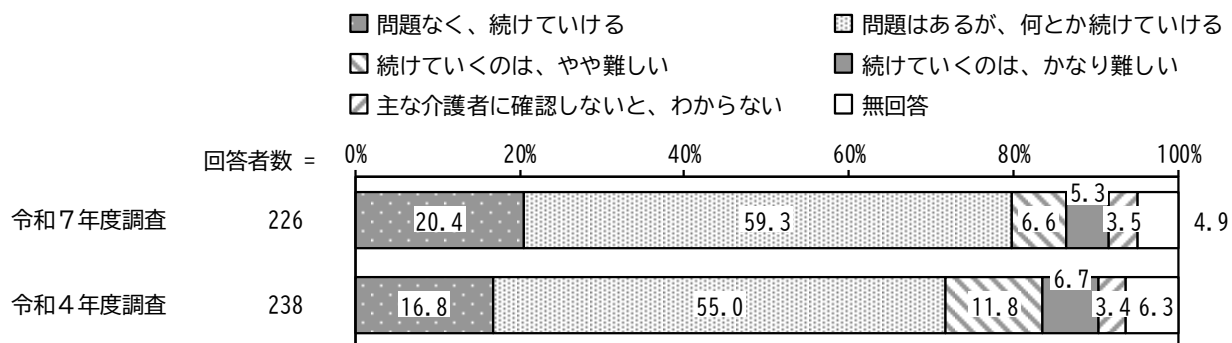


【問17で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」を選択した方のみ】

問20 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(○は1つ)

「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が59.3%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」の割合が20.4%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「続けていくのは、やや難しい」の割合が特に減少しています。



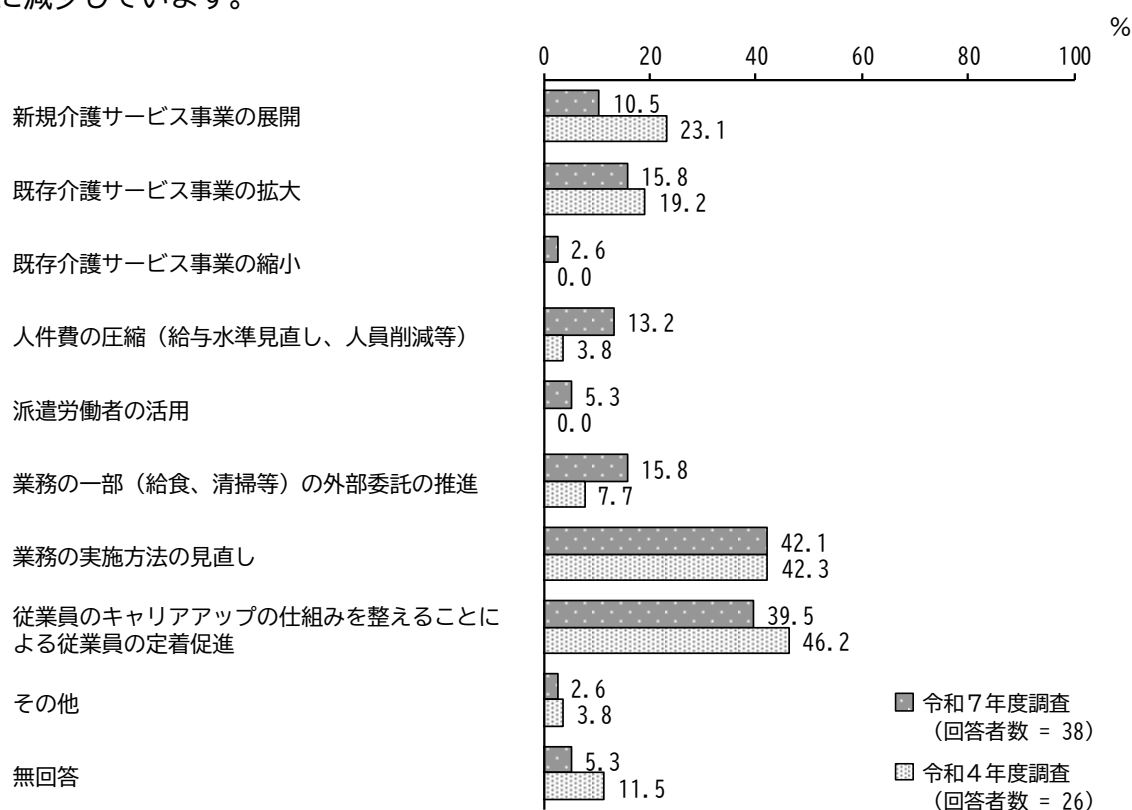
IV 介護保険サービス提供事業所調査結果

1 事業所の運営について

問1 貴事業所において、経営効率化のために取り組んでいることはありますか。
(〇はいくつでも)

「業務の実施方法の見直し」の割合が42.1%と最も高く、次いで「従業員のキャリアアップの仕組みを整えることによる従業員の定着促進」の割合が39.5%、「既存介護サービス事業の拡大」、「業務の一部（給食、清掃等）の外部委託の推進」の割合が15.8%となっています。

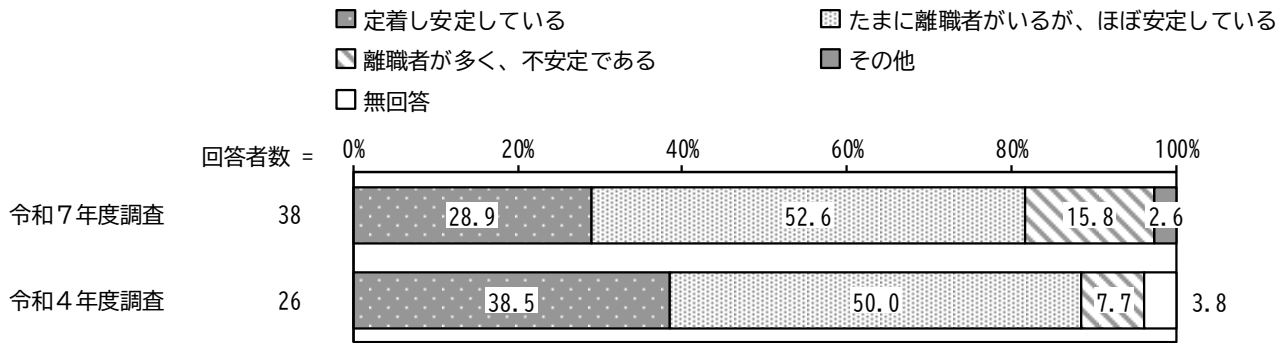
令和4年度調査と比較すると、「人件費の圧縮（給与水準見直し、人員削減等）」「派遣労働者の活用」「業務の一部（給食、清掃等）の外部委託の推進」の割合が特に増加しています。一方、「新規介護サービス事業の展開」「従業員のキャリアアップの仕組みを整えることによる従業員の定着促進」の割合が特に減少しています。



問2 貴事業所では、職員の定着についておおむねどのような状況ですか。(〇は1つ)

「定着し安定している」の割合が 28.9%、「たまに離職者がいるが、ほぼ安定している」の割合が 52.6%、「離職者が多く、不安定である」の割合が 15.8%となっています。

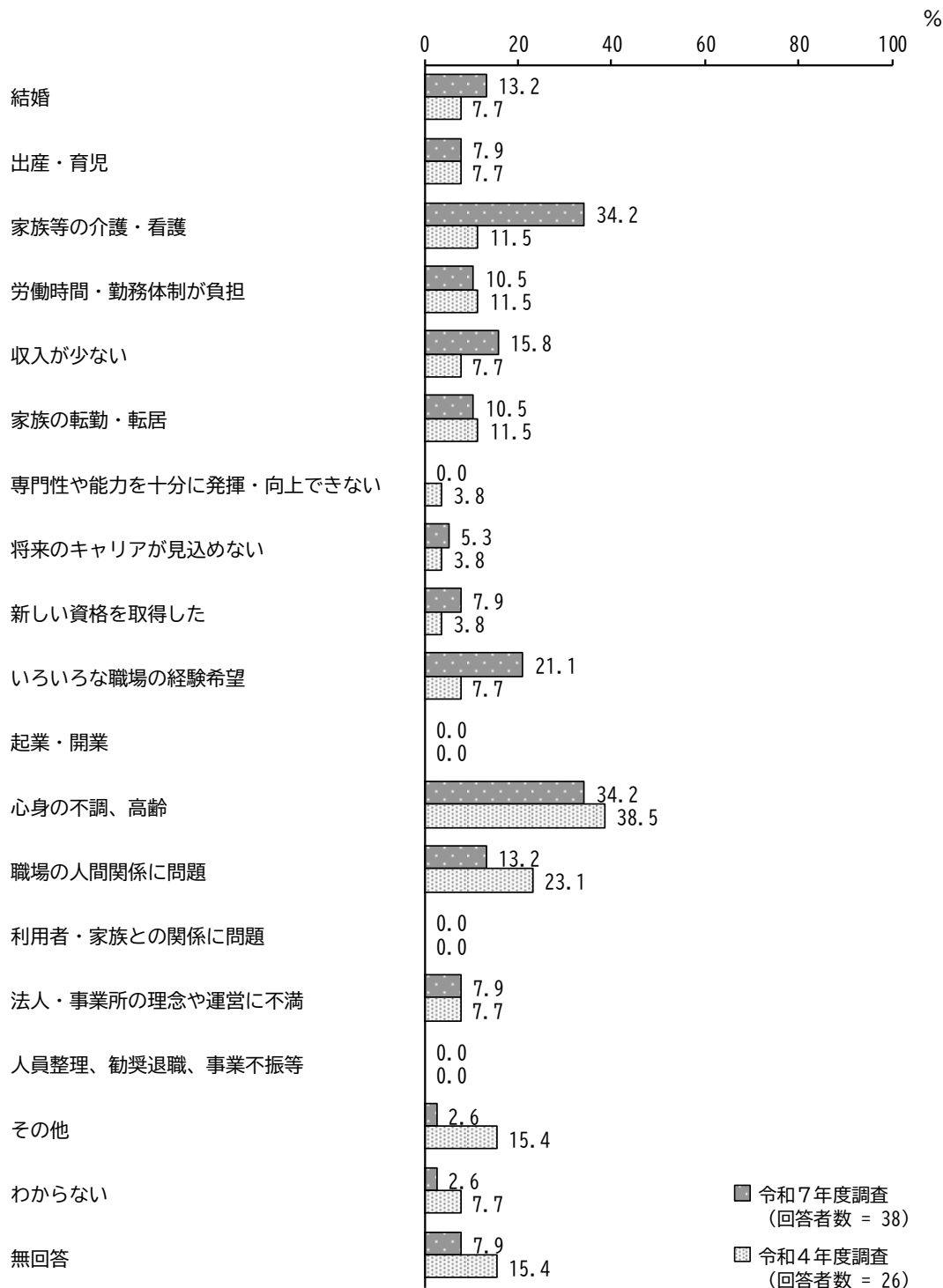
令和4年度調査と比較すると、「離職者が多く、不安定である」の割合が特に増加しています。一方、「定着し安定している」の割合が減少しています。



問3 離職理由について、把握している範囲でご回答ください。(〇はいくつでも)

「家族等の介護・看護」、「心身の不調、高齢」の割合が34.2%と最も高く、次いで「いろいろな職場の経験希望」の割合が21.1%となっています。

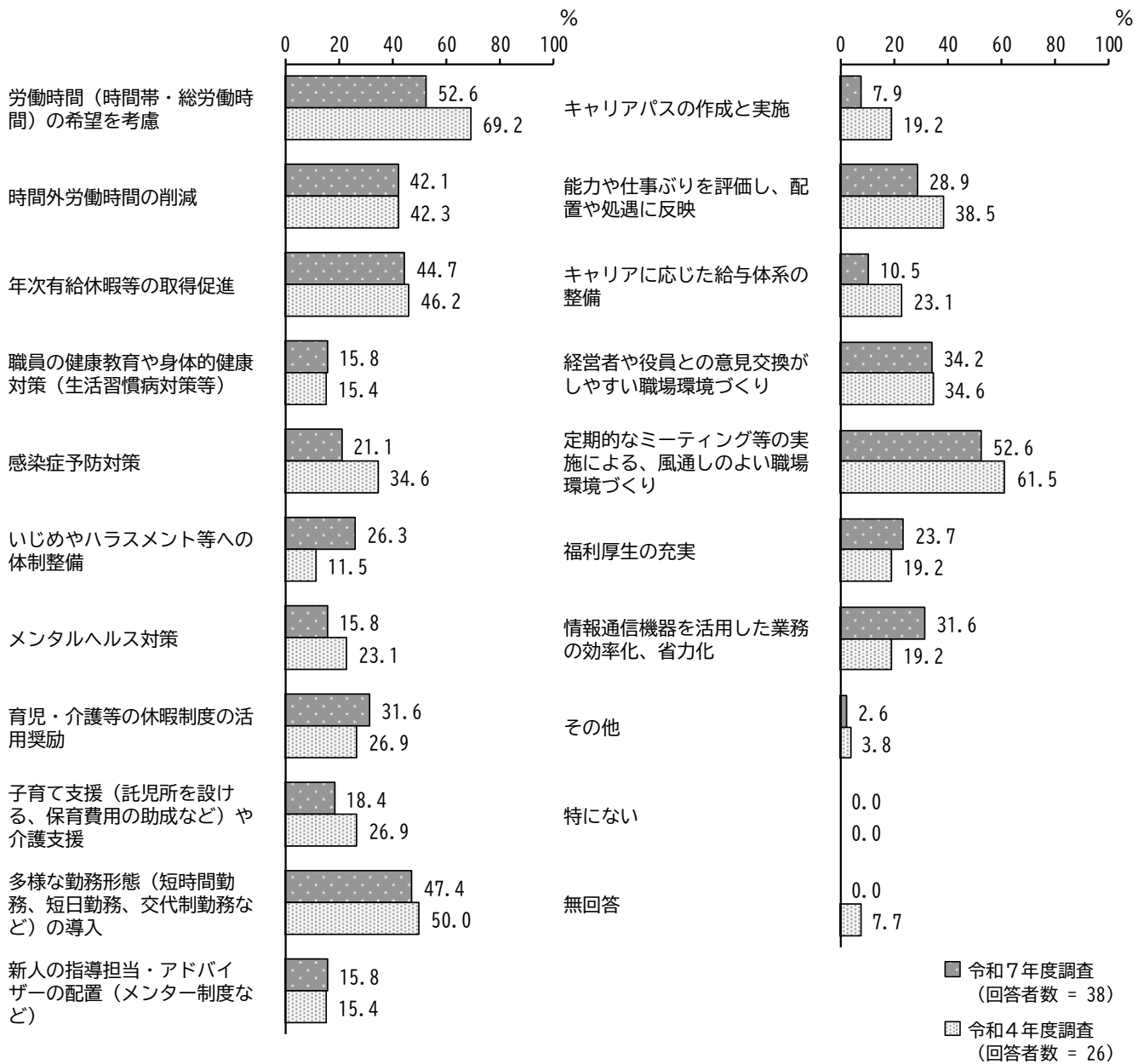
令和4年度調査と比較すると、「結婚」「家族等の介護・看護」「収入が少ない」「いろいろな職場の経験希望」の割合が特に増加しています。一方、「職場の人間関係に問題」の割合が特に減少しています。



問4 人材を定着させるために取り組んでいることは何ですか。(〇はいくつでも)

「労働時間（時間帯・総労働時間）の希望を考慮」、「定期的なミーティング等の実施による、風通しのよい職場環境づくり」の割合が52.6%と最も高く、次いで「多様な勤務形態（短時間勤務、短日勤務、交代制勤務など）の導入」の割合が47.4%となっています。

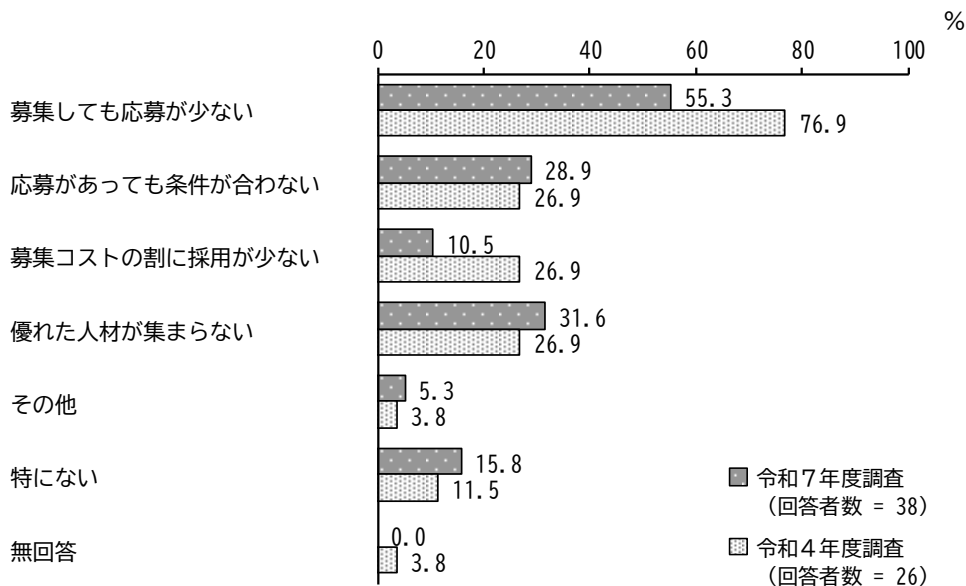
令和4年度調査と比較すると、「いじめやハラスメント等への体制整備」「情報通信機器を活用した業務の効率化、省力化」の割合が特に増加しています。一方、「労働時間（時間帯・総労働時間）の希望を考慮」「感染症予防対策」「メンタルヘルス対策」「子育て支援（託児所を設ける、保育費用の助成など）や介護支援」「キャリアパスの作成と実施」「能力や仕事を評価し、配置や処遇に反映」「キャリアに応じた給与体系の整備」「定期的なミーティング等の実施による、風通しのよい職場環境づくり」の割合が特に減少しています。



問5 人材を新たに確保する際に困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

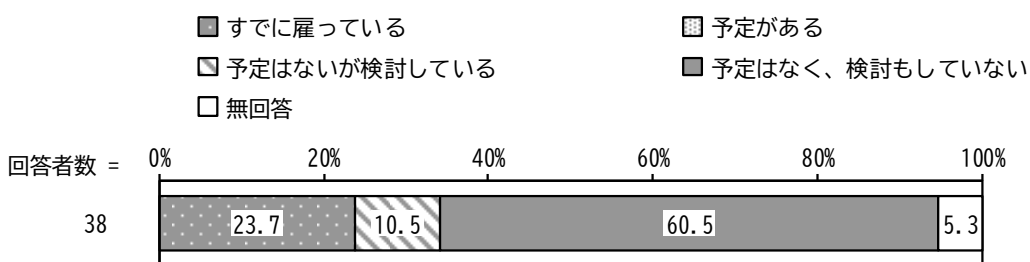
「募集しても応募が少ない」の割合が 55.3%と最も高く、次いで「優れた人材が集まらない」の割合が 31.6%、「応募があっても条件が合わない」の割合が 28.9%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「募集しても応募が少ない」「募集コストの割に採用が少ない」の割合が減少しています。



問6 貴事業所において、外国人従業者を雇う予定はありますか。(〇は1つ)

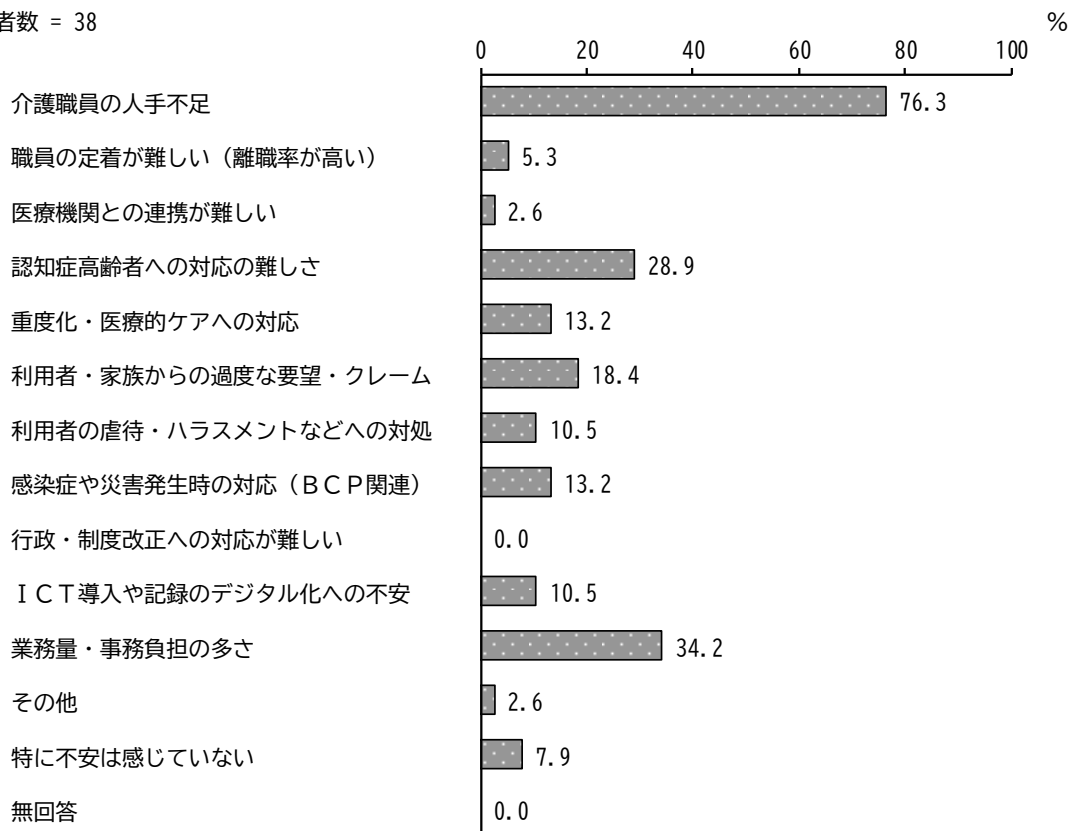
「予定はなく、検討もしていない」の割合が 60.5%と最も高く、次いで「すでに雇っている」の割合が 23.7%、「予定はないが検討している」の割合が 10.5%となっています。



問7 現在、介護サービスを提供する上で、不安に感じていることは何ですか。
(○はいくつでも)

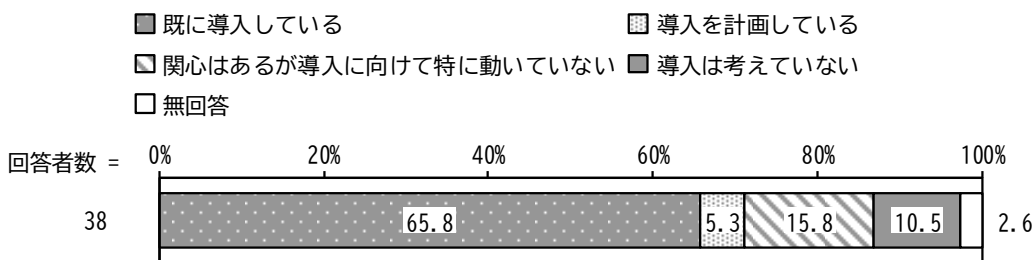
「介護職員の人手不足」の割合が 76.3%と最も高く、次いで「業務量・事務負担の多さ」の割合が 34.2%、「認知症高齢者への対応の難しさ」の割合が 28.9%となっています。

回答者数 = 38



問8 貴事業所では I C T を利用して業務を行っていますか。(○は1つ)

「既に導入している」の割合が 65.8%と最も高く、次いで「関心はあるが導入に向けて特に動いていない」の割合が 15.8%、「導入は考えていない」の割合が 10.5%となっています。

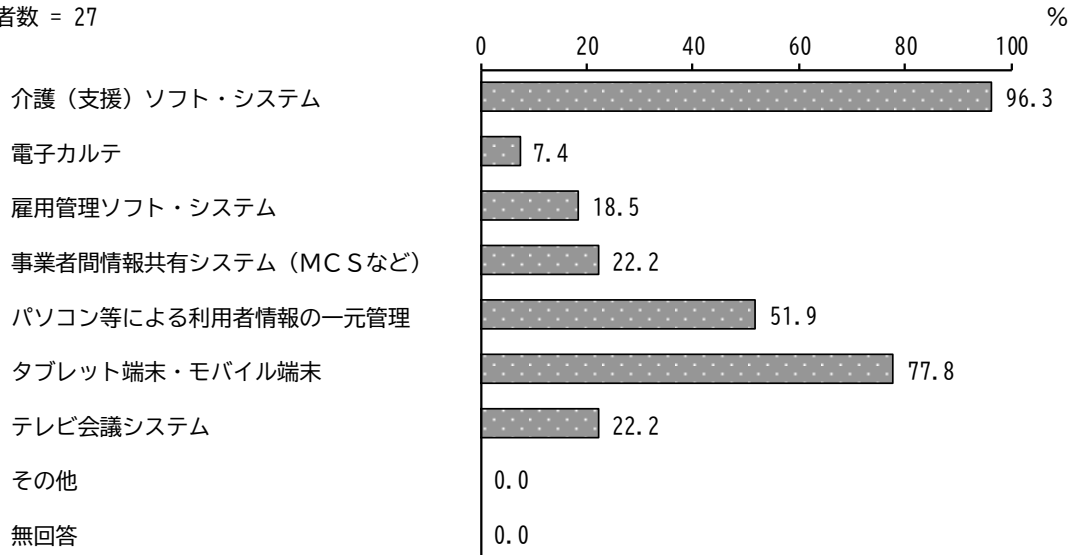


【問8で「既に導入している」「導入を計画している」を選択した方のみ】

問9 導入した（導入を計画している）ICTは次のうちどれですか。（〇はいくつでも）

「介護（支援）ソフト・システム」の割合が96.3%と最も高く、次いで「タブレット端末・モバイル端末」の割合が77.8%、「パソコン等による利用者情報の一元管理」の割合が51.9%となっています。

回答者数 = 27

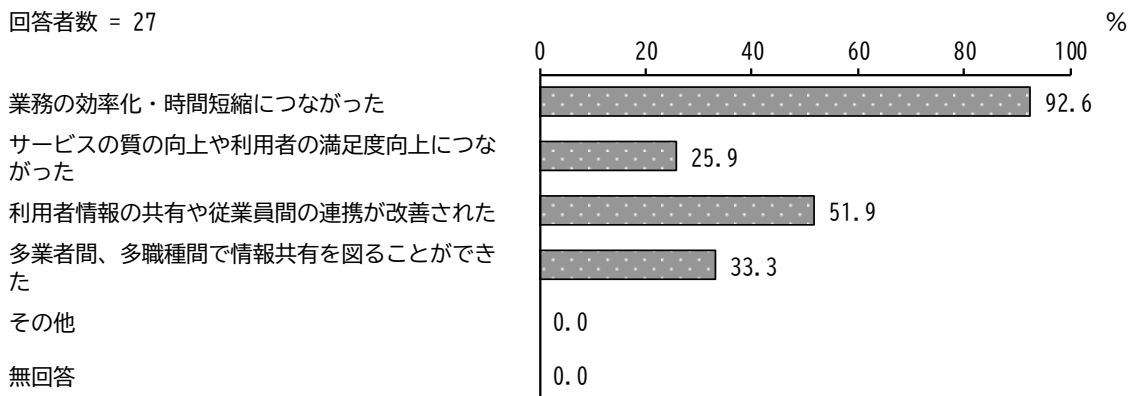


【問8で「既に導入している」「導入を計画している」を選択した方のみ】

問10 ICTを導入してよかったことや効果があったことを教えてください。（〇はいくつでも）

「業務の効率化・時間短縮につながった」の割合が92.6%と最も高く、次いで「利用者情報の共有や従業員間の連携が改善された」の割合が51.9%、「多業者間、多職種間で情報共有を図ることができた」の割合が33.3%となっています。

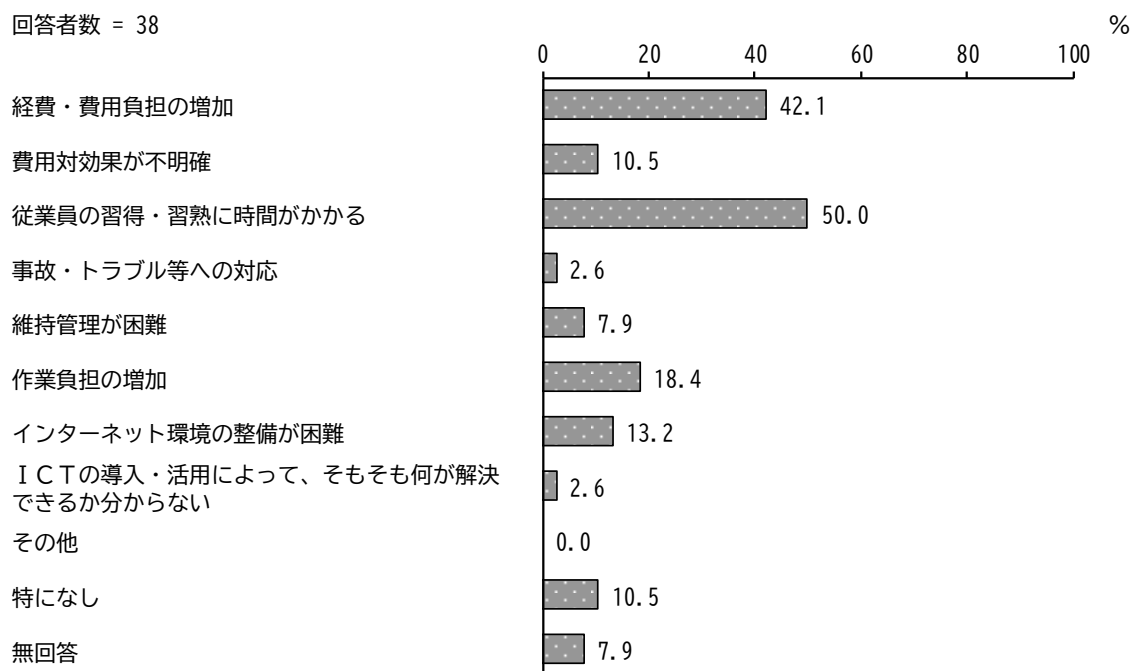
回答者数 = 27



問 11 ICTの導入・活用にあたって課題があれば教えてください。(〇はいくつでも)

「従業員の習得・習熟に時間がかかる」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「経費・費用負担の増加」の割合が 42.1%、「作業負担の増加」の割合が 18.4%となっています。

回答者数 = 38

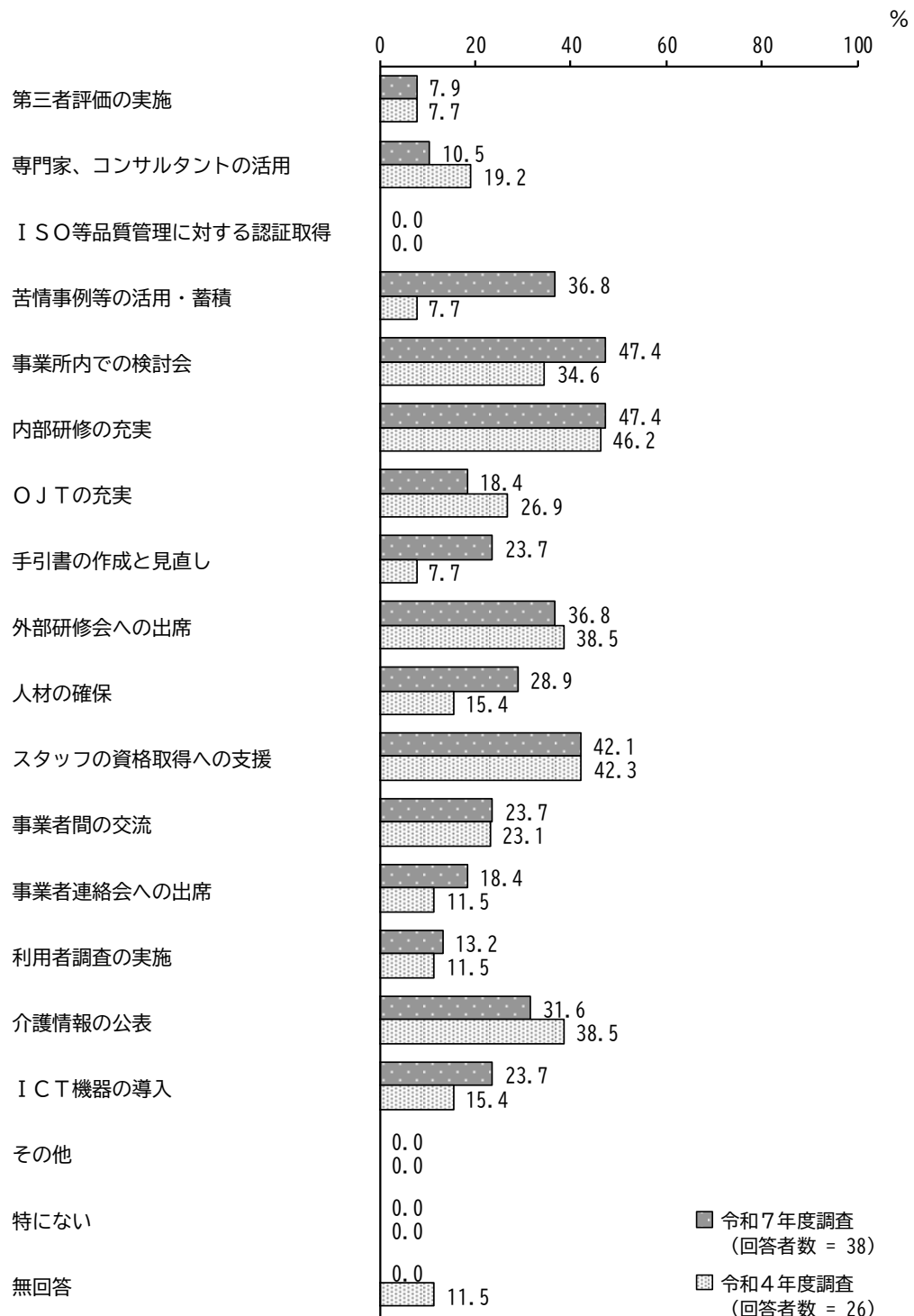


2 サービスの質の向上について

問12 現在、貴事業所では質の向上に対する取り組みをどのように行っていますか。
(〇はいくつでも)

「事業所内での検討会」、「内部研修の充実」の割合が47.4%と最も高く、次いで「スタッフの資格取得への支援」の割合が42.1%となっています。

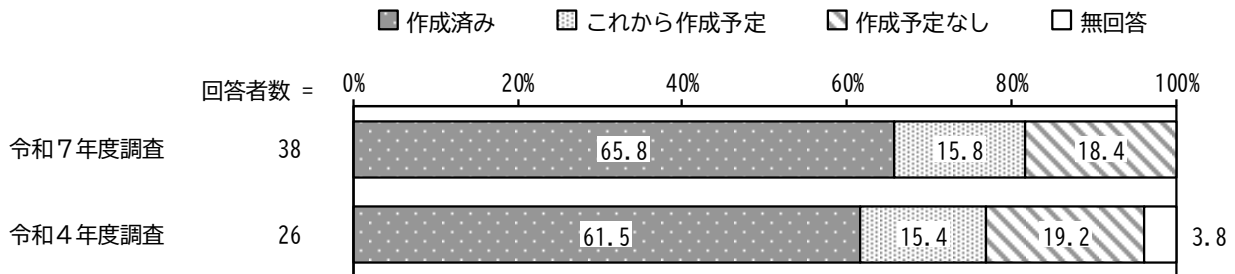
令和4年度調査と比較すると、「苦情事例等の活用・蓄積」「事業所内での検討会」「手引書の作成と見直し」「人材の確保」「事業者連絡会への出席」「ICT機器の導入」の割合が特に増加しています。一方、「専門家、コンサルタントの活用」「OJTの充実」「介護情報の公表」の割合が特に減少しています。



問 13 職員の教育・研修計画を作成していますか。(○は1つ)

「作成済み」の割合が 65.8%、「これから作成予定」の割合が 15.8%、「作成予定なし」の割合が 18.4% となっています。

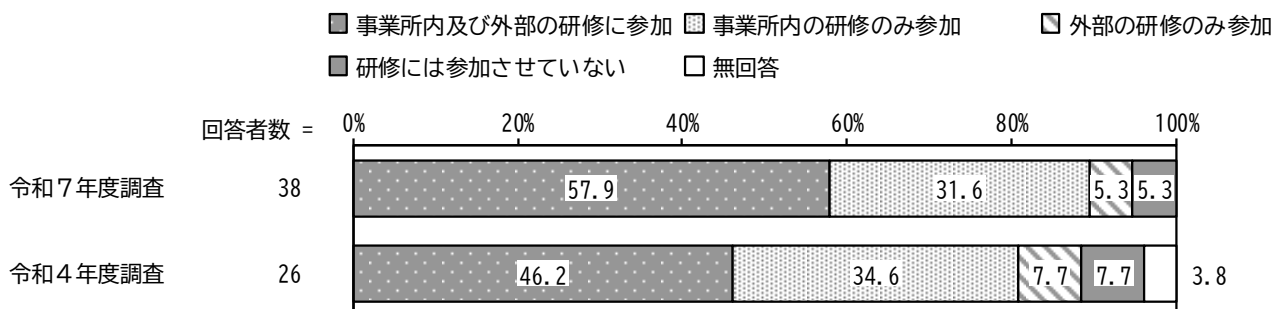
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 14 今年度、サービスの質の向上に向けた研修に職員を参加（予定を含む）させていますか。(○は1つ)

「事業所内及び外部の研修に参加」の割合が 57.9%と最も高く、次いで「事業所内の研修のみ参加」の割合が 31.6%となっています。

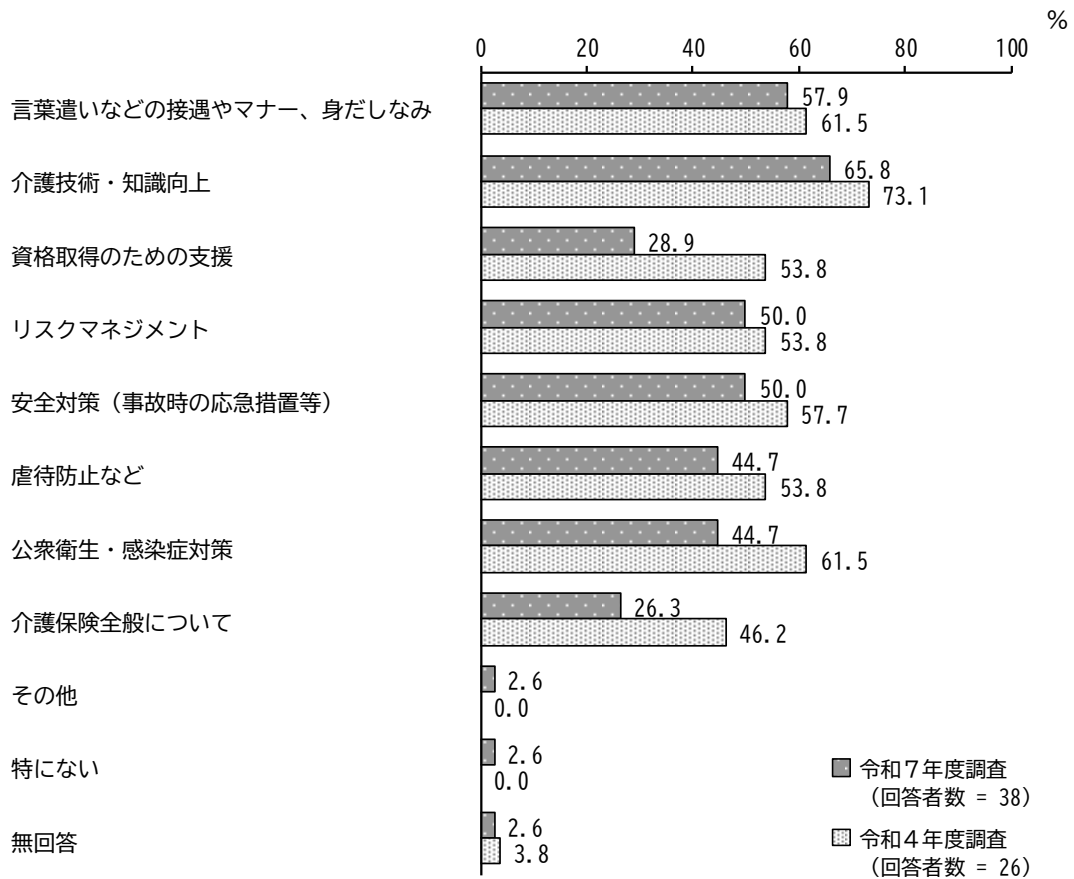
令和4年度調査と比較すると、「事業所内及び外部の研修に参加」の割合が増加しています。



問 15 今後、職員を参加させたい研修はどのような内容のものですか。(〇はいくつでも)

「介護技術・知識向上」の割合が 65.8%と最も高く、次いで「言葉遣いなどの接遇やマナー、身だしなみ」の割合が 57.9%、「リスクマネジメント」、「安全対策（事故時の応急措置等）」の割合が 50.0%となっています。

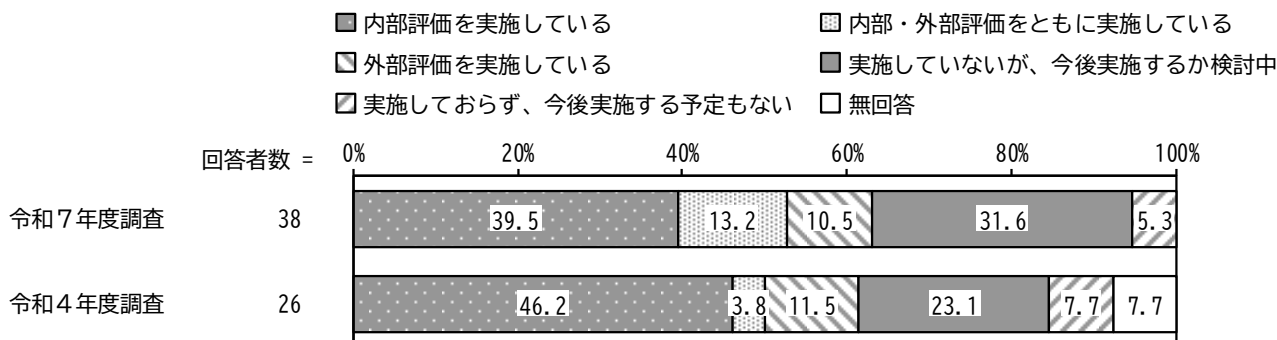
令和4年度調査と比較すると、「介護技術・知識向上」「資格取得のための支援」「安全対策（事故時の応急措置等）」「虐待防止など」「公衆衛生・感染症対策」「介護保険全般について」の割合が特に減少しています。



問 16 貴事業所では、提供した介護保険サービスに対する評価を実施していますか。
(○は1つ)

「内部評価を実施している」の割合が 39.5%と最も高く、次いで「実施していないが、今後実施するか検討中」の割合が 31.6%、「内部・外部評価をともに実施している」の割合が 13.2%となっています。

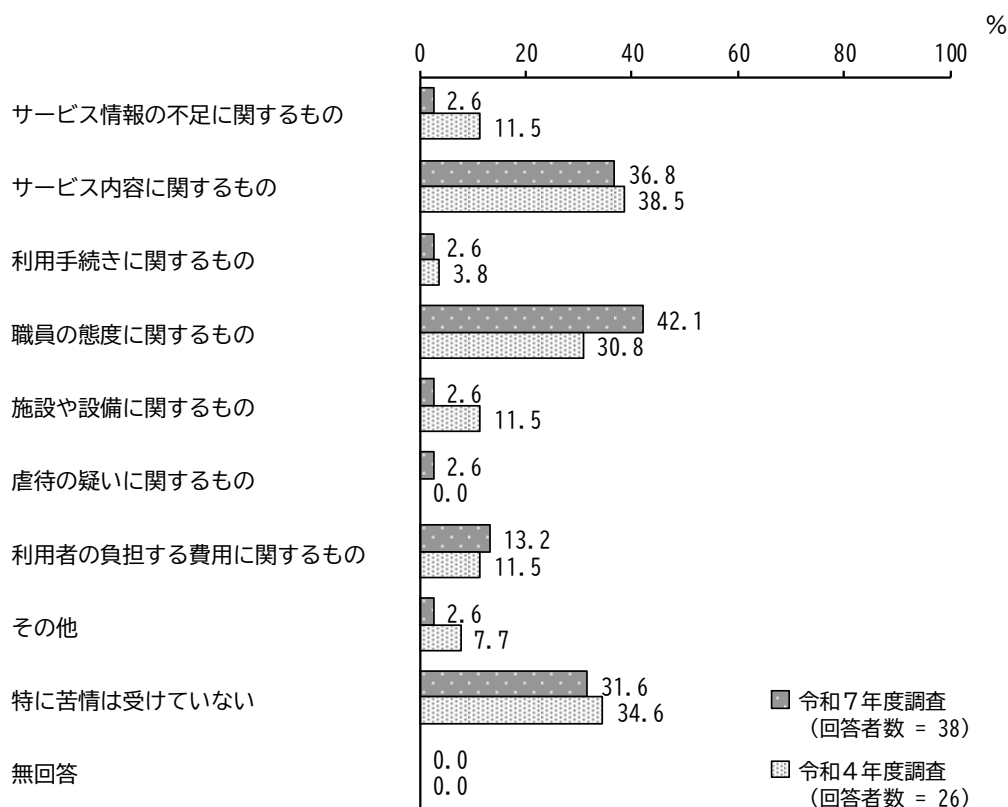
令和4年度調査と比較すると、「内部・外部評価をともに実施している」「実施していないが、今後実施するか検討中」の割合が増加しています。一方、「内部評価を実施している」の割合が特に減少しています。



問 17 ここ3年の間に、利用者やその家族から苦情を受けたことはありますか。あった場合、それはどのような内容ですか。(○はいくつでも)

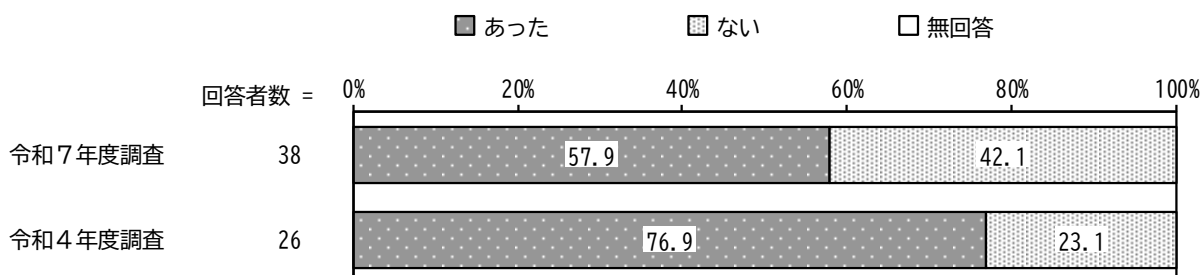
「職員の態度に関するもの」の割合が 42.1%と最も高く、次いで「サービス内容に関するもの」の割合が 36.8%、「特に苦情は受けていない」の割合が 31.6%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「職員の態度に関するもの」の割合が特に増加しています。一方、「サービス情報の不足に関するもの」「施設や設備に関するもの」の割合が特に減少しています。



問 18 サービス提供で困難なケースがありましたか。(○は1つ)

「あった」の割合が 57.9%、「ない」の割合が 42.1%となっています。
 令和4年度調査と比較すると、「あった」の割合が減少しています。

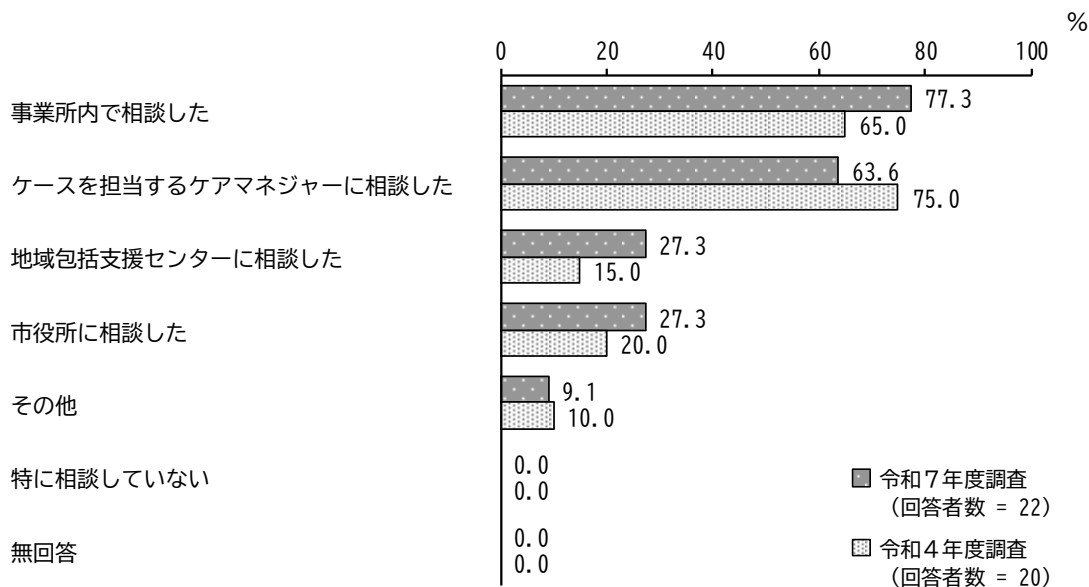


【問 18 で「あった」を選択した方のみ】

問 19 困難なケースについて、貴事業所ではどこかに相談しましたか。(○はいくつでも)

「事業所内で相談した」の割合が 77.3%と最も高く、次いで「ケースを担当するケアマネジャーに相談した」の割合が 63.6%、「地域包括支援センターに相談した」、「市役所に相談した」の割合が 27.3%となっています。

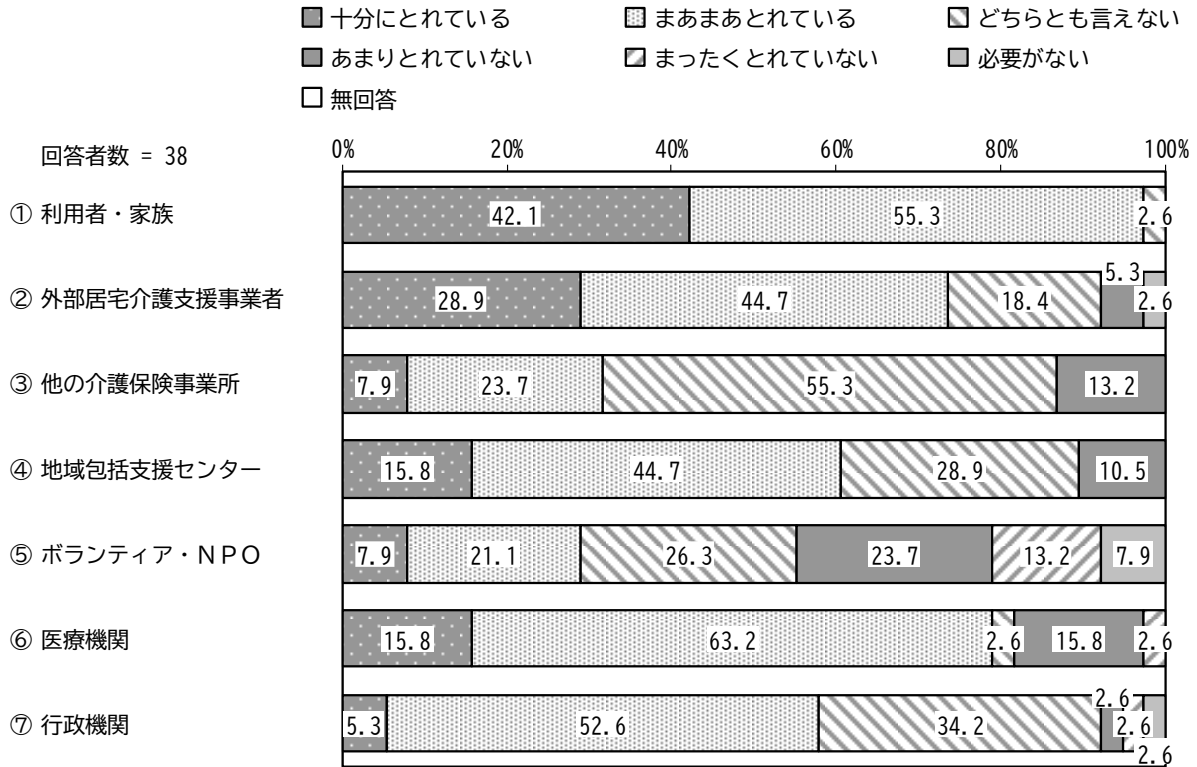
令和4年度調査と比較すると、「事業所内で相談した」「地域包括支援センターに相談した」「市役所に相談した」の割合が増加しています。一方、「ケースを担当するケアマネジャーに相談した」の割合が減少しています。



3 関係機関との連携について

問 20 普段から、次に挙げる人たちや機関との連携はとれていますか。(それぞれ○は1つ)

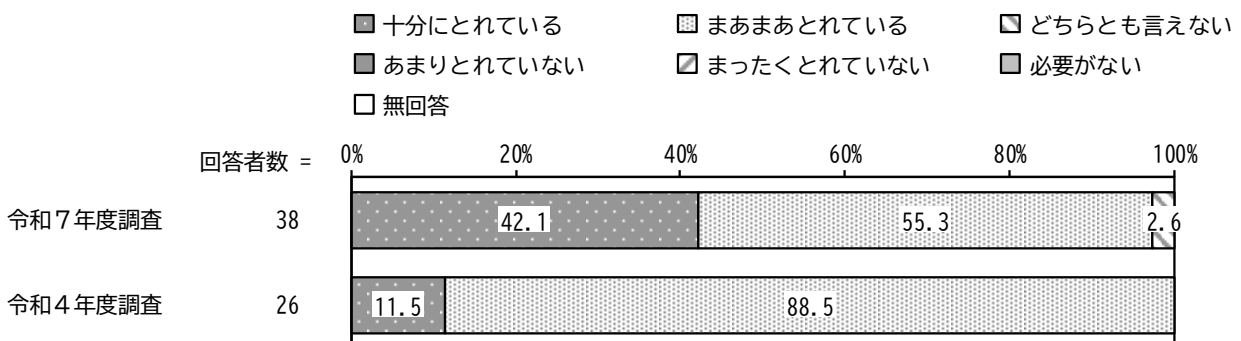
『⑥ 医療機関』で「まあまあとれている」が、『① 利用者・家族』で「まあまあとれている」が、『③ 他の介護保険事業所』で「どちらとも言えない」が高くなっています。



① 利用者・家族

【経年比較】

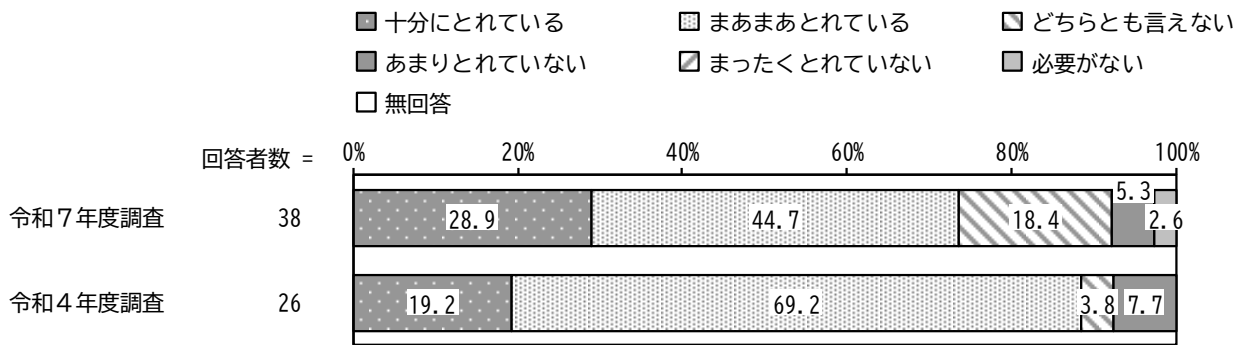
令和4年度調査と比較すると、「十分にとれている」の割合が増加しています。一方、「まあまあとれている」の割合が減少しています。



② 外部居宅介護支援事業者

【経年比較】

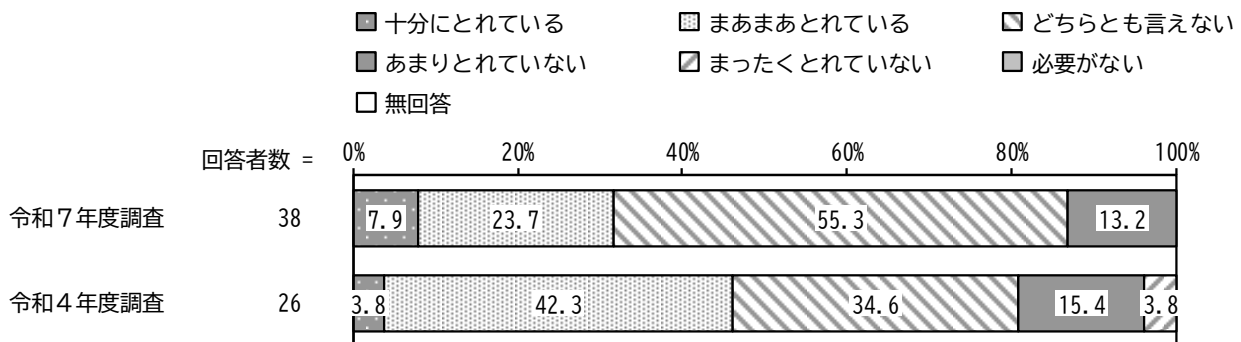
令和4年度調査と比較すると、「十分にとれている」「まあまあとれている」を合わせた“とれている”の割合が減少しています。



③ 他の介護保険事業所

【経年比較】

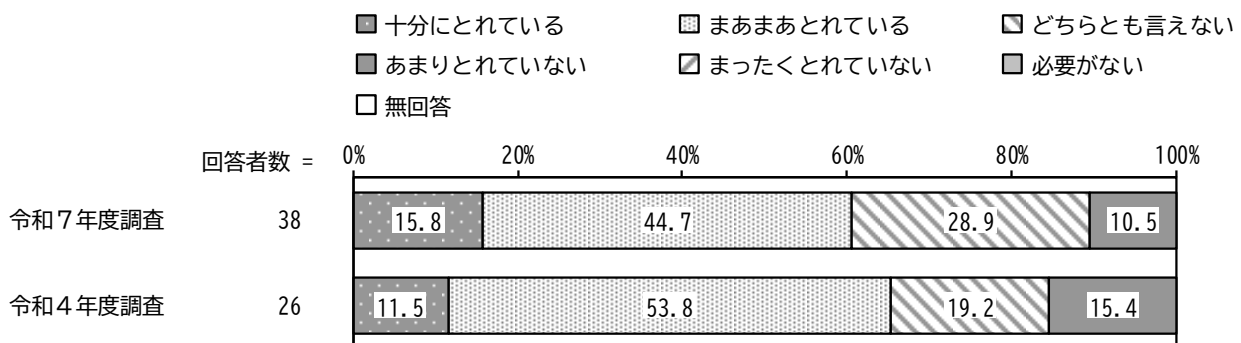
令和4年度調査と比較すると、「十分にとれている」「まあまあとれている」を合わせた“とれている”の割合が減少しています。



④ 地域包括支援センター

【経年比較】

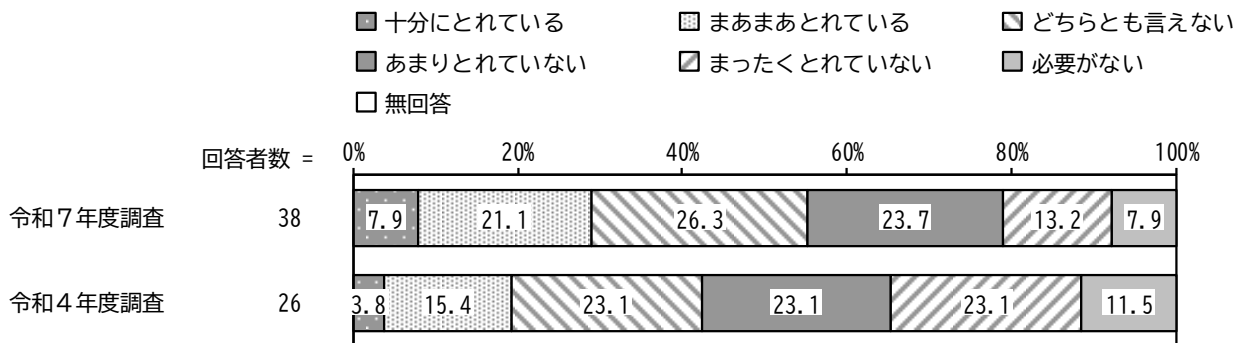
令和4年度調査と比較すると、「まあまあとれている」の割合が減少しています。



⑤ ボランティア・NPO

【経年比較】

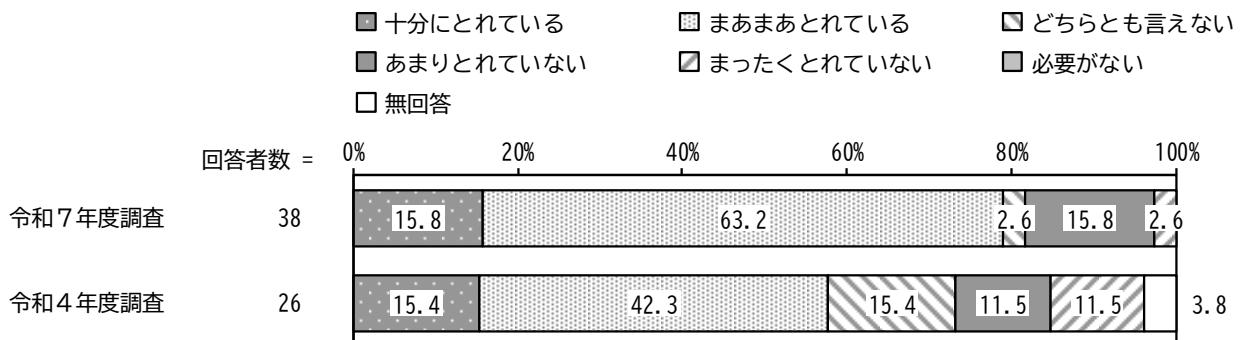
令和4年度調査と比較すると、「十分にとれている」「まあまあとれている」を合わせた“とれている”の割合が増加しています。



⑥ 医療機関

【経年比較】

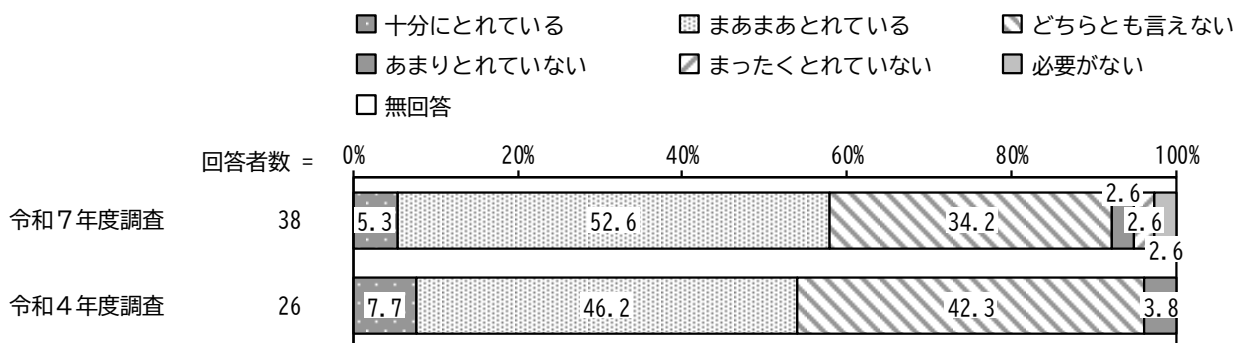
令和4年度調査と比較すると、「十分にとれている」「まあまあとれている」を合わせた“とれている”の割合が増加しています。



⑦ 行政機関

【経年比較】

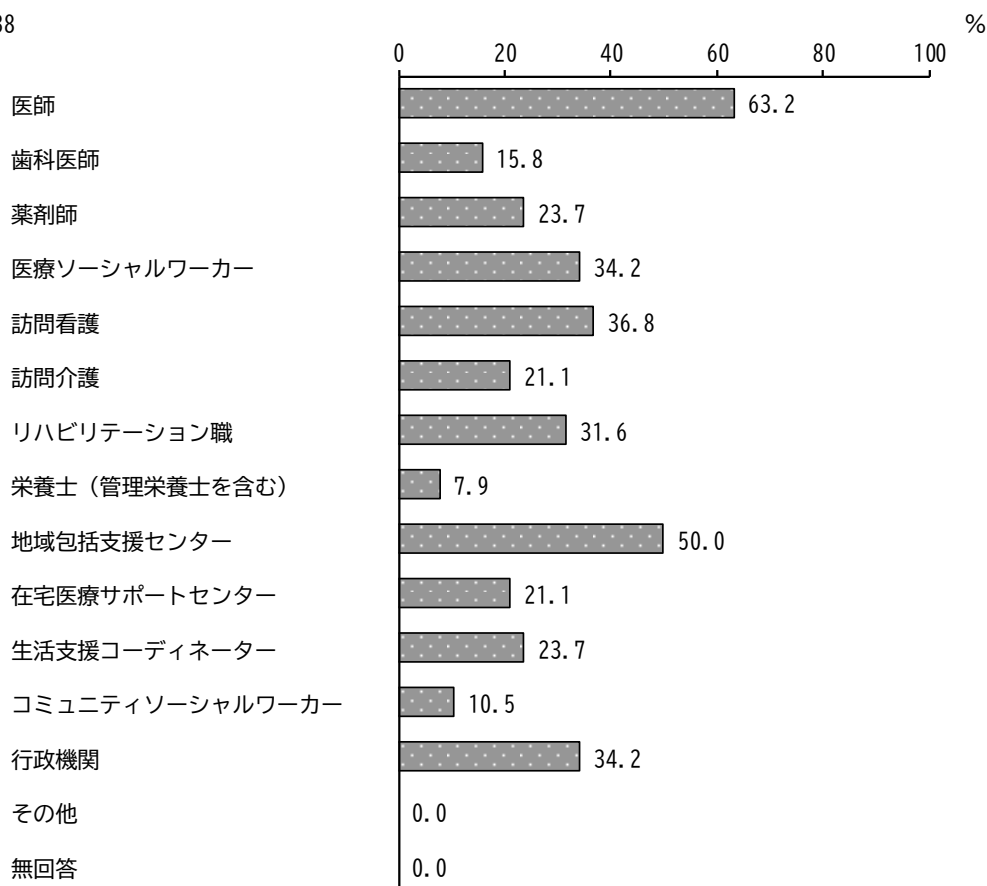
令和4年度調査と比較すると、「まあまあとれている」の割合が増加しています。



問 21 利用者の在宅生活を支えるために連携を強めたい機関・窓口はどこですか。
(○はいくつでも)

「医師」の割合が 63.2%と最も高く、次いで「地域包括支援センター」の割合が 50.0%、「訪問看護」の割合が 36.8%となっています。

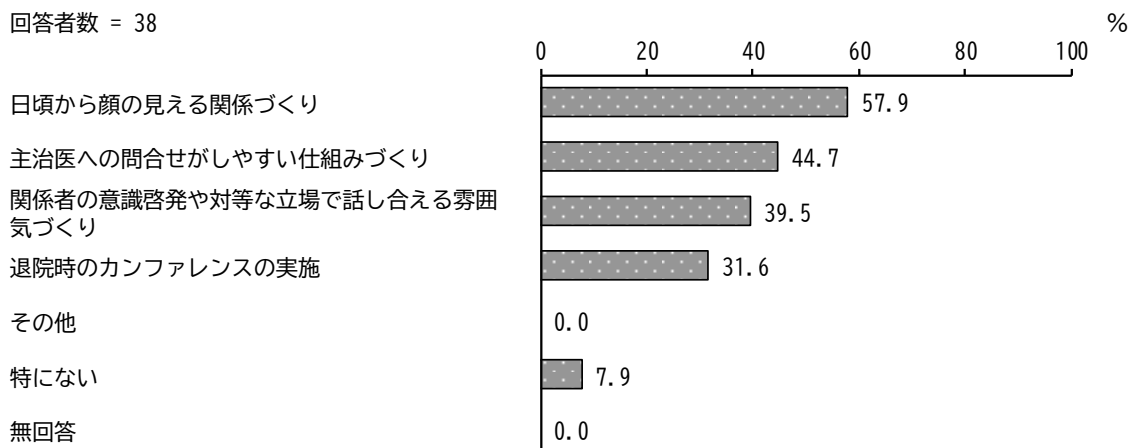
回答者数 = 38



問 22 介護従事者と医療関係者等が多職種連携を進める上で、どのようなことについて課題がありますか。(○はいくつでも)

「日頃から顔の見える関係づくり」の割合が 57.9%と最も高く、次いで「主治医への問合せがしやすい仕組みづくり」の割合が 44.7%、「関係者の意識啓発や対等な立場で話し合える雰囲気づくり」の割合が 39.5%となっています。

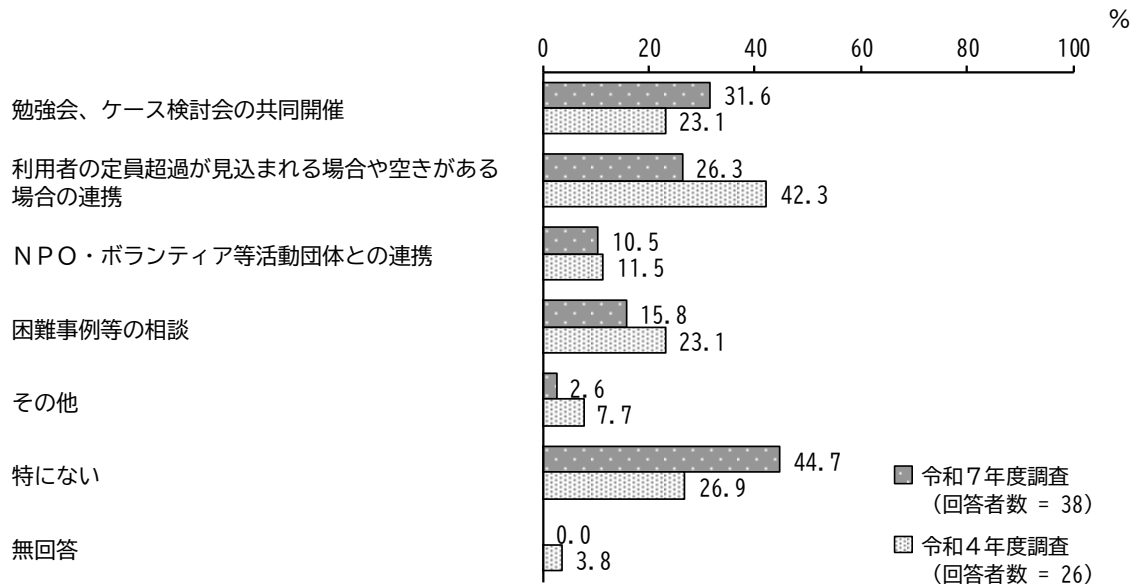
回答者数 = 38



問 23 他の法人等と連携して取り組んでいることはありますか。(〇はいくつでも)

「勉強会、ケース検討会の共同開催」の割合が 31.6%と最も高く、次いで「利用者の定員超過が見込まれる場合や空きがある場合の連携」の割合が 26.3%、「困難事例等の相談」の割合が 15.8%となっています。

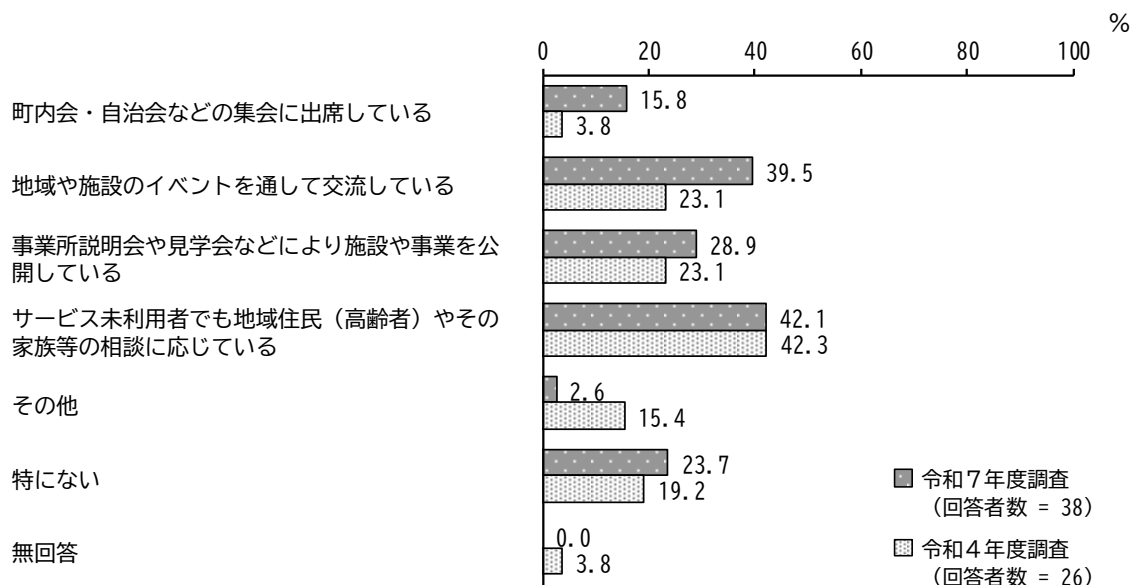
令和4年度調査と比較すると、「勉強会、ケース検討会の共同開催」の割合が増加しています。一方、「利用者の定員超過が見込まれる場合や空きがある場合の連携」「困難事例等の相談」の割合が特に減少しています。



問 24 地域と連携して取り組んでいることはありますか。(〇はいくつでも)

「サービス未利用者でも地域住民（高齢者）やその家族等の相談に応じている」の割合が 42.1%と最も高く、次いで「地域や施設のイベントを通して交流している」の割合が 39.5%、「事業所説明会や見学会などにより施設や事業を公開している」の割合が 28.9%となっています。

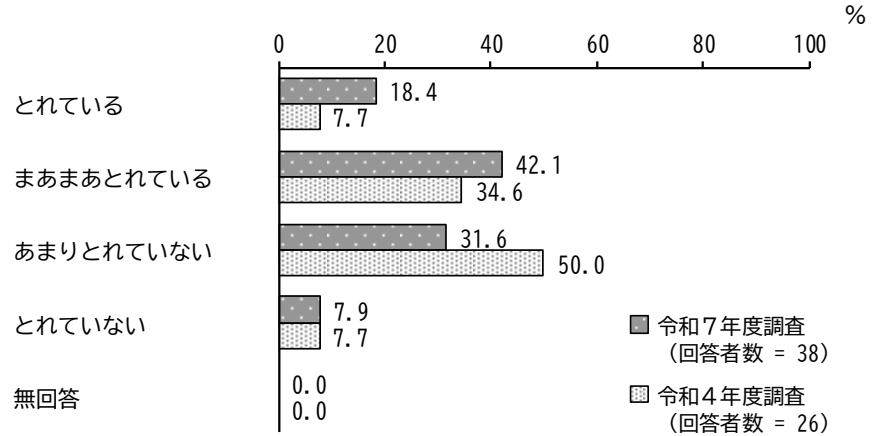
令和4年度調査と比較すると、「町内会・自治会などの集會に出席している」「地域や施設のイベントを通して交流している」「事業所説明会や見学会などにより施設や事業を公開している」の割合が増加しています。



問 25 貴事業所では、認知症患者の支援について、かかりつけ医との連携はとれていると思いますか。(〇はいくつでも)

「とれている」「まあまあとれている」を合わせた“とれている”の割合が 60.5%、「あまりとれていない」「とれていない」を合わせた“とれていない”の割合が 39.5%となっています。

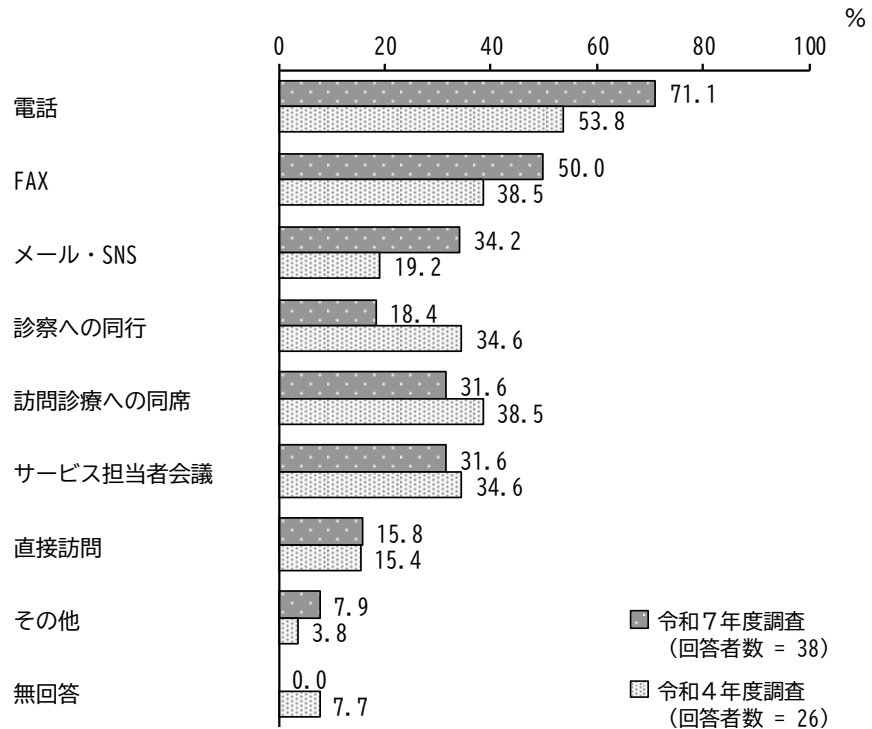
令和4年度調査と比較すると、“とれている”の割合が増加しています。



問 26 貴事業所では、通常、医療機関やかかりつけ医とどのような方法で情報を交換していますか。(〇はいくつでも)

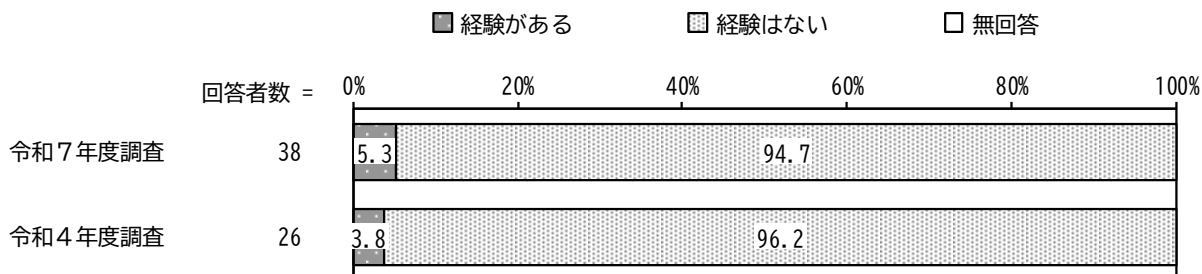
「電話」の割合が 71.1%と最も高く、次いで「FAX」の割合が 50.0%、「メール・SNS」の割合が 34.2%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「電話」「FAX」「メール・SNS」の割合が特に増加しています。一方、「診察への同行」「訪問診療への同席」の割合が特に減少しています。



問 27 貴事業所では、医療関係機関との間で問題やトラブルが発生した経験がありますか。
(○は1つ)

「経験がある」の割合が 5.3%、「経験はない」の割合が 94.7%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



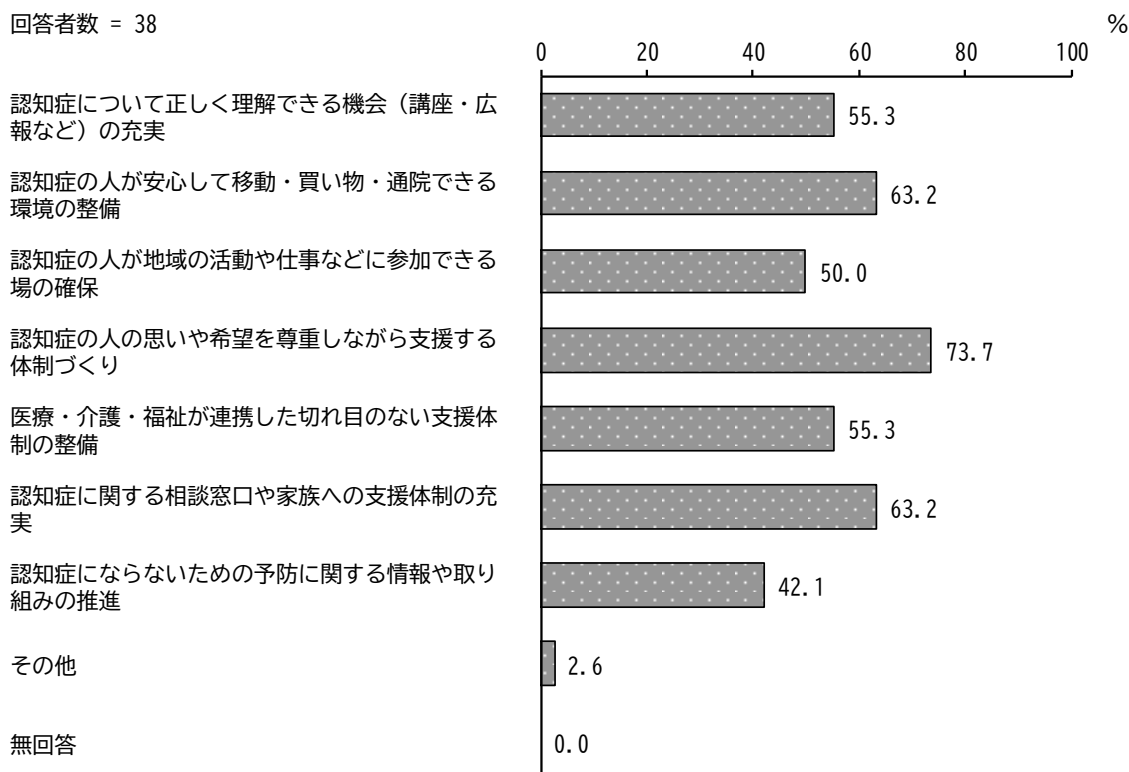
【問 27 で「経験がある」を選択した方のみ】

問 28 どのような問題やトラブルが発生しましたか。可能な範囲でご記入ください。

- 診療サービス内の処置を施設職員に依頼

問 29 認知症のご本人やそのご家族が、住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、特に必要だと思うことは何ですか。(○はいくつでも)

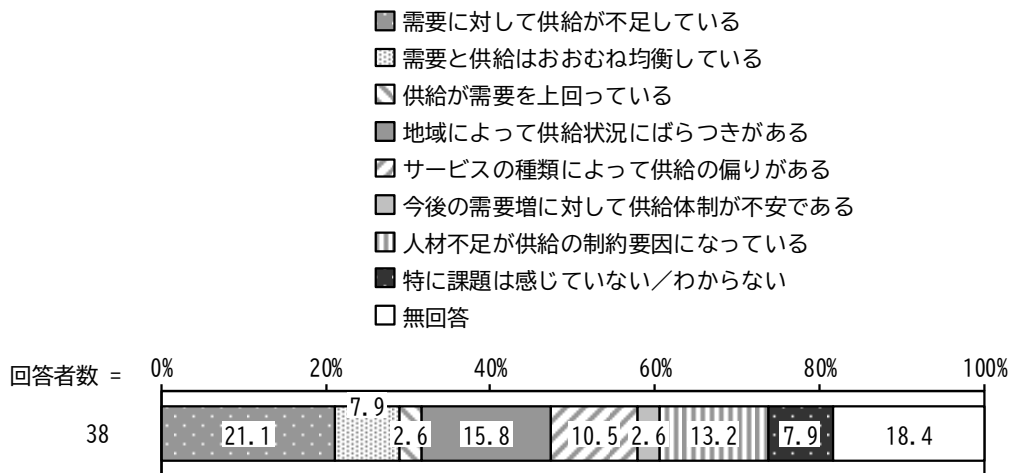
「認知症の人の思いや希望を尊重しながら支援する体制づくり」の割合が 73.7%と最も高く、次いで「認知症の人が安心して移動・買い物・通院できる環境の整備」、「認知症に関する相談窓口や家族への支援体制の充実」の割合が 63.2%となっています。



4 今後の事業展開について

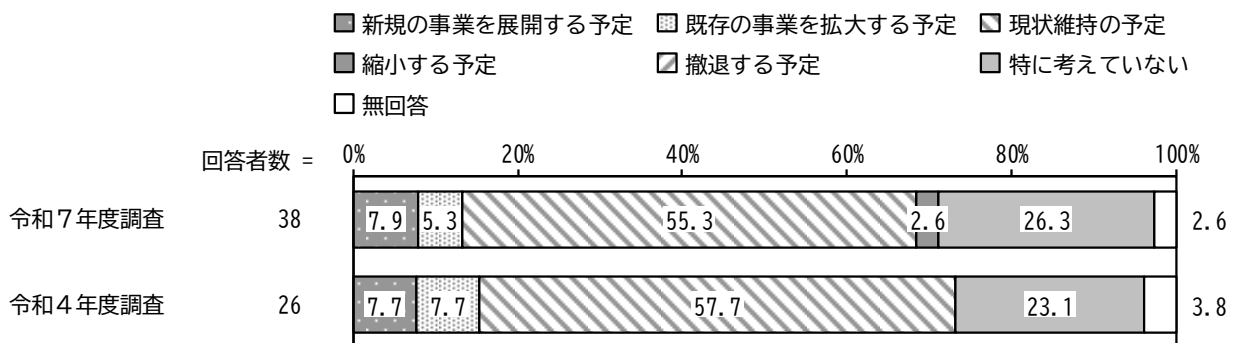
問 30 介護保険サービスの需要と供給のバランスについて、どう思いますか。(○は1つ)

「需要に対して供給が不足している」の割合が 21.1%と最も高く、次いで「地域によって供給状況にばらつきがある」の割合が 15.8%、「人材不足が供給の制約要因になっている」の割合が 13.2%となっています。



問 31 今後、蓮田市内における事業規模の拡大や縮小について、どのように考えていますか。(○は1つ)

「現状維持の予定」の割合が 55.3%と最も高くなっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【問 31 で「1. 新規の事業を展開する予定」を選択した方のみ】

問 32 蓮田市内で新たに展開する予定のサービスは何ですか。(自由記述)

- グループホームの新規オープン
- 在宅で不安を抱える認知症の方とご家族が安心できるよう、通所型の認知症デイサービスを提供し、ホームの想いを伝えながら実現に向けて努力していきたい。
- 認知症の人や地域の人をごちゃまぜになって働ける場づくり。

【問 31 で「新規の事業を展開する予定」「既存の事業を拡大する予定」を選択した方のみ】

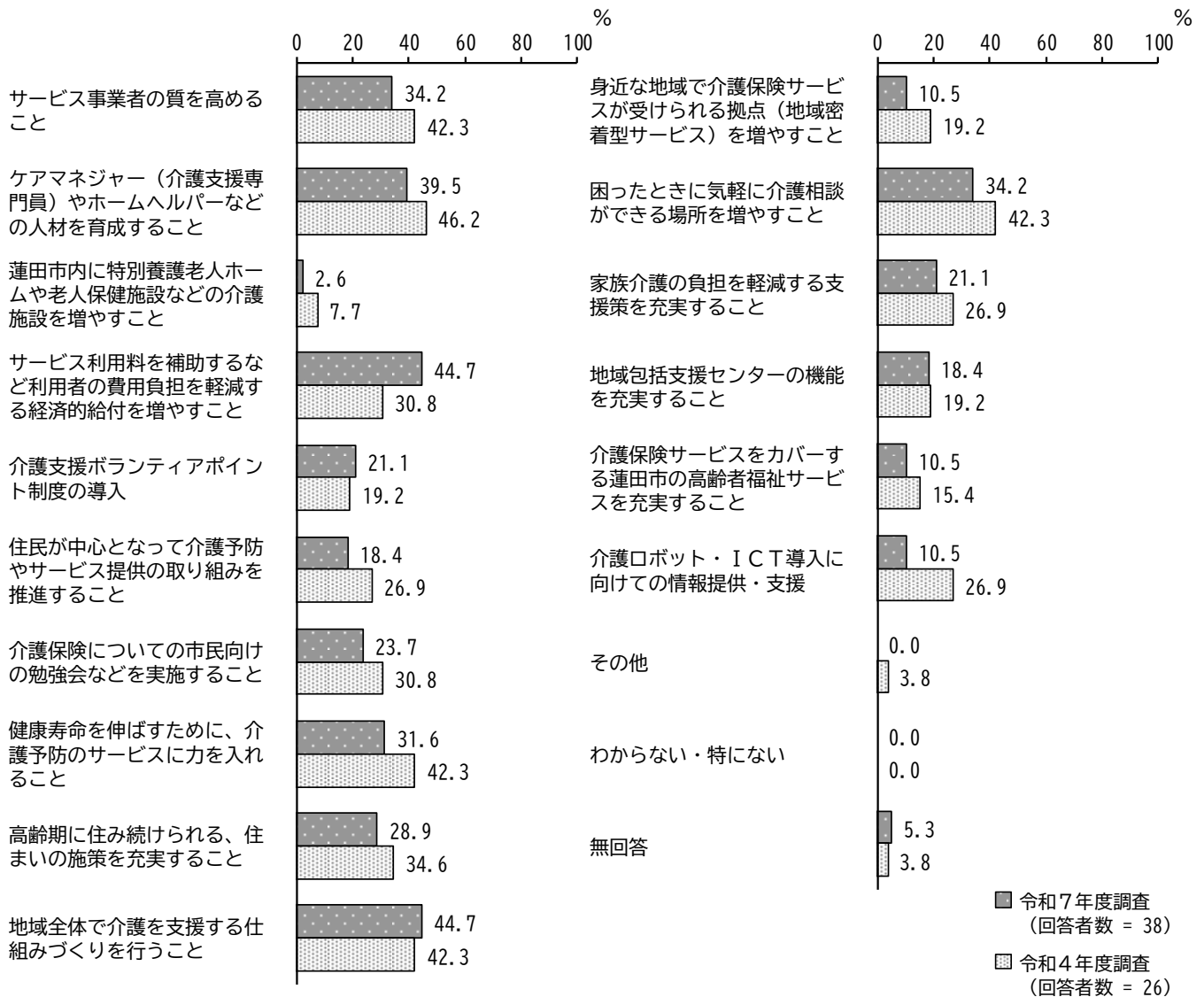
問 33 事業の展開に当たり、蓮田市などの行政機関に求める支援や、提供してほしい情報、連携したい事項等があれば、ご記入ください。(自由記述)

- ① 蓮田市などの行政機関に求める支援
意見はありませんでした。
- ② 提供してほしい情報
意見はありませんでした。
- ③ 連携したい事項
意見はありませんでした。

問 34 介護保険制度全体をよりよくするために、市が力を入れるべきことは次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

「サービス利用料を補助するなど利用者の費用負担を軽減する経済的給付を増やすこと」、「地域全体で介護を支援する仕組みづくりを行うこと」の割合が 44.7%と最も高く、次いで「ケアマネジャー（介護支援専門員）やホームヘルパーなどの人材を育成すること」の割合が 39.5%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「サービス利用料を補助するなど利用者の費用負担を軽減する経済的給付を増やすこと」の割合が特に増加しています。一方、「サービス事業者の質を高めること」「ケアマネジャー（介護支援専門員）やホームヘルパーなどの人材を育成すること」「蓮田市内に特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護施設を増やすこと」「住民が中心となって介護予防やサービス提供の取り組みを推進すること」「介護保険についての市民向けの勉強会などを実施すること」「健康寿命を伸ばすために、介護予防のサービスに力を入れること」「高齢期に住み続けられる、住まいの施策を充実すること」「身近な地域で介護保険サービスが受けられる拠点（地域密着型サービス）を増やすこと」「困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やすこと」「家族介護の負担を軽減する支援策を充実すること」「介護ロボット・ICT導入に向けての情報提供・支援」の割合が特に減少しています。

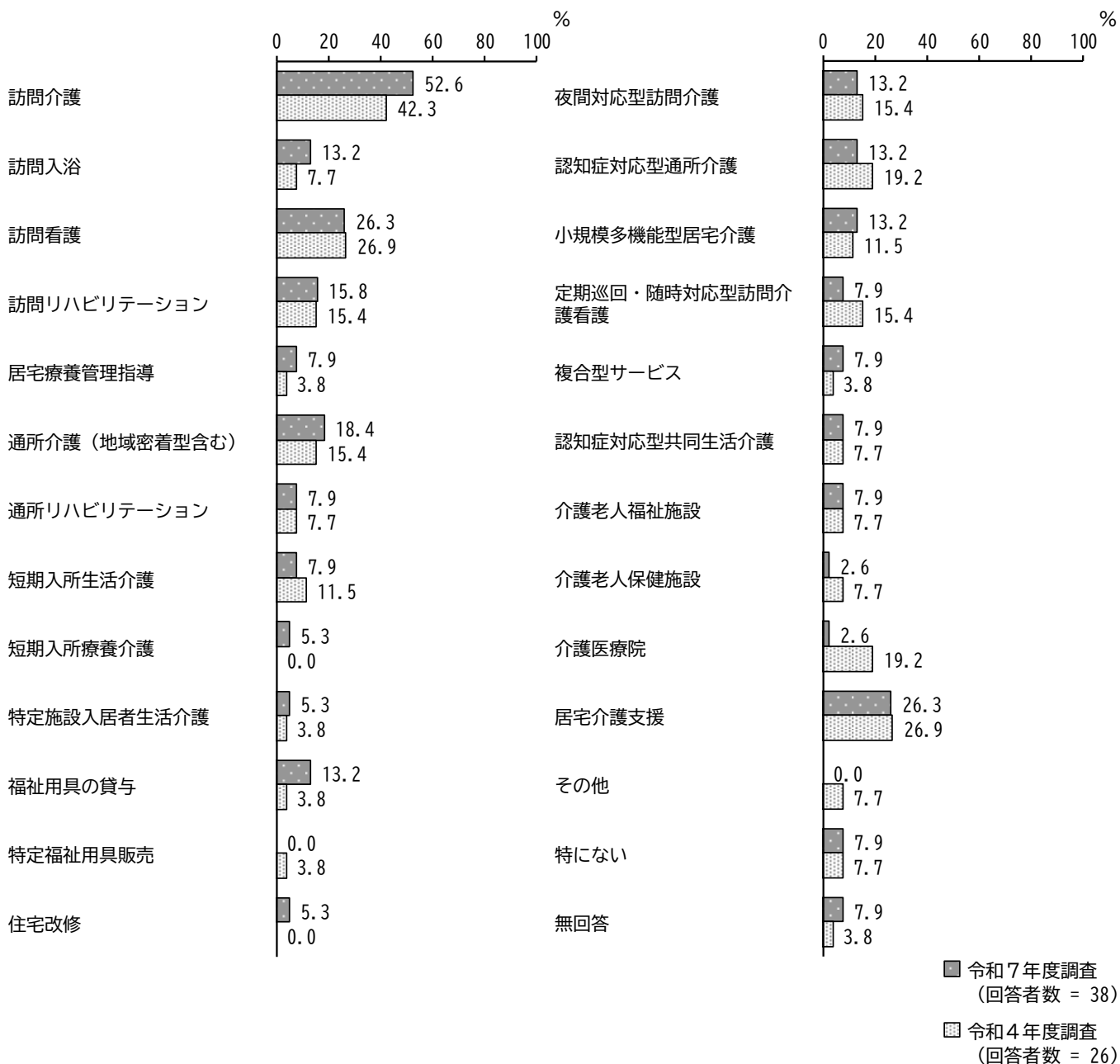


5 今後望むことについて

問 35 今後充実すべきだと考える介護保険サービスは何ですか。(○は5つまで)

「訪問介護」の割合が52.6%と最も高く、次いで「訪問看護」、「居宅介護支援」の割合が26.3%となっています。

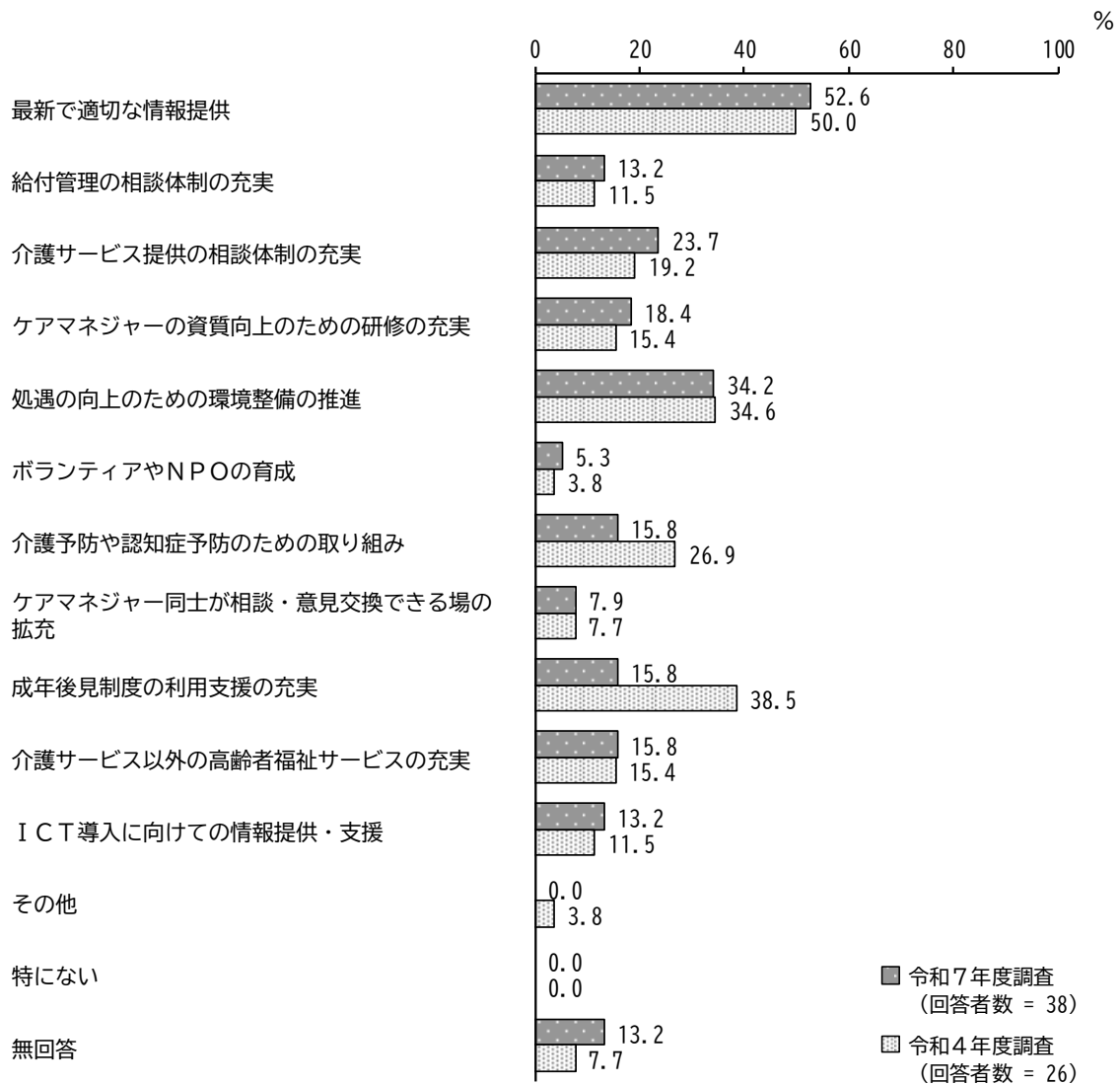
令和4年度調査と比較すると、「訪問介護」「訪問入浴」「短期入所療養介護」「福祉用具の貸与」「住宅改修」の割合が特に増加しています。一方、「認知症対応型通所介護」「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」「介護老人保健施設」「介護医療院」の割合が特に減少しています。



問 36 今後、介護保険サービス提供事業所として蓮田市に望むことはありますか。
(〇は4つまで)

「最新で適切な情報提供」の割合が 52.6%と最も高く、次いで「処遇の向上のための環境整備の推進」の割合が 34.2%、「介護サービス提供の相談体制の充実」の割合が 23.7%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「介護予防や認知症予防のための取り組み」「成年後見制度の利用支援の充実」の割合が特に減少しています。



問 37 その他、何かご意見等ございましたら、ご記入ください。(自由記述)

- 生活保護の入居者が多い施設であると、物価高の影響が大きい

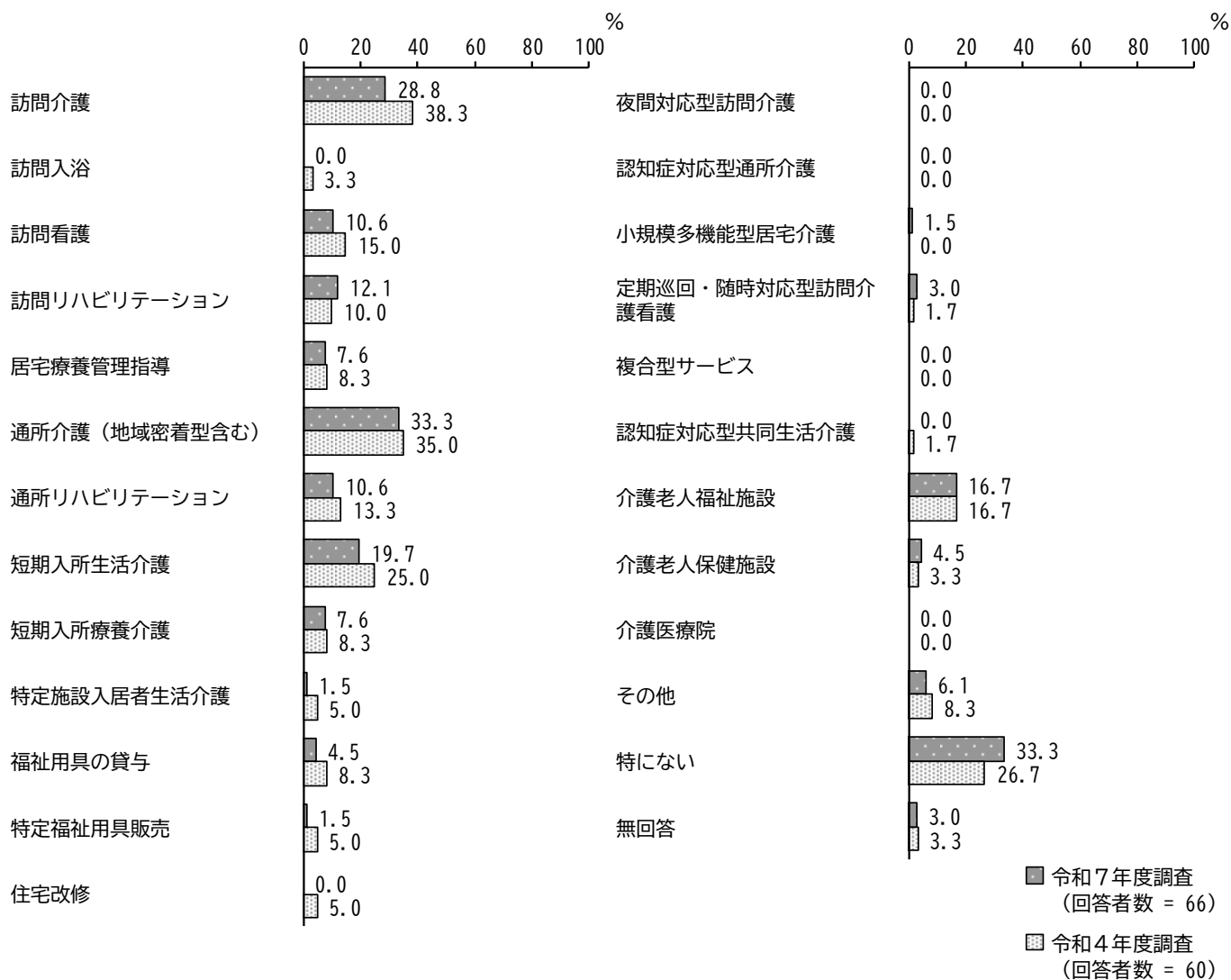
V 居宅介護支援事業所調査結果

1 ケアマネジメントの状況について

問1 貴事業所が居宅介護支援・介護予防支援以外で実施しているサービスはありますか。
(〇はいくつでも)

「通所介護（地域密着型含む）」の割合が33.3%と最も高く、次いで「訪問介護」の割合が28.8%、「短期入所生活介護」の割合が19.7%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「訪問介護」「短期入所生活介護」の割合が特に減少しています。

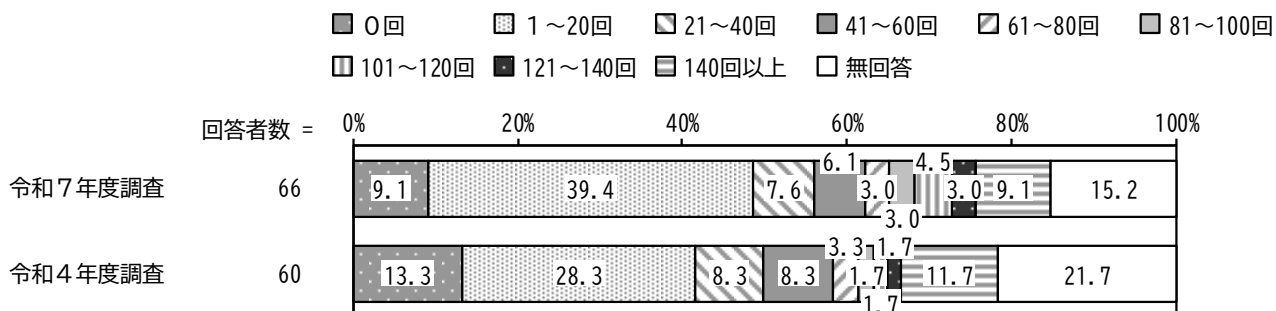


問2 貴事業所の蓮田市在住者のケアプラン作成件数についておうかがいします。令和7年10月分のケアプラン作成件数を、要介護度別にご記入ください。作成実績がない場合は「0」とご記入ください。（「要支援1・2」の欄には、地域包括支援センターから委託を受けた件数をご記入ください）

全体

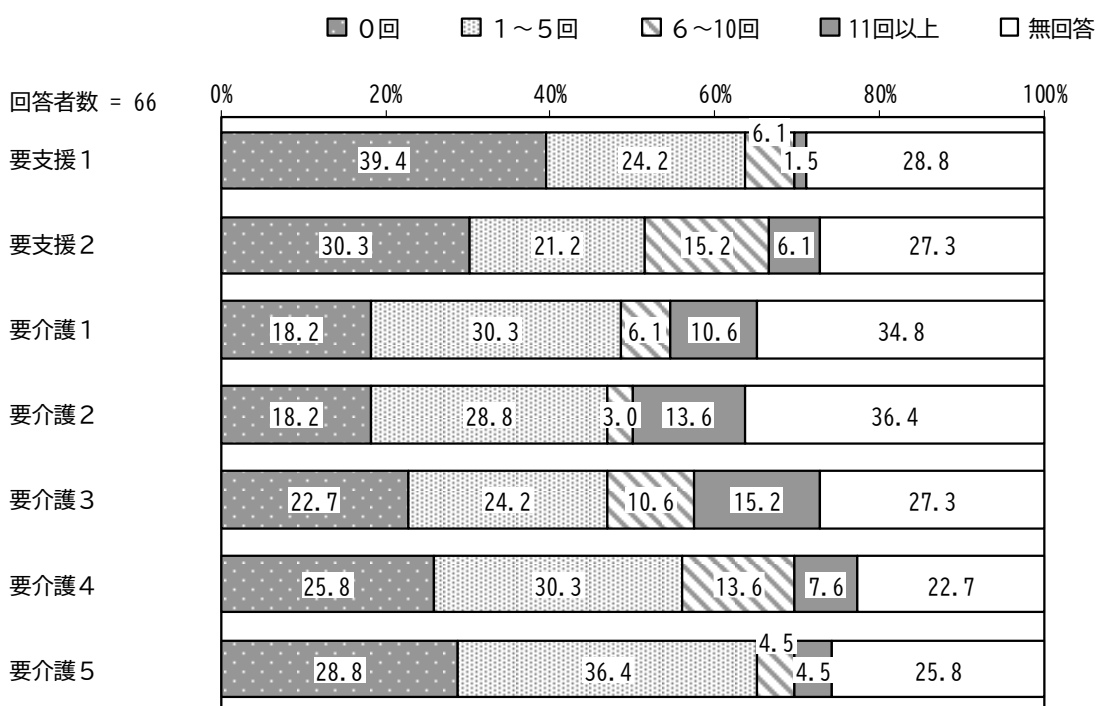
「1～20回」の割合が39.4%と最も高くなっています。

令和4年度調査と比較すると、「1～20回」の割合が増加しています。



要介護度別

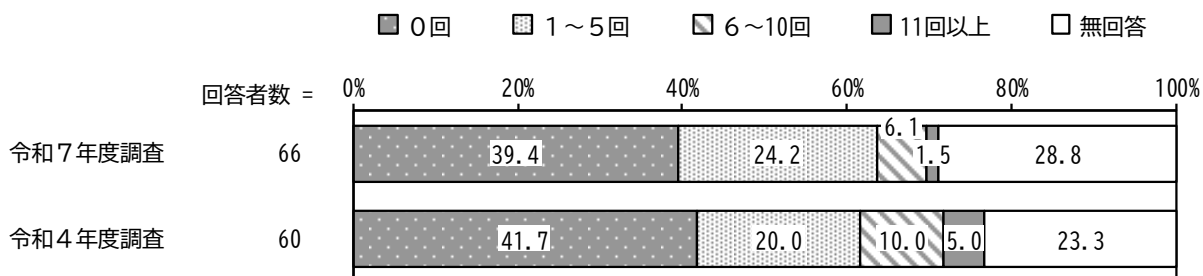
『要支援1』で「0回」が、『要介護5』で「1～5回」が、『要支援2』で「0回」が、『要介護1』で「1～5回以上」が高くなっています。



要支援 1

【経年比較】

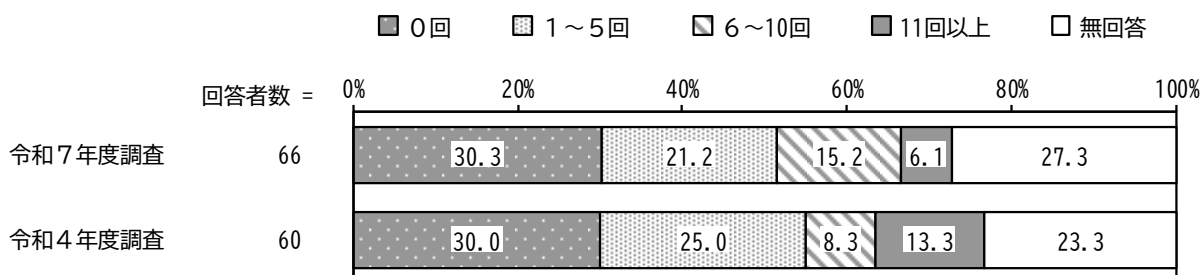
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



要支援 2

【経年比較】

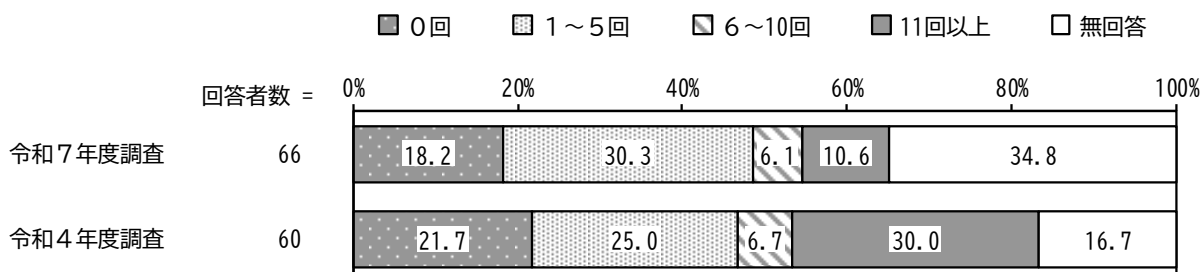
令和4年度調査と比較すると、「6～10回」の割合が特に増加しています。一方、「11回以上」の割合が特に減少しています。



要介護 1

【経年比較】

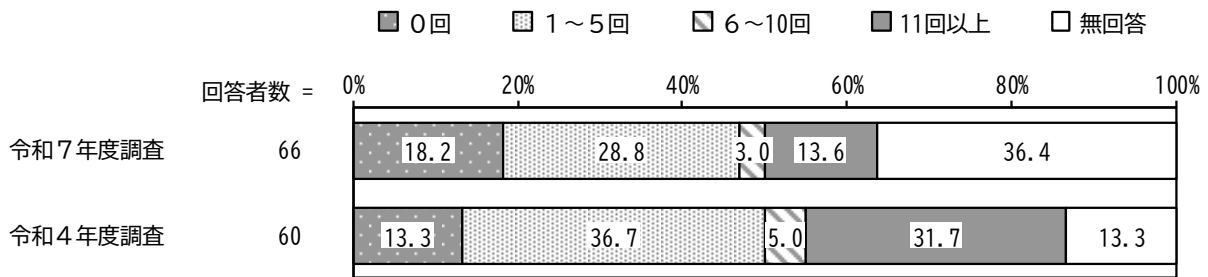
令和4年度調査と比較すると、「1～5回」の割合が増加しています。一方、「11回以上」の割合が特に減少しています。



要介護2

【経年比較】

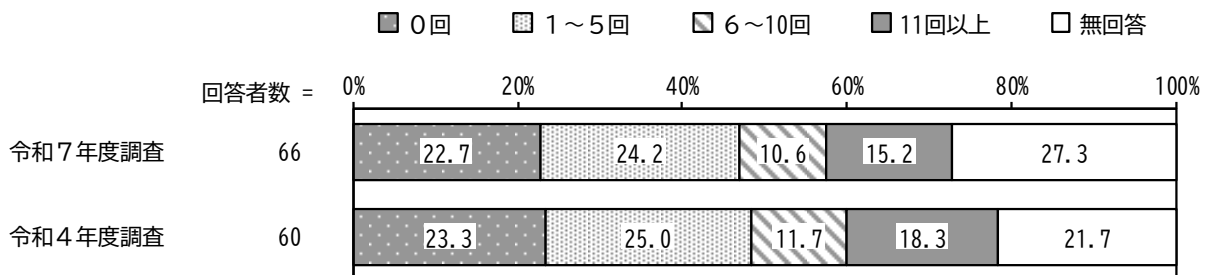
令和4年度調査と比較すると、「1～5回」「11回以上」の割合が特に減少しています。



要介護3

【経年比較】

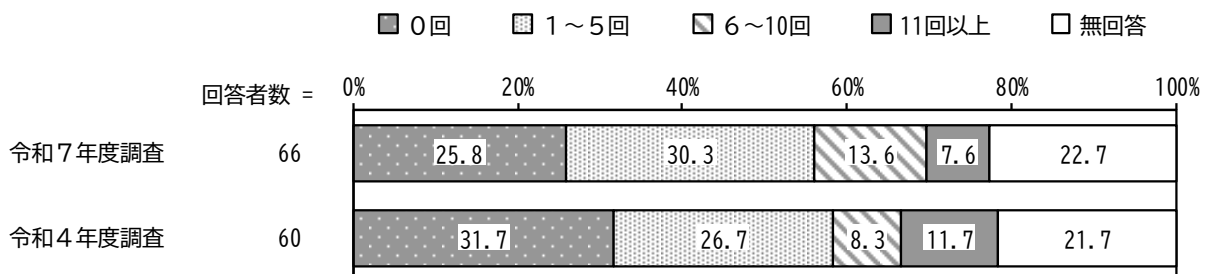
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



要介護4

【経年比較】

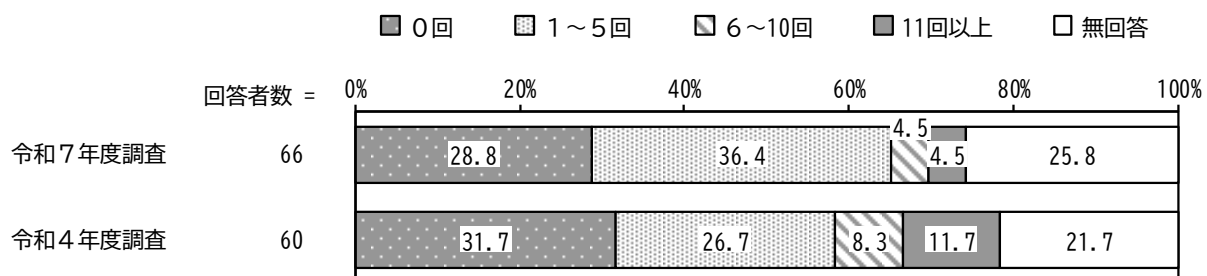
令和4年度調査と比較すると、「6～10回」の割合が特に増加しています。一方、「0回」の割合が特に減少しています。



要介護5

【経年比較】

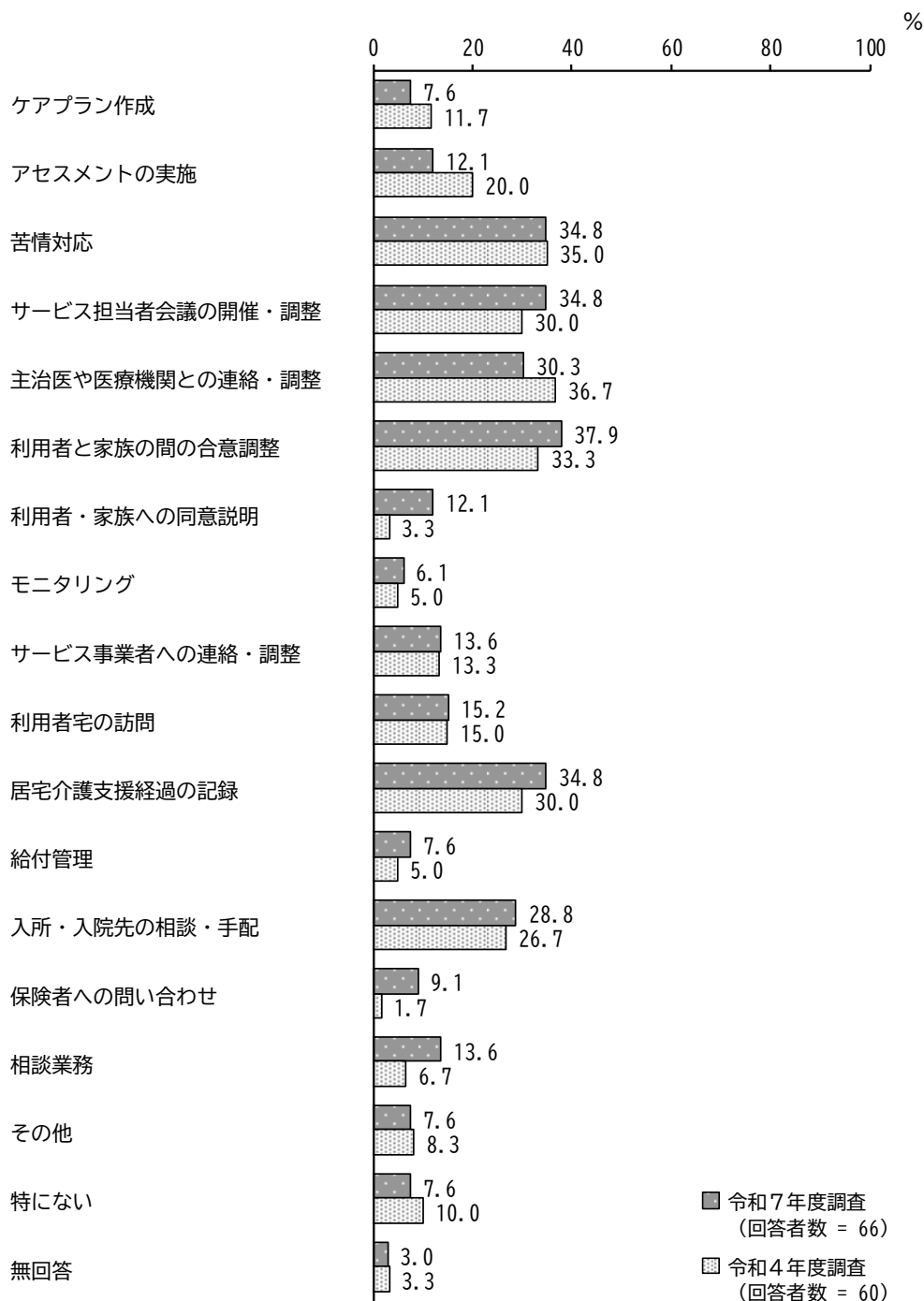
令和4年度調査と比較すると、「1～5回」の割合が増加しています。一方、「11回以上」の割合が特に減少しています。



問3 どのような業務に負担感がありますか。(〇はいくつでも)

「利用者と家族の間の合意調整」の割合が 37.9%と最も高く、次いで「苦情対応」、「サービス担当者会議の開催・調整」、「居宅介護支援経過の記録」の割合が 34.8%となっています。

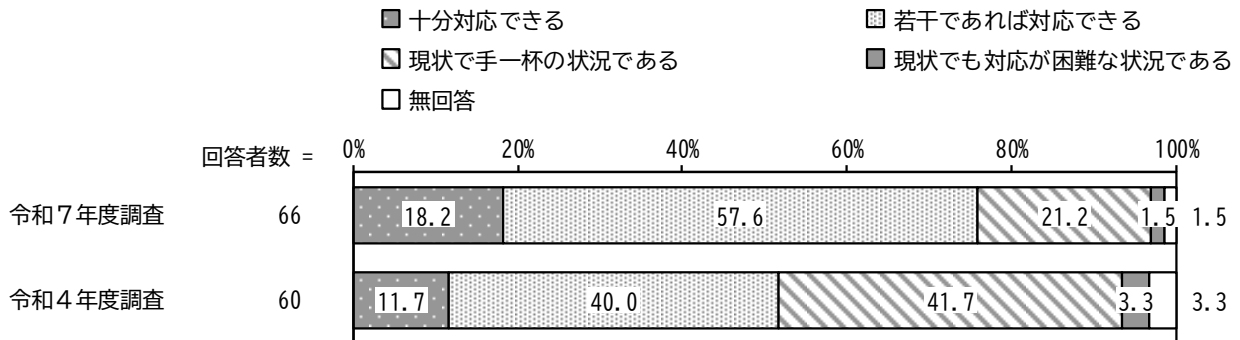
令和4年度調査と比較すると、「利用者・家族への同意説明」「保険者への問い合わせ」「相談業務」の割合が特に増加しています。一方、「アセスメントの実施」「主治医や医療機関との連絡・調整」の割合が特に減少しています。



問4 新規の利用者からケアプランの作成依頼があった場合の対応体制は、現在、どのような状況ですか。(〇は1つ)

「若干であれば対応できる」の割合が 57.6%と最も高く、次いで「現状で手一杯の状況である」の割合が 21.2%、「十分対応できる」の割合が 18.2%となっています。

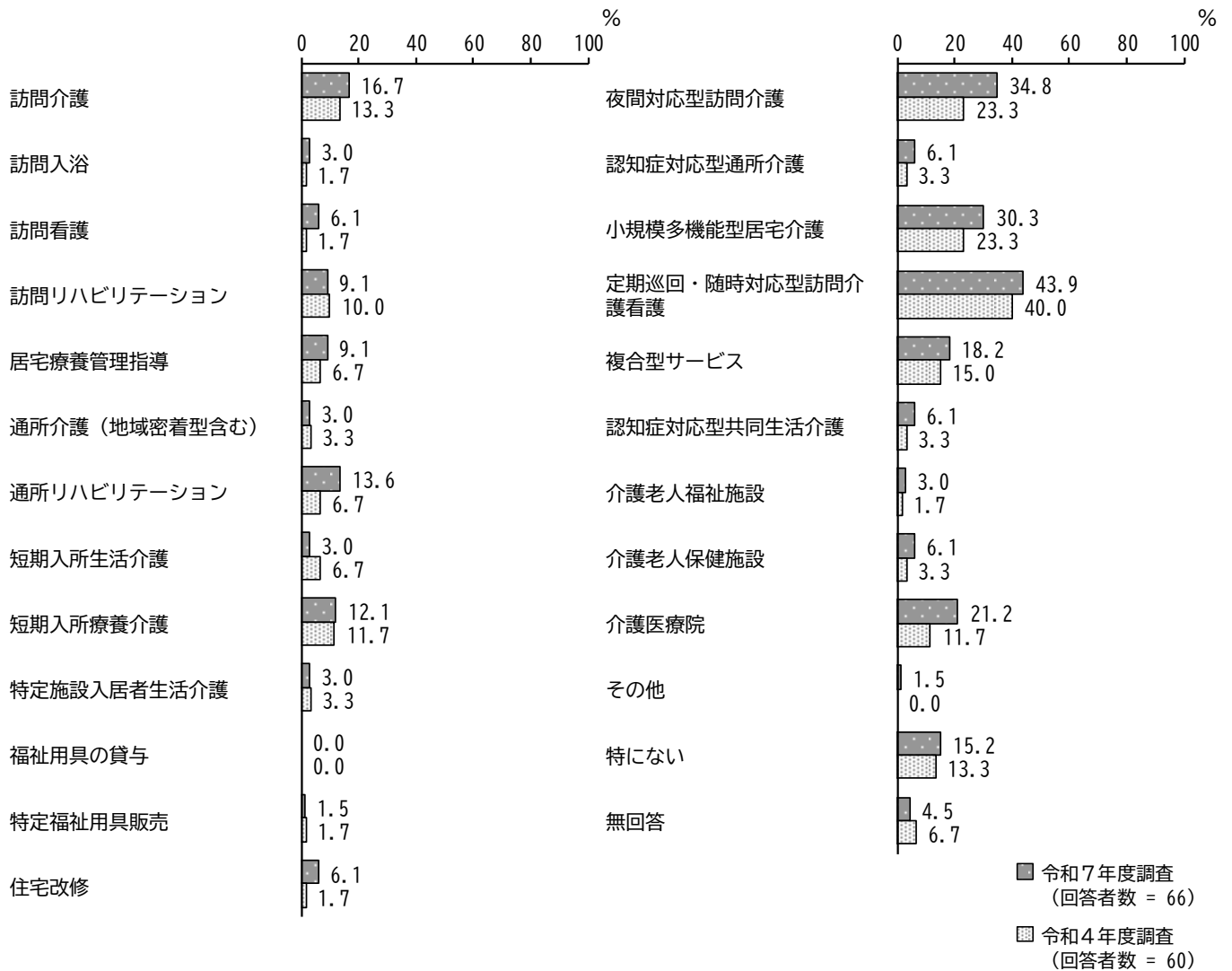
令和4年度調査と比較すると、「十分対応できる」「若干であれば対応できる」の割合が増加しています。一方、「現状で手一杯の状況である」の割合が特に減少しています。



問5 ケアプランの作成にあたり、利用しにくいと感じているサービスはありますか。(〇はいくつでも)

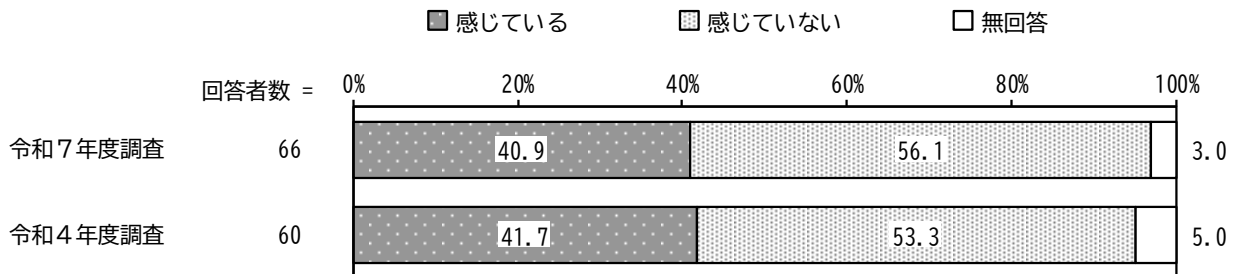
「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」の割合が43.9%と最も高く、次いで「夜間対応型訪問介護」の割合が34.8%、「小規模多機能型居宅介護」の割合が30.3%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「通所リハビリテーション」「夜間対応型訪問介護」「小規模多機能型居宅介護」「介護医療院」の割合が特に増加しています。



問6 自立支援型ケアマネジメントを実施するにあたり、困難を感じていますか。
(○は1つ)

「感じている」の割合が40.9%、「感じていない」の割合が56.1%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

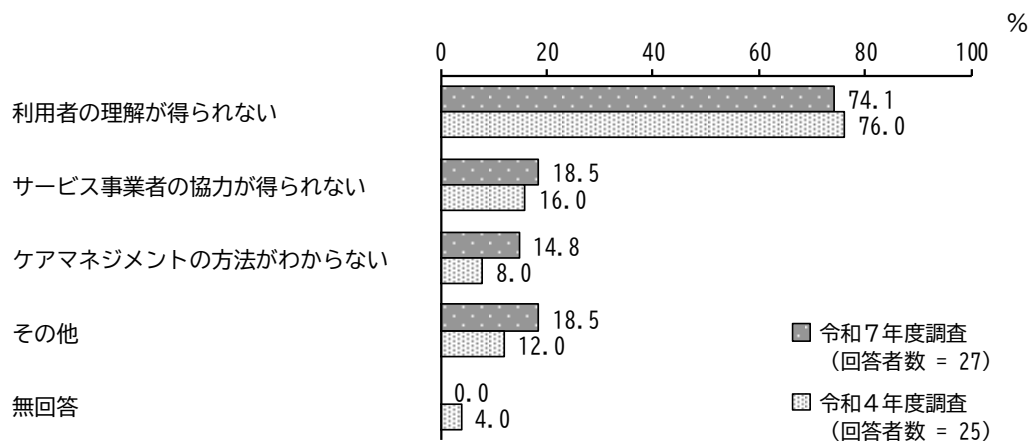


【問6で「感じている」を選択した方のみ】

問7 困難を感じている理由を選んでください。(○はいくつでも)

「利用者の理解が得られない」の割合が74.1%、「サービス事業者の協力が得られない」の割合が18.5%、「ケアマネジメントの方法がわからない」の割合が14.8%となっています。

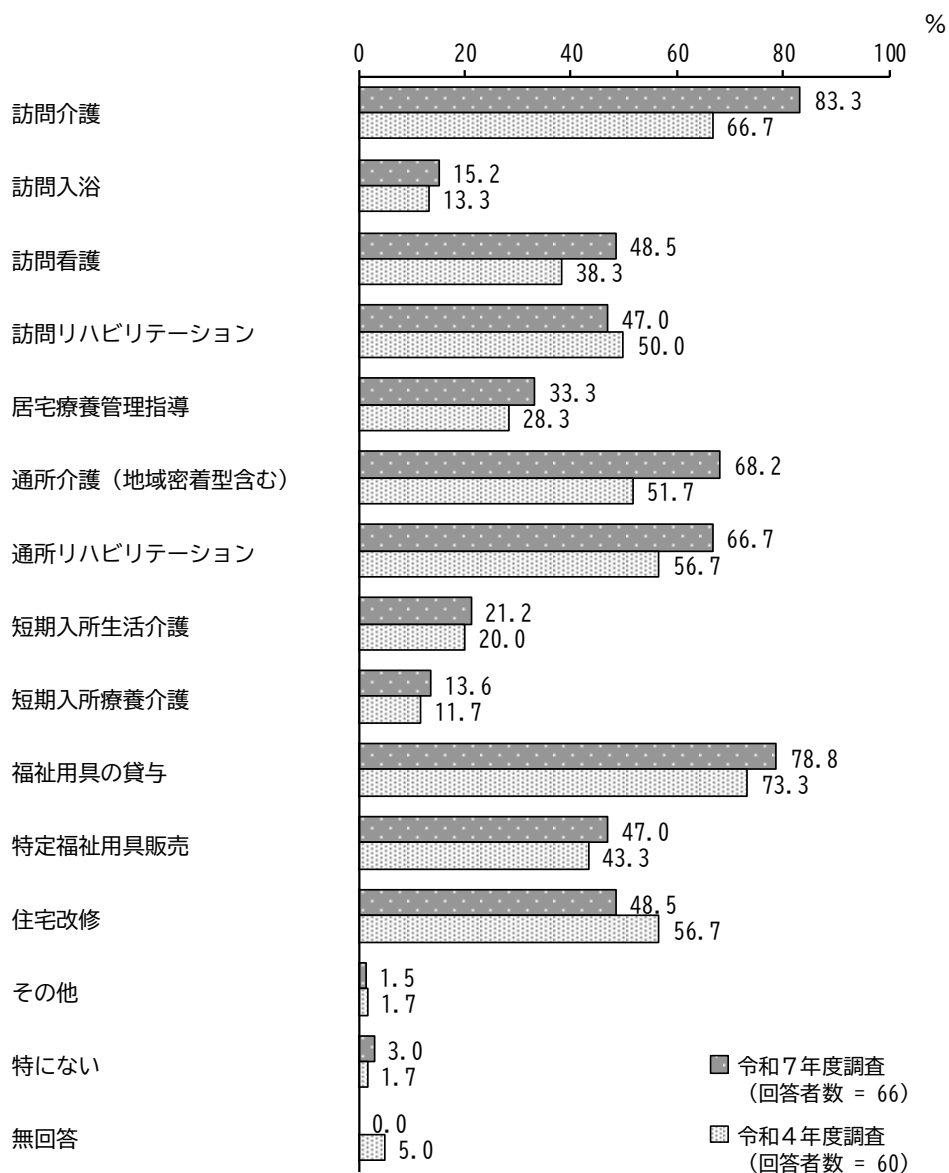
令和4年度調査と比較すると、「ケアマネジメントの方法がわからない」の割合が特に増加しています。



問8 自立した生活を支援するために実際に組み込んでいる介護保険サービス等を選んでください。(〇はいくつでも)

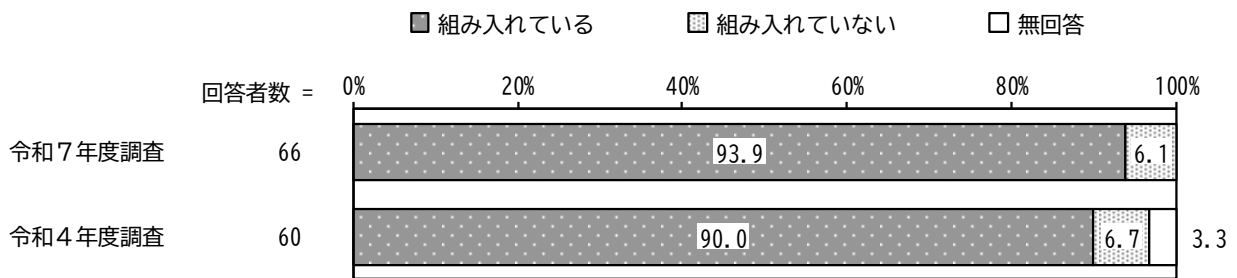
「訪問介護」の割合が83.3%と最も高く、次いで「福祉用具の貸与」の割合が78.8%、「通所介護（地域密着型含む）」の割合が68.2%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「訪問介護」「訪問看護」「居宅療養管理指導」「通所介護（地域密着型含む）」「通所リハビリテーション」「福祉用具の貸与」の割合が特に増加しています。一方、「住宅改修」の割合が特に減少しています。



問9 プランに介護保険以外のサービスを組み入れていますか。(○は1つ)

「組み入れている」の割合が93.9%、「組み入っていない」の割合が6.1%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

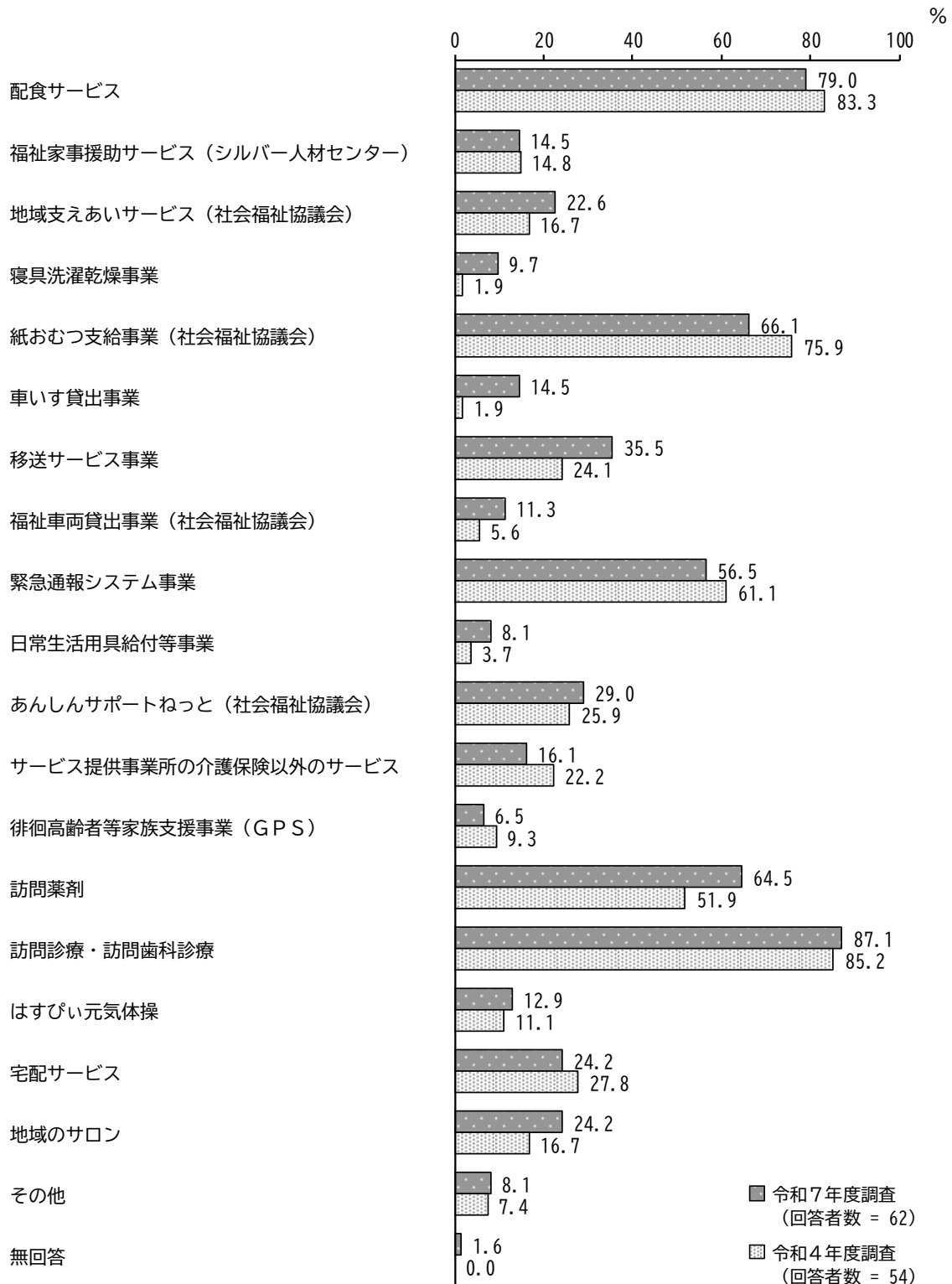


【問9で「組み入れている」を選択した方のみ】

問10 介護保険以外で組み入れているサービス（民間事業も含む）は何ですか。
（〇はいくつでも）

「訪問診療・訪問歯科診療」の割合が87.1%と最も高く、次いで「配食サービス」の割合が79.0%、「紙おむつ支給事業（社会福祉協議会）」の割合が66.1%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「地域支えあいサービス（社会福祉協議会）」「寝具洗濯乾燥事業」「車いす貸出事業」「移送サービス事業」「福祉車両貸出事業（社会福祉協議会）」「訪問薬剤」「地域のサロン」の割合が特に増加しています。一方、「紙おむつ支給事業（社会福祉協議会）」「サービス提供事業所の介護保険以外のサービス」の割合が特に減少しています。



【問9で「組み入れていない」を選択した方のみ】

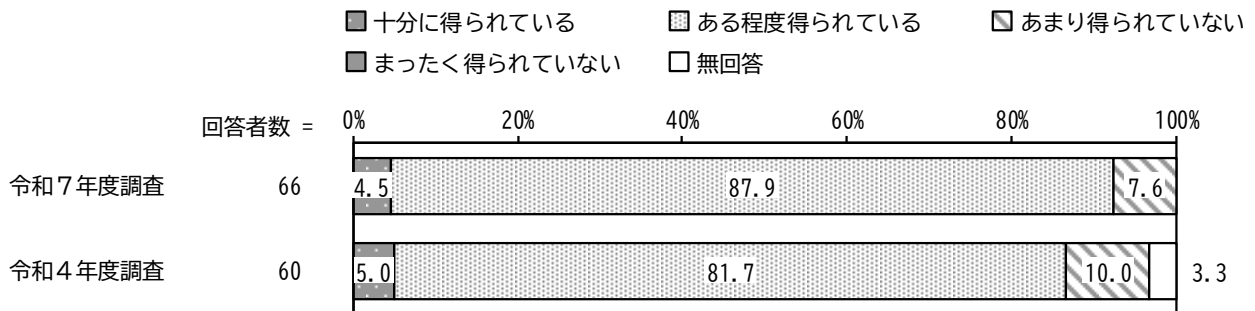
問 11 介護保険以外のサービスを組み入れていない理由はありますか。

- スポット利用しか無く、定期プランに組みにくい
- たまたま介護保険サービス以外のニーズがない
- 伝えてはいるが、まだ必要がない

問 12 介護保険制度に関する最新の情報は十分に得られていますか。(○は1つ)

「十分に得られている」「ある程度得られている」を合わせた“得られている”の割合が92.4%、「あまり得られていない」「まったく得られていない」を合わせた“得られていない”の割合が7.6%となっています。

令和4年度調査と比較すると、“得られている”の割合が増加しています。

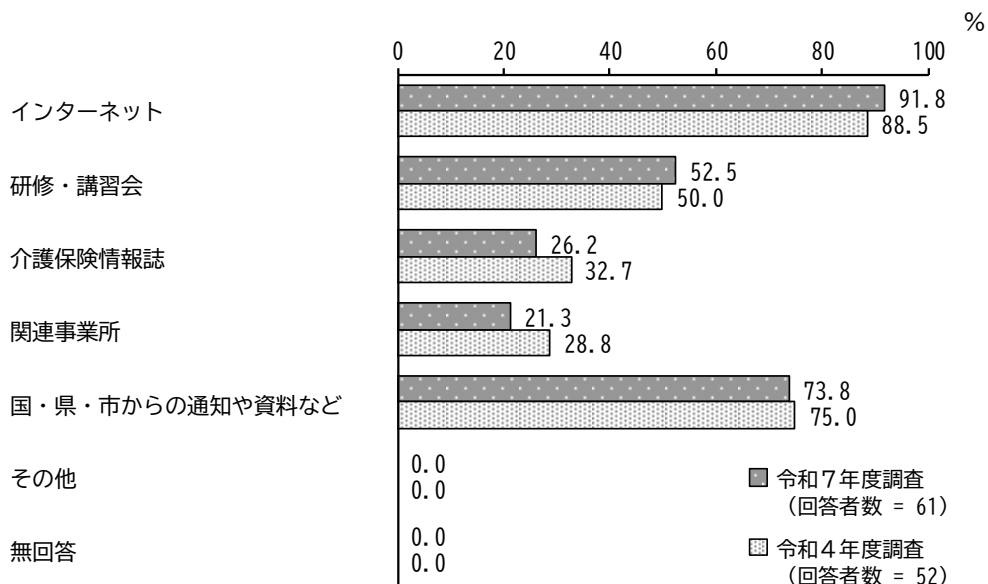


【問12で「十分に得られている」「ある程度得られている」を選択した方のみ】

問 13 介護保険制度に関する最新の情報はどこで得ていますか。(○はいくつでも)

「インターネット」の割合が91.8%と最も高く、次いで「国・県・市からの通知や資料など」の割合が73.8%、「研修・講習会」の割合が52.5%となっています。

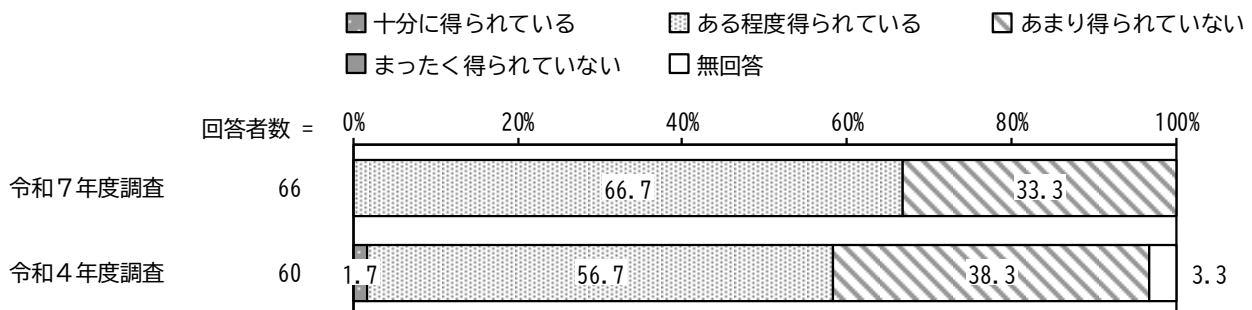
令和4年度調査と比較すると、「介護保険情報誌」「関連事業所」の割合が特に減少しています。



問 14 介護保険以外の福祉事業に関する情報は十分に得られていますか。(○は1つ)

「十分に得られている」「ある程度得られている」を合わせた“得られている”の割合が66.7%、「あまり得られていない」「まったく得られていない」を合わせた“得られていない”の割合が33.3%となっています。

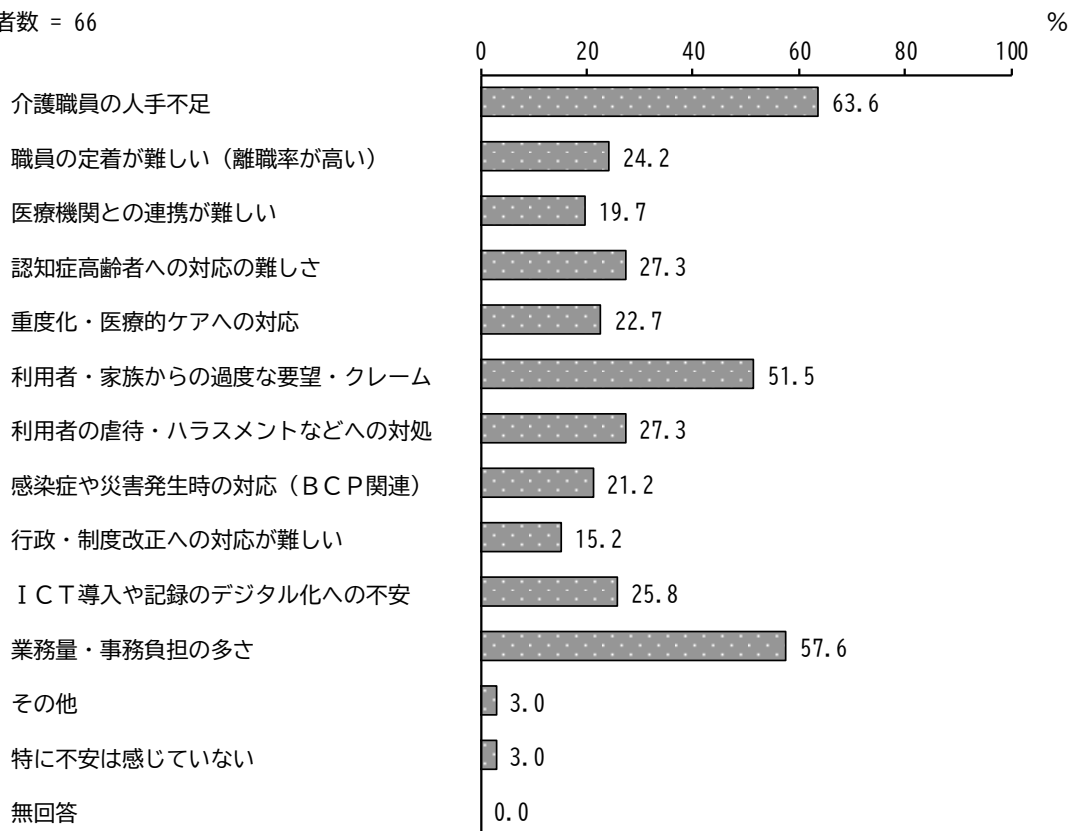
令和4年度調査と比較すると、“得られている”の割合が増加しています。



問 15 現在、介護サービスを提供する上で、不安に感じていることは何ですか。(○はいくつでも)

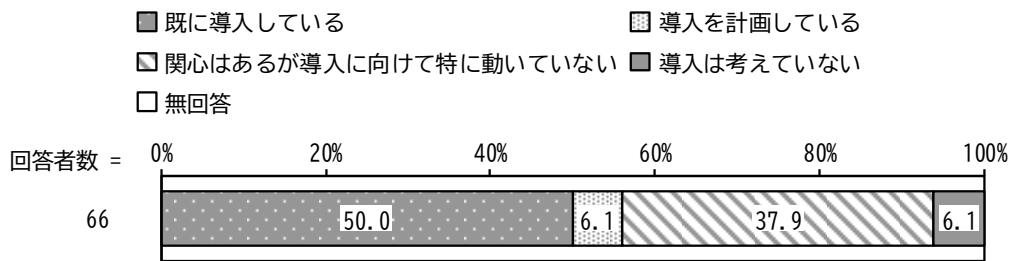
「介護職員の人手不足」の割合が63.6%と最も高く、次いで「業務量・事務負担の多さ」の割合が57.6%、「利用者・家族からの過度な要望・クレーム」の割合が51.5%となっています。

回答者数 = 66



問 16 貴事業所では I C Tを利用して業務を行っていますか。(○は1つ)

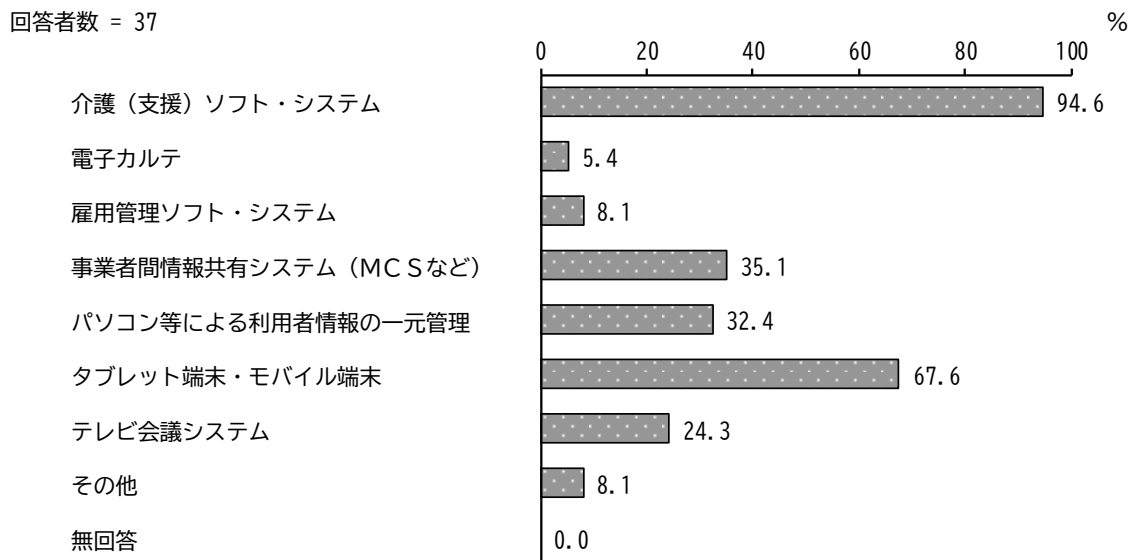
「既に導入している」の割合が 50.0%、「導入を計画している」、「導入は考えていない」の割合が 6.1%となっています。



【問 16 で「既に導入している」「導入を計画している」を選択した方のみ】

問 17 導入した（導入を計画している） I C Tは次のうちどれですか。(○はいくつでも)

「介護（支援）ソフト・システム」の割合が 94.6%と最も高く、次いで「タブレット端末・モバイル端末」の割合が 67.6%、「事業者間情報共有システム（M C Sなど）」の割合が 35.1%となっています。

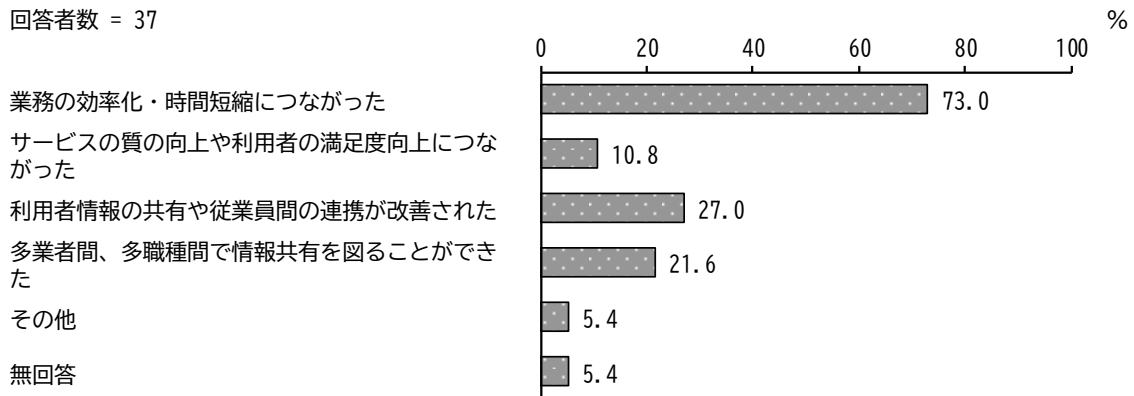


【問16で「既に導入している」「導入を計画している」を選択した方のみ】

問18 ICTを導入してよかったことや効果があったことを教えてください。
(〇はいくつでも)

「業務の効率化・時間短縮につながった」の割合が73.0%と最も高く、次いで「利用者情報の共有や従業員間の連携が改善された」の割合が27.0%、「多業者間、多職種間で情報共有を図ることができた」の割合が21.6%となっています。

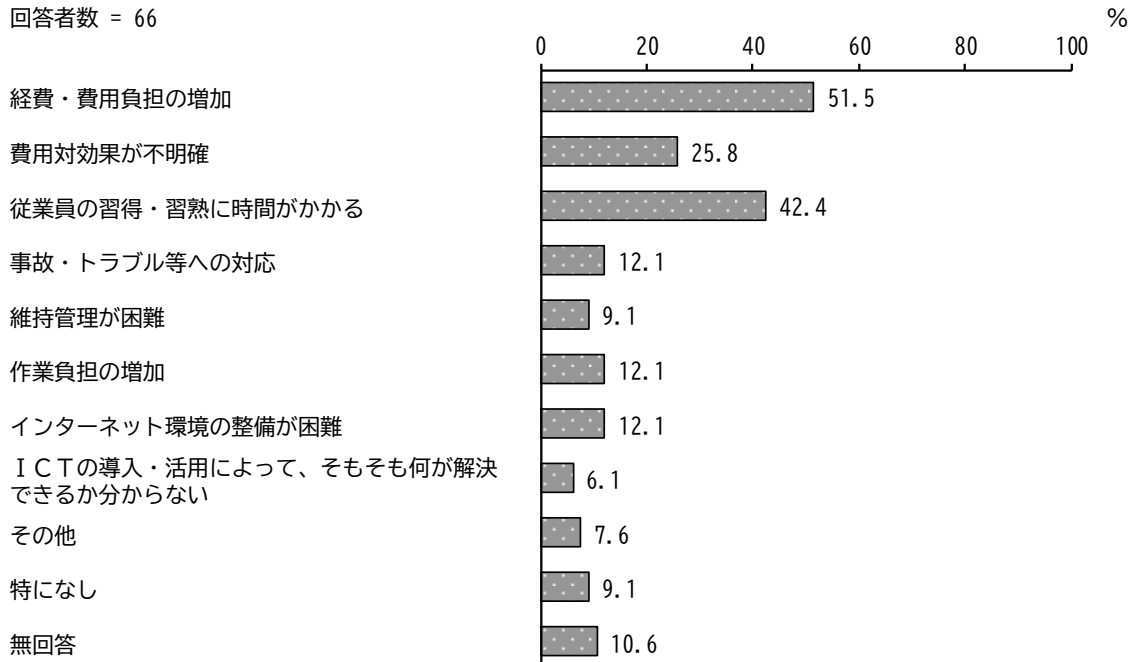
回答者数 = 37



問19 ICTの導入・活用にあたって課題があれば教えてください。(〇はいくつでも)

「経費・費用負担の増加」の割合が51.5%と最も高く、次いで「従業員の習得・習熟に時間がかかる」の割合が42.4%、「費用対効果が不明確」の割合が25.8%となっています。

回答者数 = 66

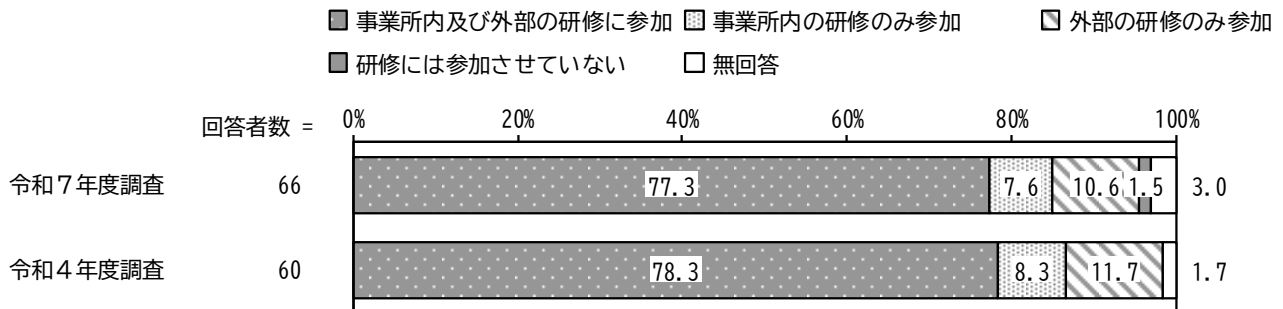


2 サービスの質の向上について

問20 サービスの質の向上に向けた研修に職員を参加させていますか。(○は1つ)

「事業所内及び外部の研修に参加」の割合が77.3%と最も高く、次いで「外部の研修のみ参加」の割合が10.6%となっています。

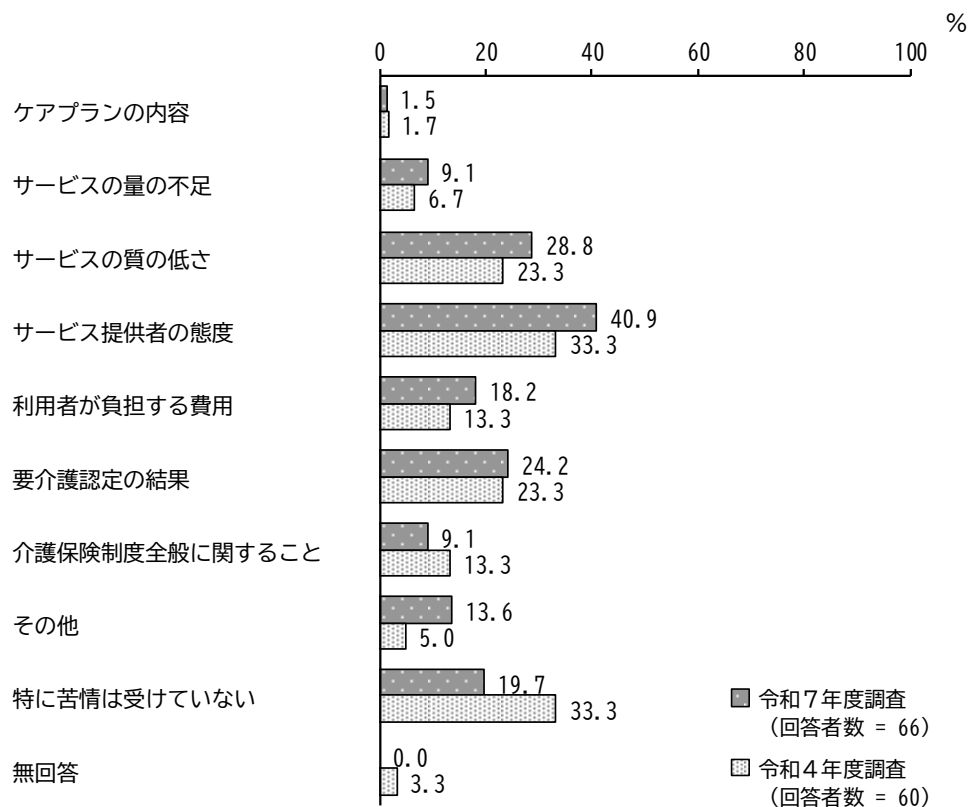
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問21 ここ3年の間に、利用者やその家族から苦情を受けたことはありますか。あった場合、それはどのような内容でしたか。(○はいくつでも)

「サービス提供者の態度」の割合が40.9%と最も高く、次いで「サービスの質の低さ」の割合が28.8%、「要介護認定の結果」の割合が24.2%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「サービスの質の低さ」「サービス提供者の態度」の割合が特に増加しています。

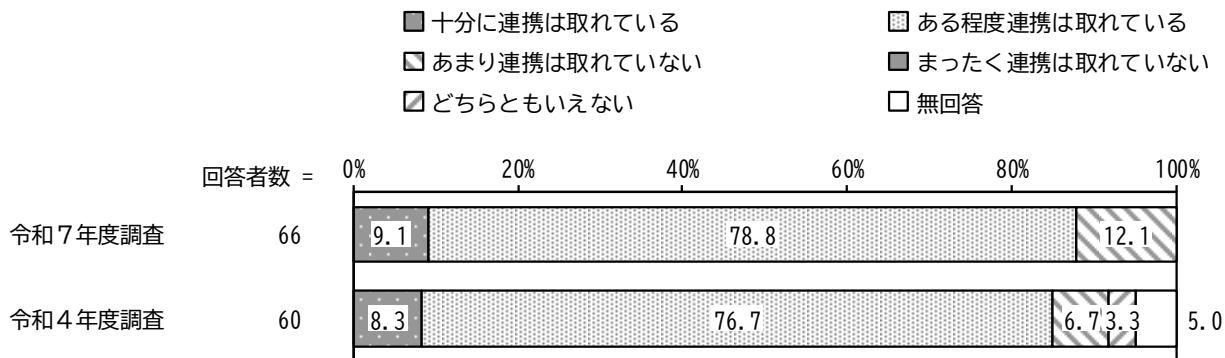


3 関係機関との連携について

問 22 医療との連携は取れていますか。(○は1つ)

「十分に連携は取れている」「ある程度連携は取れている」を合わせた“連携は取れている”の割合が87.9%、「あまり連携は取れていない」「まったく連携は取れていない」を合わせた“連携は取れていない”の割合が12.1%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「あまり連携は取れていない」の割合が増加しています。

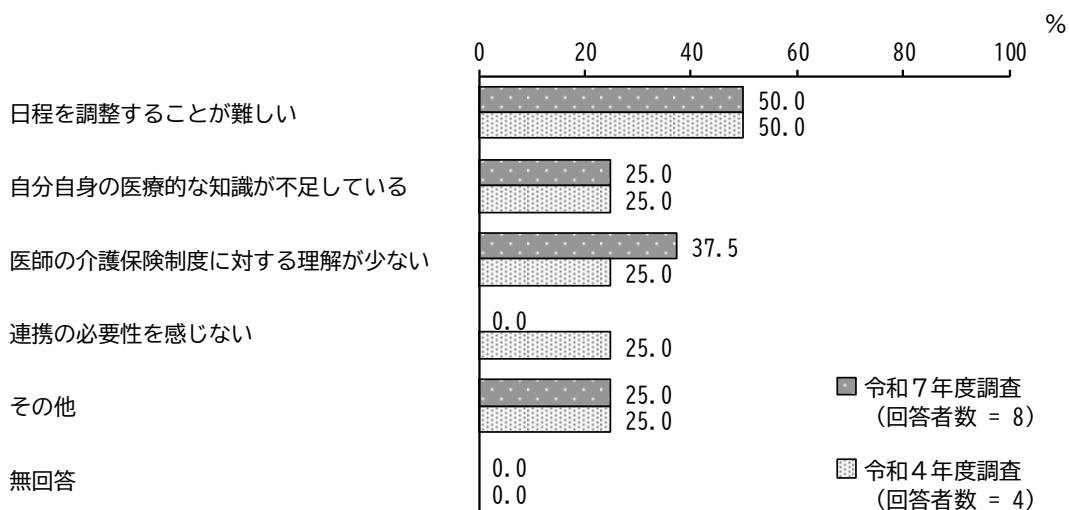


【問 22 で「あまり連携は取れていない」「まったく連携は取れていない」を選択した方のみ】

問 23 医療との連携が取れていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

「日程を調整することが難しい」が4件、「医師の介護保険制度に対する理解が少ない」が3件、「自分自身の医療的な知識が不足している」が2件となっています。

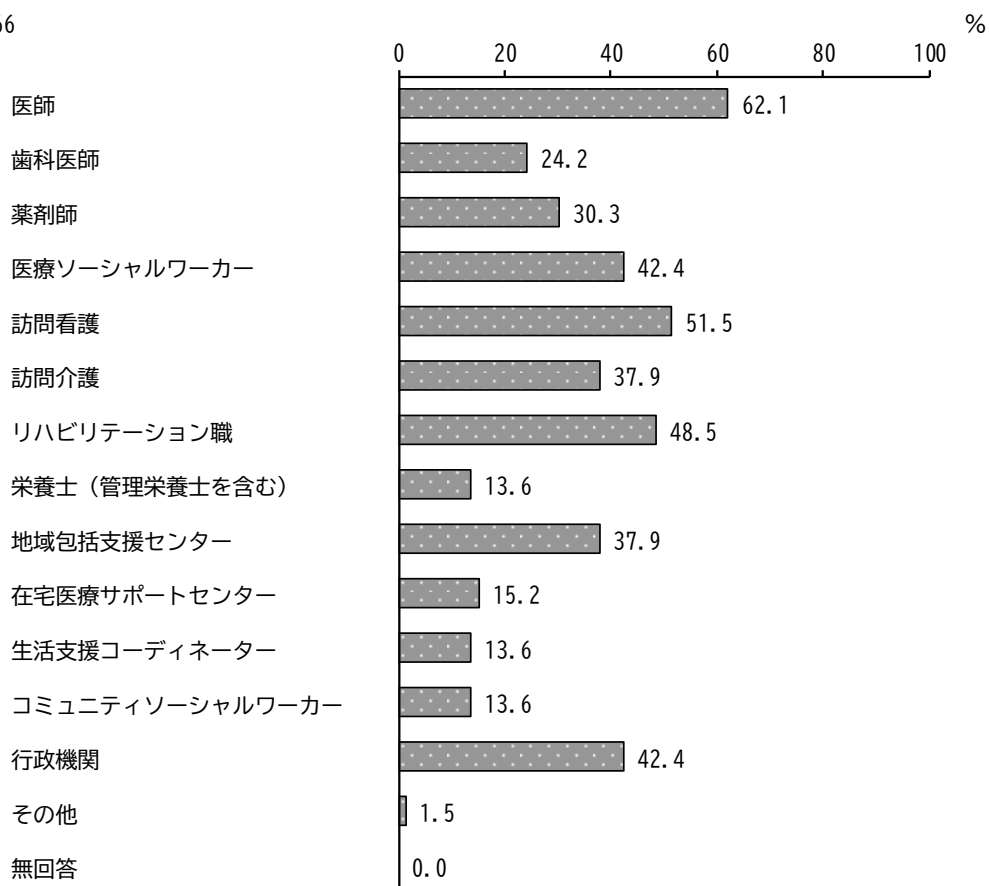
令和4年度調査と比較すると、「医師の介護保険制度に対する理解が少ない」の割合が増加しています。



問 24 利用者の在宅生活を支えるために連携を強めたい機関・窓口はどこですか。
(○はいくつでも)

「医師」の割合が 62.1%と最も高く、次いで「訪問看護」の割合が 51.5%、「リハビリテーション職」の割合が 48.5%となっています。

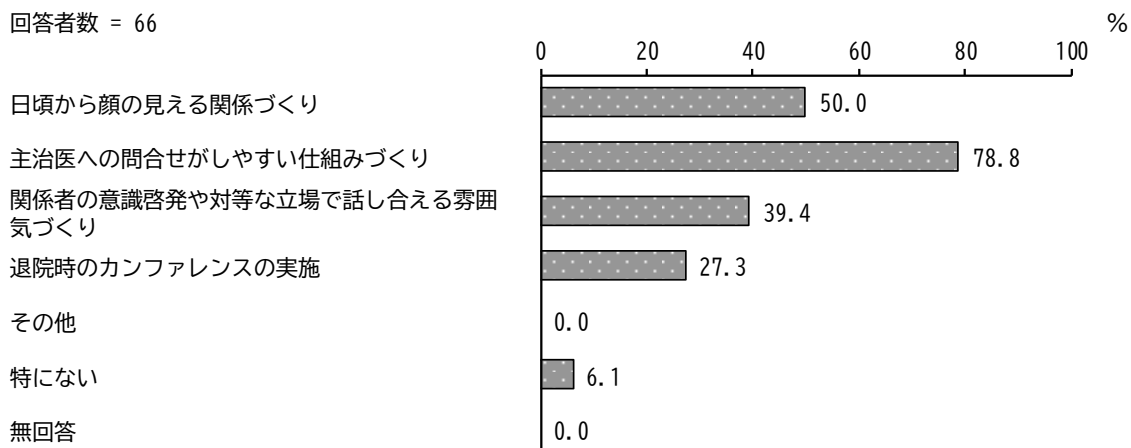
回答者数 = 66



問 25 介護従事者と医療関係者等が多職種連携を進める上で、どのようなことについて課題がありますか。(○はいくつでも)

「主治医への問合せがしやすい仕組みづくり」の割合が 78.8%と最も高く、次いで「日頃から顔の見える関係づくり」の割合が 50.0%、「関係者の意識啓発や対等な立場で話し合える雰囲気づくり」の割合が 39.4%となっています。

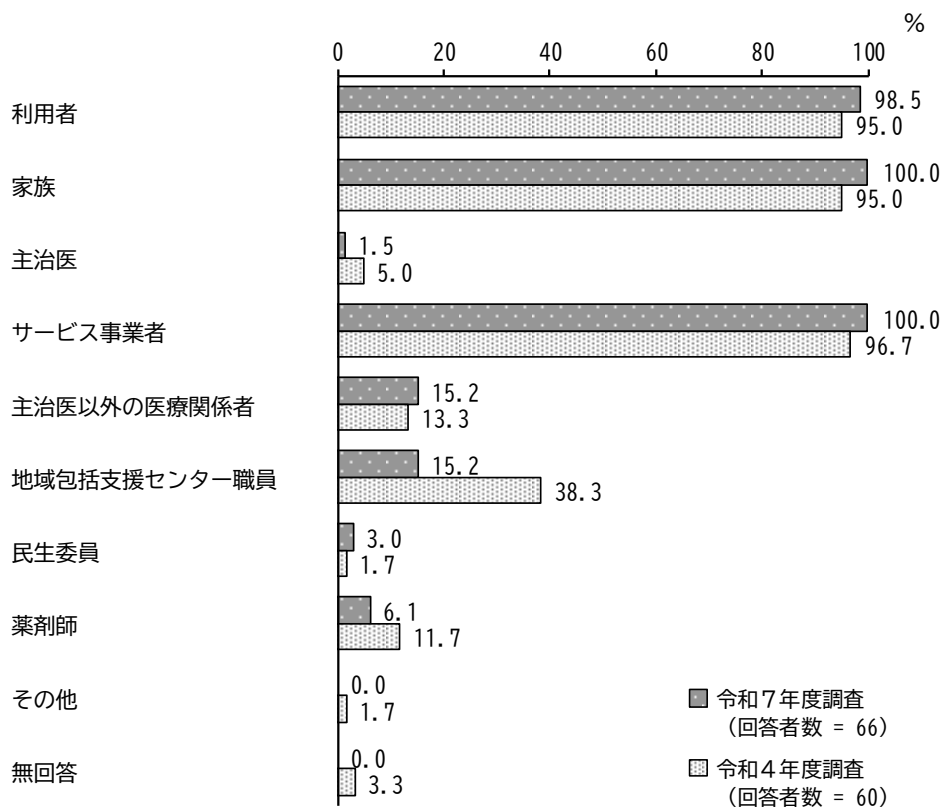
回答者数 = 66



問 26 サービス担当者会議の主な出席者は誰ですか。(〇はいくつでも)

「家族」、「サービス事業者」の割合が 100.0%と最も高く、次いで「利用者」の割合が 98.5%となっています。

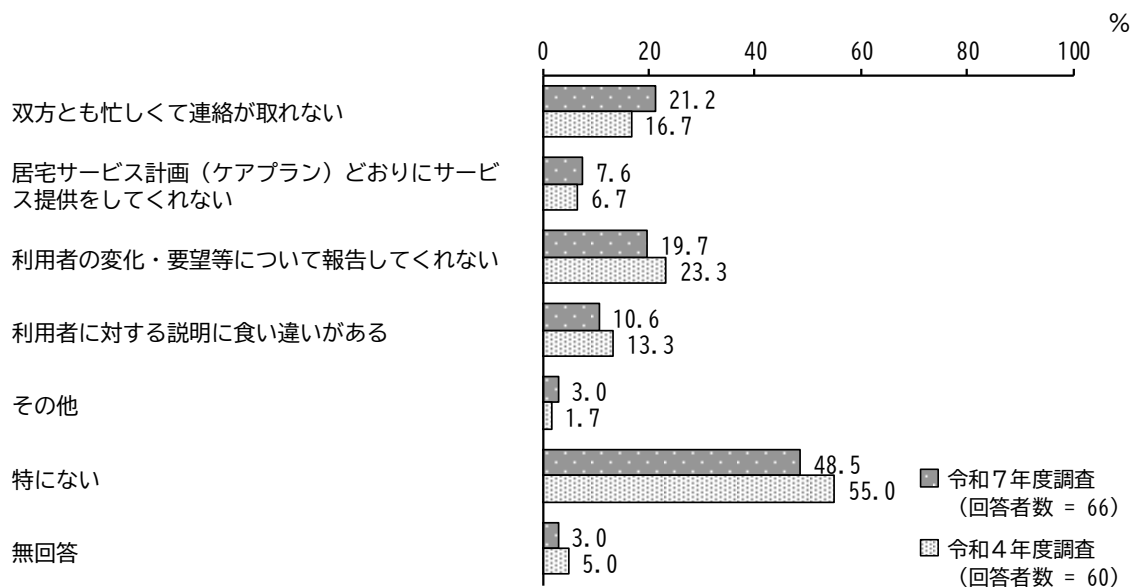
令和 4 年度調査と比較すると、「地域包括支援センター職員」「薬剤師」の割合が特に減少しています。



問 27 サービス事業者との関係において問題を感じることはありますか。(〇はいくつでも)

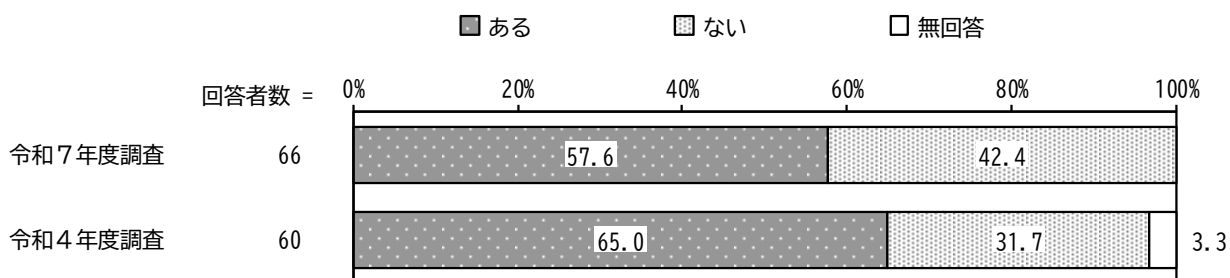
「双方とも忙しくて連絡が取れない」の割合が 21.2%と最も高く、次いで「利用者の変化・要望等について報告してくれない」の割合が 19.7%、「利用者に対する説明に食い違いがある」の割合が 10.6%となっています。

令和 4 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



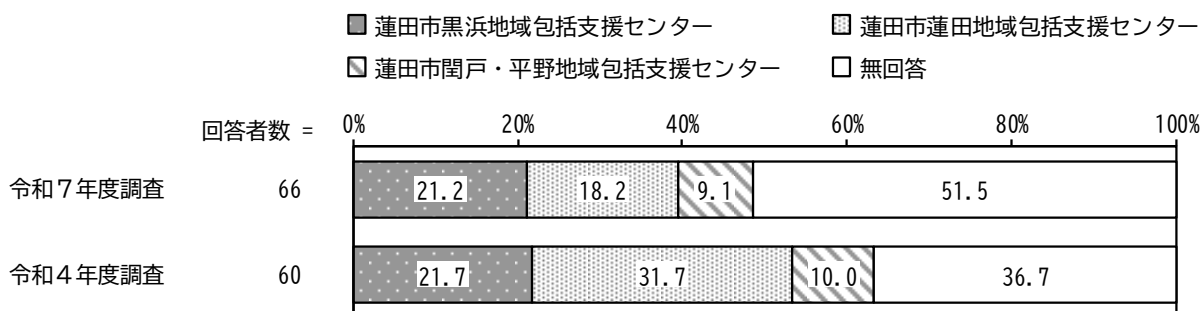
問 28 地域包括支援センターに相談することはありますか。(○は1つ)

「ある」の割合が57.6%、「ない」の割合が42.4%となっています。
 令和4年度調査と比較すると、「ない」の割合が増加しています。



問 29 活動にあたって、あなたが主に連携を図っている地域包括支援センターはどれですか。(○は1つ)

「蓮田市黒浜地域包括支援センター」の割合が21.2%、「蓮田市蓮田地域包括支援センター」の割合が18.2%、「蓮田市閩戸・平野地域包括支援センター」の割合が9.1%となっています。
 令和4年度調査と比較すると、「蓮田市蓮田地域包括支援センター」の割合が特に減少しています。

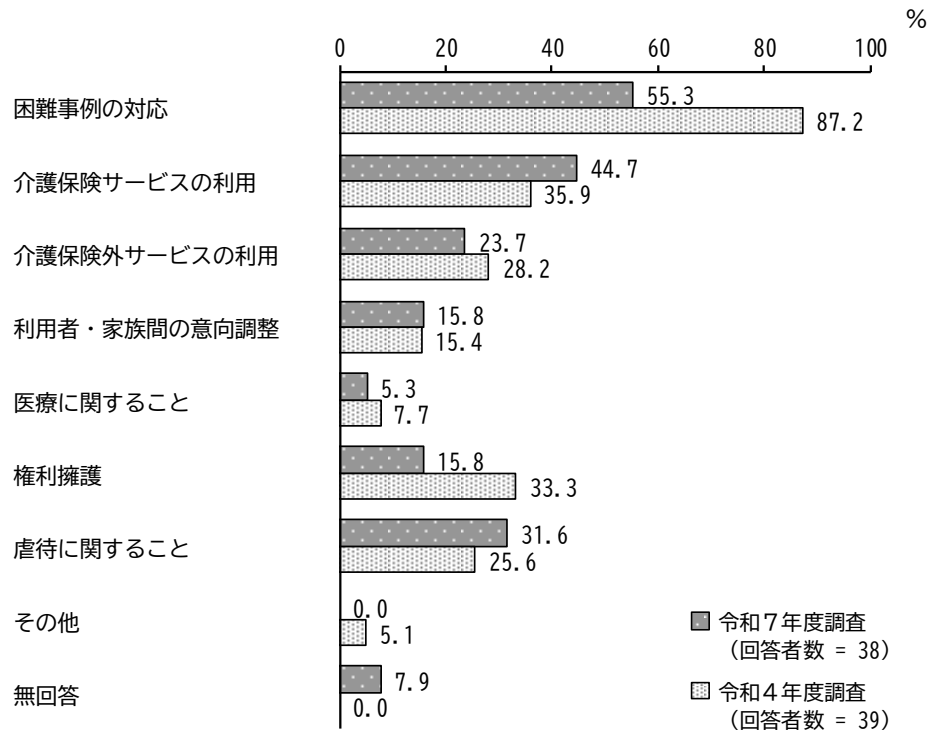


【問 28 で「ある」を選択した方のみ】

問 30 どのようなことで相談しましたか。(○はいくつでも)

「困難事例の対応」の割合が 55.3%と最も高く、次いで「介護保険サービスの利用」の割合が 44.7%、「虐待に関すること」の割合が 31.6%となっています。

令和 4 年度調査と比較すると、「介護保険サービスの利用」「虐待に関すること」の割合が特に増加しています。一方、「困難事例の対応」「権利擁護」の割合が特に減少しています。

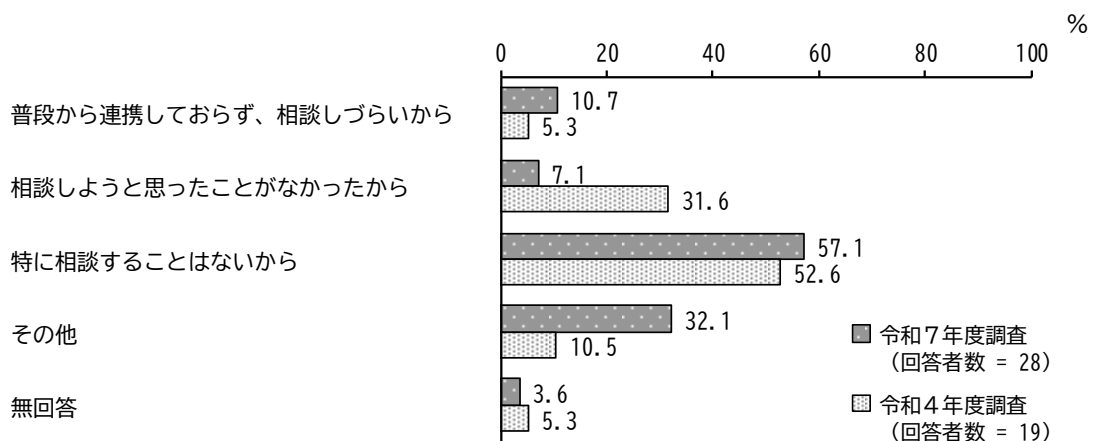


【問 28 で「ない」を選択した方のみ】

問 31 地域包括支援センターに相談しない理由は何ですか。(○はいくつでも)

「普段から連携しておらず、相談しづらいから」の割合が 10.7%、「相談しようと思ったことがなかったから」の割合が 7.1%となっています。

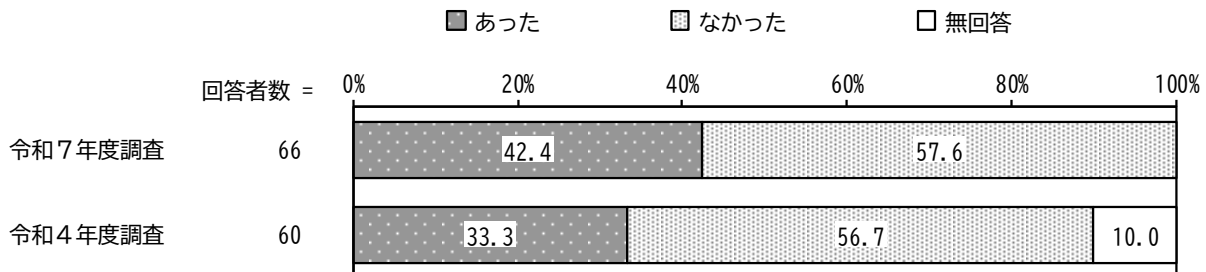
令和 4 年度調査と比較すると、「相談しようと思ったことがなかったから」の割合が減少しています。



4 高齢者の権利擁護について

問 32 現在までの約1年間において、あなたが利用者の自宅を訪問した際に介護者等による問題行動があるのではないかと感じることがありましたか。(○は1つ)

「あった」の割合が42.4%、「なかった」の割合が57.6%となっています。
令和4年度調査と比較すると、「あった」の割合が増加しています。

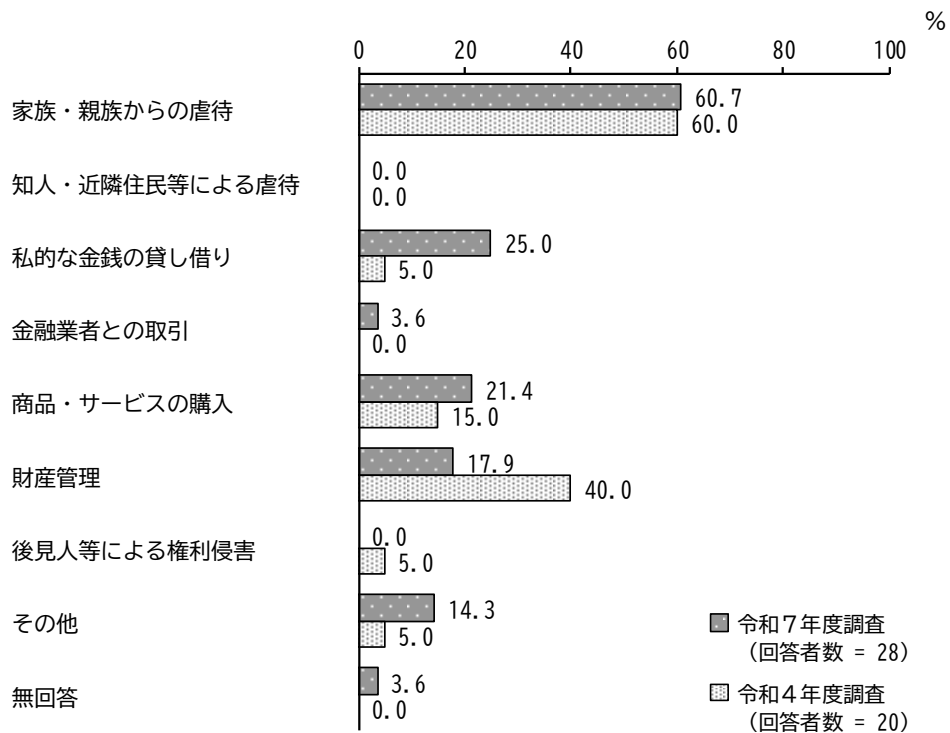


【問 32 で「あった」を選択した方のみ】

問 33 その内容はどのようなものでしたか。(○はいくつでも)

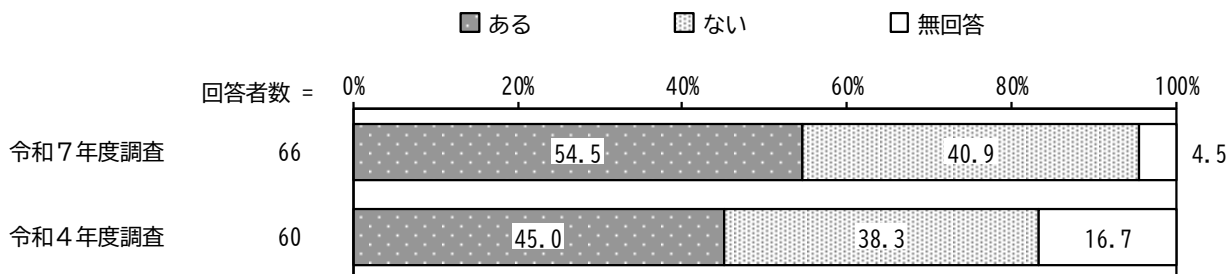
「家族・親族からの虐待」の割合が60.7%と最も高く、次いで「私的な金銭の貸し借り」の割合が25.0%、「商品・サービスの購入」の割合が21.4%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「私的な金銭の貸し借り」「商品・サービスの購入」の割合が特に増加しています。一方、「財産管理」の割合が減少しています。



問 34 解決困難な高齢者の権利擁護にかかる事例が発生した場合、すぐに相談できる専門家や機関がありますか。「ある」を選択した方は、相談先もご記入ください。(○は1つ)

「ある」の割合が54.5%、「ない」の割合が40.9%となっています。
令和4年度調査と比較すると、「ある」の割合が増加しています。

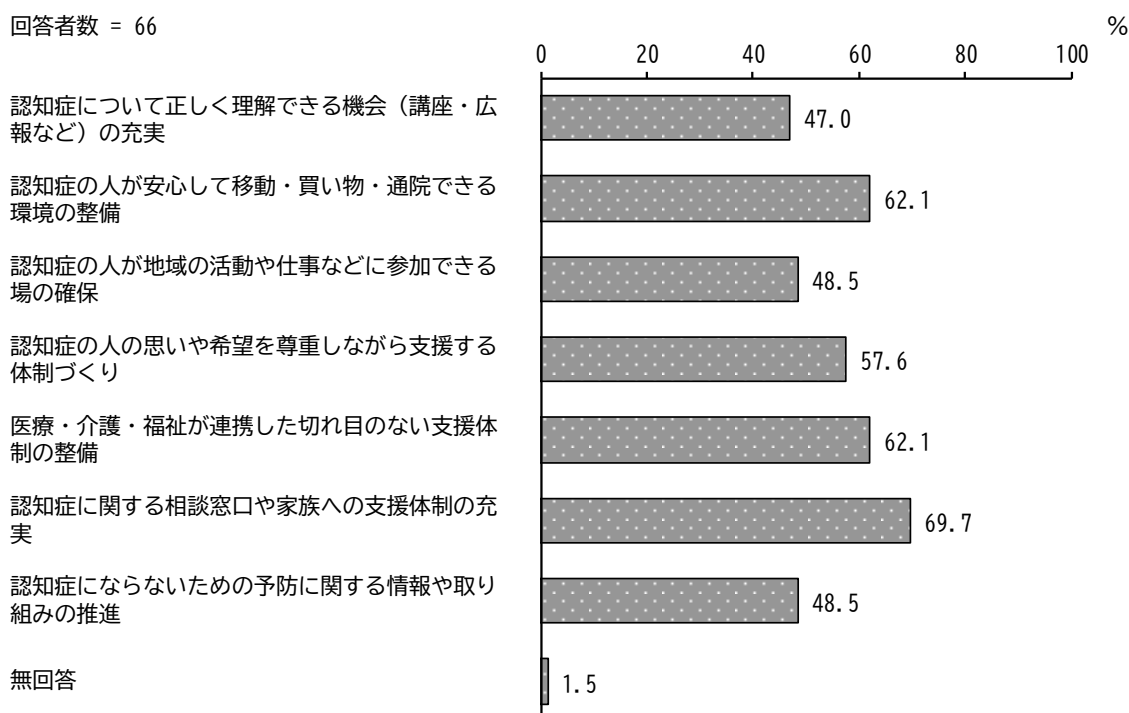


< 「ある」を選択した方の相談先 >

- 地域包括支援センター : 28件
- 市役所など行政機関 : 8件
- その他 : 4件

問 35 認知症のご本人やそのご家族が、住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、特に必要だと思うことは何ですか。(○はいくつでも)

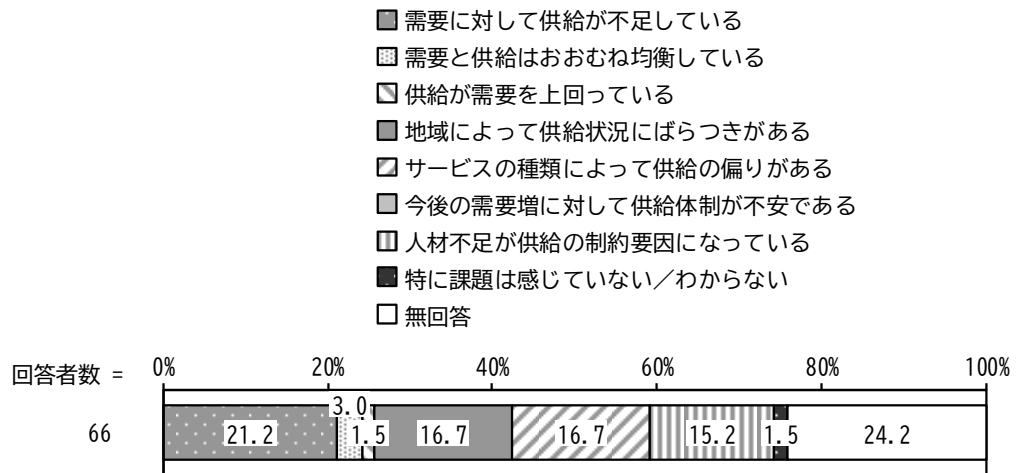
「認知症に関する相談窓口や家族への支援体制の充実」の割合が69.7%と最も高く、次いで「認知症の人が安心して移動・買い物・通院できる環境の整備」、「医療・介護・福祉が連携した切れ目のない支援体制の整備」の割合が62.1%となっています。



5 今後望むことについて

問 36 介護保険サービスの需要と供給のバランスについて、どう思いますか。(○は1つ)

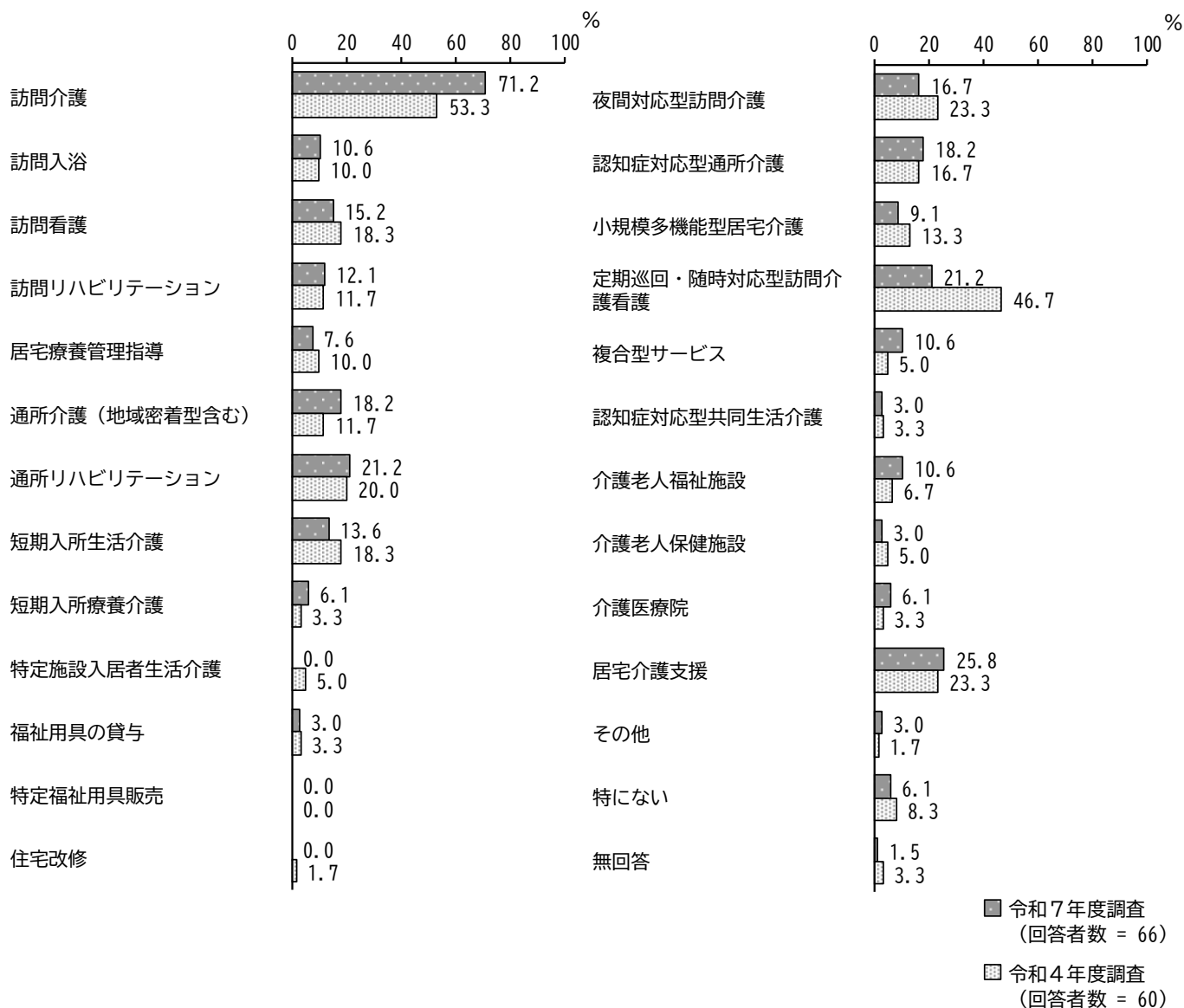
「需要に対して供給が不足している」の割合が 21.2%と最も高く、次いで「地域によって供給状況にばらつきがある」、「サービスの種類によって供給の偏りがある」の割合が 16.7%となっています。



問 37 今後充実すべきだと考える介護保険サービスは何ですか。(○は5つまで)

「訪問介護」の割合が71.2%と最も高く、次いで「居宅介護支援」の割合が25.8%、「通所リハビリテーション」、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」の割合が21.2%となっています。

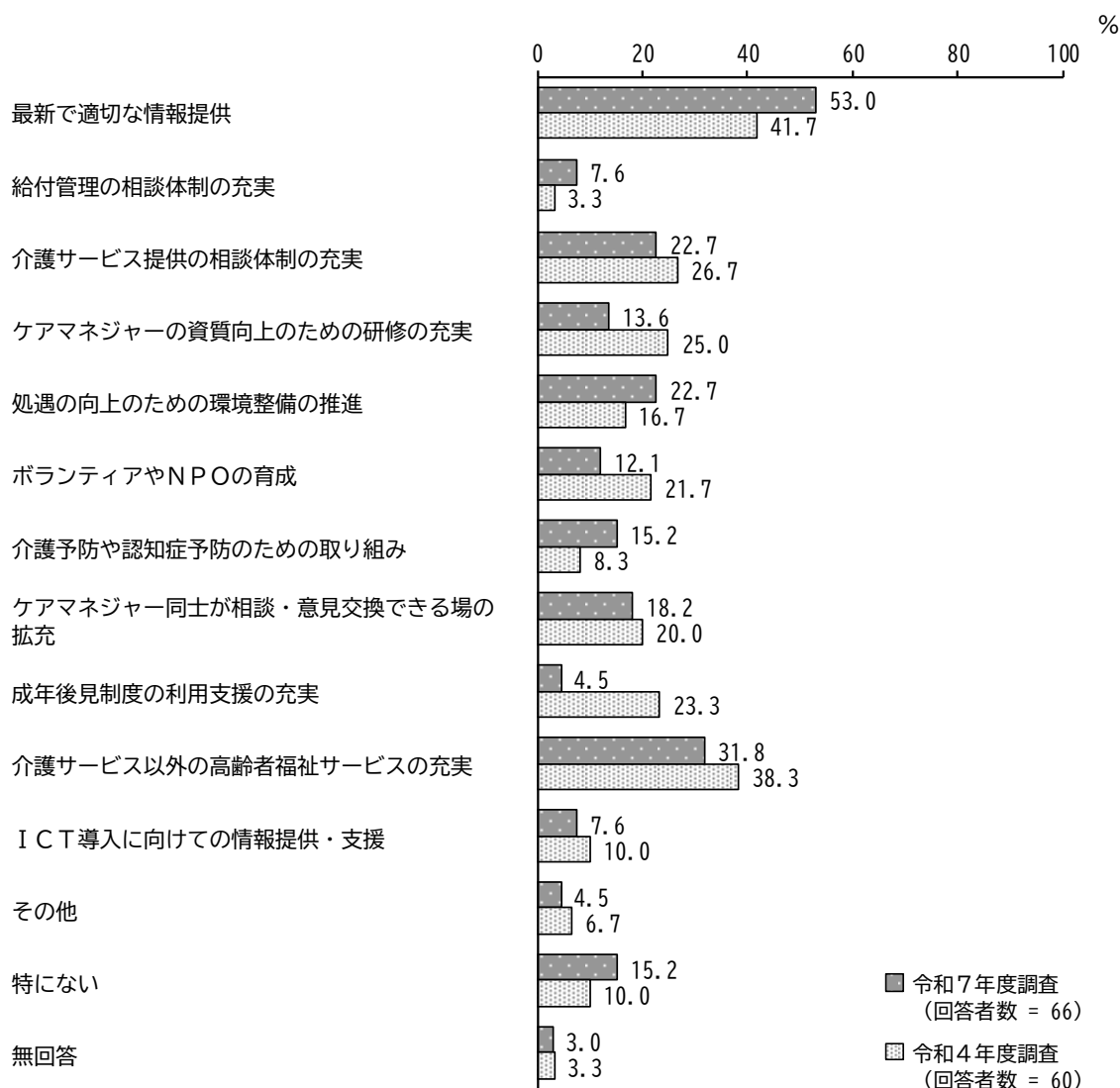
令和4年度調査と比較すると、「訪問介護」「通所介護（地域密着型含む）」「複合型サービス」の割合が特に増加しています。一方、「夜間対応型訪問介護」「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」の割合が特に減少しています。



問 38 今後、居宅介護支援事業所として蓮田市に望むことはありますか。(○は4つまで)

「最新で適切な情報提供」の割合が 53.0%と最も高く、次いで「介護サービス以外の高齢者福祉サービスの充実」の割合が 31.8%、「介護サービス提供の相談体制の充実」、「処遇の向上のための環境整備の推進」の割合が 22.7%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「最新で適切な情報提供」「処遇の向上のための環境整備の推進」「介護予防や認知症予防のための取り組み」の割合が特に増加しています。一方、「ケアマネジャーの資質向上のための研修の充実」「ボランティアやNPOの育成」「成年後見制度の利用支援の充実」「介護サービス以外の高齢者福祉サービスの充実」の割合が特に減少しています。



問 39 その他、何かご意見等ございましたら、ご記入ください。(自由記述)

- 蓮田市外の居宅のため、アンケート内容が市内の実情に即していない部分あり
- 他市の居宅介護支援事業所のケアマネジャーのため、未回答設問あり
- 居宅介護支援事業所としての回答でアンケートを記入
- 独居老人に対する支援体制の充実
- 蓮田市の長寿支援課の方々の窓口や電話での対応が丁寧で、困ったことや相談事がある時に親身に話を聞いてくれた
- 現在担当している方で蓮田市の方は1名で、市や包括への相談はなし
- 市外事業所には依頼があれば対応
- 審査会翌日に情報提供の了解をもらっている方の介護結果の開示
- 介護予防者の利用前サービス研修の実施
- アンケート時期の期間延長

VI 生活機能評価等に関する分析

1 機能別リスク該当者割合の分析

(1) 運動器の機能低下

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を運動器のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

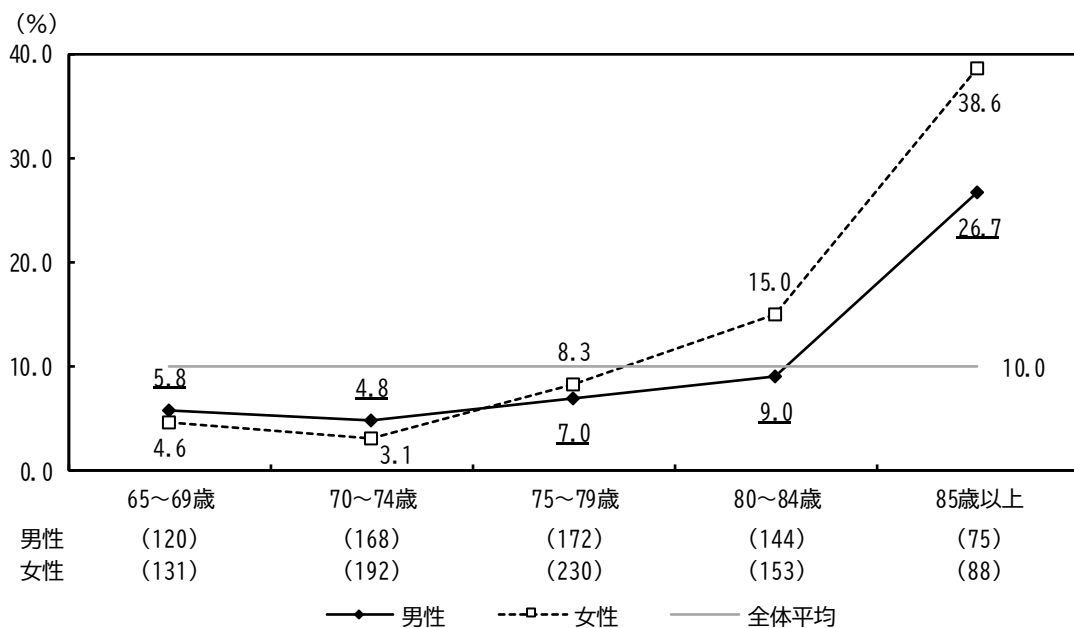
問番号	設問	該当する選択肢
問1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない
問2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない
問3	15分位続けて歩いていますか。	3. できない
問4	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある
問5	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である

【リスク該当状況】

全体平均では10.0%が運動器の機能低下リスク該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、75～79歳で男性に比べ女性で該当者割合が高くなり、85歳以上では男女ともに割合が上昇し、男性に比べ女性が11.9ポイント高くなっています。

【性別・年齢階級別】



() 内は有効回答数

(2) 閉じこもり傾向

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を閉じこもりのリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

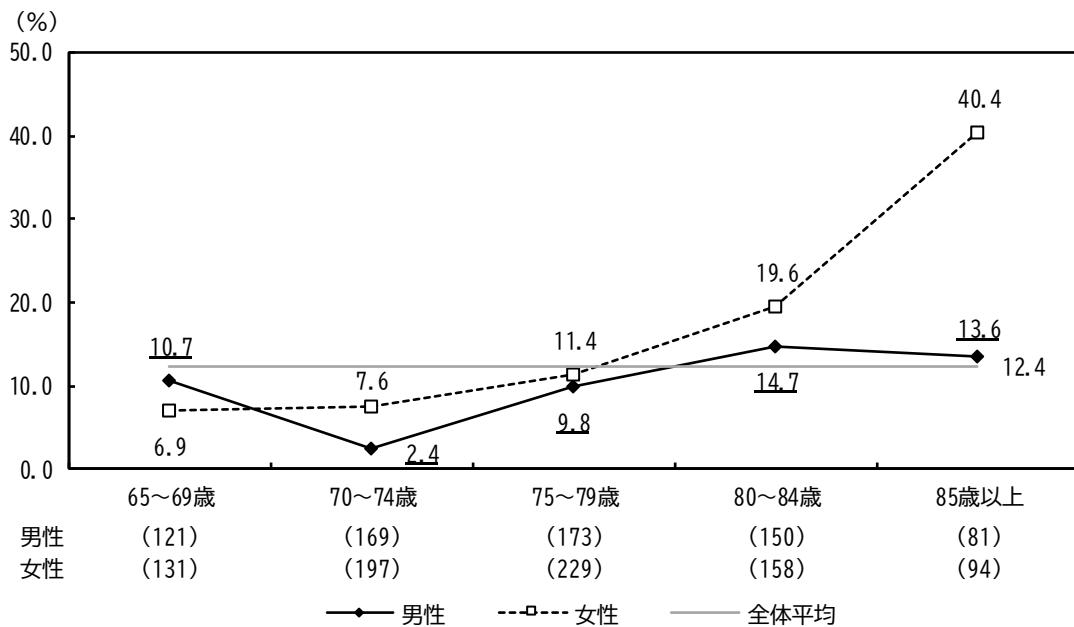
問番号	設問	該当する選択肢
問6	週にどの程度、外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

【リスク該当状況】

全体平均では12.4%が閉じこもりのリスク該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、65～69歳以外の年代で男性に比べ女性の該当者割合が高くなっており、85歳以上では男性に比べ女性が26.8ポイント高くなっています。

【性別・年齢階級別】



() 内は有効回答数

(3) 転倒リスク

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を転倒のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

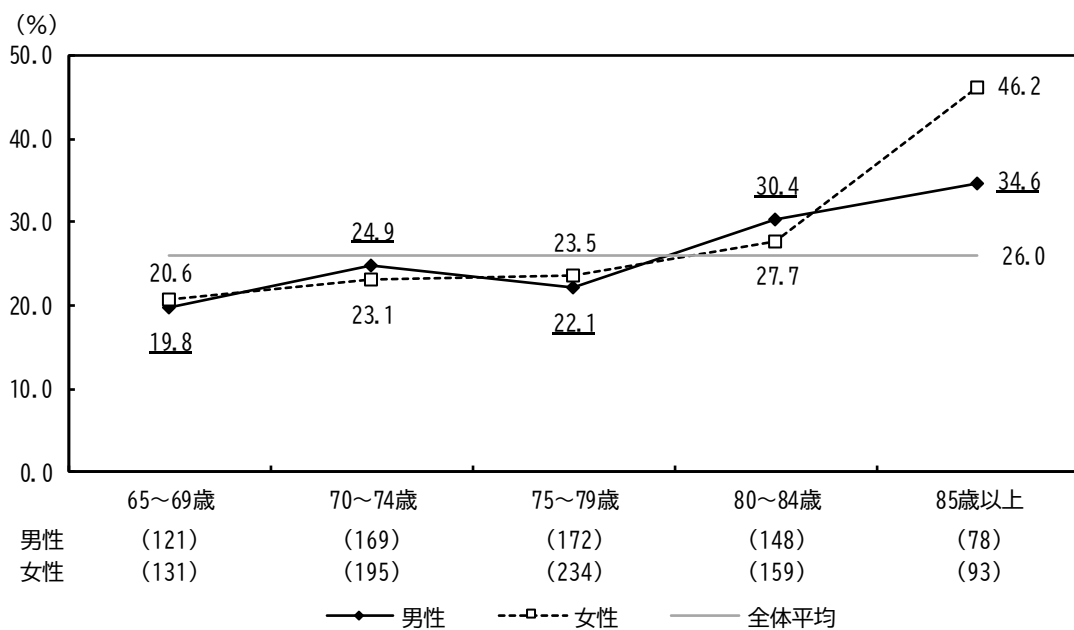
問番号	設問	該当する選択肢
問4	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある

【リスク該当状況】

全体平均では26.0%が転倒リスクの該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、85歳以上の女性で該当者割合が高くなっており、男性に比べ女性が11.6ポイント高くなっています。

【性別・年齢階級別】



	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	(121)	(169)	(172)	(148)	(78)
女性	(131)	(195)	(234)	(159)	(93)

—◆— 男性 - -□- - 女性 — 全体平均

() 内は有効回答数

(4) 低栄養の傾向

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のすべてに該当する人を栄養のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

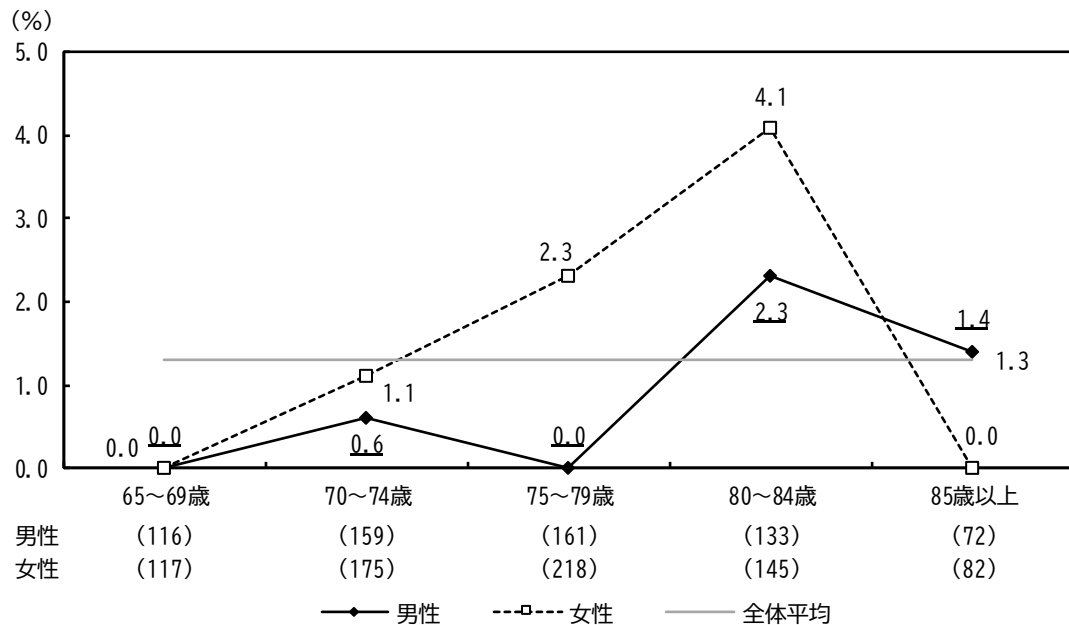
問番号	設問	該当する選択肢
問1	あなたの身長・体重はいくつですか。	BMI 18.5未満
問9	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	1. はい

【リスク該当状況】

全体平均では1.3%が低栄養リスクの該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、65～69歳では男女ともに0.0%となっていますが、女性は80～84歳まで、年齢が高くなるにつれ、該当者割合は上昇しています。

【性別・年齢階級別】



()内は有効回答数

(5) 口腔機能の低下

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、3項目のうち2項目以上に該当する人を口腔のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

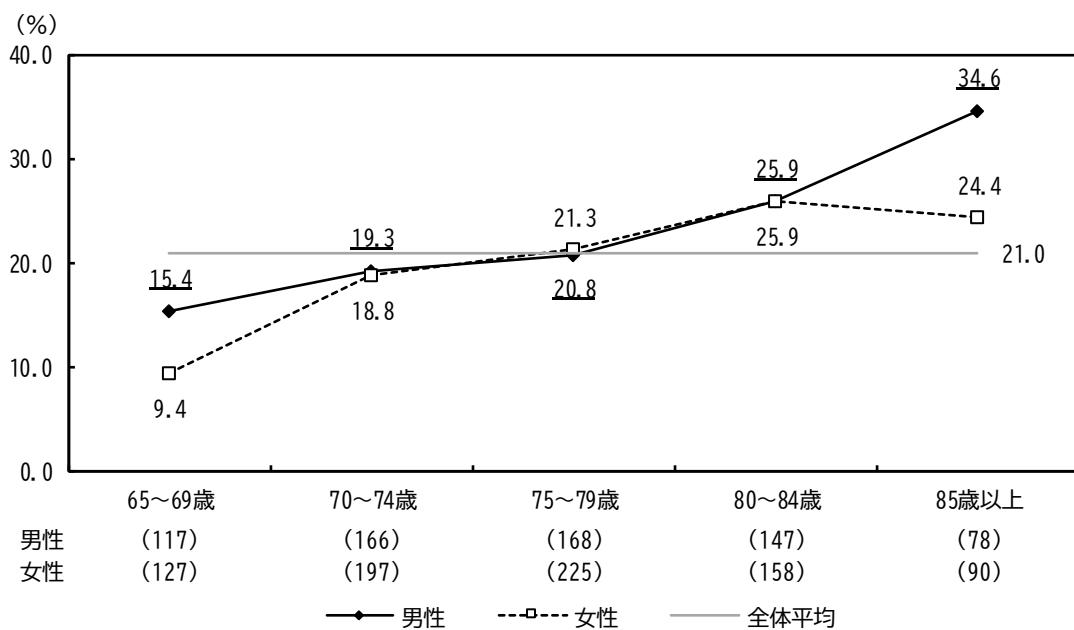
問番号	設問	該当する選択肢
問2	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1. はい
問3	お茶や汁物等でむせることがありますか。	1. はい
問4	口の渇きが気になりますか。	1. はい

【リスク該当状況】

全体平均では 21.0%が口腔機能低下リスク該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男女ともに、年齢が高くなるにつれ、該当者割合は高くなる傾向となっています。85歳以上では、女性に比べ男性が 10.2 ポイント高くなっています。

【性別・年齢階級別】



() 内は有効回答数

(6) 認知機能

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、以下の項目に該当する人を認知のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

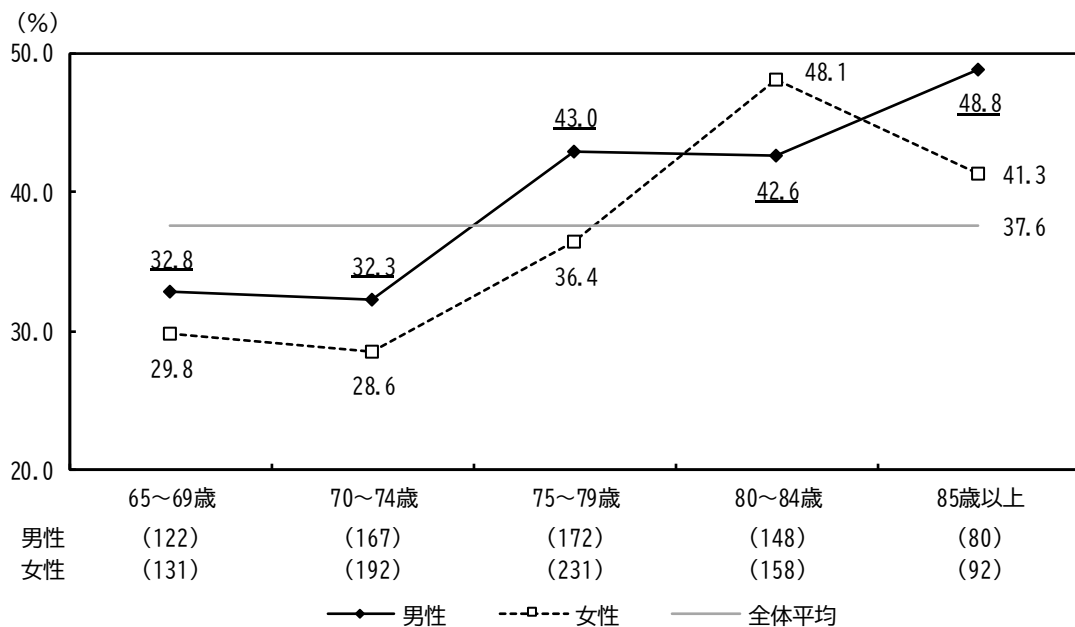
問番号	設問	該当する選択肢
問1	物忘れが多いと感じますか。	1. はい

【リスク該当状況】

全体平均では 37.6%が認知機能低下リスク該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男性は 75～79 歳から全体平均を上回っており、85 歳以上では女性に比べ男性が 7.5 ポイント高くなっています。

【性別・年齢階級別】



() 内は有効回答数

(7) うつ傾向

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のうち1項目以上に該当する人をうつのリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

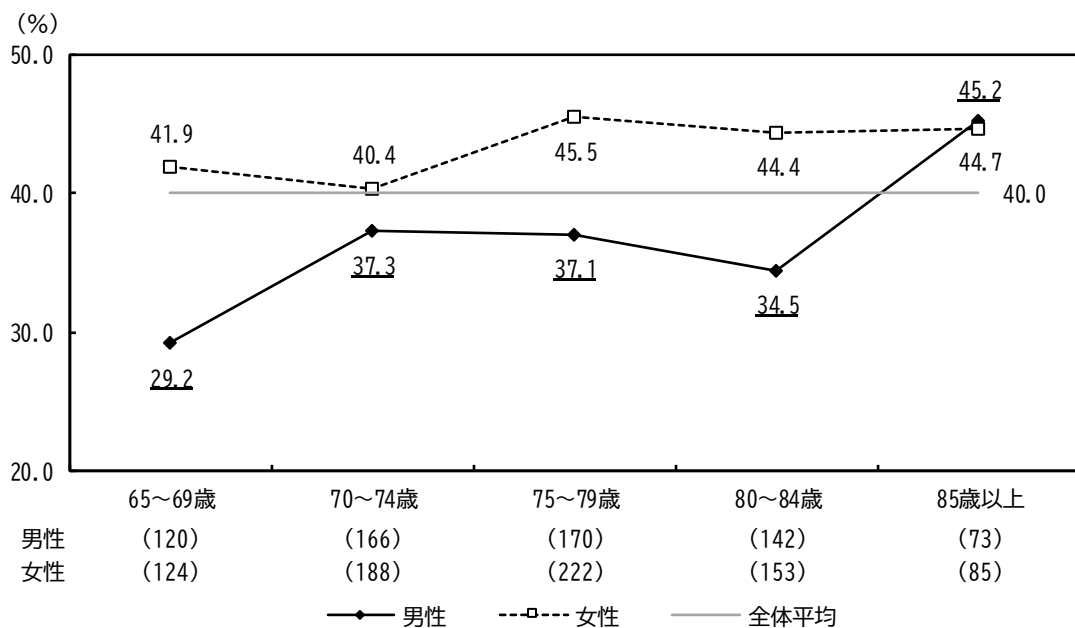
問番号	設問	該当する選択肢
問3	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい
問4	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい

【リスク該当状況】

全体平均では40.0%がうつのリスク該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性ではすべての年齢で全体平均を上回っています。男性では85歳以上で大きく上昇し、80～84歳から10.7ポイント上昇しています。

【性別・年齢階級別】



() 内は有効回答数

(8) IADL (手段的自立度)

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標には、高齢者の手段的日常生活動作に関する設問が5問あり、「IADL (手段的自立度)」として尺度化されています。

評価は、各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価しています。

また、4点以下を手段的自立度の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

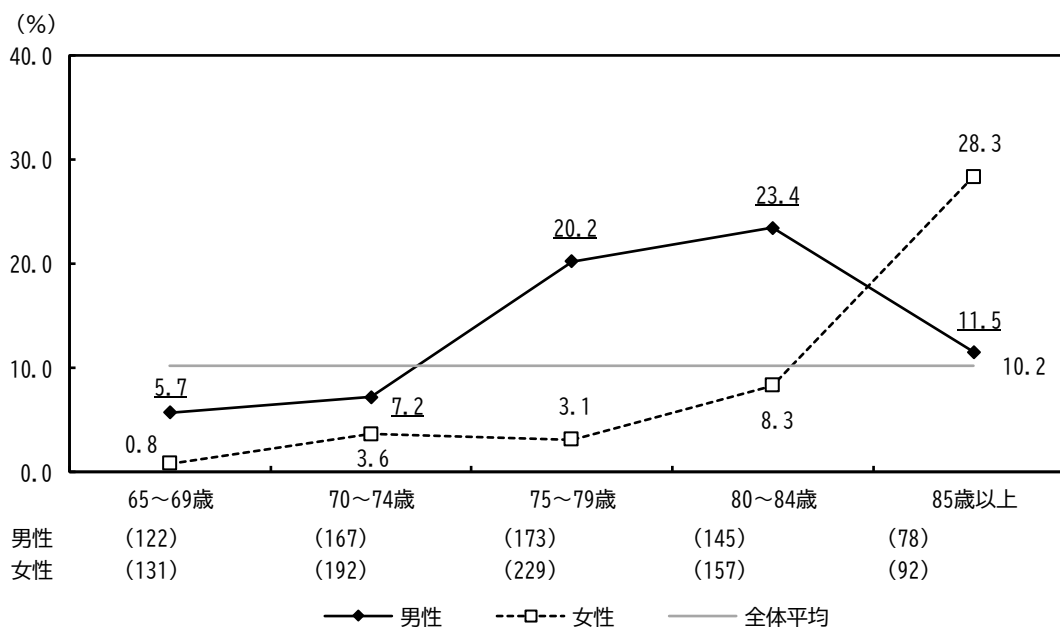
問番号	設問	該当する選択肢
問4	バスや電車を使って1人で外出していますか	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問5	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問6	自分で食事の用意をしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問7	自分で請求書の支払いをしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問8	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点

【リスク該当状況】

全体平均では10.2%が手段的自立度の低下者となっています。

性別・年齢階級別にみると、80～84歳までは女性に比べ男性で該当者割合が高くなっていますが、85歳以上で、男性に比べ女性が16.8ポイント高くなっています。

【性別・年齢階級別】



() 内は有効回答数

(9) 知的能動性

老研式活動能力指標には、高齢者の知的活動に関する設問が4問あり、「知的能動性」として尺度化されています。

評価は、各設問に「はい」と回答した場合を1点として、4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。

また、3点以下を知的能動性の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

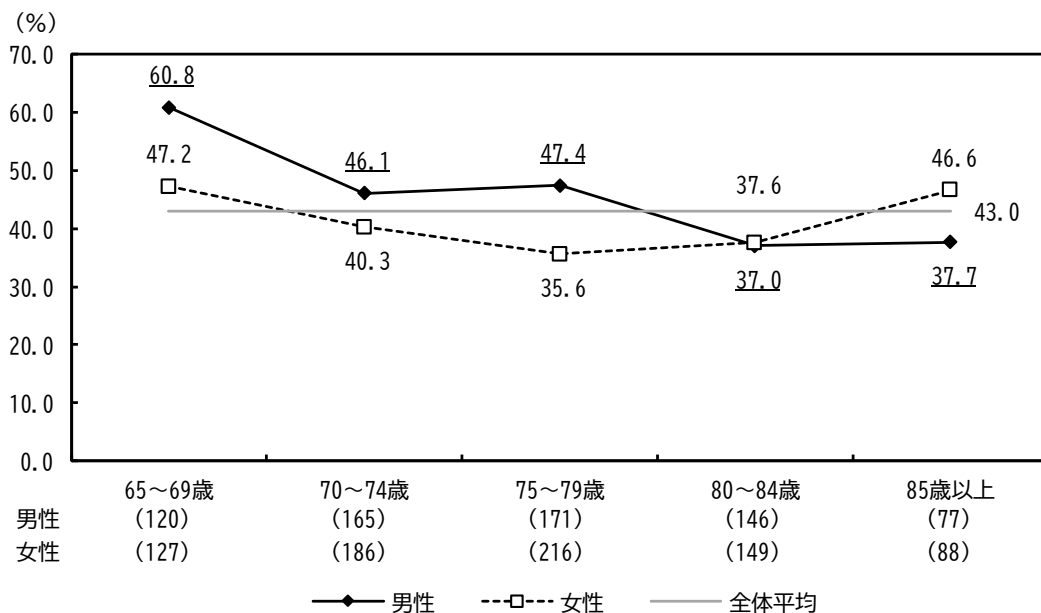
問番号	設問	該当する選択肢
問9	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。	1. はい：1点
問10	新聞を読んでいますか。	1. はい：1点
問11	本や雑誌を読んでいますか。	1. はい：1点
問12	健康についての記事や番組に関心がありますか。	1. はい：1点

【リスク該当状況】

全体平均では43.0%が知的能動性の低下者となっています。

性別・年齢階級別にみると、65～69歳では男女ともに全体平均を上回っていますが、70歳以上では大きな変化はみられません。

【性別・年齢階級別】



(10) 社会的役割

老研式活動能力指標には、高齢者の社会活動に関する設問が4問あり、「社会的役割」として尺度化されています。

評価は、知的能動性と同様に4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。

また、3点以下を社会的役割の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

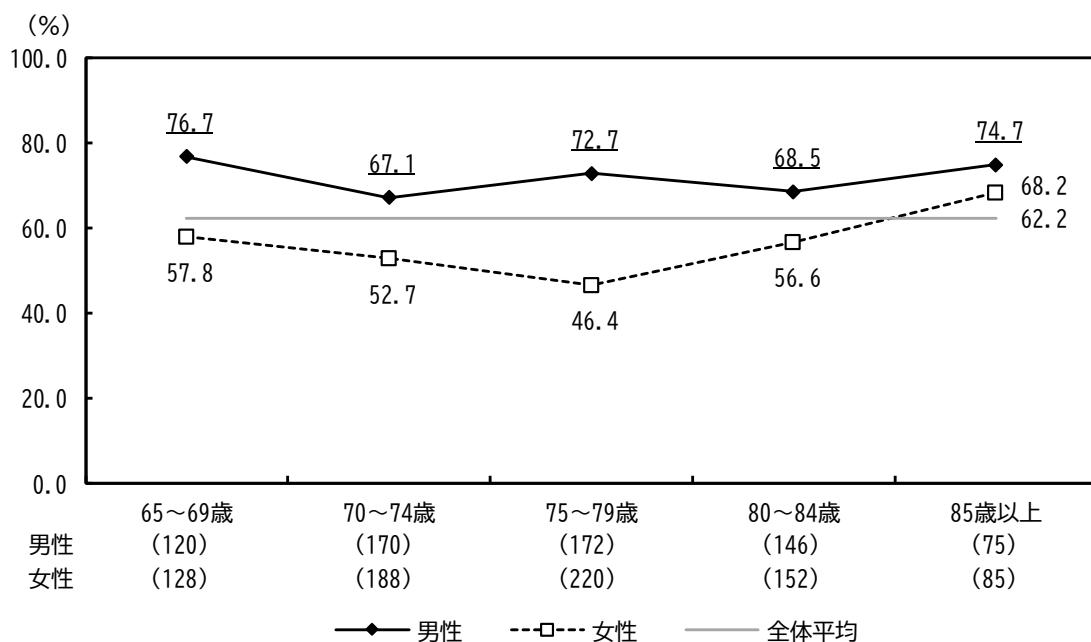
問番号	設問	該当する選択肢
問13	友人の家を訪ねていますか。	1. はい：1点
問14	家族や友人の相談にのっていますか。	1. はい：1点
問15	病人を見舞うことができますか。	1. はい：1点
問16	若い人に自分から話しかけることがありますか。	1. はい：1点

【リスク該当状況】

全体平均では62.2%が社会的役割の低下者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男性ではすべての年齢で全体平均を上回っています。

【性別・年齢階級別】



() 内は有効回答数

【ヒアリング調査】

I 調査の概要

1 調査の目的

国から示された「都道府県・市町村向け認知症施策推進計画策定の手引き」では、認知症の当事者・ご家族の意見を把握することが必要とされています。

本調査は、認知症の当事者・ご家族の声を直接うかがい、「蓮田市高齢者福祉計画 2027・第 10 期介護保険事業計画・認知症施策推進計画」を策定する上での基礎資料として実施するものです。

2 調査対象

本市に在住の認知症当事者および認知症当事者の家族

3 調査期間

本人ヒアリング：
家族ヒアリング：

令和 7 年 11 月～12 月

4 調査実施方法

本人ヒアリング：当事者との直接対面によるヒアリング

家族ヒアリング：当事者家族との座談会形式によるヒアリング

5 調査件数

本人ヒアリング：当事者 5 名

家族ヒアリング：当事者家族 9 名

Ⅱ ヒアリング調査結果

(1) 当事者ヒアリングの主な意見

① 認知症とわかった時の気持ち。

- 病気の意味がわからず、実感がなかった。
- 診断後も自覚があまりない。
- 周囲の説明も理解しづらかった。
- まさか自分が認知症とは思わなかった。
- 物忘れは以前からあったため、特別視していなかった。
- 医師からの助言にショックを受けたが、受け止めている。
- ショックというより、淡々と受け止めた。
- あまり深く考えなかった。
- 周囲の反応で病気を意識するようになった。
- 最初は周囲に話すことに抵抗があった。

② 気づくきっかけとなった変化はどのようなことですか。 その後、どのように行動しましたか、どのように受診に結び付きましたか。

- 認知症の家族と似たような症状から気づいた。
- 物忘れの自覚と家族の勧めで受診。
- 本や情報を通じて自分の症状を確認。
- 脳梗塞やMRI 検査が受診のきっかけになった。
- 新薬治療について本人・家族で相談し選択。
- 日常生活での困りごとが受診のきっかけ。
- 仕事や職場での支障が受診を後押し。
- 物忘れへの対処としてメモを活用。
- 地域の支援機関へ相談した。
- 自覚が薄く、きっかけがはっきりしない。

③ 認知症ではないかと感じた時、家族・親族・知人以外で最初にどこに（誰に）相談しましたか。

- 職場の人が変化に気づき、相談支援機関（若年性認知症サポートセンター、地域包括支援センター）につながった。
- 家族とは軽い会話はあったが、相談まではしていない。
- 最近になって周囲に認知症であることを伝え始めた。

④ 安心できる場面や対応はありますか。

○人とのつながりによる安心

- 仲間や職場の人との会話が安心につながる。
- すぐに聞ける人が近くにいると安心。
- デイサービスなど、人がいる場所で安心感を得る。
- 同年代の友人との会話が心の支えになる。
- パニック時に相談できる相手がいると安心。

○環境や日常の継続による安心

- いつもと同じ環境や行動が安心感を生む。
- これまでの活動や関係を続けられることが大切。
- 地域活動や役割を継続していることが自信につながっている。

○自分なりの工夫や姿勢による安心

- わからないことを調べて理解できると安心。
- わからないことは素直に聞くようにしている。

⑤ 生活のなかでの楽しみはありますか、今後やってみたいことはありますか。

○人との関わりを楽しむ

- 外で人と話すことが好き。
- 友人との交流や外出を大切にしている。
- 周囲との関係性を大切にし、無理はしない姿勢。

○役割や社会とのつながり

- できることを頼まれるのがうれしい。
- 役割があることが喜び。

○外出や文化的な楽しみ

- 旅行や観劇など、外出の楽しみがある。
- 自然の中での活動も好き。

○身体を動かすことや健康への意識

- 身体を動かすことが楽しみになっている。
- 歩数を記録するなど、健康への意識がある。

○自分のペースを大切に

- 楽しみがあるため新しいことよりも、今までの活動を継続していくことを重視。

⑥ 不安を感じる場面や対応はありますか。

○環境や状況の変化への不安

- 外出や見知らぬ場所に対する不安がある。
- いつもと違うことに対して強い不安を感じる。
- 1人であることに不安を感じる。

○日常生活の中での不安

- 料理や家事がうまくできなくなってきたことへの不安。
- これまで使えていたものがわからなくなる。
- 物が見つからないとパニックになる。
- 日常の判断や行動に自信が持てなくなってきた。
- 情報が一度に入ってくると混乱しやすい。
- 「ダメ」と否定されると自信をなくす。

⑦ あなたは認知症の人が住み慣れた地域で暮らしていくためにどのような手助けがあると思いますか。

○本人の思いを尊重する支援

- 本人の気持ちや意見を大切にすることが重要。
- 好きなことを続けられる環境が安心につながる。

○人とのつながりや交流の継続

- 人が集まる場や交流の継続が大切。

○日常生活の安心を支える仕組み

- 外出や受診時のサポートがあると安心。
- 独居のためいざというときの支えが必要。
- 認知症に関する情報や知識を得られる場が必要。

⑧ 同じ疾患を持った人と交流したいですか。

○交流への不安やためらい

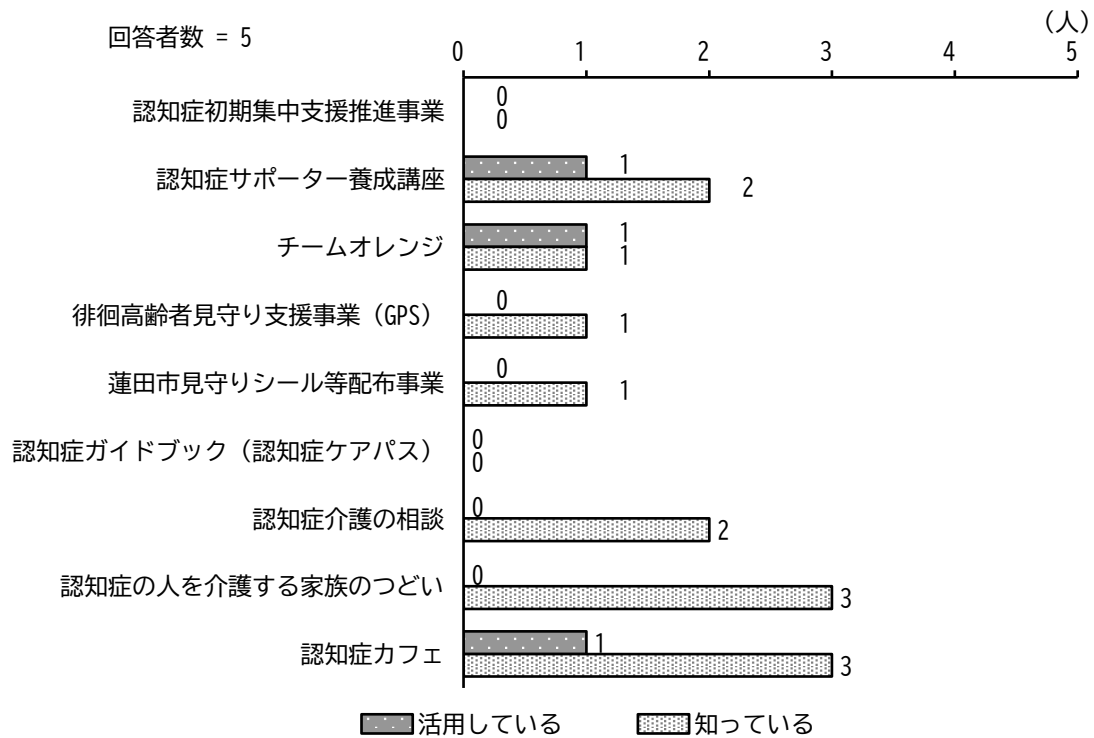
- 地域の人との交流には不安やためらいがある。
- 新たな交流を望まない気持ちもある。
- 今いる仲間を大切にしたいという思いが強い。
- 移動手段の制限が参加のハードルになっている。

○満足できる交流の経験

- 若年性認知症本人のつどいでの出会いには満足している。

⑨ 認知症の事業を知っていますか、活用していますか。

「認知症の人を介護する家族のつどい」「認知症カフェ」を知っている人数が3人と最も多く、次いで「認知症サポーター養成講座」「認知症介護の相談」の人数が2人となっています。



⑩ その他

○地域との関わりや理解への働きかけ

- 認知症を隠さず、地域に理解してもらう努力をしている。
- 地域でのつながりを大切にし、助け合いたいという思いがある。

○日常生活について

- 運転に不安を感じ、実際に支障が出たことがある。
- 日常の行動での失敗があるが、前向きに捉えている。

(2) 家族ヒアリングの主な意見

① 本人の変化に気づいた時、どのように感じましたか。

- 物忘れや繰り返しの言動が最初の気づきとなった。
- 家族や周囲の人からの指摘で気づいたケースが多い。
- 外での変化や日常生活の困難から異変に気づいた。
- 認知症に対するショックや戸惑いがあった。
- もともとしっかりしていた人が変化していくことへの驚き。
- 認知症は治せない病気だという認識があった。
- 認知症の種類や症状の多様さに直面した。
- 診断や受診までに迷いや葛藤があった。
- 介護認定を考えるきっかけになった。
- 家族の支えやアドバイスが受診につながった。

② 家族のなかで気持ちの変化はありましたか。

- 認知症かもしれないと感じ、受け入れようとした。
- 診断を受けて、進行することを理解している。
- 支援者との連携が安心につながった。
- 家族のつどいやサポーター活動で理解を深めた。
- できることは本人に任せるようにしている。
- 本人の尊厳を大切にしたいという思いがある。
- 恥ずかしさを感じつつも、近所の人に話した。
- 情報収集を通じて前向きな気持ちを持てた。

③ 他の人に打ち明けたり、相談しようと思いましたか。

- 本人不在で医師や関係者に相談を始めた。
- 本人の行動（徘徊など）をきっかけに近所に打ち明けた。
- ご近所との信頼関係が打ち明ける後押しになった。
- 地域活動を通じて顔見知りが多く、打ち明けやすかった。
- 人付き合いが少ない中でも、必要な人には伝えた。

○身近な人との支え合い

- 親友や家族に相談し、支えられた。
- 介護経験者の話に励まされた。

○専門職や制度へのアクセス

- ケアマネジャーやヘルパー経験者から具体的な助言を得た。
- 介護認定や行政の支援を検討し、活用した。

④ 家族のかたが安心できる場面や対応はありますか。

○支援サービスの活用による安心

- サービス支援者の存在が安心につながっている。
- ショートステイや訪問サービスの活用で介護者自身の時間を確保。
- 地域の人やご近所の見守りが安心感を与えている。

○人とのつながりがもたらす心の支え

- 家族のつどいや友人との会話が心の支えになっている。
- 支援者や家族が優しく接してくれることが心の支え。
- 本人への周囲の理解が安心感を生む。

○介護者自身のケアと息抜き

- 本人と離れることへの罪悪感を乗り越え、自分のケアも大切にしている。
- 自分を制限しすぎず、息抜きの時間を大切にしている。
- 日常の中で自然に息抜きを取り入れている。

⑤ 家族のかたが不安に感じることはありますか。

○本人の状態や日常に関する不安

- 認知症の進行や症状の悪化に対する不安。
- 常に本人の安全を気にかけており、気が抜けない。
- 本人の外出や転倒への不安。
- 介護サービスの継続性に対する不安。

○介護者自身の体調や将来に関する不安

- 自分の体調や事故など、介護者自身の不測の事態への不安。
- 自分が先に亡くなった場合の不安。
- 子どもに頼れない状況での将来への不安。

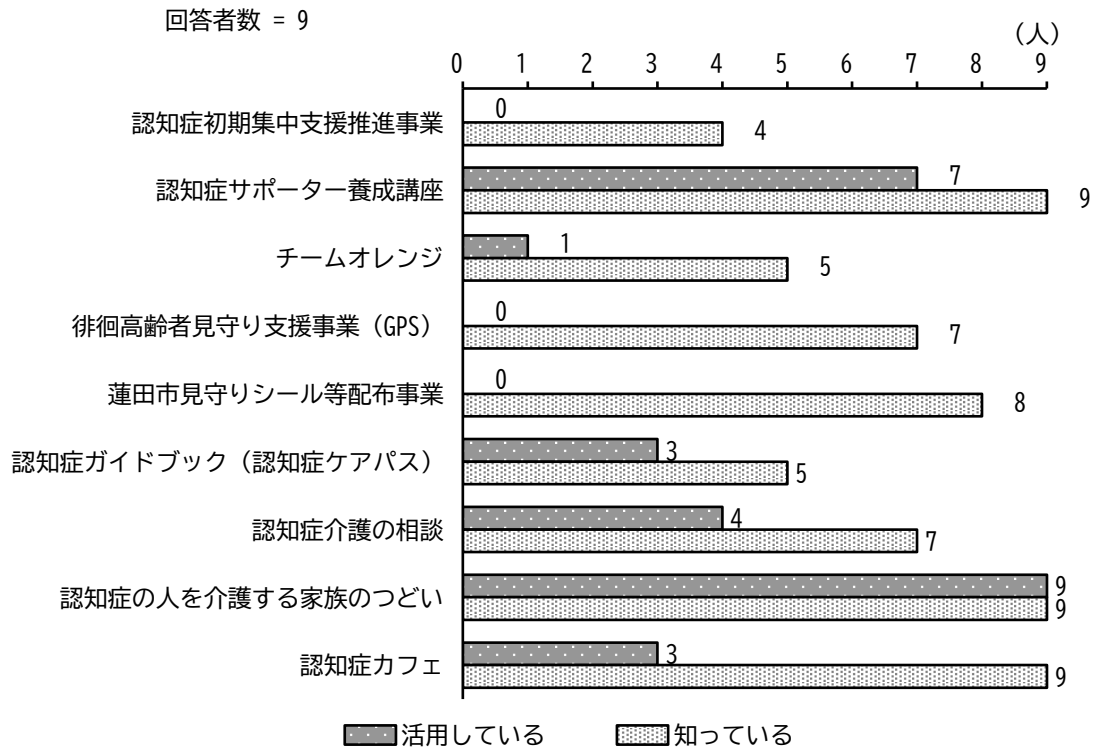
○人生の最終段階に関する不安と支援

- 延命治療の判断に直面したときのショック。
- 施設の選択と看取りまでの支援が安心材料になった。

⑥ 認知症の事業を知っていますか（活用していますか）。

「認知症の人を介護する家族のつどい」を利用している人数が9人と最も高く、次いで「認知症サポーター養成講座」が7人となっています。

また、「認知症サポーター養成講座」「認知症の人を介護する家族のつどい」「認知症カフェ」を知っている人数が9人と最も多く、次いで「蓮田市見守りシール等配布事業」が8人となっています。



【調査票】

I 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査票

連田市 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 (65歳以上の市民の方)

調査についてのおお願い

市民の皆様には日頃から本市の福祉行政にご理解とご協力を頂き、厚くお礼申し上げます。

この調査は、皆様の生活状況、福祉サービス及び介護保険制度や市に対するご意見等をお聞きし、「連田市高齢者福祉計画2027・第10期介護保険事業計画・認知症施策推進計画」を策定する上での基礎資料として活用するために実施するものです。調査の対象者として、市民の皆様の中から、2,000名を無作為に選ばせて頂きました。ご回答頂きました内容はすべて統計的に処理し、個人が識別できない形で活用いたします。

調査の趣旨をご理解頂き、ご協力賜りますようお願いいたします。

令和7年12月

連田市長 山口京子

ご回答の前に、ご確認ください

記入日	令和	年	月	日
-----	----	---	---	---

調査票を記入されたのはどなたですか。○印をつけてください。

- あて名のご本人が記入
- ご家族が記入 (あて名のご本人からみられた続柄：)
- その他

【問い合わせ先】 連田市健康福祉部 長寿支援課
電話：(048) 768-3111 内線 136・148・197
ファックス：(048) 769-0684
メールアドレス：choju@city.hasuda.lg.jp

ご記入の前に、お読みください

- この調査は、令和7年11月1日時点での連田市在住の65歳以上の方の中から2,000名を無作為に選び、ご協力をお願いします。
- 回答にあたっては、封筒のあて名のご本人にお答え頂きますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答したり、ご一緒に回答してもかまいません。また、記入の仕方が分からない、身体が不自由で記入ができない等の場合は、長寿支援課、又は担当の地域包括支援センター職員にご相談ください。
- 調査票の設問中の「あなた」とは、封筒のあて名の方です。
- この調査は、令和7年11月1日現在の状況でお答えください。
- ご回答は、あてはまる回答の番号を○で囲んでください。回答数は、各設問文に指定してありますので、それに従ってご回答ください。また() がある回答は、記述でご回答ください。
- 設問によっては、該当する設問の番号に○をつけた方だけに答えて頂く設問などがありますので、その説明に従いご記入ください。
- ご記入頂いた調査票は、令和7年12月22日(月)までに、同封の返信用封筒に入れて(切手を貼らずに)、郵便ポストにご投函ください。
- インターネットによる回答も受け付けております。右の二次元コードを読み込むか、下記のURLにアクセスし、調査票に記載されているIDを入力してください。
URL：https://questant.jp/q/92CRRQFJ
ID：*****
インターネットでご回答いただく場合は、調査票の返送は不要です。



個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護及び活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。
なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意頂いたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護及び活用目的について】

- この調査は、効果的な介護予防施策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、連田市による高齢者福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画策定の目的以外には利用いたしません。また、当該情報については、連田市で適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベースに情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

1 あなたのご家族や生活状況について

問1 あなたの性別について、お教えください。(○は1つ)

1. 男性	2. 女性	3. その他
-------	-------	--------

問2 あなたの年齢(令和7年11月1日現在)について、お教えください。
(数字を記入)

<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; display: inline-block;"></div> 歳
--

問3 あなたのお住まいの地区(地域)をお教えください。(○は1つ)

地区	含まれる地域(50音順)
1. 蓮田地区	綾瀬、御前橋、上、未広、関山、蓮田、東、本町、馬込、見沼町、山ノ内
2. 黒浜地区	江ヶ崎、川島、黒浜、桜台、笹山、城、橋山、西新宿、西城、藤ノ木、緑町、南新宿
3. 関戸・平野地区	井沼、関戸、貝塚、上平野、駒崎、高虫、根金

問4 あなたの要介護認定状況をお教えください。(○は1つ)

1. 認定を受けていない	2. 総合事業対象者である
3. 要支援1の認定を受けている	4. 要支援2の認定を受けている

※ 総合事業対象者とは、基本チェックリストを実施した結果、いずれかのリスク判定基準に該当した人。

問5 家族構成をお教えください。(○は1つ)

1. 1人暮らし	2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)
3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4. 息子・娘との2世帯
5. その他	

問6 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要です。(○は1つ)

1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている(要介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

【問6において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

問7 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(○はいくつでも)

1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	2. 心臓病
3. がん(悪性新生物)	4. 呼吸器の病気(肺炎腫・肺炎等)
5. 関節の病気(リウマチ等)	6. 認知症(アルツハイマー病等)
7. パーキンソン病	8. 糖尿病
9. 腎臓病(透析)	10. 視覚・聴覚障害
11. 骨折・転倒	12. 脊髄損傷
13. 高齢による衰弱	14. その他()
15. 不明	

【問6において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

問8 主にどなたの介護、介助を受けていますか。(○はいくつでも)

1. 配偶者(夫・妻)	2. 息子	3. 娘
4. 子の配偶者	5. 孫	6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー	8. その他()	

問9 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

1. 大変苦しい	2. やや苦しい	3. ぶつら
4. ややゆとりがある	5. 大変ゆとりがある	

問10 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(○は1つ)

1. 持家(一戸建て)	2. 持家(集合住宅)	3. 公営賃貸住宅
4. 民間賃貸住宅(一戸建て)	5. 民間賃貸住宅(集合住宅)	6. 借家
7. その他		

2 からだを動かすことについて

問1 階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。(○は1つ)

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

問2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

問3 15分位続けて歩いていきますか。(○は1つ)

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

問4 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

1. 何度もある	2. 1度ある	3. ない
----------	---------	-------

問5 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

1. とても不安である	2. やや不安である
3. あまり不安でない	4. 不安でない

問6 週にどの程度、外出していますか。(○は1つ)

1. ほとんど外出しない	2. 週1回
3. 週2~4回	4. 週5回以上

問7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

1. とても減っている	2. 減っている
3. あまり減っていない	4. 減っていない

問8 外出を控えていますか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

【問8で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】

問9 外出を控えている理由は、次のどれですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 病気 | 2. 障がい (脳卒中の後遺症など) |
| 3. 足腰などの痛み | 4. トイレの心配(失禁など) |
| 5. 耳の障がい (聞こえの問題など) | 6. 目の障がい |
| 7. 外での楽しみがない | 8. 経済的に出られない |
| 9. 交通手段がない | 10. 感染症が怖い |
| 11. その他 () | |

問10 外出する際の移動手段は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 |
| 3. バイク | 4. 自動車 (自分で運転) |
| 5. 自動車 (人に乗せてもらう) | 6. 電車 |
| 7. 路線バス | 8. 病院や施設のバス |
| 9. 車いす | 10. 電動車いす (カート) |
| 11. 歩行者・シルバーカー | 12. タクシー |
| 13. その他 () | |

3 食べることについて

問1 あなたの身長・体重はいくつですか。(数字を記入。小数点以下は四捨五入)

身長 () cm 体重 () kg

問2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問3 お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問4 口の渇きが気になりますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問5 歯磨き (人にやってもらってもら場合も含む) を毎日していますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問6 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)。(○は1つ)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 | 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし |
| 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 | 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし |

問7 噛み合わせは良いですか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

【問6で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」
利用」の方のみ】

問8 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問9 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問10 どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(○は1つ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない | |

4 毎日の生活について

問1 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問3 今日が何月何日かわからない時がありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問4 バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問5 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問6 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問7 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問8 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問9 年金などの書類 (役所や病院などに出す書類) が書けますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問10 新聞を読んでいますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 1 1 本や雑誌を読んでいますか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 1 2 健康についての記事や番組に関心がありますか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 1 3 友人の家を訪ねていますか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 1 4 家族や友人の相談にのっていますか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 1 5 病人を見舞うことができますか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 1 6 若い人に自分から話しかけることがありますか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 1 7 趣味はありますか。(○は1つ)

1. 趣味あり	→	()
2. 思いつかない		

問 1 8 生きがいがありますか。(○は1つ)

1. 生きがいあり	→	()
2. 思いつかない		

問 1 9 市の情報を何から得ていますか。(○はいくつでも)

1. 広報はすだ	2. 蓮田市公式ホームページ	3. LINE等のSNS
4. 家族や友人から	5. チラシ・ポスター	6. 特になし

問 2 0 ふだんの生活の中で、自宅以外でよく行く場所はどこですか。(○はいくつでも)

1. 公園や散歩などの屋外の場所
2. 地域の集まりや通いの場(サロン、体操教室、ボランティア活動など)
3. 趣味のサークル、習い事、カルチャーセンターなど
4. 地域包括支援センター、自治体の窓口
5. カフェや喫茶店など
6. 図書館、本屋
7. 医療機関(病院、診療所など)
8. スーパーマーケットや商店街
9. 子どもや孫の家
10. その他()
11. 特になし

問 2 1 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください。(○はいくつでも)

1. 配食	2. 調理
3. 掃除・洗濯	4. 買物(宅配は含まない)
5. ゴミ出し	6. 外出同行(通院、買物など)
7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)	8. 見守り、声かけ
9. サロンなどの定期的な通いの場	10. 緊急通報システム
11. 往診・訪問診療	12. 家の中の簡単な修理や電球交換
13. 薬の受け取り・薬剤師による訪問	14. 庭の手入れ
15. その他()	16. 特になし

問 2 2 あなたは、以下の項目についてどう思いますか。

①～⑥それぞれに回答してください。(それぞれ○は1つ)

	まったく そう思わない	あまり そう思わない	やや そう思う	とても そう思う
① 独りぼっちだと感じる	1	2	3	4
② まわりの人たちと共通点が多いと感じる	1	2	3	4
③ 人と親密だと感じる	1	2	3	4
④ 他人から孤立していると感じる	1	2	3	4
⑤ 自分のことを理解してくれる人たちがいると感じる	1	2	3	4
⑥ まわりに人はいないけれど、心は通っていないと感じる	1	2	3	4

5 地域での活動について

問1 以下のような会・グループ等にとのくらの頻度で参加していますか。

①～⑨それぞれに回答してください。(それぞれ○は1つ)

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 介護予防のための通いの場 (はすびい元気体操など)	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 老人福祉センター	1	2	3	4	5	6
⑧ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑨ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

問2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

1. 是非参加したい
2. 参加してもよい
3. 参加したくない
4. 既に参加している

問3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

1. 是非参加したい
2. 参加してもよい
3. 参加したくない
4. 既に参加している

問4 現在のあなたの就労状態はどれですか。(○はいくつでも)

1. 職に就いたことがない
2. 引退した
3. 常勤(フルタイム)
4. 非常勤(パート・アルバイト等)
5. 自営業
6. 求職中
7. その他

【問4で「2. 引退した」の方のみ】

問5 あなたはいいつ引退しましたか。(○は1つ・数字を記入)

1. 昭和 年
2. 平成 年
3. 令和 年

6 たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

問1 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人。(○はいくつでも)

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣
6. 友人
7. その他()
8. そのような人はいない

問2 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人。(○はいくつでも)

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣
6. 友人
7. その他()
8. そのような人はいない

問3 あなたが病気で数日間入院したときに、看病や世話をしてくれる人。(○はいくつでも)

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣
6. 友人
7. その他()
8. そのような人はいない

問4 反対に、看病や世話をしてあげる人。(○はいくつでも)

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣
6. 友人
7. その他()
8. そのような人はいない

問5 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(○はいくつでも)

1. 自治会・町内会・老人クラブ
2. 民生委員
3. 社会福祉協議会
4. ケアマネジャー
5. 医師・歯科医師・看護師
6. 地域福祉センター・市役所
7. その他()
8. そのような人はいない

問6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

1. 毎日ある
2. 週に何度かある
3. 月に何度かある
4. 年に何度かある
5. ほとんどない

問7 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。

同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(○は1つ)

1. 0人(いない)
2. 1～2人
3. 3～5人
4. 6～9人
5. 10人以上

問8 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(○はいくつでも)

1. 近所・同じ地域の人
2. 幼なじみ
3. 学生時代の友人
4. 仕事での同僚・元同僚
5. 趣味や関心が同じ友人
6. ボランティア等の活動での友人
7. その他()
8. いない

7 健康について

問1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない

問2 あなたは、現在のどの程度幸せですか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点、として、ご記入ください。(○は1つ)

とても不幸 ←									とても幸せ →	
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点

問3 この1か月間、気分が流んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

問4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

問5 補聴器などを使用しないで、日常生活の会話が聞き取れていますか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ 3. 時々聞き取りにくい

【問5で「2. いいえ」「3. 時々聞き取りにくい」の方のみ】

問6 補聴器を持っていて使用していますか。(○は1つ)

1. はい (使用の効果：
2. 持っていない (理由：
3. 持っているが使用していない (理由：
お酒は飲みますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む
3. ほとんど飲まない 4. もともと飲まない

問8 タバコは吸っていますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている
3. 吸っていたがやめた 4. もともと吸っていない

問9 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(○はいいくつでも)

1. ない	2. 高血圧
3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	4. 心臓病
5. 糖尿病	6. 高脂血症 (脂質異常)
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
9. 腎臓・前立腺の病気	10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)
11. 外傷 (転倒・骨折等)	12. がん (悪性新生物)
13. 血液・免疫の病気	14. うつ病
15. 認知症 (アルツハイマー病等)	16. パーキンソン病
17. 目の病気	18. 耳の病気
19. その他 ()	

8 認知症にかかる相談窓口の把握について

問1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

問2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

1. はい (具体的な窓口：
2. いいえ

問3 「新しい認知症観※」を知っていますか。(○は1つ)

1. 名前も内容も知っている 2. 名前だけ聞いたことがある
3. 知らない (初めて聞いた)

※ 新しい認知症観は、認知症になっても個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って暮らし続けることができるという考え方のことです。

問4 あなたは「認知症」に対してどのようなイメージを持っていますか。

(○はいいくつでも)

1. 地域や周囲の理解があれば置らせる	2. 認知症になってもやりたいことができる
3. 認知症になっても何も変わらないと思う	4. 早期に気づいて対応することが大切である
5. 誰でもなる可能性がある	6. 本人の気持ちが変わりにくい
7. 怖い病気だと思う	8. 家族に迷惑をかける病気だ
9. よくわからない	10. その他 (具体的に：)

問5 もし、あなたの家族が認知症になったら、そのことを近所の人知ってもらおうと思いませんか。(○は1つ)

1. 知ってもらって、見守りや声かけなど協力をお願いしたい	
2. 隠す必要もないが、あえてそのことを知っておいてもらう必要もない	
3. 知っておいてほしいが、あえて支援は望まない	
4. できればあまり知られたくないので隠したい	
5. わからない	
6. その他 ()	

問6 あなたは、認知症のご本人やそのご家族が、住み慣れた地域で安心して暮らしていただくために、特に必要だと思うことは何ですか。(○はいくつでも)

1. 認知症について正しく理解できる機会(講座・広報など)の充実
2. 認知症の人が安心して移動・買い物・通院できる環境の整備
3. 認知症の人が地域の活動や仕事などに参加できる場の確保
4. 認知症の人の思いや希望を尊重しながら支援する体制づくり
5. 医療・介護・福祉・福祉が連携した切れ目のない支援体制の整備
6. 認知症に関する相談窓口や家族への支援体制の充実
7. 認知症にならないための予防に関する情報や取り組みの推進

問7 あなたが知っている事業は何ですか。(○はいくつでも)

1. 認知症初期集中支援推進事業	2. 認知症サポーター養成講座
3. チームオレレンジ	4. 徘徊高齢者見守り支援事業(GFS)
5. 蓮田市見守りシール等配布事業	6. 認知症ガイドブック(認知症ケアパス)
7. 認知症介護の相談	8. 認知症の人を介護する家族のつどい
9. 認知症カフェ	10. 知っている事業はない

9 福祉サービス・介護保険制度について

問1 地域包括支援センター※について知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている	2. ある程度知っている
3. あまり知らない	4. まったく知らない

※ 地域包括支援センターは、保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーなどの専門職が地域で暮らし高齢者の皆さまを介護・福祉・健康など様々な側面から支える相談窓口です。日常生活圏域(黒浜、蓮田、関戸・平野)ごとに設置しており、市内3か所で運営しております。

問2 認知症などにより判断能力が不十分となった時に利用できる「成年後見制度」を知っていますか。(○は1つ)

1. 名前も内容も知っている	2. 名前だけ聞いたことがある
3. 知らない(初めて聞いた)	

問3 介護が必要になったときの手続きや介護保険制度のサービスの内容について知っていますか。(それぞれ○は1つ)

	よく知っている	ある程度知っている	あまり知らない	全く知らない
① 申請や手続きの方法	1	2	3	4
② 受けられるサービスの内容	1	2	3	4
③ 保険料の仕組み	1	2	3	4

問4 現在支払っている介護保険料の額について、どのように感じていますか。(○は1つ)

1. 大変な負担である	2. やや負担である	3. それほど負担ではない
4. まったく負担ではない	5. わからない	

問5 介護保険のサービスを充実させるには、介護保険料が上昇することも考えられます。サービスと介護保険料の関係について、どのようにお考えですか。(○は1つ)

1. 保険料は高くしてもサービスの充実を優先
2. 保険料もサービスの量も今の水準程度がよい
3. サービスを充実させるよりも保険料上昇を抑えるのが優先
4. その他 ()
5. わからない

問6 今後、もしあなたが自身が介護が必要になった場合、どのような生活を希望しますか。(○は1つ)

1. 自宅で、主に家族や親族に介護をしてもらいたい
2. 自宅で、主に介護サービスなどを利用したい
3. 子どもや親族等の家に住み替えて、介護をしてもらいたい
4. バリアフリー住宅等に住み替えて、介護サービスなどを利用したい
5. 有料老人ホームなどの介護付き住宅で暮らしたい
6. 特別養護老人ホームなどの介護保険施設に入りたい
7. その他 ()
8. 特にない

問7 あなたは、人生会議(アドバンス・ケア・プランニング<ACP※>)について、知っていますか。(○は1つ)

1. 名前も内容も知っている	2. 名前だけ聞いたことがある
3. 知らない(初めて聞いた)	

※ 将来の変化に備え、将来の医療及びケアについて、本人を主体に、そのご家族や近しい人、医師・ケアチームが、繰り返し話し合いを行い、本人による意思決定を支援する取り組みのこと。ACP(Advance Care Planning)の略。

問8 あなたは、エンディングノート※の記入をしたことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 記入したことがある | 2. 記入したことがない |
|--------------|--------------|

※ エンディングノートは、最期まで自身の尊厳を守るために、自身が希望する生き方や今後の人生、医療・介護に関する意思決定等について、家族や大切な人に伝えたい内容を記すノートです。蓮田市では、市オリジナルエンディングノートを作成し、地域包括支援センター窓口等で、配布しています。

問9 人生の最終段階における医療や介護について、あなたの希望を身近な人と話し合ったことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

【問9で「1. ある」の方のみ】

問10 誰と話し合いましたか。(○はいくつでも)

- | | | |
|----------|------------|--------|
| 1. 家族 | 2. 主治医 | 3. 看護師 |
| 4. 介護関係者 | 5. その他 () | |

問11 どのような介護予防や通いの場であれば参加したいと思いますか。

(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------------------|----------------------------|
| 1. 体操(運動)の教室(公民館などの講座) | 2. 体操(運動)の教室(WEB(インターネット)) |
| 3. 身近な地域の公園でのラジオ体操 | 4. 会食や茶話会等、食事をしながら、話し合う場 |
| 5. 一人でゆっくり過ごせる、カフェなどの場 | 6. 地域の情報を知ることができる場 |
| 7. 認知症予防の教室(市役所での講座) | 8. 認知症予防の教室(WEB(インターネット)) |
| 9. 趣味の活動への参加(料理教室、手芸、健康マージャン等) | |
| 10. ボランティアなど | 11. 農作業や農作物の収穫体験 |
| 12. 支援が必要な高齢者への生活支援(買い物支援、移動支援等) | |
| 13. 子どもや若年世代等世代間との交流活動 | 14. その他 () |

問12 介護予防や通いの場に参加する際、どのような点を重視しますか。

(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 内容が自分の興味と合っている | 2. 同年代や話しやすい人が参加している |
| 3. 自宅から近く、歩いて行ける | 4. 費用がかからない・安価である |
| 5. 介護が必要になっても通える配慮がある | 6. 開催日時が自分に合っている |
| 7. 地域に貢献している実感があ | 8. その他 () |

問13 今後、蓮田市に充実して欲しい高齢者施策は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 就労支援・人材活用の推進 | 2. 健康づくり・生きがい活動の推進 |
| 3. 福祉教育の推進 | 4. 生活支援の推進 |
| 5. 高齢者の見守り・安全確保の推進 | 6. 高齢者の権利擁護の推進 |
| 7. ボランティア体制の整備 | 8. 老人福祉施設の充実 |
| 9. 外出支援の推進 | 10. 福祉のまちづくりの推進 |
| 11. その他 () | |

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

II 在宅介護実態調査票

蓮田市 在宅介護実態調査 (要支援・要介護認定を受けている方)

調査についてのお願

市民の皆様には日頃から本市の福祉行政にご理解とご協力を頂き、厚くお礼申し上げます。

この調査は、皆様の生活状況、福祉サービス及び介護保険制度や市に対するご意見等をお聴きし、「蓮田市高齢者福祉計画2027・第10期介護保険事業計画・認知症施策推進計画」を策定する上での基礎資料として活用するために実施するものです。

調査の対象者として、要介護・要支援認定を受け、在宅で生活されている約1,700名の方にお送りしています。ご回答頂きました内容はすべて統計的に処理し、個人が識別できない形で活用いたします。

調査の趣旨をご理解頂き、ご協力願いますようお願いいたします。
令和7年12月

蓮田市長 山口京子

ご記入の前に、ご確認ください

- この調査は、本市に在住の、要支援1・2又は要介護1～5の認定を受けており、在宅で生活されている方にご協力をお願いしております。
- この調査は、令和7年11月1日現在の状況でお答えください。対象の方が在宅で生活されていない場合は、ご回答いただく必要はありません。
- A票(2ページ～8ページ)は封筒のあて名の方ご本人について、B票(9ページ～12ページ)は封筒のあて名の方のご家族等「主な介護者の方」について、お答えください。A票については、封筒のあて名の方ご本人のご家族の方等にご記入いただいてもかまいません。
- ご回答は、あてはまる回答の番号を○で囲んでください。回答数は、各設問文に指定してありますので、それに従ってご回答ください。
- ご記入いただいた調査票は、**令和7年12月22日(月)**までに、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに郵送してください。
- インターネットによる回答も受け付けております。右の二次元コードを読み込むか、下記のURLにアクセスし、調査票に記載されているIDを入力してください。

URL : <https://questant.jp/q/WUNJES8M>
ID : *****

インターネットでご回答いただく場合は、調査票の返送は不要です。

【問い合わせ先】 蓮田市健康福祉部 長寿支援課
電話 : (048) 768-3111 内線 136・148・197
ファックス : (048) 769-0684
メールアドレス : choju@city.hasuda.lg.jp

1

個人情報取り扱いについて

個人情報の保護及び活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。
なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意頂いたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護及び活用目的について】

この調査は、効果的な介護予防施策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、蓮田市による高齢者福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画策定の目的以外には利用いたしません。また、当該情報については、蓮田市で適切に管理いたします。

また、計画策定時に本調査で得られたデータを活用するに当たり、市で管理するデータベースである要介護認定データ(認定調査、介護認定審査会のデータ)やサービス利用に係るデータと照合し、必要に応じて集計・分析いたします。

ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するに当たり、厚生労働省の管理するデータベースに情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別できない形で利用することがあります。

A票 調査対象者ご本人について、お伺いします

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(○はいくつでも)

- 調査対象者本人
- 主な介護者となっている家族・親族
- 主な介護者以外の家族・親族
- その他

問2 世帯について、ご回答下さい。(○は1つ)

- 単身世帯
- 夫婦のみ世帯
- その他

問3 あなたは、以下の項目についてどう思いますか。(それぞれ○は1つ)

	まったく そう思わない	あまり そう思わない	やや そう思う	とても そう思う
① 独りぼっちだと感じる	1	2	3	4
② まわりの人たちと共通点が多いと感じる	1	2	3	4
③ 人と親密だと感じる	1	2	3	4
④ 他人から孤立していると感じる	1	2	3	4
⑤ 自分のことを理解してくれる人たちがいると感じる	1	2	3	4
⑥ まわりに人ははいらないけれど、心は通っていないと感じる	1	2	3	4

2

問4 家族や友人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

1. 毎日近くで会っている (同居またはほぼ毎日)
2. 週に1～3回程度
3. 月に1～3回程度
4. 年に数回程度
5. ほとんど会わない、会うことがない
6. 該当なし、わからない

問5 あなたは、家族や親族の中で以下のような活動を行っていますか。(○はいくつでも)

1. 家事を担っている (食事づくり・掃除・洗濯など)
2. 小さな子どもの世話をしている (おむつ替え・送り迎え・遊び相手など)
3. 家族・親族の相談相手になっている
4. 家族の支え手 (収入を支えている) である
5. 家族や親族関係のまとめ役 (話し合いの調整役など) をしている
6. 病気や障害を持つ家族の世話をしている (介護など)
7. 特になし
8. その他 ()

問6 現時点での、施設等[※]への入所・入居の検討状況について、ご回答下さい。(○は1つ)

1. 入所・入居は検討していない
2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居申し込みをしている

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問7 その施設は、どんな(どこの)施設ですか。(○はいくつでも)

1. 市内の特別養護老人ホーム
2. 市内の介護老人保健施設
3. 市外の特別養護老人ホーム
4. 市外の介護老人保健施設
5. グループホーム
6. 有料老人ホーム
7. ケアハウス
8. その他 ()

問8 ご本人(調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。(○はいくつでも)

1. 脳血管疾患(脳卒中)
2. 心疾患(心臓病)
3. 悪性新生物(がん)
4. 呼吸器疾患(肺炎、肺気腫、肺気腫)
5. 腎疾患(透析)
6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、骨柱管狭窄症等)
7. 膠原病(関節リウマチ含む)
8. 変形性関節症
9. 認知症
10. パーキンソン病
11. 難病(パーキンソン病を除く)
12. 糖尿病
13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障がいを含む)
14. その他
15. なし
16. わからない

問9 令和7年9月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(○は1つ)

1. 利用した (→問11へ)
2. 利用していない (→問10へ)

【問9において「2. 利用していない」を選択した方のみ】

問10 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他

【問9において「1. 利用した」を選択した方のみ】

問11 現在利用している介護保険サービスの内容に満足していますか。現在複数の介護サービスを利用している場合には、総合的に評価してください。(○は1つ)

1. 満足
2. ほぼ満足
3. やや不満
4. 不満

【問11で「3. やや不満」「4. 不満」を選択した方のみ】

問12 不満を感じる理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 希望する日や時間帯などに利用できない
2. 利用できる回数や日数が少ない
3. 事業所職員や担当者の接し方が悪い
4. 説明が不十分で、予想していたサービス内容と違った
5. サービス提供者の技術・熟練度が低い
6. 利用料金が低い
7. プライバシーや個人の尊厳への配慮がない
8. その他 ()

【問9において「1. 利用した」を選択した方のみ】

問13 あなたはケアマネジャーが作成するケアプランに満足していますか。(○は1つ)

1. 満足
2. ほぼ満足
3. やや不満
4. 不満

【問13で「3. やや不満」「4. 不満」を選択した方のみ】

問14 不満を感じる理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 希望が反映されない
2. 身体状況の確認が不足
3. その他 ()

※ここから再び、全員の方にお伺いします。

問 1 5 あなたは、現在の生活の満足度がどの程度ですか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点、として、ご記入ください。(○は1つ)

とても不幸	←	→	とても幸せ							
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点

問 1 6 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答下さい。(○はいくつでも)

※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含まれます。

1. 配食	2. 調理
3. 掃除・洗濯	4. 買い物 (宅配は含まない)
5. ゴミ出し	6. 外出同行 (通院、買い物など)
7. 移送サービス (介護・福祉タクシー等)	8. 見守り、声かけ
9. サロンなどの定期的な通いの場	10. 緊急通報システム
11. その他	12. 利用していない

問 1 7 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス (現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む) について、ご回答下さい。(○はいくつでも)

※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含まれます。

1. 配食	2. 調理
3. 掃除・洗濯	4. 買い物 (宅配は含まない)
5. ゴミ出し	6. 外出同行 (通院、買い物など)
7. 移送サービス (介護・福祉タクシー等)	8. 見守り、声かけ
9. サロンなどの定期的な通いの場	10. 緊急通報システム
11. その他	12. 特になし

問 1 8 地域包括支援センター※について知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている	2. ある程度知っている
3. あまり知らない	4. まったく知らない

※ 地域包括支援センターは、保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーなどの専門職が地域で暮らし高齢者の皆さまを介護・福祉・健康など様々な側面から支える相談窓口です。日常生活圏域 (黒浜、濱田、関戸・平野) ごとに設置しており、市内3か所で運営しております。

問 1 9 あなたが担当の民生委員を知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問 2 0 あなたが相談できる介護・福祉の窓口や相談先はありますか。(○は1つ)

1. ある	2. ある程度ある	3. あまりない	4. まったくない
-------	-----------	----------	-----------

問 2 1 介護や福祉に関する情報は入手できていますか。(○は1つ)

1. よく入手できている	2. ある程度入手できている
3. あまり入手できていない	4. まったく入手できていない

問 2 2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

1. はい (具体的な窓口:)	2. いいえ
------------------	--------

問 2 3 「新しい認知症観※」を知っていますか。(○は1つ)

1. 名前も内容も知っている	2. 名前だけ聞いたことがある
3. 知らない (初めて聞いた)	

※ 新しい認知症観は、認知症になっても個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って暮らし続けることができるといった考え方のことです。

問 2 4 あなたは「認知症」に対してどのようなイメージを持っていますか。(○はいくつでも)

1. 地域や周囲の理解があれば書らせる	2. 認知症になってもやりたいことができる
3. 認知症になっても何も変わらないと思う	4. 早期に気づいて対応することが大切である
5. 誰でもなる可能性がある	6. 本人の気持ちが悪くない
7. 怖い病気だと思う	8. 家族に迷惑をかける病気だ
9. よくわからない	
10. その他 (具体的に:)	

問 2 5 あなたは、認知症のご本人やそのご家族が、住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、特に必要だと思うことは何ですか。(○はいくつでも)

1. 認知症について正しく理解できる機会 (講座・広報など) の充実
2. 認知症の人が安心して移動・買い物・通院できる環境の整備
3. 認知症の人が地域の活動や仕事などに参加できる場の確保
4. 認知症の人の思いや希望を尊重しながら支援する体制づくり
5. 医療・介護・福祉が連携した切れ目のない支援体制の整備
6. 認知症に関する相談窓口や家族への支援体制の充実
7. 認知症にならないための予防に関する情報や取り組みの推進

問 2 6 あなたが知っている事業は何ですか。(○はいくつでも)

1. 認知症初期集申支援推進事業	2. 認知症サポーター養成講座
3. チームオレレンジ	4. 徘徊高齢者見守り支援事業 (GPS)
5. 運田市見守りシール等配布事業	6. 認知症ガイドブック (認知症ケアパス)
7. 認知症介護の相談	8. 認知症の人を介護する家族のつどい
9. 認知症カフェ	10. 知っている事業はない

問 2 7 認知症などにより判断能力が不十分となった時に利用できる「成年後見制度」を知っていますか。(○は1つ)

1. 名前も内容も知っている	2. 名前だけ聞いたことがある
3. 知らない (初めて聞いた)	

問 2 8 今の要介護 (要支援) 状態が続いた場合、あなたは、今後どのような生活を希望しますか。(○は1つ)

1. 自宅で、主に家族や親族に介護をしてもらいたい
2. 自宅で、主に介護サービスなどを利用したい
3. 子どもや親族等の家に住み替えて、介護をしてもらいたい
4. バリアフリー住宅等に住み替えて、介護サービスなどを利用したい
5. 有料老人ホームなどの介護付き住宅で暮らしたい
6. 特別養護老人ホームなどの介護保険施設に入りたい
7. その他 ()
8. 特になし

問 2 9 あなたは、人生会議 (アドバンス・ケア・プランニング <ACP>*) について、知っていますか。(○は1つ)

1. 名前も内容も知っている	2. 名前だけ聞いたことがある
3. 知らない (初めて聞いた)	

* 将来の変化に備え、将来の医療及びケアについて、本人を主体に、そのご家族や近しい人、医療・ケアチームが、繰り返し話し合いを行い、本人による意思決定を支援する取り組みのこと。ACP (Advance Care Planning) の略。

問 3 0 あなたは、エンディングノート**の記入をしたことがありますか。(○は1つ)

1. 記入したことがある	2. 記入したことがない
--------------	--------------

* エンディングノートは、最期まで自身の尊厳を守るために、自身が希望する生き方や今後の人生、医療・介護に関する意思決定等について、家族や大切な人に伝えたい内容を記すノートです。運田市では、市オリジナルエンディングノートを作成し、地域包括支援センター窓口等で、配布しています。

問 3 1 人生の最終段階における医療や介護について、あなたの希望を身近な人と話し合ったことがありますか。(○は1つ)

1. ある	2. ない
-------	-------

【問 3 1 で「1. ある」を選択した方のみ】

問 3 2 誰と話し合いましたか。(○はいくつでも)

1. 家族	2. 主治医	3. 看護師
4. 介護関係者	5. その他 ()	

問 3 3 現在支払っている介護保険料の額について、どのように感じていますか。(○は1つ)

1. 大変な負担である	2. やや負担である	3. それほど負担ではない
4. まったく負担ではない	5. わからない	

問 3 4 ご本人 (調査対象者) は、現在、訪問診療を利用していますか。(○は1つ)

* 訪問歯科診療や居宅療養管理指導等を含みません。

1. 利用している	2. 利用していない
-----------	------------

問 3 5 今後、運田市に充実して欲しい高齢者施策は何ですか。(○は3 つまで)

1. 就労支援・人材活用の推進	2. 健康づくり・生きがい活動の推進
3. 福祉教育の推進	4. 生活支援の推進
5. 高齢者の見守り・安全確保の推進	6. 高齢者の権利擁護の推進
7. ボランティア体制の整備	8. 老人福祉施設の充実
9. 外出支援の推進	10. 福祉のまちづくりの推進
11. その他 ()	

問 3 6 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか (同居していない子どもや親族等からの介護を含む)。(○は1つ)

1. ない	⇒調査は終了です
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない	
3. 週に1~2日ある	
4. 週に3~4日ある	
5. ほぼ毎日ある	

⇒B票に進んでください

- A票の問3で「2.」～「5.」を選択された場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いします。
- 「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご本人（調査対象者）にご回答・ご記入をお願いします（ご本人のご回答・ご記入が難しい場合は、無回答で結構です）。

B票 主な介護者の方について

問1 ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。（○はいくつでも）

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

- | | |
|--------------------------|-------------------------------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く） | 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く） |
| 3. 主な介護者が転職した | 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した |
| 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない | 6. わからない |

問2 主な介護者の方は、どなたですか。（○は1つ）

- | | | |
|--------|----------|----------|
| 1. 配偶者 | 2. 子 | 3. 子の配偶者 |
| 4. 孫 | 5. 兄弟・姉妹 | 6. その他 |

問3 主な介護者の方の性別について、ご回答下さい。（○は1つ）

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。（○は1つ）

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20代 | 3. 30代 |
| 4. 40代 | 5. 50代 | 6. 60代 |
| 7. 70代 | 8. 80歳以上 | 9. わからない |

問5 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答下さい。（○はいくつでも）

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 【身体介護】 | |
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助（食べる時） | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状態への対応 |
| 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等） | |
| 【生活援助】 | |
| 12. 食事の準備（調理等） | 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等） |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |
| 【その他】 | |
| 15. その他 | 16. わからない |

問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答下さい（現状で行っているか否かは問いません）。（○は3つまで）

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 【身体介護】 | |
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助（食べる時） | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状態への対応 |
| 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等） | |
| 【生活援助】 | |
| 12. 食事の準備（調理等） | 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等） |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |
| 【その他】 | |
| 15. その他 | 16. 不安に感じていることは、特にならない |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

問7 介護者が相談できる窓口を知っていますか。（○は1つ）

- | | |
|--------------|--------|
| 1. はい（具体的に：） | 2. いいえ |
|--------------|--------|

問8 地域包括支援センター※について知っていますか。（○は1つ）

- | | |
|------------|--------------|
| 1. 知っている | 2. ある程度知っている |
| 3. あまり知らない | 4. まったく知らない |
- ※ 5ページ参照

問9 認知症に関する相談窓口を知っていますか。（○は1つ）

- | | |
|----------------|--------|
| 1. はい（具体的な窓口：） | 2. いいえ |
|----------------|--------|

問10 「新しい認知症観※」を知っていますか。（○は1つ）

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 名前も内容も知っている | 2. 名前だけ聞いたことがある |
| 3. 知らない（初めて聞いた） | |
- ※ 6ページ参照

問11 あなたは「認知症」に対してどのようなイメージを持っていますか。（○はいくつでも）

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 地域や周囲の理解があれば暮らせる | 2. 認知症になってもやりたいことができる |
| 3. 認知症になっても何も変わらないと思う | 4. 早期に気づいて対応することが大切である |
| 5. 誰でもなる可能性がある | 6. 本人の気持ちがかかりにくい |
| 7. 怖い病気だと思ふ | 8. 家族に迷惑をかける病気だ |
| 9. よくわからない | |
| 10. その他（具体的に：） | |

問12 あなたは、認知症のご本人やそのご家族が、住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、特に必要だと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 認知症について正しく理解できる機会（講座・広報など）の充実
2. 認知症の人が安心して移動・買い物・通院できる環境の整備
3. 認知症の人が地域の活動や仕事などに参加できる場の確保
4. 認知症の人の思いや希望を尊重しながら支援する体制づくり
5. 医療・介護・福祉が連携した切れ目のない支援体制の整備
6. 認知症に関する相談窓口や家族への支援体制の充実
7. 認知症にならないための予防に関する情報や取り組みの推進

問13 あなたが知っている事業は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 認知症初期集中支援推進事業
2. 認知症サポーター養成講座
3. チームオレンジ
4. 徘徊高齢者見守り支援事業（GPS）
5. 運田市見守りシール等配布事業
6. 認知症ガイドブック（認知症ケアバス）
7. 認知症介護の相談
8. 認知症の人を介護する家族のつどい
9. 認知症カフェ
10. 知っている事業はない

問14 介護や家事などを日常的に行っている18歳未満の方がいますか。(〇は1つ)

- ※ 問2の「主な介護者」を助けている場合も含みます。
1. いる
 2. いない

【問14で「1. いる」を選択した方のみ】

問15 18歳未満の方が、平日の1日あたりに家事や家族のお世話に充てる平均的な時間はどれくらいですか。(〇は1つ)

1. 1時間未満
2. 2時間未満
3. 4時間未満
4. 6時間未満
5. 8時間未満
6. 8時間以上
7. わからない

【問14で「1. いる」を選択した方のみ】

問16 18歳未満の方が、家族のお世話に関する悩みや不満を話せる人がいますか。(〇は1つ)

1. いる
2. いない

問17 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答下さい。(〇は1つ)

1. フルタイムで働いている
 2. パートタイム*で働いている
 3. 働いていない
 4. 主な介護者に確認しないと、わからない
- ⇒調査は終了です

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」「パートタイム」のいずれかを選択してください。

【問17で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」を選択した方のみ】

問18 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。(〇はいくつでも)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間調整（残業免除、短時間勤務、選出・早帰・中休み等）」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

【問17で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」を選択した方のみ】

問19 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両方に効果があると思いますか。(〇は3つまで)

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）
5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他
10. 特になし
11. 主な介護者に確認しないと、わからない

【問17で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」を選択した方のみ】

問20 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(〇は1つ)

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないと、わからない

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

Ⅲ 介護保険事業推進に関するアンケート調査 (介護保険サービス提供事業所) 調査票

蓮田市 介護保険事業推進に関するアンケート調査 (介護保険サービス提供事業所)

調査についてのお願い

貴事業所におかれましては日頃から本市の福祉行政にご理解とご協力頂き、厚くお礼申し上げます。

この調査は、蓮田市にある介護保険サービス提供事業所の運営状況や市に対するご意見を聴き、「蓮田市高齢者福祉計画2027・第10期介護保険事業計画・認知症施策推進計画」を策定する上での基礎資料として活用するために実施するものです。

調査の対象として、給付実績のある市内すべての介護保険サービス提供事業所に送付させて頂いております。ご回答頂きました内容はすべて統計的に処理し、有効に活用いたします。

調査の趣旨をご理解頂き、ご協力賜りますようお願いいたします。

令和7年12月

蓮田市長 山口京子

ご記入の前に、お読みください

- この調査は、令和7年11月1日時点の状況でお答えください。
- ご回答は、あてはまる回答の番号を○で囲んでください。回答数は、各設問文に(○は1つ)(○はいくつでも)などと指定してありますので、それに従ってご回答ください。また、() がある回答は、記述でご回答ください。
- 設問によっては、該当する設問の番号に○をつけた方だけに答えて頂く設問などがありますので、その説明に従いご記入ください。

- ご記入頂いた調査票は、**令和7年12月22日(月)**までに、同封の返信用封筒に入れて(切手を貼らずに)、郵便ポストにご投函ください。

- インターネットによる回答も受け付けています。

右の二次元コードを読み込み、下記のURLにアクセスし、調査票に記載されているIDを入力してください。

URL: <https://questant.jp/q/TAU9NYGQ>
ID: *****



インターネットでご回答いただく場合は、調査票の返送は不要です。

【問い合わせ先】 蓮田市健康福祉部 長寿支援課
電話: (048) 768-3111 内線 136・148・197
ファックス: (048) 769-0684
メールアドレス: choju@city.hasuda.lg.jp

1 事業所の運営について、おたずねします

問1 貴事業所において、経営効率化のために取り組んでいることはありますか。(○はいくつでも)

- 新規介護サービス事業の展開
- 既存介護サービス事業の拡大
- 既存介護サービス事業の縮小
- 人件費の圧縮(給与水準見直し、人員削減等)
- 派遣労働者の活用
- 業務の一部(給食、清掃等)の外部委託の推進
- 業務の実施方法の見直し
- 従業員のキャリアアップの仕組みを整えることによる従業員の定着促進
- その他()

問2 貴事業所では、職員の定着についておたずねのような状況ですか。(○は1つ)

- 定着し安定している
- たまたま離職者がいるが、ほぼ安定している
- 離職者が多く、不安定である
- その他()

問3 離職理由について、把握している範囲でご回答ください。(○はいくつでも)

- 結婚
- 出産・育児
- 家族等の介護・看護
- 労働時間・勤務体制が負担
- 収入が少ない
- 家族の転勤・転居
- 専門性や能力を十分に発揮・向上できない
- 将来のキャリアが見込めない
- 新しい資格を取得した
- いろいろな職場の経験希望
- 起業・開業
- 心身の不調、高齢
- 職場の人間関係の問題
- 利用者・家族との関係の問題
- 法人・事業所の理念や運営に不満
- 人員整理、勤奨退職、事業不振等
- その他()
- わからない

問4 人材を走着させるために取り組んでいることは何ですか。(〇はいくつでも)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 労働時間（時間外・総労働時間）の希望を考慮 時間外労働時間の削減 年次有給休暇等の取得促進 職員の健康教育や身体的健康対策（生活習慣病対策等） 感染症予防対策 メンタルヘルス対策 いじめやハラスメント等への体制整備 育児で支援（託児所を設ける、保育費用の助成など）や介護支援 多様な勤務形態（短時間勤務、短日勤務、交代勤務など）の導入 新人の指導担当・アドバイザーの配置（メンター制度など） キャリアパスの作成と実施 能力や仕事ぶりを評価し、配置や処遇に反映 キャリアに合わせた給与体系の整備 経営者や役員との意見交換がしやすい職場環境づくり 定期的なミーティング等の実施による、風通しのよい職場環境づくり 福利厚生充実 情報通信機器を活用した業務の効率化、省力化 その他（ ） 特になし |
|--|

問5 人材を新たに確保する際に困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 募集しても応募が少ない 応募があっても条件が合わない 募集コストの割に採用が少ない 優れた人材が集まらない その他（ ） 特になし |
|--|

問6 貴事業所において、外国人従業者を雇う予定はありますか。(〇は1つ)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> すでに雇っている 予定がある 予定はないが検討している 予定はなく、検討もしていない |
|---|

問7 現在、介護サービスを提供する上で、不安に感じていることは何ですか。

(〇はいくつでも)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 介護職員の人手不足 職員の定着が難しい（離職率が高い） 医療機関との連携が難しい 認知症高齢者への対応の難しさ 重症化・医療的ケアへの対応 利用者・家族からの過度な要望・クレーム 利用者の虐待・ハラスメントなどへの対応 感染症や災害発生時の対応（BCP関連） 行政・制度改正への対応が難しい ICT導入や記録のデジタル化への不安 業務量・事務負担の多さ 特に不安は感じていない |
|---|

問8 貴事業所ではICTを利用して業務を行っていますか。(〇は1つ)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 既に導入している 導入を計画している 関心はあるが導入に向けて特に動いていない 導入は考えていない |
|--|

問9 導入した（導入を計画している）ICTは次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 介蔵（支援）ソフト・システム 電子カルテ 雇用管理ソフト・システム 事業者間情報共有システム（MCSなど） パソコン等による利用者情報の一元管理 タブレット端末・モバイル端末 テレビ会議システム その他（ ） |
|---|

問10 ICTを導入してよかったことや効果があったことを教えてください。

(〇はいくつでも)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 業務の効率化・時間短縮につながった サービスの質の向上や利用者の満足度向上につながった 利用者情報の共有や従業員間の連携が改善された 多業者間、多職種間で情報共有を図ることができた その他（ ） |
|---|

問11 ICTの導入・活用に当たって課題があれば教えてください。(〇はいくつでも)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 経費・費用負担の増加 費用対効果が不明確 従業員の習得・習熟に時間がかかる 事故・トラブル等への対応 維持管理が困難 作業負担の増加 インターネット環境の整備が困難 ICTの導入・活用によって、そもそも何かが解決できるかわからない その他（ ） 特になし |
|--|

2 サービスの質の向上について、おたずねします

問12 現在、貴事業所では質の向上に対する取り組みをどのように行っていますか。(〇はいくつでも)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 第三者評価の実施 専門家、コンサルタントの活用 ISO等品質管理に対する認証取得 苦情事例等の活用・蓄積 事業所内での検討会 内部研修の実施 OJTの充実 手引書の作成と見直し 外部研修会への出席 人材の確保 スタッフの資格取得への支援 事業者間の交流 事業者連絡会への出席 利用者調査の実施 介護情報の公表 ICT機器の導入 その他（ ） 特になし |
|--|

3 関係機関との連携について、おたずねします

問 2 0 普段から、次に挙げる人たちや機関との連携はどれいていますか。(それぞれ○は1つ)

	十分に とれている	まあ とれている	まあ とれていない	ほとんど とれていない	まったく とれていない	必要 がない
① 利用者・家族	1	2	3	4	5	6
② 外部居宅介護支援事業者	1	2	3	4	5	6
③ 他の介護保険事業所	1	2	3	4	5	6
④ 地域包括支援センター	1	2	3	4	5	6
⑤ ボランティア・NPO	1	2	3	4	5	6
⑥ 医療機関	1	2	3	4	5	6
⑦ 行政機関	1	2	3	4	5	6

問 2 1 利用者の在宅生活を支えるために連携を強めたい機関・窓口はどこですか。(○はいくつでも)

1. 医師	2. 歯科医師	3. 薬剤師
4. 医療ソーシャルワーカー	5. 訪問看護	6. 訪問介護
7. リハビリテーション職	8. 栄養士(管理栄養士を含む)	9. 地域包括支援センター
10. 在宅医療サポートセンター	11. 生活支援コーディネーター	
12. コミュニティソーシャルワーカー	13. 行政機関	
14. その他 ()		

問 2 2 介護従事者と医療関係者等多職種連携を進める上で、どのようなことについて課題がありますか。(○はいくつでも)

1. 日頃から顔の見えぬ関係づくり
2. 主治医への問合せがしやすい仕組みづくり
3. 関係者の意識啓発や対等な立場で話し合える雰囲気づくり
4. 退院時のカンファレンスの実施
5. その他 ()
6. 特になし

問 1 3 職員の教育・研修計画を作成していますか。(○は1つ)

1. 作成済み	2. これから作成予定	3. 作成予定なし
---------	-------------	-----------

問 1 4 今年度、サービスの質の向上に向けた研修に職員を参加(予定を含む)されていますか。(○は1つ)

1. 事業所内及び外部の研修に参加	2. 事業所内の研修のみ参加
3. 外部の研修のみ参加	4. 研修には参加させていない

問 1 5 今後、職員を参加させたい研修はどのような内容のものですか。(○はいくつでも)

1. 言葉遣いなどの接遇やマナー、身だしなみ	2. 介護技術・知識向上
3. 資格取得のための支援	4. リスクマネジメント
5. 安全対策(事故時の応急措置等)	6. 虐待防止など
7. 公衆衛生・感染症対策	8. 介護保険全般について
9. その他 ()	10. 特になし

問 1 6 貴事業所では、提供した介護保険サービスに対する評価を実施していますか。(○は1つ)

1. 内部評価を実施している	2. 内部・外部評価をともに実施している
3. 外部評価を実施している	4. 実施していないが、今後実施するか検討中
5. 実施しておらず、今後実施する予定もない	

問 1 7 ここ3年の間に、利用者やその家族から苦情を受けたことはありますか。あった場合、それはどのような内容ですか。(○はいくつでも)

1. サービス情報の不足に関するもの	2. サービス内容に関するもの
3. 利用手続きに関するもの	4. 職員の態度に関するもの
5. 施設や設備に関するもの	6. 虐待の疑いに関するもの
7. 利用者の負担する費用に関するもの	8. その他 ()
9. 特に苦情は受けていない	

問 1 8 サービス提供で困難なケースがありましたか。(○は1つ)

1. あった	2. なし
--------	-------

【問 1 8 で「1. あった」を選択した方のみ】

問 1 9 困難なケースについて、貴事業所ではどこかに相談しましたか。(○はいくつでも)

1. 事業所内で相談した	2. ケースを担当するケアマネジャーに相談した
3. 地域包括支援センターに相談した	4. 市役所に相談した
5. その他 ()	6. 特に相談していない

問 2 3 他の法人等と連携して取り組んでいることはありますか。(○はいくつでも)

<ol style="list-style-type: none"> 勉強会、ケース検討会の共同開催 利用者の定員超過が見込まれる場合や空きがある場合の連携 NPO・ボランティア等活動団体との連携 困難事例等の相談 その他 () 特になし
--

問 2 4 地域と連携して取り組んでいることはありますか。(○はいくつでも)

<ol style="list-style-type: none"> 町内会・自治会などの集会に出席している 地域や施設のイベントを通して交流している 事業所説明会や見学会などにより施設や事業を公開している サービス未利用者でも地域住民（高齢者）やその家族等の相談に応じている その他 () 特になし

問 2 5 貴事業所では、認知症患者の支援について、かかりつけ医との連携はとれていると思いますか。(○はいくつでも)

<ol style="list-style-type: none"> とれている まあまあとれている あまりとれていない とれていない

問 2 6 貴事業所では、通常、医療機関やかかりつけ医とどのような方法で情報を交換していますか。(○はいくつでも)

<ol style="list-style-type: none"> 電話 FAX メール・SNS 診察への同行 訪問診療への同席 サービス担当者会議 直接訪問 その他 ()
--

問 2 7 貴事業所では、医療関係機関との間で問題やトラブルが発生した経験がありますか。(○は1つ)

<ol style="list-style-type: none"> 経験がある 経験はない
--

【問 2 7 で「1. 経験がある」を選択した方のみ】

問 2 8 どのような問題やトラブルが発生しましたか。可能な範囲でご記入ください。

問 2 9 認知症のご本人やそのご家族が、住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、特に必要だと思うことは何ですか。(○はいくつでも)

<ol style="list-style-type: none"> 認知症について正しく理解できる機会（講座・広報など）の充実 認知症の人が安心して移動・買い物・通院できる環境の整備 認知症の人が地域の活動や仕事などに参加できる場の確保 認知症の人の思いや希望を尊重しながら支援する体制づくり 医療・介護・福祉が連携した切れ目のない支援体制の整備 認知症に関する相談窓口や家族への支援体制の充実 認知症にならないための予防に関する情報や取り組みの推進 その他 ()
--

4 今後の事業展開について、おたずねします

問 3 0 介護保険サービスの需要と供給のバランスについて、どう思いますか。

(○は1つ)

<ol style="list-style-type: none"> 需要に対して供給が不足している 需要と供給はおおむね均衡している 供給が需要を上回っている 地域によって供給状況にばらつきがある サービスの種類によって供給の偏りがある 今後の需要増に対して供給体制が不安である 人材不足が供給の制約要因になっている 特に課題は感じていない/わからない

問 3 1 今後、運田市内における事業規模の拡大や縮小について、どのように考えられますか。(○は1つ)

<ol style="list-style-type: none"> 新規の事業を展開する予定 既存の事業を拡大する予定 現状維持の予定 縮小する予定 撤退する予定 特に考えていない

【問 3 1 で「1. 新規の事業を展開する予定」を選択した方のみ】

問 3 2 運田市内で新たに展開する予定のサービスは何ですか。(自由記述)

--

IV 介護保険事業推進に関するアンケート調査 (居宅介護支援事業所) 調査票

蓮田市 介護保険事業推進に関するアンケート調査 (居宅介護支援事業所)

調査についてのお願い

貴事業所におかれましては日頃から本市の福祉行政にご理解とご協力を頂き、厚くお礼申し上げます。

この調査は、蓮田市にある介護保険サービス提供事業所の運営状況や市に対するご意見等をお聴きし、「蓮田市高齢者福祉計画2027・第10期介護保険事業計画・認知症施策推進計画」を策定する上での基礎資料として活用するために実施するものです。

調査の対象として、本市に給付実績のある県内のすべての居宅介護支援事業所に送付させて頂いております。ご回答頂きました内容はすべて統計的に処理し、有効に活用いたします。

調査の趣旨をご理解頂き、ご協力賜りますようお願いいたします。

令和7年12月

蓮田市長 山口京子

ご記入の前に、お読みください

- この調査は、令和7年11月1日時点の状況でお答えください。
- ご回答は、あてはまる回答の番号を○で囲んでください。回答数は、各設問文に(○は1つ)(○はいくつでも)などと指定してありますので、それに従ってご回答ください。また、() がある回答は、記述でご回答ください。
- 設問によっては、該当する設問の番号に○をつけた方だけに答えて頂く設問などがありますので、その説明に従ってご記入ください。

- ご記入頂いた調査票は、**令和7年12月22日(月)**までに、同封の返信用封筒に入れて(切手を貼らずに)、郵便ポストにご投函ください。

- インターネットによる回答も受け付けています。

右の二次元コードを読み込むか、下記のURLにアクセスし、調査票に記載されているIDを入力してください。

URL : <https://questant.jp/q/QD3HT4TK>
ID : *****

インターネットでご回答いただく場合は、調査票の返送は不要です。



【問い合わせ先】

蓮田市健康福祉部 長寿支援課
電話：(048) 768-3111 内線 136・148・197
ファックス：(048) 769-0684
メールアドレス：choju@city.hasuda.lg.jp

1 ケアマネジメントの状況について、おたずねします

問1 貴事業所が居宅介護支援・介護予防支援以外で実施しているサービスはありますか。(○はいくつでも)

1. 訪問介護	2. 訪問入浴
3. 訪問看護	4. 訪問リハビリテーション
5. 居宅療養管理指導	6. 通所介護(地域密着型含む)
7. 通所リハビリテーション	8. 短期入所生活介護
9. 短期入所療養介護	10. 特定施設入居者生活介護
11. 福祉用具の貸与	12. 特定福祉用具販売
13. 住宅改修	14. 夜間対応型訪問介護
15. 認知症対応型通所介護	16. 小規模多機能型居宅介護
17. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	18. 複合型サービス
19. 認知症対応型共同生活介護	20. 介護老人福祉施設
21. 介護老人保健施設	22. 介護医療院
23. その他()	24. 特になし

問2 貴事業所の蓮田市内住者のケアプラン作成件数についておたずねいたします。令和7年10月分のケアプラン作成件数を、要介護別にご記入ください。作成実績がない場合は「0」とご記入ください。「要支援1・2」の欄には、地域包括支援センターから委託を受けた件数をご記入ください)

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
()	()	()	()	()	()	()	()

問3 どのような業務に負担感がありますか。(○はいくつでも)

1. ケアプラン作成	2. アセスメントの実施
3. 苦情対応	4. サービス担当者会議の開催・調整
5. 主治医や医療機関との連絡・調整	6. 利用者ご家族の間の合意調整
7. 利用者ご家族への同意説明	8. モニタリング
9. サービス事業者への連絡・調整	10. 利用者宅の訪問
11. 居宅介護支援経過の記録	12. 給付管理
13. 入所・入院先の相談・手配	14. 保険者への問い合わせ
15. 相談業務	16. その他()
17. 特になし	

問 4 新規の利用者からケアプランの作成依頼があった場合の対応体制は、現在、どのような状況ですか。(○はいくつでも)

1. 十分対応できる	2. 若干であれば対応できる
3. 現状で手一杯の状況である	4. 現状でも対応が困難な状況である

問 5 ケアプランの作成にあたり、利用しにくいと感じているサービスはありますか。(○はいくつでも)

1. 訪問介護	2. 訪問入浴
3. 訪問看護	4. 訪問リハビリテーション
5. 居宅療養管理指導	6. 通所介護 (地域密着型含む)
7. 通所リハビリテーション	8. 短期入所生活介護
9. 短期入所療養介護	10. 特定施設入居者生活介護
11. 福祉用具の貸与	12. 特定福祉用具販売
13. 住宅改修	14. 夜間対応型訪問介護
15. 認知症対応型通所介護	16. 小規模多機能型居宅介護
17. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	18. 複合型サービス
19. 認知症対応型共同生活介護	20. 介護老人福祉施設
21. 介護老人保健施設	22. 介護医療院
23. その他 ()	24. 特になし

問 6 自立支援型ケアマネジメントを実施するにあたり、困難を感じていますか。(○は1つ)

1. 感じている	2. 感じていない
----------	-----------

【問 6 で「1. 感じている」を選択した方のみ】

問 7 困難を感じている理由を選んでください。(○はいくつでも)

1. 利用者の理解が得られない
2. サービス事業者の協力が得られない
3. ケアマネジメントの方法がわからない
4. その他 ()

問 8 自立した生活を支援するために実際に組み込んでいる介護保険サービス等を選んでください。(○はいくつでも)

1. 訪問介護	2. 訪問入浴
3. 訪問看護	4. 訪問リハビリテーション
5. 居宅療養管理指導	6. 通所介護 (地域密着型含む)
7. 通所リハビリテーション	8. 短期入所生活介護
9. 短期入所療養介護	10. 福祉用具の貸与
11. 特定福祉用具販売	12. 住宅改修
13. その他 ()	14. 特になし

問 9 プランに介護保険以外のサービスを組み入れていますか。(○は1つ)

1. 組み入れている	2. 組み入れていない
------------	-------------

【問 9 で「1. 組み入れている」を選択した方のみ】

問 1 0 介護保険以外で組み入れているサービス (民間事業も含む) は何ですか。(○はいくつでも)

1. 配食サービス	2. 福祉家事援助サービス (シルバー人材センター)
3. 地域支えあいサービス (社会福祉協議会)	4. 器具洗濯乾燥事業
5. 紙おむつ支給事業 (社会福祉協議会)	6. 車いす貸出事業
7. 移送サービス事業	8. 福祉車両貸出事業 (社会福祉協議会)
9. 緊急通報システム事業	10. 日常生活用具給付等事業
11. あんしんサポートねっと (社会福祉協議会)	12. サービス提供専門所の介護保険以外のサービス
13. 徘徊高齢者等家族支援事業 (GPS)	14. 訪問薬剤
15. 訪問診療・訪問歯科診療	16. はすびい元気体操
17. 宅配サービス	18. 地域のサロン
19. その他 ()	

【問 9 で「2. 組み入れていない」を選択した方のみ】

問 1 1 介護保険以外のサービスを組み入れていない理由は何ですか。

問 1 2 介護保険制度に関する最新の情報は十分に得られていますか。(○は1つ)

1. 十分に得られている	2. ある程度得られている
3. あまり得られていない	4. まったく得られていない

【問12で「1.十分に得られている」「2.ある程度得られている」を選択した方のみ】

問13 介護保険制度に関する最新の情報はどこで得ていますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. インターネット | 2. 研修、講習会 |
| 3. 介護保険情報誌 | 4. 関連事業所 |
| 5. 国・県・市からの通知や資料など | 6. その他 () |

問14 介護保険以外の福祉事業に関する情報は十分に得られていますか。(〇は1つ)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 十分に得られている | 2. ある程度得られている |
| 3. あまり得られていない | 4. まったく得られていない |

問15 現在、介護サービスを提供する上で、不安に感じていることは何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 介護職員の人手不足 | 2. 職員の定着が難しい(離職率が高い) |
| 3. 医療機関との連携が難しい | 4. 認知症高齢者への対応の難しさ |
| 5. 重度化・医療的ケアへの対応 | 6. 利用者・家族からの過度な要望・クレーム |
| 7. 利用者の虐待・ハラスメントなどへの対処 | 8. 感染症や災害発生時の対応(BCP関連) |
| 9. 行政・制度改正への対応が難しい | 10. ICT導入や記録のデジタル化への不安 |
| 11. 業務量・事務負担の多さ | 12. その他 () |
| 13. 特に不安は感じていない | |

問16 貴事業所ではICTを利用して業務を行っていますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 1. 既に導入している | 2. 導入を計画している |
| 3. 関心はあるが導入に向けて特に動いていない | 4. 導入は考えていない |

【問16で「1.既に導入している」「2.導入を計画している」を選択した方のみ】

問17 導入した(導入を計画している)ICTは次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 介護(支援)ソフト・システム | 2. 電子カルテ |
| 3. 雇用管理ソフト・システム | 4. 事業者間情報共有システム(MCSなど) |
| 5. パソコン等による利用者情報の一元管理 | 6. タブレット端末・モバイル端末 |
| 7. テレビ会議システム | 8. その他 () |

【問16で「1.既に導入している」「2.導入を計画している」を選択した方のみ】

問18 ICTを導入してよくなったことや効果があったことを教えてください。(〇はいくつでも)

- | |
|------------------------------|
| 1. 業務の効率化・時間短縮につながった |
| 2. サービスの質の向上や利用者の満足度向上につながった |
| 3. 利用者情報の共有や従業員間の連携が改善された |
| 4. 多業者間、多職種間で情報共有を図ることができた |
| 5. その他 () |

問19 ICTの導入・活用にあたって課題があれば教えてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------------------|-----------------|
| 1. 経費・費用負担の増加 | 2. 費用対効果が不明確 |
| 3. 従業員の習得・習熟に時間がかかる | 4. 事故・トラブル等への対応 |
| 5. 維持管理が困難 | 6. 作業負担の増加 |
| 7. インターネット環境の整備が困難 | |
| 8. ICTの導入・活用によって、そもそも何が解決できるか分からない | |
| 9. その他 () | |
| 10. 特になし | |

2 サービスの質の向上について、おたずねします

問20 サービスの質の向上に向けた研修に職員を参加させていますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 事業所内及び外部の研修に参加 | 2. 事業所内の研修のみ参加 |
| 3. 外部の研修のみ参加 | 4. 研修には参加させていない |

問21 ここ3年の間に、利用者やその家族から苦情を受けたことはありますか。あった場合、それはどのような内容でしたか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. ケアプランの内容 | 2. サービスの量の不足 |
| 3. サービスの質の低さ | 4. サービス提供者の態度 |
| 5. 利用者が負担する費用 | 6. 要介護認定の結果 |
| 7. 介護保険制度全般に関すること | 8. その他 () |
| 9. 特に苦情は受けていない | |

3 関係機関との連携について、おたずねします

問2.2 医療との連携は取れていますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 十分に連携は取れている | 2. ある程度連携は取れている |
| 3. あまり連携は取れていない | 4. まったく連携は取れていない |
| 5. どちらともいえない | |

【問2.2で「3. あまり連携は取れていない」「4. まったく連携は取れていない」を選択した方のみ】

問2.3 医療との連携が取れていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 日程を調整することが難しい | 2. 自分自身の医療的な知識が不足している |
| 3. 医師の介護保険制度に対する理解が少ない | 4. 連携の必要性を感じない |
| 5. その他 () | |

問2.4 利用者の在宅生活を支えるために連携を強めたい機関・窓口はどこですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|---------------------|------------------|---------------|
| 1. 医師 | 2. 歯科医師 | 3. 薬剤師 |
| 4. 医療ソーシャルワーカー | 5. 訪問看護 | 6. 訪問介護 |
| 7. リハビリテーション職 | 8. 栄養士(管理栄養士を含む) | 9. 地域包括支援センター |
| 10. 在宅医療サポートセンター | 11. 生活支援コーディネーター | |
| 12. コミュニティソーシャルワーカー | 13. 行政機関 | |
| 14. その他 () | | |

問2.5 介護従事者と医療関係者等が多職種連携を進める上で、どのようなことについて課題がありますか。(○はいくつでも)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 日頃から顔の見える関係づくり |
| 2. 主治医への問合せがしやすい仕組みづくり |
| 3. 関係者の意識啓発や対等な立場で話し合える雰囲気づくり |
| 4. 退院時のカンファレンスの実施 |
| 5. その他 () |
| 6. 特になし |

問2.6 サービス担当者会議の主な出席者は誰ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 利用者 | 2. 家族 |
| 3. 主治医 | 4. サービス事業者 |
| 5. 主治医以外の医療関係者 | 6. 地域包括支援センター職員 |
| 7. 民生委員 | 8. 薬剤師 |
| 9. その他 () | |

問2.7 サービス事業者との関係において問題を感じることがありますか。(○はいくつでも)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 双方とも忙しくて連絡が取れない |
| 2. 居宅サービス計画(ケアプラン)どおりにサービス提供をしてくれない |
| 3. 利用者の変化・要望等について報告してくれない |
| 4. 利用者に対する説明に食い違いがある |
| 5. その他 () |
| 6. 特になし |

問2.8 地域包括支援センターに相談することはありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問2.9 活動にあたって、あなたが主に連携を図っている地域包括支援センターはどれですか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 運田市黒浜地域包括支援センター | 2. 運田市運田地域包括支援センター |
| 3. 運田市戸戸・平野地域包括支援センター | |

【問2.8で「1. ある」を選択した方のみ】

問3.0 どのようなことで相談しましたか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 困難事例の対応 | 2. 介護保険サービスの利用 |
| 3. 介護保険外サービスの利用 | 4. 利用者・家族間の意向調整 |
| 5. 医療に関すること | 6. 権利擁護 |
| 7. 虐待に関すること | 8. その他 () |

【問2.8で「2. ない」を選択した方のみ】

問3.1 地域包括支援センターに相談しない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | |
|-------------------------|
| 1. 普段から連携しておらず、相談しづらいから |
| 2. 相談しようと思ったことがなかったから |
| 3. 特に相談することはないから |
| 4. その他 () |

4 高齢者の権利擁護について、おたずねします

問 3 2 現在までの約 1 年間に、あなたが利用者の自宅を訪問した際に介護者等による問題行動があるのではないかと思われましたか。(○は1つ)

1. あった
2. なかった

【問 3 2 で「1. あった」を選択した方のみ】

問 3 3 その内容はどのようなものでしたか。(○はいくつでも)

1. 家族・親族からの虐待
2. 知人・近隣住民等による虐待
3. 私的な金銭の貸し借り
4. 金融業者との取引
5. 商品・サービスの購入
6. 財産管理
7. 後見人等による権利侵害
8. その他()

問 3 4 解決困難な高齢者の権利擁護にかかる事例が発生した場合、すぐに相談できる専門家や機関がありますか。「1. ある」を選択した方は、相談先もご記入ください。(○は1つ)

1. ある (相談先:)
2. ない

問 3 5 認知症のご本人やそのご家族が、住み慣れた地域で安心して暮らしていただくために、特に必要だと思うことは何ですか。(○はいくつでも)

1. 認知症について正しく理解できる機会 (講座・広報など) の充実
2. 認知症の人が安心して移動・買い物・通院できる環境の整備
3. 認知症の人が地域の活動や仕事などに参加できる場の確保
4. 認知症の人の思いや希望を尊重しながら支援する体制づくり
5. 医療・介護・福祉が連携した切れ目のない支援体制の整備
6. 認知症に関する相談窓口や家族への支援体制の充実
7. 認知症にならないための予防に関する情報や取り組みの推進

5 今後望むことについて、おたずねします

問 3 6 介護保険サービスの需要と供給のバランスについて、どう思いますか。(○は1つ)

1. 需要に対して供給が不足している
2. 需要と供給はおおむね均衡している
3. 供給が必要を上回っている
4. 地域によって供給状況にばらつきがある
5. サービスの種類によって供給の偏りがある
6. 今後の需要増に対して供給体制が不安である
7. 人材不足が供給の制約要因になっている
8. 特に課題は感じていない/わからない

問 3 7 今後充実すべきだと考える介護保険サービスは何ですか。(○は5つまで)

1. 訪問介護
2. 訪問入浴
3. 訪問看護
4. 訪問リハビリテーション
5. 居宅介護管理指導
6. 通所介護 (地域密着型含む)
7. 通所リハビリテーション
8. 短期入所生活介護
9. 短期入所療養介護
10. 特定施設入居者生活介護
11. 福祉用具の貸与
12. 特定福祉用具販売
13. 住宅改修
14. 夜間対応型訪問介護
15. 認知症対応型通所介護
16. 小規模多機能型居宅介護
17. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
18. 複合型サービス
19. 認知症対応型共同生活介護
20. 介護老人福祉施設
21. 介護老人保健施設
22. 介護医療院
23. 居宅介護支援
24. その他 ()
25. 特にない

問 3 8 今後、居宅介護支援事業所として蓮田市に望むことはありますか。(○は4つまで)

1. 最新で適切な情報提供
2. 給付管理の相談体制の充実
3. 介護サービス提供の相談体制の充実
4. ケアマネジャーの資質向上のための研修の充実
5. 処遇の向上のための環境整備の推進
6. ボランティアや N P O の育成
7. 介護予防や認知症予防のための取り組み
8. ケアマネジャー同士が相談・意見交換できる場の拡充
9. 成年後見制度の利用支援の充実
10. 介護サービス以外の高齢者福祉サービスの充実
11. I C T 導入に向けての情報提供・支援
12. その他 ()
13. 特にない

問39 その他、何かご意見等ございましたら、ご記入ください。(自由記述)

調査にご協力頂きまして、ありがとうございました。

蓮田市高齢者福祉計画 2027・第 10 期介護保険事業計画・認知症施策推進計画
策定のためのアンケート調査等結果報告書

発行日 令和8年3月

発行 蓮田市

編集 蓮田市健康福祉部長寿支援課

〒349-0193 埼玉県蓮田市大字黒浜2799-1
TEL048-768-3111(代表) FAX048-769-0684
